ひと夏楽しめるホラー特集。映画、ドラマ、文学にファッション。さあ、冒険へと出かけよう。

POPEYE®

Magazine for City Boys

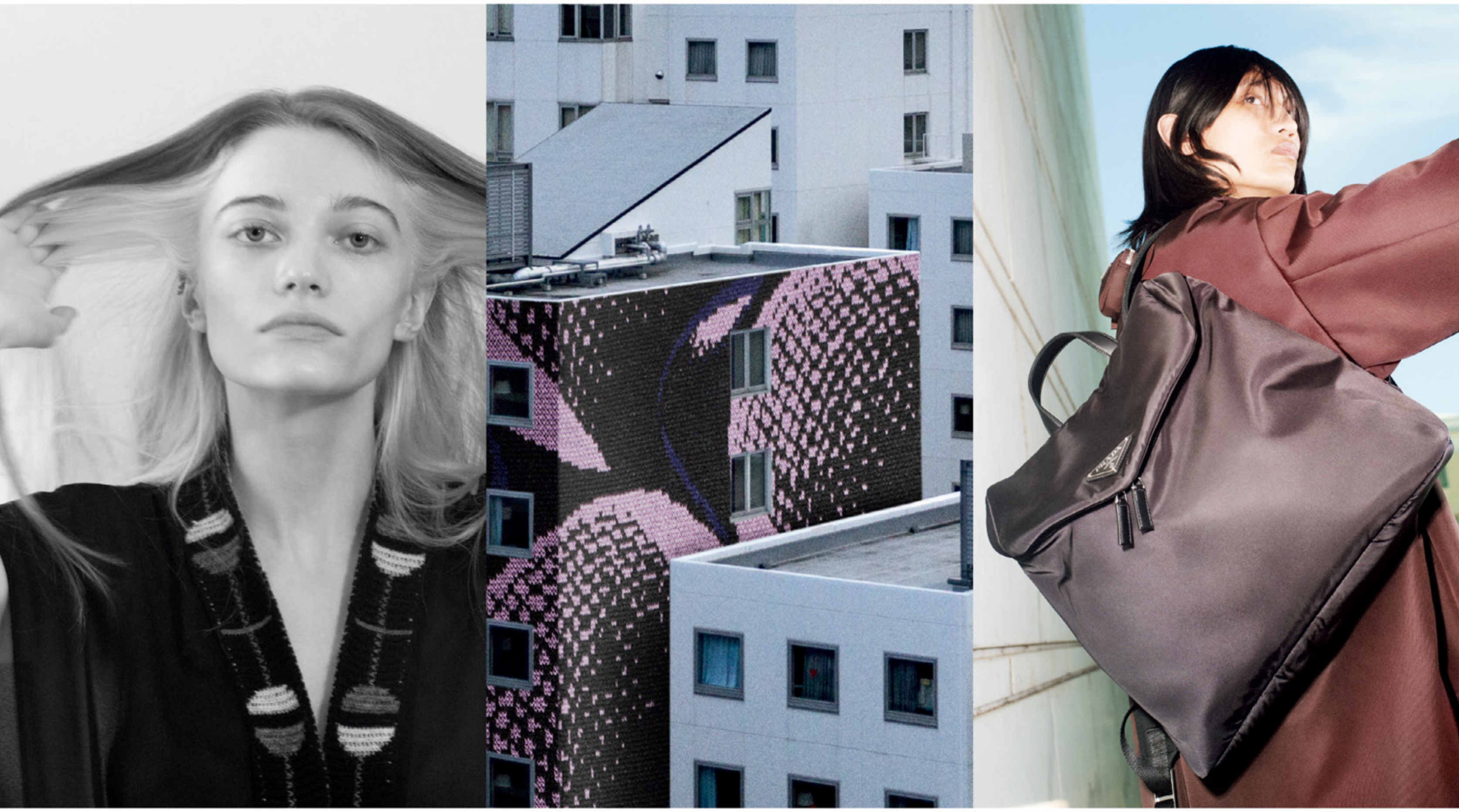
ISSUE 893
2021 SEPTEMBER
¥880

真夏のホラー大冒険。

9

2021年9月号(毎月9日発行) 8月6日発売 昭和52年4月27日 第三種郵便物認可 第46巻 第9号

FEELS LIKE PRADA



#FEELSLIKEPRADA

PRADA.COM

CONTENTS

2021 SEPTEMBER ISSUE 893

特集

真夏のホラー大冒険。

016 HORRORのABC
色あせない定番作品から最新ニュースまで。これだけは知っておきたい、ホラーの基本。

030 ぼくの好きなホラー
あの作品が一番こわいとか自分的に特別とか、映画、漫画、ゲームなどの傑作ホラー。

044 HORROR T-SHIRT CLUB
ホラー Tシャツはいつの時代もかっこいい。スピリッツは残しつつ、さりげなく着よう。

SENSE OF HORROR #1
050 男は黙ってシャイニング

051 A HISTORY OF HORROR FILMS
キーワードで巡る20世紀のホラー映画史
ホラー映画はどのように進化してきたんだろう？ 1919年の『カリガリ博士』から辿る。

SENSE OF HORROR #2
071 グッチの心臓

072 ENDLESS HORROR TALK
まだまだ尽きないホラーの話。
ホラーにまつわる気になることを徹底調査した、スペシャルなコラム集。怖いし面白い。

080 30 THINGS TO KNOW ABOUT STEPHEN KING
スティーヴン・キングについて知りたい30のこと
知ってそうで意外と知らない、巨匠S・キングについて、翻訳家の風間賢二さんに聞く。

007 POP × EYE
095 POPEYE JOURNAL
君といる街。 …… 森 七菜
ONGAKU 三題噺 …… 松永良平
本と映画のはなし。 …… 石橋英子
しまおまほのセクよろ～ season2 ～ …… しまおまほ
POP-EYE CINEMA …… 三宅 唱
ステイホームショッピング …… セク山
Bonjour Paris …… ラムダン・トゥアミ
アセンションプリーズ！ …… TAMURA KING
聞こえるニューヨーク HEARD ON THE STREET …… PETER ARKLE
103 popeye notes
107 TET'S ROOM …… 西山 徹
108 SING IN ME …… 坂口恭平
109 のみ歩きノート …… 牧野伊三夫
110 POPEYE FORUM
112 東京タイアップデート 最終回 …… 大根 仁
113 青春狂の詩 …… 岡宗秀吾
114 私の BEST 3 DISHES …… 清野とおる
115 T-SHIRT TO WATCH 映画とTシャツと私 …… 野村訓市
116 SCIENCE ON THE TABLE
117 こんな仕事があったのか
118 superrrrrrr ART WALL …… BIEN
120 HELLO MY NAME IS......
132 シティボーイの憂鬱 & 次号予告

◎「リリー・フランキーの珍道中絵日記」「二十歳のとき、何をしていたか？」は都合により休載させていただきます。

『ポパイ』電子版はじめました！
Amazon kindleストアなどの電子書店で購入可。
NTTドコモの「dマガジン」（雑誌読み放題サービス）でも読めます。

https://magazineworld.jp/popeye/
@popeye_magazine_official
@POPEYE_Magazine
@mhpopeye

COVER
TITLE DESIGN:
SEIICHI HORIUCHI
ILLUSTRATION:
fancomi

PUBLISHER
NOBUAKI SHIBASAKI
EDITOR IN CHIEF
YUJI MACHIDA
DEPUTY EDITOR
YUSUKE YAHAGI
HIROYUKI AOYAMA
SENIOR EDITOR
KENTA ENOMOTO
KAZUTO YANO

EDITOR
TAKAHIRO TSUNODA
DAIKEI FUKUSHIMA
KEN MIYAMOTO
KOHEI YANAGISAWA
AYUMI TAGUCHI
CONTRIBUTING EDITOR
TAMIO OGASAWARA
KOSUKE IDE
KOJI TOYODA
KEISUKE KAGIWADA
RYOKO IINO
NEO IIDA

ART DIRECTOR
TARO KAMBE
DESIGNER
MONET TERUMOTO
TAKUMI OTA
KATSUYOSHI MAWATARI
MARINA INO
NOA WATANABE

PROOFREADING
SHUCHINSHA
MEDIA PROMOTION DEPT.
HIDEYUKI MASE
MOMOKO ISHII
YASUAKI SUGIMOTO
YOTARO MAKIYAMA
CIRCULATION
ATSUKO TSURUMAKI

PRODUCTION
YUICHIRO HACHISUKA
PUBLICITY
SHIGETOMO NAGATA

※本誌編集ページに記載されている商品の価格は特別な表記のある場合をのぞき、すべて税込価格です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止策にともない、記載の営業情報等に変更のある可能性があります。事前にご確認ください。また、マスクを外して撮影をする場合は、ソーシャルディスタンスをとるなど安全に配慮しています。

 The New York Times/aflo

©マガジンハウス2021禁・無断転載 ®Hearst Holdings,inc.

BRAND-NEW
VINTAGE
レトロだけど、
新しい。
CONVERSE
CONVERSE
CONVERSE®
converse.co.jp
© & TM Warner Bros. Ent. (s21)

NO. ONE

photo: Reiko Toyama styling: Satoshi Kamei
grooming: AMANO edit: Koji Toyoda

01
Blue Backpack

怪談にホラー、それに鮮やかな色合いは、真夏の風物詩。

真夏になると稲川淳二の怪談やホラー映画が恋しくなるように、洋服には色が欲しくなってくる。たとえベーシックな一品でも、普段だったらスルーしがちなカラーリングを選んでみたら、なんとなく夏気分が高まってくるような。だから……、と言っちゃなんだが、今年の夏は〈エバーグッズ〉のバックパックが気になっている。これは、アウトドアの聖地、モンタナ州ボーズマンに拠点を置く新しいバックパックブランドで、'70年代のヘビーデューティを彷彿とさせるシグナルブルーが、ものすごく格好いい。"ヘビアイ"の精神はものづくりにも貫かれていて、バッグ本体には強靭な420デニールHTナイロン。異素材を使うことで脆くなりやすいポケットなどには、ストレッチナイロンを選び、すべて縫製で仕上げる。だから、もし壊れたとしても修理は簡単。こんなヘビーデューティなバッグならば、何かしらの怪異に遭遇しても負ける気がしない。バックパック¥36,300（エバーグッズ／サンウエスト☎03·3544·2751） オックスフォードプルオーバー BDシャツ¥24,200（インディビジュアライズド シャツ）、ソックス¥2,530（アメリカン トレンチ／ともにユーソニアン グッズ ストア☎03·5410·1776） Tシャツ¥8,800（C.E www.cavempt.com） ユーズドの〈ポロ ラルフ ローレン〉のチノショーツ¥7,150（プロップス ストアアネックス☎03·6455·5388） キャップ¥4,950（クリーチャー／ソフツ☎0422·45·5433） サンダル¥5,500（ビルケンシュトック／ビルケンシュトック·ジャパン カスタマーサービス☎0476·50·2626）

ANATOMICA

2021 SPRING & SUMMER

www.anatomica.jp

NO. TWO

爽やかなレモンイエローは、プレッピーのスタンダード。いよいよ着る日がやってきた。

『ブルックス ブラザーズ』のような格式高いメンズショップのBDシャツコーナーに足を運ぶと、定番のホワイトやブルーと共に必ず常備されているのが、写真のレモンイエローにピンクやグリーン。原宿トラッドの生き字引、八木沢博幸さんによれば、これはプレップカラーと呼ばれ、アメリカでは当たり前の存在みたいだ。そういえば、向こうのジェントルマンは、カラフルにトラッドを楽しんでいる。思えば、2010年代のアメトラブームを牽引した貴公子、マイケル・バスティアンも。なんて思っていたら、この秋冬から〈ブルックス ブラザーズ〉のクリエイティブ ディレクター就任のニュース。いやが上にもプレッピー気分が高まり、いよいよこのイエローにも袖を通したくなったわけだ。せっかくのニューカラーだし、普通に着るのはつまらないのでインナーのTシャツは同系色のイエローを合わせ、短パンにはグリーンを。一見派手だけど、アメトラマナーに則った配色だからだらしなくならず、むしろお上品。BDシャツ¥15,400（ブルックス ブラザーズ／ブルックス ブラザーズ ジャパン☎0120·02·1818） Tシャツ¥1,100（ギルダン／ジャヌー・ツー☎03·3797·4435） ショートパンツ¥7,480（グラミチ／インス☎0120·900·736） キャップ¥4,950（クリーチャー／ソフツ☎0422·45·5433）

02

Yellow BD Shirt

大人が学ぶ、デザイン専門校

東京デザインプレックス研究所は、次代の「プロフェッショナルデザイナー」を育成する「東京発コンテンポラリーデザインの複合型教育機関」として、デザイン業界で抜群の就・転職実績を誇ります。講師にはトップクリエイター/現役デザイナーが集結し、少人数制・対面型・実践形式による授業を展開。国内最先端プログラムは、全11専攻・65コース/昼間部・夜間部・土日集中クラスで編成されており、大人（社会人・大学生・フリーターなど）を短期間で即戦力に導いています。

［募集専攻］ グラフィック/DTP・Webクリエイティブ・クリエイティブデザイン・デジタルコミュニケーションデザイン・インテリアデザイン・商空間デザイン・CAD/3DCG・空間コンテンポラリーデザイン・デザインストラテジー・UI/UX・Webインタラクションデザインなど **［クラス］** 夜間部/昼間部/土or日集中/全日制 **［授業形式］** 少人数・対面型 **［受講期間］** コースにより3ヵ月〜1年半 **［校舎］** 渋谷駅徒歩5分 ※詳細は学校パンフレットに掲載

2021年8月生/10月生/2022年4月生 募集

学校案内パンフレット無料送付中！

フリーダイヤルまたはWebサイトより資料をご請求ください。

0120-456-539　https://www.tokyo-designplex.com/

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル 2号館 9F

TOKYO DESIGNPLEX INSTITUTE
東京デザインプレックス研究所

03
Pink Sweat Pants

〈パレス〉の秋冬を見ていたら、ピンクのスウェットパンツをはいてみたくなった。

アメトラの故郷、イギリスのスケートブランドの〈パレス〉では、ときどきピンクがラインナップされる。2021A/Wは「SOFAR JOGGER」というスウェットパンツにそれがあった。ちょっとくすんだトーンの“ブラッシュ”と呼ばれる新色。グレー＆ネイビー至上主義に浸かりきった僕らにとってピンクのスウェットパンツなんて論外のはずだが、このサーモンピンクのようなカラーリングは単純にいい雰囲気でなかなかどうして惹かれてしまう。言ってみれば、これもプレップカラーだ。ブルーシャツやネイビーTと合わせると、実はそう難しくはないことに気づく。もちろん、このとおり暗闇でも目立つ色だから夜道も安心。でも、なぜか後ろは振り返ってしまうんだ。

スウェットパンツ¥19,800（パレス スケートボード／パレス スケートボード 東京☎03·6427·2587）　ユーズドの〈ポロ ラルフ ローレン〉のオックスフォードBDシャツ¥7,590、ユーズドのTシャツ¥14,190（ともにバド ヴィンテージ クロージング☎03·3401·7246）　キャップ¥4,950（クリーチャー／ソフツ☎0422·45·5433）　その他は私物

あのひとに届けたい
あの店の味。

贈るひとも贈られるひとも
みんなうれしくなる、
洗練された「おいしい」ギフトを
日本各地から取り揃えました。
えらぶ楽しみ、届くよろこび、食べるしあわせと
笑顔のきっかけが「食べログモール」にはあります。
類するサービスとは一味違う体験と
おいしいお取り寄せをあなたに、あのひとに。

おうちにお店の味を届けるグルメ通販サイト
「食べログモール」にお越しください。
https://mall.tabelog.com/

食べログ mall
おいしい、お取り寄せ。

夏も真っ盛り。
終わりを告げる前に、
鮮やかなグリーンのポロを。

〈ラコステ〉のL.12.12は、シティボーイのサマークラシック。色はまず白、次にネイビーを持っておきたい……。なんて口酸っぱく紹介してきたけれど、今年はついに浮気をしてしまった。なにせ直営店に行けば、色、色、色の山。L.12.12だけでも全部で18色も用意されていて、緑はトーン違いで4色もあるんだから。これは、その中でももっとも明るいクリアグリーン。夏の瑞々しさを湛えた鮮やかな色合いは、突き抜けるような青空とも相性ぴったりで、スイカのようにフレッシュ。ポロシャツ一枚でもそうなんだから、何事においても気分を変えるって大事なこと。もし真夏の夜に暇を持て余したら、公園にでも行ってみたら？　何か新しい出会いがあるかもよ。ポロシャツ¥14,300（ラコステ／ラコステお客様センター☎0120·37·0202）　Tシャツ¥7,700（パレス スケートボード／パレス スケートボード 東京☎03·6427·2587）ショートパンツ¥25,300（C.E　www.cavempt.com）　キャップ¥4,950（クリーチャー／ソフツ☎0422·45·5433）　デッドストックの〈リーボック〉のスニーカー¥5,500（オキドキ☎03·6407·8525）

04
Green Polo Shirt

映画『チャイルド・プレイ』©Everett Collection/aflo　本特集に掲載した情報は、2021年7月末日時点のものです。

真夏のホラー大冒険。

今年の夏も暑いですね。そんなときは、じっくりひと夏かけて、
ホラーの世界にはまってみるのはどうだろう。
映画、ドラマ、文学、漫画、ゲーム……とジャンルもさまざまあるけれど、
あの手に汗握るドキドキ、ワクワク感は何ものにも代えがたい。
気になる最新作もチェックしたいし、
名作が名作と呼ばれる理由も確認したい。
さあ、夏のホラー大冒険へ。そこはとても深い世界だなあ。

cooperation: Nozomi Hasegawa

まずはここから、永遠の名作18本。

A ALL TIME CLASSICS

6

5

2

8

7

3

1

9

4

HORRORのABC

まずはお馴染みのABCスタイルで、気にしておきたいホラーなネタを紹介しよう。映画はもちろん、漫画からイベントまで。いざ、ちょっぴり怖い冒険の旅に出発だ！

ひと口にホラー映画と言っても、一生かかっても観切れないほどの作品が存在するのはご存じのとおり。「どこから手を付けていいのやら……」と頭を抱えちゃう人も多いはず。そんな迷える子羊たちにとりあえず観てほしいのが、大冒険への入り口にうってつけなこの18作。いい感じに"怖いもの見たさ"を煽ってくれる作品ばかりだ。古くは1960年の『血を吸うカメラ』から、新しいところでは2019年の『デッド・ドント・ダイ』まで、すべて観れば「ホラー映画はいつの時代も傑作を残してきたんだな」ってことがわかるんじゃないかな？

テーマは女性ならではの身体変化。

4. キャリー

ブライアン・デ・パルマ／1976年／アメリカ／98分

ホラーには、女性ならではの身体変化がもたらす恐怖をテーマにした作品が実は多い。狂信的なキリスト教信者の母に育てられたいじめられっ子のキャリーが、初潮を迎えると同時に超能力を発揮する本作はその筆頭。学園映画ではハッピーな場面として描かれがちなプロムパーティを文字どおり血の海に陥れるラストは、マジで衝撃的。

スクールカースト最下層の少女の超能力をめぐるサイキック・ホラー。こちらもスティーヴン・キングの同名小説が原作。

"BLM"時代にふさわしいホラー。

5. ゲット・アウト

ジョーダン・ピール／2017年／アメリカ／103分

近年のアメリカでは、黒人差別をテーマにした映画が注目を集めている。それをホラーとして描いてみせたのが本作。黒人青年が白人女性のガールフレンドの実家がある街に遊びに行ったら、なんとそこは白人至上主義者たちの温床で、しかも、◯◯◯をされそうになり……という、まさに"ブラック・ライブズ・マター（BLM）"時代のホラー。

黒人青年が体験する恐怖。冒頭に登場する鹿もだいぶ不気味。Blu-ray¥2,075（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

英国ユーモアとゾンビの融合。

6. ショーン・オブ・ザ・デッド

エドガー・ライト／2004年／イギリス、フランス、アメリカ／99分

ラブストーリーからヒューマンドラマまで、ゾンビ映画はいろいろなジャンルと融合しながら進化を遂げてきた。こちらはコメディとフュージョンさせた名作。『ベイビー・ドライバー』で知られるエドガー・ライト監督作だ。主人公たちが籠城するのが、ショッピングセンターではなくパブというあたり、イギリスらしい洒落が効いている。

ボンクラ青年のショーンが、元恋人や母を守るため、街中に発生したゾンビたちと戦う。DVD¥1,100（KADOKAWA）

少年少女が活躍する冒険ホラー。

1. イット

トミー・リー・ウォレス／1990年／アメリカ、カナダ／187分

子供の恐怖心を大好物とするクラウンの怪物ペニーワイズに、かつて勇気を出して退治した少年少女（チーム名はルーザーズ・クラブ！）が、大人になりふたたび立ち向かう。"怖い『スタンド・バイ・ミー』"といった趣の冒険ホラーだ。原作はスティーヴン・キング。'17年に再映画化されたが、まずは怪物の造形が生々しいこっち！

子供だけを狙う怪物、ペニーワイズの恐怖を描く。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース・ホームエンターテイメント）

悪夢的ビジョンの万華鏡。

2. イレイザーヘッド

デヴィッド・リンチ／1977年／アメリカ／89分

言わずと知れたデヴィッド・リンチ監督の長編デビュー作。正直なところ、彼がホラーのつもりで作ったのかはわからない。だけど、舞台であるフィラデルフィアの陰気な工業地帯から、主人公たちが育てるウーパールーパーのような禍々しい姿の赤ん坊まで、悪夢的ビジョンの万華鏡のごとき様相を呈しているから、これもホラーだ！

おぞましい姿の赤ん坊をめぐる、狂気の物語。Blu-ray『イレイザーヘッド 4Kリストア版』¥1,650（KADOKAWA）

ゆっくり動くエイリアンが怖い。

3. エイリアン

リドリー・スコット／1979年／アメリカ／117分

ホラー映画の怪物といえば、全速力で襲ってくるばかりと思ったら大間違い。アーティストのH・R・ギーガーがデザインしたエイリアンの造形が素晴らしいこのSFホラーにおいて、なかなか全貌を現さないくだんの怪物は、登場するやじわりじわりと迫ってくる。それが怖いのだ。残念ながらシリーズ2作以後は速くなっちゃうのだが……。

西暦2122年、宇宙空間を飛行する貨物船ノストロモ号の乗組員たちが、謎の生命体に次々に襲われるSFホラー。

illustration: Jerry Ukai (character), obak (alphabet)　text: Keisuke Kagiwada

16

10

17

11

18

15

14

12

妊娠・出産の不安をホラーに昇華。

16. ローズマリーの赤ちゃん

ロマン・ポランスキー／1968年／
アメリカ／136分

若い女性が妊娠した赤ん坊が実は……という話を、コケオドシ的な描写をいっさい使わずに、「なんか嫌だなぁ」（©稲川淳二）的描写のみで語り切る。"妊娠して母になる"ということは、喜ばしいと同時に言い知れぬ不安や恐怖をもたらすもの。そののっぴきならない心理をホラーへと昇華させているという意味で、『キャリー』と同じ系譜と言える。

NYのアパートに引っ越してきた若い夫婦が異様な体験をする。Blu-ray¥2,075（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

爆笑するしかないカオスっぷり。

13. 死霊のはらわた

サム・ライミ／1981年／
アメリカ／85分

若い男女が、森の悪霊に憑依され、次々にゾンビ化するのだが、これほど"ハイテンション"という言葉がしっくりくるゾンビホラーもない。ゾンビの腹がいきなり破れて悪霊の手が飛び出し、血が噴き出したかと思ったら、白骨化して"はらわた"が散乱し、虫がたかるまでを一気に見せるラストのカオスっぷりには、恐怖を通り越してもう爆笑。

『死者の書』の呪文によって蘇った悪霊の恐怖を描く。Blu-ray¥2,619（ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント）

ポップな見た目が逆におぞましい。

10. チャイルド・プレイ

トム・ホランド／1988年／
アメリカ／87分

子供用の人形がバケモノと化すってのもホラーの定番だ。ただ、かつてならそもそも見た目が不気味なアンティーク人形とかでやりそうなところに、チャッキーというポップな人形を持ってきたのが、本作のミソ。そのギャップがより怖い。意外にも爆破シーンがしっかりしているし、2020年には〈シュプリーム〉とコラボしていたから観ておこう。

死んだ犯罪者の魂が乗り移った人形が、ナイフ片手に持ち主たちに襲いかかる。Blu-ray¥2,750（キングレコード）

頭部爆破シーンが衝撃的。

7. スキャナーズ

デヴィッド・クローネンバーグ／1981年／
カナダ／104分

"スキャナー"と呼ばれる超能力者たちのバトルを描くクローネンバーグ監督の出世作。彼の真骨頂であるグロテスクな想像力と、"特殊メイクのマエストロ"ことディック・スミスの妙技が核融合を起こしたかのごときパワフルさには、唖然とせざるをえない。それがもっとも表れるのが、おっさんの頭部の豪快な爆破シーンだ。

超能力を持つ者たちの戦争を描く。Blu-ray『スキャナーズ 2Kレストア特別版』¥6,380（TCエンタテインメント）

話せない敵にはお手上げだ。

17. 鳥

アルフレッド・ヒッチコック／1963年／
アメリカ／119分

巨匠アルフレッド・ヒッチコック監督による、数少ない直球ホラー。ある日突然、どこにでもいそうな普通の鳥が人間に襲いかかってくる。人間のモンスターであれば話せばわかってくれるんじゃないかと希望を持つこともできるけど（まぁ、きっと無理なんだけど）、相手が動物じゃいよいよ何を考えているかわからないからマジで怖い。

野鳥の襲撃を描く、動物パニックホラーのオリジン。Blu-ray¥2,075（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

"風呂場で真似したいホラー"NO.1。

14. 犬神家の一族

市川 崑／1976年／
日本／146分

和製ホラー映画のクラシックといったら、横溝正史原作の金田一耕助ものでしょう。とくにこちらの作品は、『新世紀エヴァンゲリオン』にも多大なる影響を与えた市川崑監督作だ。描かれるのは、遺産相続争いをめぐる連続殺人事件だ。ぱかっと開いた死体の両脚が湖の水面から飛び出す名シーンは、風呂場で真似したくなること請け合い。

とある財閥一族をめぐるサスペンス・ホラー。Blu-ray『犬神家の一族　角川映画 THE BEST』¥2,200（KADOKAWA）

ジャームッシュはホラーもクール。

11. デッド・ドント・ダイ

ジム・ジャームッシュ／2019年／
スウェーデン、アメリカ／104分

シティボーイ映画を作らせたら右に出る者なしのジム・ジャームッシュ監督が、長編デビュー39年目にして初めて挑んだゾンビ・コメディ。ロメロ映画にオマージュを捧げつつ、イギー・ポップやウータン・クランのRZAをゾンビにしちゃうあたり、さすが。RZAが演じる宅配業者の社名が「UPS」をパロディして「WU-PS」だったのには笑った。

センターヴィルという田舎町で、突然死者が蘇る事態が勃発。3人の警察官が立ち向かう。DVD¥4,180（バップ）

こんな"リアル脱出ゲーム"は嫌だ。

8. ソウ

ジェームズ・ワン／2004年／
アメリカ／103分

謎の人物ジグソウによって閉所に監禁された者たちが、ゲームに強制参加させられる。最近流行りの"リアル脱出ゲーム"を想起させるが、そのゲームってのが残虐極まりない。糸鋸で自分の足首を切断すれば鎖から抜け出せますよ……とか。21世紀初頭における"デス・ゲーム・ホラー"のブームを決定づけたそのトラウマ必至の世界観に刮目せよ！

目覚めると密室に監禁されていた2人の男が、恐ろしいゲームに巻き込まれる。Blu-ray¥2,750（ポニーキャニオン）

結局、普通の見た目が一番怖い。

18. 羊たちの沈黙

ジョナサン・デミ／1991年／
アメリカ／118分

'90年代はサイコスリラーが隆盛した時代。きっかけとなったのが本作だ。猟奇的な殺人に手を染め、被害者の肉を食べてしまうというレクター博士の行動は、スプラッター映画の怪物と変わりない。違うのはその見た目。普通のおじいちゃんなのだ。だからこそ、怖い。結局、怪物よりも、人間のほうがよっぽど恐ろしいんだなぁ。

アメリカ各地で連続猟奇殺人事件が発生。犯人逮捕のため、FBIアカデミー実習生のクラリスは、精神科医の囚人レクター博士に協力を求めるが……。

これはホラーの観客の陰画か？

15. 血を吸うカメラ

マイケル・パウエル／1960年／
イギリス／102分

映画監督志望のマークにとって、快楽を得る唯一の方法は、人が死ぬ表情を撮影すること。本作はそんな彼の異常心理にこれでもかと肉薄する。いやはやとんでもない人間を造形したもんだ。だけど、ホラー映画を観て楽しんでる僕たちだって、実は彼に似たところがあるんじゃないか……と考えると余計に怖くなる、一種の思弁的ホラー。

心理学者である父親の実験台にされた少年が、異常な性格の大人へと成長し殺人を繰り返す。DVD¥2,090（KADOKAWA）

世界観の徹底的な構築が見事。

12. ヘレディタリー／継承

アリ・アスター／2018年／
アメリカ／127分

「21世紀最高のホラー映画」と絶賛された、新鋭アリ・アスター監督の長編デビュー作。描かれるのは、平凡な一家に訪れる想像を絶する恐怖だ。なにしろ世界観の徹底的な構築が見事。全編にわたりずーっと不気味な雰囲気が持続している。だから、「タンッ」と舌打ちする音が響くだけで怖い。こういうのを"巧いホラー" っていうんだろうな。

とある家族に次々と不幸が襲う。そこには亡き祖母の影響があった……。DVD¥4,180（TCエンタテインメント）

現在まで続くゾンビ映画の開祖。

9. ゾンビ

ジョージ・A・ロメロ／1978年／
アメリカ、イタリア／139分

こればっかりは何が何でも外せない。なんせ現在にまで続くゾンビ映画の生みの親、ジョージ・A・ロメロ監督の代表作だ。本作なくしてその後のゾンビ映画もない。もし18本じゃ多いから3本だけに絞ってと言われても絶対に入る（あとの2作は考え中）。この後、特集内でも何度となく言及されるだろう。だから、とにかくもう観てください！

Blu-ray『ゾンビ ディレクターズカット版〈HDリマスター版〉』¥5,170（ハピネット・メディアマーケティング）

[A] 1: ©1990 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved. 2: ©1977 David Lynch - All Rights Reserved. ©Photofest/aflo 3: ©Photofest/aflo 4: ©Everett Collection/aflo 5: ©2018 Universal Studios. All Rights Reserved. 6: ©2004 WT Venture LLC. All Rights Reserved. 7: ©1980 Filmplan International Inc. All rights reserved 8: ©2004 Saw Productions, Inc. 9: ©1978 THE MKR GROUP INC. ALL RIGHTS RESERVED. 10: ©1988 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. 11: ©2019 IMAGE ELEVEN PRODUCTIONS, INC. ALL RIGHTS RESERVED. ARTWORK ©2019 FOCUS FEATURES LLC. 12: © 2018 Hereditary Film Productions, LLC 13: ©1981 Renaissance Pictures, Ltd. All Rights Reserved. 14: ©KADOKAWA 1976 15: ©1960 Michael Powell (Theatre) Limited 16: Copyright © 1968 Paramount Pictures Corporation and William Castle Enterprises, Inc. All Rights ReservedTM, ® & Copyright © 2013 by Paramount Pictures. All Rights Reserved. 17: ©1963 Alfred J. Hitchcock Productions Inc. All Rights Reserved. 18: ©Photofest/aflo

ホラー映画のウラに実話あり。

BEHIND THE HORROR

ビハインド・ザ・ホラー

リー・メラー著
五十嵐加奈子訳

『エクソシスト』、『羊たちの沈黙』、『死霊館』シリーズなど、名だたる21作のホラー映画に影響を与えた超常現象や事件を紹介。当時の実際の写真など資料も豊富。アニマルマスクをかぶった子供たちの装画はヒグチユウコ。¥2,640（青土社）

1.　ライトハウス

ロバート・エガース／2019年／アメリカ／109分

ニューイングランドの孤島の灯台が嵐に遭う。灯台守の2人の男は互いにそりが合わず、閉鎖された空間で過ごすうちに一層険悪な状況に。この後、生還した灯台守は髪が真っ白で、飢餓と寒さで狂気の淵をさまよっていたという。全国公開中。

スモールズ灯台の悲劇

エド・ゲインの連続猟奇殺人事件

2.　悪魔のいけにえ

トビー・フーパー／1974年／アメリカ／84分

1973年8月18日、真夏のテキサスを旅行中の男女5人が身長193㎝の大男レザーフェイスに次々に殺されるスラッシャームービー。ちなみにエド・ゲインは心神喪失で無罪。精神病院で一生を終えた。公開40周年記念版 Blu-ray¥5,170（松竹）

シーフォードのポルターガイスト事件

3.　ポルターガイスト

トビー・フーパー／1982年／アメリカ／115分

怪現象に悩むフリーリング一家は、娘がクローゼットから別世界に吸い込まれたのを機に悪霊に立ち向かう。製作はスピルバーグ。元ネタの騒動はひと月でぱったりなくなったそう。Blu-ray ¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

ホラー映画はフィクションか？　残念ながらそうとは言い切れない。現実の恐怖の歴史とホラー映画の歴史はつながっている。『ビハインド・ザ・ホラー』は、そんな名作の背後にある猟奇事件や怪現象について教えてくれる本。例えば『サイコ』や『悪魔のいけにえ』などの殺人鬼ものにはアメリカの〝死体収集家〟エド・ゲインの影響が。彼は'57年に逮捕されるまでに2人を殺し9つの遺体を墓から持ち去った上、死体の一部で装飾品などを作って世間を震撼させた。一方、平凡な一家を襲う心霊現象を描いた『ポルターガイスト』は「シーフォード事件」が元ネタ。'58年の冬、ハーマン家でボトルのキャップが吹き飛んだり小像が浮遊する事件が発生。警察、神父、物理学者らが謎解きに躍起になる新聞沙汰となった。ロバート・エガースの最新作『ライトハウス』は「スモールズ灯台の悲劇」が下敷き。1800年の冬、ウェールズ沖の嵐により灯台守の2人が4か月間身動きが取れず、1人が謎の死を遂げた事件だ。知ってから観ると一段と怖い。

プリンでも買うか〜とコンビニに立ち寄れば、書棚の片隅に「怖」や「恐」が躍るエグめの背表紙。コンビニコミックは、帰宅途中で手に入る身近なホラーだ。秋葉原『まんだらけコンプレックス』店長の竹下典宏さんによれば、「コンビニコミックの先駆けは、'70年代に小学館が発売した『別冊ゴルゴ』。'99年に同社がマイファースト・ビッグシリーズとして『ゴルゴ13』『美味しんぼ』『人間交差点』を出し、安価なコミックとして人気になりました。各社がこぞって創刊し、次第に描き下ろしコミックも登場。裏社会の実録もの、犯罪もの、ゴシップなどコンビニを下品に賑わすタイトルのなかにホラーもあり、次々とコミック化したんです」。

その魅力は〝隠れた名作マンガを探す楽しさ〟だという。「『熱血!!コロコロ伝説』には単行本未収録の『怪奇恐怖劇場蛙少年・ガマのたたり』や『呪い猫の恐怖』が。『稲川淳二の恐怖がたり怨霊の呪縛』には『サイコ工場』の谷口トモオさん、『実話マジで怖ーい話』には永井豪さんのアシスタントだったダイナミックプロの風忍さんが参加。コアマガジン系にはコアな伊賀和洋さんの作品が。いずれも圧倒的な画力で、怖さが際立ちます」。しかし安価ゆえ、読み捨てられることがほとんど。竹下さんは積極的に買い取りをしている。「コンビニで新刊を見たら即中身をチェック。名作が見つかるかもしれませんよ」。読み終えたら『まんだらけ』へ。

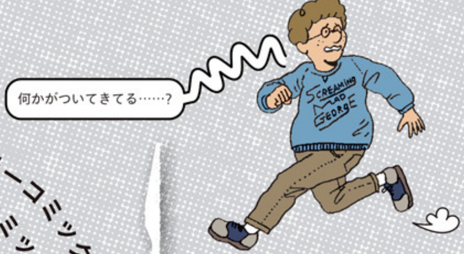
左／『熱血!!コロコロ伝説』のトラウママンガ傑作選。2008年刊行ながら5500円（！）。内臓や骨が飛び出るゾンビが主人公の『魔界ゾンべえ』も収録。右／家族の恐怖を描く、風忍さんの『闇に蠢くもの』を収録。¥200

まんだらけコンプレックス

マンガ、フィギュア、ゲーム、同人誌など、マニア心を刺激する8階建て大型店舗。コンビニコミックは200円から。◯東京都千代田区外神田3-11-12　☎03-3252-7007　12:00〜20:00　無休

コンビニにある怖いコミックの正体

CONVENIENCE COMICS



E

EC COMICS

伝説のホラーコミック出版社、ECコミック。

ECコミック

1950年に『Tales from the Crypt』『The Haunt of Fear』『The Vault of Horror』の3誌を創刊。過去にもフランケンシュタインや狼男などのモンスター映画は存在したが、"コミック化"には至らず。コミック・コード制定の翌年に惜しまれつつ休刊。

アメリカ初の本格ホラーコミック出版社、ECコミック。陰惨で残酷極まりないスプラッター描写は、のちのホラー・カルチャーに絶大な影響を与えた。当時、人気に乗じたコミック誌が次々刊行され、暴力表現はエスカレート。精神分析医フレデリック・ワーサムが「悪書」と糾弾し、1954年にコミック・コード(倫理規定)が制定。内容は規制され、高騰し入手困難に。少年時代にECコミックの雑誌を読み耽ったジョージ・A・ロメロは、映画『ボイルド・エンジェルズ』の中で「アンダーグラウンドで購入しなければならなくなった。ブツはどこで入手できる？　みたいな感じだったよ」と話す。世間には叩かれたが、スティーヴン・キングは勧善懲悪の精神が息づくと語る。「(ECコミックは) 善の力によって悪は罰せられるといったロマンチックな考え方の断末魔の吐息なんだ」(『スティーヴン・キング論集成：アメリカの悪夢と超現実的光景』)。二人がタッグを組んだ『クリープショー』は、ホラーコミックへの鎮魂歌なのだ。

キングとロメロも大好きだった。

1. クリープショー

ジョージ・A・ロメロ／1982年／アメリカ／120分

ECコミックを題材に、スティーヴン・キングが脚本、ロメロが監督を務めたオムニバス作品。キングは第2話に主演し、プロローグには息子ジョー・ヒルを起用。ジョーは特殊メイクのトム・サヴィーニの仕事を見てホラーの道を志した。Blu-ray¥3,300 (復刻シネマライブラリー)

2. CREEPSHOW／クリープショー

製作総指揮をグレッグ・ニコテロが手掛けたTVシリーズがHuluで配信中。原作にキング＆ジョー親子、監督にトム・サヴィーニが参加。キャスト陣も豪華。

『ウォーキング・デッド』監督が手掛けたドラマ版も！

D

DON'T

どれが嫌？ やってはいけない「DON'T」ホラー。

息をしてはいけない！

1. ドント・ブリーズ2

ロド・サヤゲス／2021年／アメリカ／88分

惨劇から8年後を描いた続編。盲目の老人は孤児の少女を育てていた。しかし武装集団が少女を誘拐してしまう。老人役は前作に続きスティーヴン・ラング。脚本は『死霊のはらわた』のリメイクを手掛けたフェデ・アルバレス。8月13日公開。

電気を消してはいけない！

2. ライト／オフ

デヴィッド・F・サンドバーグ／2016年／アメリカ／81分

幼い弟から「電気を消すと何かが来る」と打ち明けられたレベッカは、正体を確かめるべく実家に戻る。鬱病の母親が話していた相手とは……。監督がネットで発表した恐怖映像を『ソウ』のジェームズ・ワンのもと長編化。Blu-ray ¥2,619 (ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント)

3. ドント・ハングアップ

ダミアン・マセ、アレクシ・ワジブロア／2016年／イギリス／83分

高校生のサムとブレイディは、友人らでイタズラ電話をし、慌てる相手の様子をSNSにアップしていた。ある日、反応が鈍い相手の電話を切ると、即折り返しが。男は彼らの個人情報を詳しく知っていた。DVD ¥4,400(アット エンタテインメント)

電話を切ってはいけない！

音を立ててはいけない！

4. クワイエット・プレイス 破られた沈黙

ジョン・クラシンスキー／2020年／アメリカ／97分

2018年に公開された人気作の続編。謎のクリーチャーが現れ、"音を立てたら即死"という世界を生きるエヴリンは、家を失い3人の子供を連れて外の世界へ旅立つ。生存者エメットと出会ったことで、一家の運命は激しく動き始める。全国公開中。

「押すなよ！　押すなよ！」と言われると、押したくなるのが人の常。「やってはいけない」という緊張感の裏側には「やってしまったらどうなるだろう」の好奇心も確かに潜んでいて、実行されるのをどこかで心待ちにしている。"ドントもの"は、そんなドロッとした禁断の欲望を解放するホラーだ。『ドント・ブリーズ2』は、音を立てると聴覚がエグい盲目のじいさんに察知されちゃうので息をしちゃダメ。『ライト／オフ』は電気をつけると見えるはずのないものが見えるのでつけちゃダメ。『クワイエット・プレイス 破られた沈黙』も静かにしないとモンスターに襲われるので絶対に音を立てちゃダメ。『ドント・ハングアップ』は電話口の男から「切ったら仲間を殺す」と言われるので切っちゃダメ。ダメが厳しければ厳しいほど、「破ったらどうなるんだろう」がムクムク。日頃ルールにがんじがらめだからこそ、枠からはみ出した悲惨さが見たくなるのかも。そう考えると、ダチョウ倶楽部の構造って深いね。

[B] 1: ©2019 A24 Films LLC. All Rights Reserved. 2: MCMLXXIV BY VORTEX, INC. 3: ©Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved. [D] 2: ©2016 Warner Bros. Entertainment Inc. and Ratpac-Dune Entertainment LLC. All rights reserved. 3: ©2016 Don't Hang Up Films Limited 4: ©2021 Paramount Pictures. All rights reserved. [E] ©Curtis Knapp/Getty Images 1: ©2018 Paramount Pictures. 2: ©2019 Horror Anthology Series, Inc. All rights reserved.

7人の偉大な映画監督。

FILM DIRECTOR F

全作制覇したいフィルムディレクターを独断と偏見でピックアップ。ホラー映画界の“七人の侍”はこの人たちだ！

1. “臭み”を残したキャラ造形。

トビー・フーパー監督のホラーの魅力は、悪役のキャラ造形にある。ただ怖いのではなく、どこか人間くささが漂うのだ。『悪魔の沼』の義足の男しかり、『マングラー』の謎の社長しかり。しかし、真骨頂は『悪魔のいけにえ』のレザーフェイス。この怪物はときどき困ったような表情を浮かべるのだ。もっとストレートに怖くすることもできただろう。しかし、こういう“臭み”を残しているからこそフーパー作品のキャラは記憶に焼き付くのだ。

悪魔のいけにえ2

1986年／アメリカ／100分　『悪魔のいけにえ』の続編。前作の被害者の叔父が復讐すべく、レザーフェイスたちのアジトに乗り込む。前作以上に人間くささが炸裂するレザーフェイスの姿が拝める。

2. シリーズ化の肝は強い設定。

ジェームズ・ワン監督は設定選びが抜群にうまい。『ソウ』であれば「残虐なことが起こる閉鎖空間」、『死霊館』であれば「不気味なものが並ぶ博物館」がそれにあたる。この強い設定があれば、どんなものでも飛び道具も収納できるのでダレずにシリーズ化できる。殺人鬼の造形だけに頼りすぎて、回を追うごとに妙な方向にいくありがちなホラーシリーズとは、そこが大きく違う。この新規性によって、ワンは確固たる地位を築いた。

ソウ

2004年／アメリカ、オーストラリア／103分　2人の男の極限状態を描いたワンのハリウッド監督デビュー作。のちに7作作られた。2021年はリブート作『スパイラル』が公開予定。Blu-ray¥2,750（ポニーキャニオン）

3. 恐怖と活劇が生み出す緩急。

気付くと得体の知れない脅威がじわりじわりと近づいてくる。ジョン・カーペンター監督が追求してきたのはそんな恐怖だ。『ザ・フォッグ』では霧が、『光る眼』では目の光る子供が、『遊星からの物体X』では宇宙人が、静かに迫ってくるところから映画は動きだす。しかし、ここぞというところで、活劇的な瞬間を入れることも忘れない。この巧みな緩急のつけ方が、カーペンター作品を、ただ怖いだけのものとは一線を画すホラーにしている。

遊星からの物体X

1982年／アメリカ／109分　南極大陸を観測していた部隊は、生物の肉体を乗っ取ってしまう謎の生命体に遭遇する。『遊星からの物体X（復刻版）』DVD¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

4. 女優の顔への異常な愛情。

ヒッチコックほど女優の顔を美しく撮ることに執念を燃やした監督もそういない。しかし、『サイコ』や『鳥』といったホラー作品については事情が少々異なる。たしかに、女優の顔を撮るのだが、その表情が湛えるのは美しさではなく恐怖なのだ。わかりやすいのが『サイコ』でシャワー中に惨殺される女性の表情だ。『鳥』では実際の鳥を使い、女優に怪我をさせてまで阿鼻叫喚する表情を引き出したというから、彼自身が一番怖いという説も。

サイコ

1960年／アメリカ／109分　逃亡中の女性が、とあるモーテルで惨殺される。どうやら犯人は管理人の母らしいのだが……。DVD¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

5. 社会問題に中指立てろ。

ジョージ・A・ロメロ監督はパンクだ。実際、彼は作品をとおして、マイノリティ差別、消費社会、格差社会、移民問題、情報社会などなど、社会をとりまくあらゆる問題に中指を突き立てている。その点、ロメロがゾンビにこだわるのもよくわかる。ゾンビは人間の形だけど人間じゃない。だから、マジョリティとは異なる状況にある者たちの隠喩として、機能させやすいのだ。パンクなロメロの作品は、そこまで読み込んで観るべきなのだ。

死霊のえじき

1985年／アメリカ／101分　人間よりもゾンビが多くなった地球でサバイブする男女を描く。Blu-ray『死霊のえじき〈HDニューマスター・スペシャルエディション〉』¥7,480（ポニーキャニオン）

6. 克服不可能な“こわさ”を描く。

黒沢清監督は「ホラー映画とは何か」と題された文章で、「人生にかかわる克服不可能なこわさを主題とする一連の作品」がホラー映画であると書く。監督自身のホラー作品も、まさにそれを描いていると言っていい。心理描写が入り込む余地はない。ただ、映像としてまざまざとそれを描ききる。Jホラーの傑作『回路』で、人が黒い壁のシミになり、パラパラと剥がれ落ち、風に吹かれて舞うひたすら即物的な怖さが漂うシーンはその典型。

回路

2001年／日本／118分　インターネット黎明期の日本。ネット空間を介してこの世へと侵略してきたあの世の者たちが、人間を死に追いやる中、若者たちが生き残りをかけて逃げ回る。DVD¥3,080（KADOKAWA）

7. ホラーでメッセージを訴える。

日頃から人種差別に直面している黒人の暮らしは、ホラー的だとよくいわれる。それをダイレクトに映画に昇華したのが、ジョーダン・ピールの初監督作『ゲット・アウト』だ。正直、彼がホラーを撮ると知ったときは驚いた。だって、コメディアンだから。しかし、考えてみれば、彼はコメディでも常に人種間をはじめとする“自分と他人の違い”がテーマになっていた。ホラーだったら、そのメッセージをより強く訴えられると考えたのかも。

アス

2019年／アメリカ、中国／116分　ビーチハウスですごしていた黒人一家をドッペルゲンガーが襲う。まさに“自分と他人の違い”がテーマ。Blu-ray¥4,390（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z

G GAME

映画を超える？ ホラーゲームの世界。

伝説はここから始まった。

1. バイオハザード

カプコン／1996年／
PlayStation

累計275万本を売り上げた、武装してゾンビと戦う元祖サバイバルホラー。「OPが実写で、"ハリウッドのパニックホラー"という僕たちの既視感を刺激してきたところに新しさを感じました。ドアがギーッと開く演出も映画的」

クリアできないストレスが恐怖！

2. スウィートホーム

カプコン／1989年／
ファミリーコンピュータ

映画『スウィートホーム』が原作のRPG。「"死んだら生き返らない"という設定により、プレイヤーに心的な負荷をかけて恐怖を与える新新さ。同じくカプコンの『バイオハザード』に影響を与えた一作で、ホラーゲームの祖ともいえますね」

3. クロックタワー2

SUNSOFT／1996年／
PlayStation

ハサミ男が近づく恐怖！

ダリオ・アルジェント監督の『フェノミナ』を下敷きにしたホラーゲーム。「大きなハサミを持ったシザーマンから、非力な女の子が逃げ続けるゲームです。隠れていると"ジャキンジャキン"と音が近づいてくるのが斬新でした」

残酷＆過激過ぎて日本未発売！

4. デッドスペース

エレクトロニック・アーツ／2008年／
PlayStation 3、Xbox 360、
Microsoft Windows

日本では正規販売されず、多田さんは海外版を入手。「宇宙船の閉塞感は『エイリアン』だし、ロックが開かない演出は『遊星からの物体X』。アーマーの設計とか、残弾数を表示するバーチャルのUIとか、SF映画的な作り込みが精巧。没入できました」

最新作の舞台は邪悪と狂気の村。

5. バイオハザード ヴィレッジ

カプコン／2021年／
PlayStation 5、PlayStation 4、
Xbox Series X/S、Xbox One、Steam

前作から3年後を描いた第8作。「近年のホラーをギュッと濃縮したような演出で、大満足でした。"サバイバルホラー"を完璧に体現しながら、カプコンらしい"四天王"が出てくるのも最高です」。パッケージ版¥8,789（カプコン）

ホラーを"体験"するならゲームだ。生粋のゲーマーで、ホラー映画もよく観るという現代アーティストの多田圭佑さんはこう語る。「映画は客観的な立場にしかなれないけど、ゲームは当事者。恐怖を身をもって経験することになる」。『バイオハザード2』に始まり、様々なホラーゲームを通ってきた多田さん。その面白さを「ホラーというジャンル自体、痛みや恐怖を克服しながらフィナーレに向かっていくゲーム的な構造を持っている。ゲームとは繋がるべくして繋がったんだと思います」と分析する。衝撃を受けたのが、『デッドスペース』だ。「あんなに体がちぎれる主人公いる？ ってくらい死に様がすごかった」。この"死"の表現には、ホラーゲームならではの魅力があるという。「僕たちは日頃、死や痛みを避けながら生きていますが、それは生物が持つ本能的な感覚。日頃は抑えている繊細な感情を刺激されることに快楽を覚えるのだと思います」。さらに、構造自体が恐怖というゲームも。「2014年に、詳細を明かさず、呪いのビデオみたいに突如配信された『P.T.』。クリアすると、実は新ゲームのティザーで、制作は『メタルギア』の小島秀夫監督だとわかるんですが、それまで何も知らされない。リアルな館をひたすらループする設計で、とにかく難解。ネットの情報も不確かで、都市伝説のようでした。現実での"共有する"という行為をも侵食した、ホラーゲームにメスを突きつけた名作です」。現在は配信されていないので、実況動画などでぜひ。ホラーゲームといえば？ な作品もわずかながらご紹介。

多田圭佑
現代アーティスト

ただ・けいすけ｜1986年、愛知県生まれ。絵画素材のみで構成された「trace / dimension」シリーズを手掛ける。『現代美術のポジション2021-2022』（12月11日〜）参加に向け制作中。

H HOMMAGE

オマージュとは愛である。

ショーン・オブ・ザ・デッド

エドガー・ライト／2004年／
イギリス、フランス、アメリカ／99分

ジョージ・A・ロメロ監督の『ゾンビ』をモチーフにしたパロディ映画。ロンドンの家電量販店員のショーンは、不摂生な日々を送り恋人のリズに振られてしまう。翌朝、なんと街にはゾンビが溢れていた。ショーンはリズと復縁できるのか。

マスク姿の怪人が出てくれば、すぐ「『13日の金曜日』のオマージュでは！」なんて考えてしまうホラー初心者なのだけど、実際のところはどうなんだろう。ゾンビ映画ウォッチャーの伊東美和さんに聞いてみた。「うーん、一口にすべてを"オマージュ"と言い切るのは難しい気がします。そもそもホラーは狭い世界で、有名作の派生作品がどんどん生まれている。ゾンビ自体ロメロが作ったキャラクターですから、どのゾンビ作品もロメロへのオマージュということになってしまう」。なるほど、確かに派生作は派生作でしかない。「オマージュでいえば、近年はホラーマニアがホラー監督になることが多いので、作中に好きな監督へのリスペクトを忍ばせることが多いですね。例えば、エドガー・ライト監督の『ショーン・オブ・ザ・デッド』には、映画監督の名があちこちに引用されています。"ランディス・スーパーマーケット"は『狼男アメリカン』やマイケル・ジャクソンの『スリラー』のMVを監督したジョン・ランディスから。電話帳の"フルチズ・レストラン"は『地獄の門』のルチオ・フルチの名です。それ以前に作品全体にロメロへの敬愛が詰まっていて、モールの代わりにパブに駆け込むし、ゾンビも走らず歩いてくる。ロメロはお返しに『ランド・オブ・ザ・デッド』に監督のライトと主役のサイモン・ペッグをゾンビ役で起用しました。そういうエールの送り合いを見つけるのは面白いと思いますよ」。うーん、引用元がわかるツウになりたい！

伊東美和
ゾンビ映画ウォッチャー

いとう・よしかず｜編著に『ゾンビ映画大事典』『ポール・ナッシー ヨーロッパ悪趣味映画の王者』、共著に『ジョージ・A・ロメロ〜偉大なるゾンビ映画の創造者』（すべて洋泉社）など。

[F] 1: ©WENN/aflo 2: ©Variety/Penske Media/aflo 3: ©Cyril Zannettacci/Agence Vu/aflo 4: ©Mary Evans Picture Library/aflo 5: Reuters/aflo 6: Abaca/aflo 7: Jordan Strauss/Invision/AP/aflo [G] 1&5: ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED
3: ©SUNSOFT [H] ©2004 WT Venture, LLC. All Rights Reserved.

K KEN KAGAMI 加賀美健さんが集めているホラーなもの。

加賀美さんのインスタグラムには、よくホラーな自撮りが登場する。ゴムマスクと服と小道具が三位一体となって、バリエーションも豊富。作業場のstudio kenkagamiにお邪魔したら、グッズがてんこ盛りだった！　「マスクを集めだしたのは3年くらい前。自撮りをしたら面白くて」。見上げれば、棚の上に顔！　アンデッド系（ロン毛ゾンビ、目玉飛び出しゾンビ）、白塗り系（チャップリン、日本エレキテル連合、志村けん）、キャラ系（ミッキーもどき、ひょっとこ）と物量がスゴい。「コレクターでもなんでもなくて、子供の頃に観てただけ」という加賀美さんは、'80年代のホラーブームで『ゾンビ』も『悪魔のいけにえ』も履修済み。「布団をテレビにかけて、自分だけの映画館にして。『13日の金曜日』を金曜ロードショーでやってたし、残酷シーンもカットせず放送してたすごい時代でした」。『ビートルジュース』も『バスケットケース』も、ひと目で嘘とわかる質感が好き。「でも最近はリアルでしょう。いるわけない、っていうポップさがいいのに」。おもちゃの手首や足を立体作品の材料にしたこともあるけど、今は集めて愛でて、たまに着れば満足。「なんでもいいわけじゃなくて、基準があるんです。説明できないけど（笑）。子供の頃に好きだったから落ち着くし、骨董品みたいな感覚なんでしょうね」

加賀美健（かがみ・けん）｜現代美術作家。1974年、東京都生まれ。数々のショップ、アパレルとのコラボレーションを行う。自身の店『ストレンジストア』は7月で11周年を迎えた。著書に絵本『くっつけてみよう』（ケンエレブックス／VOILLD）がある。

I ITALIAN イタリアンホラーの巨匠、アルジェントの新作が気になる。

サスペリア

ダリオ・アルジェント／1977年／イタリア／99分

アメリカからドイツの名門バレエ学校に留学したスージー。やがて周囲で奇怪な現象が起こり、魔女の存在に気づく。Blu-ray「4Kレストア版」¥8,580（ハピネット・メディアマーケティング）

イタリアン・ホラーの代表作『サスペリア』『インフェルノ』を生んだダリオ・アルジェント監督。御年80歳、傘寿を迎えてなお現役で、今は2022年公開予定の『Occhiali neri』（イタリア語で「黒いサングラス」）を製作中。フランコ・フェリーニとの共同脚本による犯罪映画の舞台はローマ。連続殺人鬼に追われて事故に遭い盲目となった女性が、中国人の孤児と逃げる物語だ（ダフト・パンクが音楽を手掛ける噂は解散で白紙になった模様）。今年のカンヌ映画祭でプレミア上映されたギャスパー・ノエ監督の『Vortex』では役者デビューも果たした。しかも主演！

娘は女優のアーシア・アルジェント（右）。父の作品『デモンズ2』でデビュー後、『オペラ座の怪人』『サスペリア・テルザ 最後の魔女』などに出演してきた。二人は一時疎遠だったが、『Occhiali neri』で再会。今年6月、ロケ地レストランでの目撃情報がネットで話題に。

J JUNJI INAGAWA 恐怖の夏フェス。稲川淳二の怪談ナイトへ。

開演前の物販ブースには長蛇の列が！　うちわ（¥500）は紫、青、緑、黒、赤の5色展開。稲川さんの直筆フォントを使ったハンカチ（¥1,000）、持ち運びに便利な介護メーカー〈ハッピーおがわ〉と共同で企画した高反発クッション（赤、紺各¥6,000）、電池式ロウソク付きのちょうちん〈霊和〉（¥8,000）も。

MYSTERY NIGHT TOUR 2021

稲川淳二の怪談ナイト

1993年から29年連続（！）で公演している真夏のツアー。稲川さんの芸能生活50周年となる今年は、全国50公演を予定。怪談話の他に心霊写真コーナーもあり、常連さんにはお馴染みの「顔が動く写真」も登場する。会期：公演中〜10月31日　チケット：前売り¥5,800、当日¥6,000（オフショアー☎03·5300·9718）

怖い話をしたらロウソクの灯りを消し、最後の1本が消えると……。百物語に始まり、落語や歌舞伎など、怖さを楽しむ〝怪談〟は日本古来のエンタメだ。その世界の第一人者が、〝怪談家〟の稲川淳二さん。レジェンドの怖い話を一度堪能したくて、ツアー初日の宇都宮市文化会館にお邪魔した。「ただいまー！」と手を振りながら登場した浴衣姿の稲川さんは、ニッコニコでかわいらしい。でも、「○○県の、自動車の部品工場に勤めている方から聞いた話なんですけどね……」と始まると、途端にモードチェンジ。観客を恐怖へと引き込んでいく。何より情景描写がすさまじい。本郷の木々の生い茂る道、「ボーッ、ボーッ」と聞こえる船の霧笛。ありありと浮かぶから、怖さが増すのだ。驚いたのが、初日はぶっつけ本番ってこと。スタッフさんが照明や効果音を即興で当ててるらしい。ジャズみたいにセッションしながら怪談を作る姿、シビれました！

A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z

L LOGO このロゴにピンときたらホラー通。

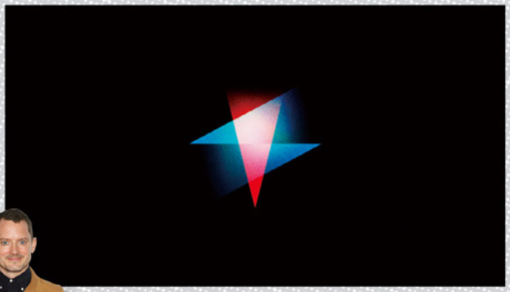
映画館で本編前に映るプロダクションのロゴ。ぼんやりスルーしがちだけど、気にしてみると奥深いホラーの世界を歩く手がかりに。有名どころでは「ブラムハウス」。『透明人間』『ゲット・アウト』『ヴィジット』など話題作を軒並み手掛け、最近はVODオリジナルにも進出したりともはや安定感あり。老舗では『悪魔の毒々モンスター』シリーズなど50年近くにわたりB級ホラーを量産する「トロマ」も有名。最近気になるのは『ロード・オブ・ザ・リング』3部作でお馴染みイライジャ・ウッドのスタジオ「スペクターヴィジョン」。ラヴクラフト原作のホラーSF『カラー・アウト・オブ・スペース―遭遇―』など王道をクセある映像に。新作が待ち遠しい！

TROMA／トロマ

1974年に映画監督のロイド・カウフマンが設立した歴史ある映画製作会社。『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』シリーズの監督、ジェームズ・ガンが若き日に修業したことでも知られる。皮膚がただれ目玉が飛び出した"毒々モンスター"が悪を殲滅する『悪魔の毒々モンスター』シリーズをはじめ、通好みのB級カルト作品が豊富。

BLUMHOUSE／ブラムハウス

アメリカの映画・テレビプロデューサーのジェイソン・ブラムが2000年に設立。ジェームズ・ワン監督の『インシディアス』シリーズや、『パージ』をはじめホラーの話題作はもちろん、『セッション』や『ブラック・クランズマン』などのドラマ映画も手掛けている。新作情報が一挙公開されるオンラインフェス『BlumFest』が10月1日に開催予定。



SpectreVision／スペクターヴィジョン

実は少年時代からホラー映画が大好物だという俳優のイライジャ・ウッドら3人が2010年に設立。イライジャ主役の『ゾンビスクール！』他、最新作はタイカ・ワイティティも出演するブラックコメディ『Seven Stages To Achieve Eternal Bliss』。映画はもちろん、サイコスリラーゲーム『トランスファレンス』も作っている。

ホラーというよりSF的な「スペクターヴィジョン」のロゴ付きオリジナルグッズもあるよ！　ジップアップフーディー$40、Tシャツ$18、トートバッグ$20。ウェブ（thisiscompanyx.com/shop-1）で見られるけれど、日本への配送は現在未対応。気長に待とう。

M MONSTER こんなものまで怪物に！

ホッケーマスクのマッチョな男に襲われるなら、ファニーなモンスターのほうがマシ？　意外なものがモンスター化するホラーが、無茶苦茶だけど味わい深い。アメ車のクリスティーンは超ヤキモチ焼きだし、腫瘍のマイロはご主人のために頑張るいい子。どちらも人間ドラマを観てるよう。その歯の位置でどう咀嚼すんの？　っていうキラー・ドーナツとか、近づかなければ安全なプレス機には、心の「ちょっと待てぃ！」ボタンを連打したくなる。ゾンビーバーはただ可愛い。

殺人遺伝子入りのドーナツが！

1. アタック・オブ・ザ・キラー・ドーナツ

スコット・ホイーラー／2016年／アメリカ／85分

ドジなジョニーと美人のミシェルは、LAのドーナツ店で働くアルバイト。ある日、自称科学者のジョニーの叔父ルーサーが訪れ、人を攻撃する遺伝子を調理場でうっかり散布。凶暴な"キラー・ドーナツ"が誕生し、次々と人を襲い始めた。『アタック・オブ・ザ・キラー・トマト』へのオマージュ作。

'58年型プリムス・フューリーが！

2. クリスティーン

ジョン・カーペンター／1983年／アメリカ／110分

高校生のアーニーは、廃車寸前の赤いプリムス・フューリーを手に入れる。車の名はクリスティーン。喜ぶアーニーだが、車は次第に凶暴化。その邪悪な力に気づいた恋人のリーと友人のデニスは、車を破壊しようと試みる。スティーヴン・キング原作。Blu-ray ¥5,217（ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント）

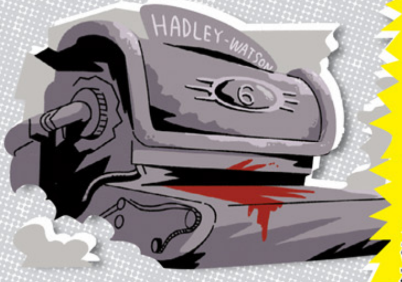
大腸にできたポリープが！

3. バッド・マイロ！

ジェイコブ・ヴォーン／2013年／アメリカ／85分

ダンカンは仕事や家庭内のストレスを抱え、気を失うほどの腹痛に襲われていた。病院で大腸にポリープが見つかると同時に、近所で惨殺事件が相次ぐように。実はポリープには自我があり、宿主ダンカンのストレスの元を襲っていたのだった。DVD ¥4,180（カルチュア・パブリッシャーズ）

ランドリー工場のプレス機が！



4. マングラー

トビー・フーパー／1995年／アメリカ／106分

スティーヴン・キングの短編小説『人間圧搾機』を映画化。舞台は古いランドリー工場。社長の姪シェリーがケガをした際、血が滴ったことでプレス機が悪魔化。人を押し潰す殺人マシンと化す。巨大ローラーが人間をのみ込み、キュキュッとプレスしてしまう描写が壮絶。Blu-ray ¥2,750（キングレコード）

汚染物質を浴びたビーバーが！

5. ゾンビーバー

ジョーダン・ルービン／2014年／アメリカ／77分

湖ではしゃぐ若者たち。ロッジの浴室でビーバーに襲われ、やむなく殺すも翌日死骸はなくなっていた。実はその正体は、汚染廃棄物でゾンビ化したゾンビーバーだった。『ハングオーバー』のスタッフ製作。CGでなくマペットを使用した、ぬいぐるみ感がキュート。Blu-ray ¥5,280（インターフィルム）

[I] ©DEA S.P.A. ©rice Dall'Anese/Getty Images [M] 3: ©PREDESTINED, LLC ALL RIGHTS RESERVED. 4: ©1994 INVESTEC BANK LIMITED 5: ©2014 ZOMBEAVER, LLC. All Rights Reserved.

オバケはどこから来たの？

OBAKE

キャスパー

ブラッド・シルバーリング／1995年／アメリカ／100分

メイン州の古びた屋敷「ホイップスタッフ」には、ある財宝が眠る。おばけのキャスパーは仲良くなった女の子キャットにありかを教えるが、それを狙う人も。お宝争奪戦が勃発。Blu-ray ¥2,075（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

●“オバケ”といえば、青白く、半透明で、足がなく、宙に浮いているイメージ。ホラーじゃないが、キャスパーはその代表的な例で、ゴーストバスターズのオバケも、オバケのＱ太郎も、ポケモンのゲンガーだって、それなりに共通点がある。ただの偶然ではないはず、と気になって、幽霊に関する著書も多い小山聡子先生に話を聞いた。オバケはどこから来たんですか？ 「最初はわかっていません。ただ歴史的に見ると、ヨーロッパでも日本でも、いわゆる“オバケ”のイメージは古くから似通っています。例えば、イギリスの絵画『リチャード三世と亡霊たち』。1806年にウィリアム・ブレイクが描き、テートに収蔵されている作品です。リチャード三世に殺害され、恨む亡き人々がこぞって彼を襲っているのですが、“オバケ”たちはキャスパーのようなビジュアル。全然可愛げはないですが（笑）。日本でも浄瑠璃本の『花山院きさきあらそひ』の挿画に足のないオバケが。1673年の絵で、日本最古の足のない幽霊とされています。もしかすると、これは人間が想像しうる限り最も怖い姿形なのかもしれませんね」

小山聡子
日本中世史研究者

こやま・さとこ｜二松学舎大学教授。1976年、茨城県生まれ。日本中世の医療を研究する中で霊に関心を持つ。著書に『もののけの日本史　死霊、幽霊、妖怪の1000年』（中公新書）など。

6. スクリーム

ウェス・クレイヴン／1996年／アメリカ／111分

謎の男の電話を受けて突如ホラー映画クイズの回答者になってしまうケイシー役。第2問「『13日の金曜日』の犯人の名前は？」で回答をミスし、彼氏を殺され絶叫。マスクの男と遭遇してからは叫びっぱなしで、『スクリーム』の世界に観客を引き込んだ。

5. ラストサマー

ジム・ギレスピー／1997年／アメリカ／100分

仲間と事故の隠蔽をはかったジュリーを熱演。翌年届いた「去年の夏、何をしたか知っているぞ」という手紙に怯え、車のトランクに入っていた死体とカニ（！）でひと叫び。船では凍った死体に対面して阿鼻叫喚。薄着過ぎて心配。

●『ゲット・アウト』のダニエル・カルーヤの雄叫びにも絶望のカタルシスがあったけど、“スクリームクイーン”なんて言葉があるくらい、ホラーはヒロインの金切り声を求めがち。元祖クイーンといえば、アルフレッド・ヒッチコックの『サイコ』のジャネット・リー。伝説のシャワーシーンでは、リーの叫び声とバイオリンのヒステリックな旋律が延々と響く。“音”が恐怖を煽る、斬新な恐怖映画の誕生だった。そして約20年後、新たな女王となったのがリーの娘、ジェイミー・リー・カーティスだ。主演作『ハロウィン』が、スプラッター描写を加えて刺激的にアップデート。この影響を受け『13日の金曜日』が作られたという。歴史を受け継ぎ、今日も叫び続けるクイーンに敬意を表して、勝手に表彰！

1. オーメン

リチャード・ドナー／1976年／アメリカ／111分

「666」が不吉な数字であるということは、「新約聖書」の「ヨハネの黙示録」の記述まで遡れる。これによると、世界の終わりが近づく頃に現れるという支配者の名が“666”で、さらにこれに力を与えるのが悪魔なんだとか。6月6日6時に生まれ、頭に「666」のアザを持つダミアンが5歳の誕生日を迎えたのを機に周囲の人々が次々に怪死。この謎に父が挑む。

3. ジーパーズ・クリーパーズ

ヴィクター・サルヴァ／2001年／アメリカ、ドイツ／90分

「23」を危ない数字だとみなす考え方を「23エニグマ」という。その根拠は、マヤ暦による地球滅亡の日、2012年12月23日、ユリウス・カエサルは23回刺されて殺された、など。23年に一度、23日間人が消える街に現れたのは人食い怪物だった。F・F・コッポラ製作総指揮。Blu-ray ¥2,750（キングレコード）

2. 11:11:11

ダーレン・リン・バウズマン／2011年／アメリカ、スペイン／97分

欧米では、11や1111など、「1」のゾロ目は不吉とさる。それは蛇の目に見えるから。蛇はイブを誘惑した悪魔の化身であり、ユダヤ教では悪魔の使いとみなされている。映画では「11」に取り憑かれたジョセフがその謎を解くべく父の教会へ。2011年11月11日11時11分に悪魔が真の姿を現す。

5. 13日の金曜日

ショーン・S・カニンガム／1980年／アメリカ／95分

「13恐怖症」が存在するほど、欧米で忌避される数字。最後の晩餐でイエスを裏切ったユダが座るのが13番目の席だからなど、理由は諸説あり。6月13日の金曜日、大量殺人事件が起こる。Blu-ray『13日の金曜日 スペシャル・エディション』¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

4. シャイニング

スタンリー・キューブリック／1980年／イギリス、アメリカ／119分

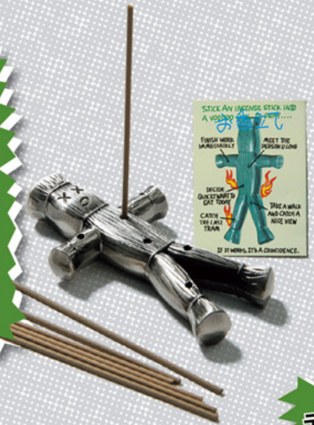
閉ざされたホテルで起きる怪事件。霊が出る237号室は、実際には存在しない。撮影は217号室で行われたが、ホテル側が客が入らなくなっては困ると変更を希望。『レディ・プレイヤー1』でもオマージュを捧げられた映画発の不吉な数字だ。Blu-ray ¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

怖～い数字。

NUMBERS

●直接的であれ暗喩的であれ、数字が鍵を握るホラー映画はたくさんある。覚えやすいから、ふとした瞬間に思い出して怖くなることも。そんな怖い数字を集めてみた。ひと口に“怖い”といっても由来は様々で、例えば『オーメン』の「666」のように聖書由来のものもあれば、悪魔の使いの蛇の目を思わせる「11」のように文字の形が由来のものも。一方、様々な迷信が魔合体した結果嫌われている「23」という数もあるし、「237」は映画『シャイニング』から生まれた忌み数。『13日の金曜日』は不吉な数字「13」を全世界に知らしめた映画でもある。たかが数字だが、現代人は数字からは逃れられない。ゆえに恐怖の装置としては強力なのだ。

photo: Kazuharu Igarashi, Kunihiro Fukumori　illustration: Yukihiro Takeda　text: Neo Iida (P, Q), Ryota Mukai (N, O)



藁人形でいい香りに♡

あっ！ カラダの中に入ってきたぞ……！

P ● PARTY GOODS

レッツ・ホラー・パーティ。

Voodoo お香立て

ブードゥー人形＝ブードゥー教にあらず。人形を使って呪いやまじないをかける習慣は古くからあって、ルーヴル美術館には紀元前4世紀のブードゥー人形が展示されているんだって。てなことを言いながら火を付けて、パーティ会場を良き香りに。BY FEELINGさんのお香立て。線香付き。¥3,080（KIOSCO　www.newkiosco.com）

デザートはハンニバルごっこで。

脳みそ目玉ケーキとホラークッキー

本物を見たことないのに、よくできてる！　って思ってしまうクオリティ。脳みそはカシスジャム入りのレアチーズで、やや充血気味な目玉はカルピス味の寒天。ベースはガトーショコラを使った、ブルーベリー入りのしっとりチョコケーキ。怖いけど美味！　大阪の豊中市にある工房からお取り寄せ。サクサク香ばしい指クッキーに、千切れた耳クッキー、指が大好きもぎ取るくんクッキーもご一緒に。右から¥4,180、¥350、¥200、3本入り¥360（中西怪奇菓子工房。　mogitoru.com）

完成に近づくほど怖い！

Charlie's Head

じっくり見るとゾッとしちゃうから、このサイズでご勘弁。『ヘレディタリー／継承』のチャーリーがモチーフのパズル。135ピースと数は多くないけれど、ビジュアルがビジュアルだけに色で推測できない難しさが。A24のオンラインショップで購入可能。アルミ缶入りでプレゼントにも。$26（A24　shop.a24films.com/）

● ひとりで観るのも好きだけど、グループで襲われる系のホラーなら、みんなでワイワイ鑑賞したい。シチュエーションがシンクロして、臨場感が高まるから。誰が最初に殺されるか当てっこするのも楽しいし、「ここあのシーンの引用だから」ってウンチクも話せるし。だからケーキもゲームも部屋の雰囲気も、おどろおどろしくお出迎え。集まること自体ホラーなご時世だから、安心安全でよろしくね！

邪神の復活を止めろ！

アーカムホラー第3版 完全日本語版

1987年発表の名作クトゥルフ系ボードゲームの第3版。最大6人まで参加できるからパーティにぴったりだし、アーカムの街を冒険して邪神の目覚めを阻止するっていうホラーゲームならではの世界観もいい。膨大なルールは日本語化されていて、読み込むほどに面白い。ソロプレイも可。¥8,580（アークライト　arclightgames.jp）

Q ● QUEEN

ベスト・スクリームクイーンは誰だ？

クイーン・オブ・クイーン賞

1. サイコ

アルフレッド・ヒッチコック／1960年／アメリカ／109分

シャワー中に殺される主人公マリオン役。バイオリンの旋律が響く殺害シーンは映画史に輝き、その間わずか45秒。カメラ78台、52カットを1週間かけて撮影した様子は、ドキュメンタリー映画『78/52』で検証されている。

母子2代で絶叫賞

2. ハロウィン

ジョン・カーペンター／1978年／アメリカ／90分

母は『サイコ』のジャネット・リーという絶叫家系に生まれ、殺人鬼ブギーマンから逃げ惑う女子大生ローリー役を演じた映画デビュー作。残忍な殺人鬼と絶叫するヒロイン、というのちのホラー映画の構図を作った。

現実でも起こり得る恐怖賞

3. ミッドサマー

アリ・アスター／2019年／アメリカ、スウェーデン／147分

カルト共同体の祭りにのみ込まれていく主人公、ダニーを熱演。家族をなくしたことがトラウマになっており、フラッシュバックのたびに泣いてしまう。終盤あるシーンを目撃し、嘔吐しながら泣き喚く。絶望と裏切りの叫び。

嘘はつかないほうがいいで賞

4. ウィッチ

ロバート・エガース／2015年／アメリカ／93分

魔女の疑いをかけられる長女、トマシン役。17世紀のニューイングランドを舞台に、7人家族の末っ子、乳児のサムが行方不明に。「自分は魔女だ」と嘘をついたトマシンは疑われる。黒ヤギが突進してくるシーンでは絶叫。

[N] 1: ©20TH CENTURY FOX/Album/amanaimages 3: ©2001 UNITED ARTISTS FILMS INC.ALL RIGHTS RESERVED. 4: ©1980 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved. 5: Friday the 13th is a trademark of New Line Productions, Inc. ©2009 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved. [O] ©1995 UNIVERSAL STUDIOS & AMBLIN ENTERTAINMENT, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

辺境のホラー。
RARE GROOVE

R

香港、イギリス

ホラー&カンフーの名作。

5. ドラゴンVS. 7人の吸血鬼

ラトビア、旧ソヴィエト連邦

幻想的な蜘蛛ホラー。

4. SPIDER

旧ソヴィエト連邦

独特の世界観の悪霊描写。

3. 魔女伝説・ヴィー

メキシコ

女レスラーが死闘を展開。

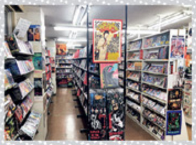
2. BAT WOMAN ／ THE PANTHER WOMEN

スペイン、日本

日西合作の珍道中！

1. 狼男とサムライ

アメリカのホラー以外にも見聞を広げたい。新宿『ビデオマーケット』店長の涌井次郎さんに世界のホラー事情を聞いてみた。「独特な映像美の『魔女伝説・ヴィー』は、旧ソ連時代の作品。共産圏では国の管理下で撮影をするので、当時のホラーは貴重です。スペインは泥くさい人間模様が描かれている印象がありますが、これは1960年代までのフランコ独裁政権による抑圧の反動じゃないかなと。政治の影響は大きくて、イギリスで格調高いゴシック・ホラーが作られがちなのは、検閲が厳しいから。臓物などの描写は避けられますね。サッチャー政権下では発禁リストが出て、『悪魔のいけにえ』も2000年くらいまで観られなかったくらい。メキシコはルチャ・リブレの国らしく、レスラーがリング場で戦う作品が（笑）。香港映画は面白ければなんでもありで、呪いや祟り、実際の事件まで様々。ちょっと汚らしいくらい、画づくりもとことんやりますね」。まずは涌井さんが選んだ5作品で、世界を知ろう。



ビデオマーケット

ホラーに限らずSF、モンド、カンフー、アジア、カルトまで、世界各国の映画を揃えるセレクトショップ。◯東京都新宿区西新宿7-9-13 ☎03-3369-6613 12:00〜14:00・16:00〜20:00 火休

1. スペインの国民的俳優ポール・ナッシーが当たり役の狼男を演じた一本。日本を舞台に天知茂と共演するも金銭トラブルで日本未上映。ビデオは超希少。2. ルチャ・リブレの国ならではの、覆面マスク姿のヒロインが活躍。女子プロレスラーの捜査員が半魚人化計画を阻止する『BAT WOMAN』と、操られた豹女と警察がリング上で戦う『THE PANTHER WOMEN』の2本立て。3. 文豪ニコライ・ゴーゴリ原作の妖怪と神学者の若者が戦う話。壁から手が出てきたり、着ぐるみが登場したりと悪霊の描写がユニーク。4. ラトビアの田舎が舞台の、映像美で綴るモンスター映画。等身大の蜘蛛の化け物が裸の少女と交わるエロティックなシーンは幻想的。5. イギリスのハマー・フィルム・プロダクションと香港のショウ・ブラザーズが共作。ホラー描写、カンフー描写ともに手抜きなし。

後　この物量の違いを見ると、俺、めちゃくちゃ不安な人ですね（笑）。

T　一応「急に家で襲われたら」っていう想定で、逃げることだけを考えたよ。物資は外で調達しようと思って。

後　俺も日用品があるホームセンターに行って、360度見渡せる場所で留まろうかなと。テントもあります。

T　建物は逃げ道を確保しておかないとね。屋上と地下に逃げたら終わり。

後　エレベーターにも絶対いますね。

T　接近戦になったときのために武器は必要。軽装だけどナイフは持った。

後　結局、脳を撃ち抜かないと……。

T　そう。日本は銃がないから、ソッコーで全員死ぬと思う（笑）。

後　キャンプで使ってる斧は持ってきました。木を切って何か作れるし。

T　いいね。俺は釣り糸とダクトテープでゾンビを連行しようと思って。仲間だと思って襲われないらしい。

後　スピーカーで注意をひきつけてその間に逃げるって作戦もあります。

T　良さそう！　あとゾンビのドロドロを体に塗りたくると襲われない説ね。

後　めっちゃ臭いと思うけど。

T　『ウォーキング・デッド』でやってましたね。臭くて吐いてましたけど。

後　あのドラマ、過去のゾンビ作品の情報を詰め込みつつ、ちゃんと現代風に解釈してるから参考になるよね。

後　刑務所で暮らしたりしますもんね。セキュリティが安全だからって。

T　もはや人間ドラマだしね。ゾンビの世界になる前の浮気が発覚して揉めるとか、今そこ？　っていう（笑）。

後　ゾンビ作品の教訓として、いちばん怖いのは人間。だから舐められないように干し首をぶら下げておこうと。あ、レプリカですよ。

T　わかってるよ（笑）。あ、あと咬まれたときどうするか仲間内で決めておかないと。絶対揉めるから。

後　俺は殺してもらっていいです。喰われたら嫌ですけど、ゾンビって人を食べますっけ？　イマイチ設定が……。

T　それはロメロに聞いて（笑）。

もしゾンビに襲われたら？サバイバル・キットのススメ。
SURVIVAL

S

TAKA's SURVIVAL KIT

逃げることが第一なので軽装。で、東急ハンズに駆け込んで物資を調達します。ダクトテープはゾンビを捉えたときに動きを封じる用。釣り糸で連結して連れて歩けば、ゾンビも近づいてこないはず。ファイヤースターターは小さいながら火をおこせて便利。

GOTO's SURVIVAL KIT

いつものキャンプグッズがベースです。木を削るナイフや斧、ホットサンドメーカーは武器になるのでマスト。ゾンビは火に弱いからバーナーも威嚇用に。追われる日々は絶対落ち込むから、燻製キットでチーズとかナッツとか燻そうと思ってます。束の間の癒やしを。

TAKA
〈バウンティハンター〉代表

たか｜1995年にデザイナーの岩永ヒカルさんとブランド〈バウンティハンター〉を立ち上げ、原宿にショップを構える。ホラー、バイク、釣りなど多方面に詳しい。後藤さんは今も“社長”と呼んでいる。

後藤有哉
〈RWCHE〉代表

ごとう・ゆうや｜1986年、秋田県生まれ。メキシコで買い付けた雑貨を扱う『KIOSCO』を高円寺で営む。『バウンティハンター』で働いていた経験あり。最近おすすめのゾンビ作品は『DAME OF THE DEAD』。

ティーンホラーは怖いけど、かわいい。

TEENAGE T

1. フィアー・ストリート Part 1: 1994

リー・ジャニアク／2021年／アメリカ／107分

原作はR・L・スタインのティーン小説。1994年、“呪われた町”と噂されるオハイオ州シェイディサイドのショッピングモールで猟奇殺人事件が発生。高校生たちは町の歴史に因果関係を見つける。『Part 2: 1978』『Part 3: 1666』へと続く3部作。Netflixで配信中。

3. ザ・スイッチ

クリストファー・ランドン／2020年／アメリカ／101分

『ハッピー・デス・デイ』の監督による最新作。殺人鬼ブッチャーが女子高生ミリーを襲った瞬間、二人の体は入れ替わる。女子高生姿のブッチャーは学校で級友たちを殺し始め……。Blu-ray＋DVD¥4,980※9月3日発売(NBCユニバーサル・エンターテイメント)

2. サマー・オブ・84

フランソワ・シマール、アヌーク・ウィッセル、ヨアン=カール・ウィッセル／2018年／カナダ、アメリカ／106分

1984年のアメリカ郊外。近隣で発生した連続殺人事件の犯人捜しに夢中の15歳のデイビーは、向かいに住む警官マッキーが犯人だと考える。友達のイーツ、ウッディ、ファラデイと捜査に乗り出すが、思わぬ展開が待ち受けていた。Blu-ray¥5,280(ブロードウェイ)

4. イット・フォローズ

デヴィッド・ロバート・ミッチェル／2014年／アメリカ／100分

恋人のヒューと一夜をともにしたジェイは、車椅子に縛り付けられて目を覚ます。ヒューが「あるモノをうつした。どこにいようと“それ”は君を追ってくる」と言うと、遠くから裸の女性が近づいてきた。ジェイは逃げられるのか。Blu-ray¥5,170(ポニーキャニオン)

殺人鬼に襲われても、霊障に見舞われても、10代の少年少女が恐怖に立ち向かう姿は眩しくて、ワクワクしかない。『フィアー・ストリート Part 1: 1994』はモールでの猟奇殺人、サマーキャンプ、’90年代の音楽満載と、ティーンホラー全部入り状態。『サマー・オブ・84』は’80年代の空気感が怖さを煽るし、現代のハチャメチャホラーなら、女子高生と殺人鬼が入れ替わる『ザ・スイッチ』も。コメディ強めだけど、殺し方はスプラッター。友達関係にも今を感じる。静かに浸りたいなら、ひたひたと怖さが近づく『イット・フォローズ』を。どの作品も友達がそばにいるっていうのが青春なんだよなあ。

ホラーの原典、ユニバーサル・モンスターズ。

UNIVERSAL U

3. 魔人ドラキュラ

トッド・ブラウニング、カール・フロイント／1931年／アメリカ／75分

怪奇小説の古典『ドラキュラ』初の映像化。事務弁護士レンフィールドはトランシルヴァニアの城を訪れるが、主人のドラキュラに血を吸われてしまう。伯爵の正体は吸血鬼だったのだ。Blu-ray¥2,075(NBCユニバーサル・エンターテイメント)

2. フランケンシュタイン

ジェイムズ・ホエール／1931年／アメリカ／71分

フランケンシュタイン男爵家の科学者ヘンリーは墓地から遺体を掘り出し、人間の脳を移植して新たな生命を生み出そうとする。実験は成功。だが使用した脳は殺人犯のものだった。Blu-ray¥2,075(NBCユニバーサル・エンターテイメント)

1. ミイラ再生

カール・フロイント／1932年／アメリカ／73分

『フランケンシュタイン』のボリス・カーロフを起用した初のオリジナル作。3700年前、王女に想いを抱いて死んだ高僧がミイラとなり現代に復活。王女の面影を求め殺人を繰り返す。Blu-ray¥2,075(NBCユニバーサル・エンターテイメント)

遡れば1920年代にも『カリガリ博士』『オペラ座の怪人』といった怪人ものは存在したが、“モンスターに襲われる”というホラーを商業的に成功させたのが1930年代のユニバーサルだ。ドラキュラ伯爵に始まり、フランケンシュタイン、ミイラ、狼男、透明人間といった怪物が続々とスクリーンデビュー。哀愁も感じられ、まるでヒーローのような存在に。日本にも人気は及び、1949年に円谷英二が特撮を手掛けた映画『透明人間現わる』が製作された。第2次大戦後はSFが流行り、ユニバーサル・ホラーは停滞。その後、1960年代にイギリスのハマー・フィルム・プロダクションのリメイクで人気が再燃した。2014年開始のリブート企画「ダーク・ユニバース」構想は『ザ・マミー／呪われた砂漠の王女』で凍結されたが、ブラムハウス製作で昨年公開された『透明人間』は高評価を得た。ライアン・ゴズリング主演の『狼男』も製作予定。モンスターは何度でも生き返る。

サンフランシスコのインディートイメーカー〈SUPER7〉製のアクションフィギュア。右／大アマゾンの半魚人¥3,300、上右／狼男、上左／透明人間各¥2,420(ROBOTROBOT　shop.robotrobot.com)

[T] 2: 2017©Gunpowder & Sky LLC 3: ©2020 Universal Studios. All Rights Reserved. 4: ©2014 It Will Follow, Inc. ©Capital Pictures/amanaimages [U] 1: Film ©1932 Universal Studios. Renewed 1960 Universal Studios. All Rights Reserved. 2: Film ©1931 Universal Studios. Renewed 1959 Universal Studios. All Rights Reserved. ©Album/afio 3: Film ©1931 Universal Studios. Renewed 1958 Universal Studios. All Rights Reserved. ©Shutterstock/aflo

18+

WHAT IS
AVAXHOME?

AVAXHOME -

the biggest Internet portal, providing you various content: brand new books, trending movies, fresh magazines, hot games, recent software, latest music releases.

Unlimited satisfaction one low price
Cheap constant access to piping hot media
Protect your downloadings from Big brother
Safer, than torrent-trackers

18 years of seamless operation and our users' satisfaction

All languages
Brand new content
One site

AVXLIVE.ICU

AvaxHome - Your End Place

We have everything for all of your needs. Just open https://avxlive.icu

おばけ屋敷の最先端VRホラー。

VR

●時代はVR。ホラーも例外ではない。ハリウッドには映画『エイリアン』の世界を歩き回れるVR作品があるそうだが、日本も負けていない。「恐怖の村」シリーズの清水崇監督と、『シン・ゴジラ』特殊造形担当の西村喜廣さんが監督したVRホラー『おうちに行こう』が昨年公開。これがとんでもなく怖いらしい。VFXを担当した「スタジオ・バックホーン」で、いざ体験。椅子に座り、VRゴーグルとヘッドホンを装着してスタート！　本編の舞台は古びた路面電車。ぐるっと首を回せば窓の外や後部座席もしっかり見える。死角から何が来るかわからない不安がすごい。と思ったら前方に1人の女の子。見えるというより「いる」感じで、映画とは全く違う恐怖！　さらにこの先も怖いことが起こりまくるが、それは観てのお楽しみ。6分と甘く見てたら、終わる頃には汗びっしょり。これは世界が変わっちゃうね。

360°VRホラー おうちに行こう

清水 崇、西村喜廣／2020年／日本／6分

少女の「おうちに行こう」の一言から恐怖の旅が始まる。物語は全3バージョン。現在、体験は兵庫県「姫路セントラルパーク」、山口県「大丸下関」で8月31日まで。東京開催もただ今準備中。500〜800円。

横溝正史とジャパニーズ・オカルト。

WAMONO

写真はすべて杉本一文さんによる旧装丁。右／初版は河野通泰さんが描いた緑色の顔が浮かぶおどろおどろしい表紙だった。岡山で発生した津山三十人殺しがモチーフ。『八つ墓村』¥836（角川書店）　中／金田一耕助シリーズ第2作。瀬戸内に浮かぶ島を舞台に事件が起こる。芭蕉の俳句による美しい見立て殺人が見もの。『獄門島』¥748（同）　左／足が飛び出した状態は映画での脚色。『犬神家の一族』¥748（同）

●池から2本の足、真っ白なゴムマスク、着物姿の逆さ吊り。戦慄のビジュアルに、ホラーと捉える人も多い横溝正史映画。しかし横溝作品を多く編纂する編集者の日下三蔵さんによれば、「原作は純然たる本格ミステリー。ホラー的な要素は装飾にすぎません」。紐解けば、こんな歴史が。「戦時中、ミステリーが書けなくなった横溝は、疎開先の岡山県で『火刑法廷』で有名なジョン・ディクスン・カーの小説を読みます。装飾はオカルトだがトリックも推理も面白い。その影響を受け、岡山の山村の因習や仄暗い雰囲気を取り入れた小説を書いた。それが金田一耕助が登場する『本陣殺人事件』です」。シリーズは一世を風靡するが、のち松本清張などの社会派が台頭し、引退状態に。1968年に週刊少年マガジンが『八つ墓村』をマンガ化し、リバイバルの波が。'70年代にはオカルトブームが到来。「『怖い小説が流行る！』と横溝に目をつけたのが角川春樹さんでした」。映画化の際、装飾部分である手毬唄や菊人形といった和ホラーな要素を一層際立たせた。これが横溝＝ホラーの認識に繋がったのだ。一方、文学界では横溝の名を冠した文学賞が誕生。「鈴木光司さんの『リング』はオカルト過ぎて受賞には至らず。でも『面白い』と出版されベストセラーに。そこで生まれたのが角川ホラー文庫です」。横溝はホラーではない。だが源流ではあるのだ。

日下三蔵
編集者、ミステリー・SF研究家

くさか・さんぞう｜1968年、神奈川県生まれ。編著に『横溝正史少年小説コレクション』（柏書房）、『日本ハードボイルド全集』（創元推理文庫）他多数。アニソン研究家でもある。

『悪魔のサンタクロース』を観に、「夏のホラー秘宝まつり」へ。

XMAS

●サンタクロース姿の殺人鬼によって聖夜が一転、惨劇の舞台と化すスラッシャーホラー『悪魔のサンタクロース／惨殺の斧』。1984年の公開時には、子供の夢を壊す設定に批判が殺到。アメリカで上映中止、イギリスでは公開禁止となった問題作がこの夏スクリーンに。上映されるのは、全国のホラー好きが足を運ぶ映画祭「夏のホラー秘宝まつり」。選び抜かれた傑作ホラーが全36作品。浴びるように観て、とことん肝を冷やそう。

悪魔のサンタクロース／惨殺の斧

チャールズ・E・セリアー・Jr／1984年／アメリカ／85分

クリスマス・イブにサンタクロース姿の殺人鬼に両親を殺害されたビリーは、その扮装がトラウマになる。18歳になった彼は、あろうことかおもちゃ屋でサンタクロース姿で働くことに。次第にトラウマが爆発し斧を片手に街へ繰り出す。

キングレコードが主催するホラー縛りの映画祭。8回目の今年の目玉はイタリアンホラーの巨匠、ルチオ・フルチとマリオ・バーヴァの特集上映。全36作品公開で、トークイベントも。全国4都市6会場で開催。キネカ大森は8月6日、アップリンク吉祥寺は8月13日から。上映スケジュールなどはHPを確認。

堕ちる前に見ておこう。日本映画の3つの「地獄」。

ZIGOKU

Z

1. 地獄

中川信夫／1960年／日本／100分

仏教大学に通う清水四郎は、冷酷なクラスメート、田村の車に乗せられ、男を轢き殺してしまった。相次いで婚約者も死なせてしまい、地獄へと堕ちていく。主演に名優・天知茂、閻魔大王役に嵐寛寿郎を抜擢。劇伴はアニソン＆特撮音楽の神、渡辺宙明が手掛けた。HDリマスター版Blu-ray¥5,280（ハピネット）

おしまいDEATH!

地獄はJIGOKUだから」では？ というツッコミを真摯に受け止めつつ、地獄に関するホラーを調べていると、不穏な映画予告を発見した。「阿」「鼻」「叫」「喚」の文字が躍る、アーティスティックな映像。タイトルはズバリ『地獄』。〝怪談映画の巨匠〟と呼ばれ、『東海道四谷怪談』や『雷電』を撮った中川信夫監督による1960年のカルトムービーだった。〝地獄の責め苦の映像化〟を掲げ、監督自身が原案と脚本を手掛けたらしい。観てみたら、学生がずんずん不幸になる陰鬱さと、針の山や皮剥ぎといった様々な苦痛を味わう様はまさに地獄！ 前回の東京五輪前のアングラを堪能した。1979年には、日活ロマンポルノ出身の神代辰巳監督による『地獄』が登場。こちらは姦通とか近親相姦を織り交ぜたエロスゴシックホラーという感じ。母親と娘の二役を演じる原田美枝子さんが弱冠20歳というのに驚き！ さらに1999年の『地獄』は、『網走番外地』シリーズの石井輝男監督作品。実在の犯人が地獄で裁かれるという、観てるこちらもしんどくなる地獄だった……。はてさて、AtoZを阿吽に置き換えれば、「Z＝吽」は万物の終わり、輪廻を脱した涅槃を表す。いつか極楽浄土に行けることを願って、ホラーのABCこれにて終幕。

2. 地獄

神代辰巳／1979年／日本／130分

名家に嫁いだミホは義兄との不倫の末に子を身籠もり、逃亡中に夫に殺される。その瞬間腹がうごめき、赤ん坊アキが誕生。20年後故郷に戻ったアキは母親違いの兄と禁断の愛に落ちる。ロマンポルノ的な妖しさが漂う。DVD¥4,950（東映ビデオ）

3. 地獄

石井輝男／1999年／日本／101分

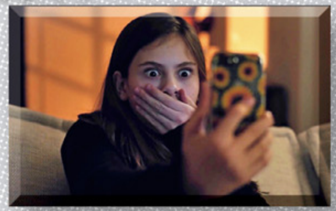
人生に思い悩む少女リカは、老婆に地獄へ連れていかれる。そこでは現世で大罪を犯した亡者たちが刑を受けていた。連続幼女誘拐殺害事件、オウム事件、毒入りカレー事件など、実際の事件をモチーフにした問題作。DVD¥4,180（KADOKAWA）

YouTubeで観る傑作ショート・ホラー。

YouTube

Y

もうスナチャできない！



1. Fear Filter

トレーシー・クリーマン／2019年／アメリカ／4分6秒

Snapchatのフィルターで遊ぶ女の子。その画面に不思議なものが写り込んで……。「テクニカルなホラーという領域に踏み込んだ、素晴らしい短編だよ。とても面白いんだけど、Snapchatを使うことにちょっと疑問を持っちゃうよね……！」

もういっそ点けておこうよ。

3. Lights Out

デヴィッド・F・サンドバーグ／2013年／アメリカ／2分41秒

電気を消すと現れる"何か"。3分弱ながらしっかり怖いショートフィルム。のちにサンドバーグ自身がこの作品をもとに長編映画『ライト／オフ』を製作した。「めちゃくちゃ怖かった作品！ 彼は僕の短編映画『The Nurse』をコンテストの優勝作品に選んでくれたんだよ」

ズームすると超コワい。

2. Larry

ジェイコブ・チェイス／2017年／アメリカ／5分21秒

駐車場の警備ボックス。タッチパッドでモンスターの絵を眺める男の前に"ラリー"が現れた。のちに長編『カムプレイ』に。「素晴らしい短編。小さな空間で楽しいことがたくさん巻き起こる。その後、彼は僕の作品で脚本を書いたこともある」

世界初、あつ森ホラー！

4. DON'T PEEK

ジュリアン・テリー／2020年／アメリカ／6分46秒

『あつまれ どうぶつの森』をモチーフにした短編。ゲーム内の出来事が現実とリンクする恐怖を描く。SXSW Online 2021でワールドプレミア公開され、現在長編化が始動中。「ベッドでゲームをしていたとき、足元に何か隠れている気がしたんだ。その恐怖が元になってる」

『あつまれ どうぶつの森』をモチーフにしたショートフィルム『DON'T PEEK』を、YouTubeにアップしたLAのジュリアン・テリー監督。ショートホラーを何作もオンラインで公開している。彼にメールで質問。監督、作品をアップするのはどうして？ 「最近のトレンドだね。フィルムをアップすれば、ネットを介して映画会社に採用されることが増えたんだよ」。なるほど。ショートフィルムの魅力は？ 「恐怖をストレートに表現できるところ。尺が短くてキャラクターを作り込めないぶん、恐怖の演出だけに集中できるんだ。コストをかけずに1週間もあれば作れるから、いろんな実験ができる。仕事というか、みんなで不気味なものを作ってる感覚だね。怖い音楽を流して怖がらせ合うのも楽しいんだ」。今後は長編も？ 「今まさに『DON'T PEEK』の長編化を進めてるよ！ 記憶に残るようなホラーが作れるように頑張るよ！」

ジュリアン・テリー
映画監督

1990年、シカゴ生まれ。映画学校を中退後、LAの企業で働きながら映画の道へ。代表作に『The Nurse』『Whisper』『They Hear It』など。最初に観たホラーは『遊星からの物体X』。

【Z】1：©国際放映 2：©東映

ぼくの好きなホラー

「ホラーとはサウナである」とか、人によってかなり見方が違うのがホラーの面白さ。映画に小説に漫画にゲームまで、ホラーを愛する17人が語る全55作。

Selector

青木 柚

俳優

あおき・ゆず｜2001年、神奈川県生まれ。ドラマ『きれいのくに』で注目を集める。主演映画『うみべの女の子』が8月20日に公開。今秋公開映画『MINAMATA ―ミナマタ―』にも出演。

Talks About These Horrors

1

Title CURE キュア

Director 黒沢 清

Movie 1997年｜日本｜111分

被害者の胸をX字形に切り裂く殺人事件を捜査する高部のもと、催眠療法を研究していた間宮という男が浮かび上がる。『CURE 4Kデジタル修復版 Blu-ray』¥5,280（KADOKAWA）

2

Title テナント／恐怖を借りた男

Director ロマン・ポランスキー

Movie 1976年｜フランス、アメリカ｜126分

古びたアパートに引っ越した青年が、投身自殺した前の住人の幻影と奇妙な住人らに悩まされるうち、被害妄想を募らせていく。DVD ¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

3

Title ストレンジャー・シングス 未知の世界

Director ザ・ダファー・ブラザーズ

Netflix 2016年～｜アメリカ｜シーズン1～3

インディアナ州の小さな町ホーキンスで次々と巻き起こる、少年の失踪や超常パワーを持つ謎の少女の出現。不可解な事件に少年少女らが挑むSFホラー。Netflixで独占配信中。

人間の心理的な恐怖を感じさせるサイコサスペンスとして印象に残っているのは、黒沢清監督の『CURE キュア』。社会に適応するうえで人は心をすり減らしていて、奥に溜め込まれた鉛のような感情がある。そこに間宮という男が催眠術を使ってつけ込んで起こす猟奇連続殺人を、刑事・高部が追ううち、自分の中にある悪しきものに気づく。無意識で心にだんだんと穴が開いていく危険性は、SNS社会の現在も続くことだし、人間の揺らぎと虚無感を強く感じました。しかも、間宮を魅力的な人として見ている自分にも気づく。という衝撃な作品でした。『テナント／恐怖を借りた男』も何度も観たくなる作品。自殺した女性の部屋に引っ越すことになった主人公が、自分を彼女に重ねてしまい、アイデンティティが失われていく。パリの小さなアパートの排他的社会で彼が孤立していく様子が、脳裏に焼きつくように緻密に描かれます。彼らしさを象徴するタバコの銘柄が、亡き彼女の好みにすり替わっている怖さや、ポランスキー監督自身も、彼が演じる主人公もポーランド移民という背景から、一層疎外感を覚えるという流れにリアリティがあって、真面目さゆえの苦しさに感情移入してしまいました。ただ悲しいはずなのに笑ってしまう側面もあって、ホラーとコメディは紙一重だなぁと。

少し毛色が違うものの、『ストレンジャー・シングス 未知の世界』も、僕ら世代ど真ん中SFホラーとしてハマりました。子供のときにときめいた、ワクワクするものが詰まっていますし、人間関係や恋愛における思春期の漠然とした不安がホラーと共存することで、より色濃く浮かび上がるというか。登場するキャラクターが生き生きしていてリアルなので、現実的じゃないモンスターが出てきても違和感なく入っていけました。

ホラー映画には、少し導かれてしまう感がありますね。ゾクゾクすることで、生きていると実感したいというか。僕、怖いシーンが来るぞというときは、満面の笑みをつくることで怖さをプラスマイナス0にしようと決めていて、めちゃくちゃ笑うんですよ。一緒に観ている人が気づくとすごく怖がられますけど、そうやってないと耐えられなくって（笑）。

人間のわからなさや揺らぎが一番怖い。

photo: Kazufumi Shimoyashiki styling: Junichi Nishimata
grooming: HORI text: Tomoko Ogawa illustration: ONO-CHAN

1: ©KADOKAWA
2: ©1976 Marianne Productions. All Rights Reserved.
TM, ®&© 2015 BY PARAMOUNT PICTURES. ALL RIGHTS RESERVED.

ジャック・ニコルソンの顔芸にハマる。

ニット¥52,800（Snowdon knit' couture Instagram: @oda_mayumi） Tシャツ¥17,600（leur logette／BRAND NEWS☎03-3797-3673） スカート¥29,700（HAKUJI／BRAND NEWS）

Selector

松本穂香

女優

まつもと・ほのか｜1997年、大阪府生まれ。WOWOWオリジナルドラマ『グラップラー刃牙はBLではないかと考え続けた乙女の記録ッッ』で主演。現在放送中。

Talks About These Horrors

1

Title サスペリア

Director ルカ・グァダニーノ

Movie 2018年｜イタリア、アメリカ｜152分

1977年に公開され日本でも大ヒットしたダリオ・アルジェントのホラー映画『サスペリア』を再構築。監督は『君の名前で僕を呼んで』のルカ・グァダニーノ。DVD¥1,257（ギャガ）

2

Title シャイニング

Director スタンリー・キューブリック

Movie 1980年｜イギリス、アメリカ｜119分

スティーヴン・キングの小説をスタンリー・キューブリックが映画化。ホラー映画の金字塔。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

3

Title キャビン

Director ドリュー・ゴダード

Movie 2011年｜アメリカ｜95分

夏休みに山小屋へやってきた5人の学生。実は彼らを監視している人々がいた。監督・脚本は『LOST』を手掛けたドリュー・ゴダード。DVD¥1,320（ハピネット・メディアマーケティング）

このお仕事を始めてからホラーをよく観るようになりました。映画を観るときって、どうしてもお仕事の延長線上になってしまうんです。お芝居のことだとか、このシーンはこうやって作ってるのかなとか、そういう目線になりがちで。でも、ホラーだとあれこれ考えずに観られます。グロければグロいほど自分はどんどん空っぽになっていく感じ。最近では『ミッドサマー』が衝撃的でした。面白くて2回観に行ったんです。普通のバージョンとディレクターズカット版と。男性がすべてをさらけ出して走る姿は、いろんな悩みを忘れさせてくれるなって（笑）。

不快感が何周も回って面白いということでいえば、ルカ・グァダニーノ監督の『サスペリア』も。ダンスカンパニーが舞台で、そこで悪魔崇拝の儀式が行われていて、という話。正直、バカバカしい内容です。最後も血塗れの中で「イエス！ダンス！」で終わるから、なんの映画だっけって（笑）。ただ、撮り方も音の使い方もすごく気持ち悪くて、それが逆に心地よく感じられてくるのが不思議です。

名作『シャイニング』は何回も観てしまいます。毎回、怖いと思いながら観るんですが、コメディだと思って観ると、浴室のおばあちゃんも、双子の女の子も、すべてが面白くて。ジャック・ニコルソンの鬼気迫る表情も顔芸だなって（笑）。

コメディ感のあるホラーといえば『キャビン』。ホラー映画の寄せ集めみたいな感じで、最後は人類が破滅するかもっていう展開になっていくので、これは壮大なギャグだなあって（笑）。男女5人が山小屋へ遊びに行き、そこの地下室が大変なことになっていて、という話。ホラーで地下室が出てくるとだいたいひどいことになるので、地下室へ行くくだりになると画面に向かってつい言っちゃうんです。「行っちゃだめ！」って（笑）。

ホラーって、すごく自由なジャンルだと思います。遊び心がすごくあるから、作る側も演じる側も絶対に楽しいだろうなあって。ただ、観るのは大好きなんですが、出演するのは……。なんだか罰当たりな気がしちゃうんですよね（笑）。

photo: Yuki Kumagai　styling: Yasuka Lee　hair & make: Akemi Kurata (THYMON Inc.)
text: Izumi Karashima　illustration: ONO-CHAN

1: ©2018 AMAZON CONTENT SERVICES LLC All Rights Reserved
2: © 1980 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.
3: ©2012 Lions Gate Entertainment Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

Talks About These Horrors

1

Title 赤い影

Director ニコラス・ローグ

Movie 1973年｜イギリス、イタリア｜110分

仕事でベニスを訪れたイギリスの考古学者ジョンと妻ローラは、盲目の霊媒師と出会い、事故で失ったばかりの娘の幻影を見、霊媒師を通じて娘と通信を図る。Blu-ray ¥5,280（KADOKAWA）

2

Title 回路

Director 黒沢 清

Movie 2001年｜日本｜119分

一人暮らしのOLミチは、同僚が自殺し、勤め先の社長が失踪し、周囲に異変が。一方で大学生の亮介には、インターネットを介して奇妙な現象が起き始める。DVD ¥3,080（KADOKAWA）

3

Title アザーズ

Director アレハンドロ・アメナーバル

Movie 2001年｜アメリカ、スペイン、フランス｜104分

第2次世界大戦末期。ジャージー島に立つ広大な屋敷に暮らすグレース、娘アン、息子ニコラスのもとに、使用人志望の3人の訪問者が現れる。Blu-ray ¥5,280（アイ・ヴィー・シー）

逃れられない恐怖を追求したい。

私が好きなタイプのホラーは、実存的もしくはH・P・ラヴクラフトが名づけたコズミック・ホラーと呼ばれる類いのもの。ドアを閉めれば終わりではなく、逃れられないアイデンティティや死をテーマにした物語に惹かれてしまいます。

トーンやムードも含めてくすぐられるのが、ニコラス・ローグ監督の『赤い影』ですね。水死した娘の幻影につきまとわれる夫婦の物語として、未知のものの感覚に触れる見事な作品。幽霊が壁に隠れて空に昇っていくシーンは、いまだに最も恐ろしいシーンのひとつだと思う。黒沢清監督の『回路』も、現実社会の問題や、人間の孤独、テクノロジーがいかに人間を孤立させているかを語っています。恐怖心がスリル満点のローラーコースターとなって、強い言葉として心に残る。「ホラー最高！」ってなりますよね。

11歳のときに、親の監視下から初めて離れて友達グループと映画館で観た、『アザーズ』もお気に入り。屋敷に新しい使用人がやってきてから起こる不可解な現象を目の当たりにして、友達と顔を見合わせながら感じた恐怖感と、映画が終わったという安堵感とカタルシスが印象に残っています。大好きな人たちと恐怖を共に経験し、生き延びたという感覚が忘れられなくて、いまだに人と映画館へホラーを観に行きます。

この3作は、見慣れたものが見慣れない何かへと変わる恐怖が映し出されますが、これは私の作品にも影響するテーマなんです。私は6歳まで日本に住んでいたのですが、数年ぶりに祖母に会いに行ったときに、彼女が認知症になっていて、私のことは覚えてませんでした。その悲しみと子供の頃の思い出、悪夢、記憶が失われていく中で、何かにしがみつこうとしている祖母の状態が重なって生まれたのが、『レリック―遺物―』です。もう一つのインスピレーション源としては、ハンス・バルドゥングというルネサンス期のドイツの画家の「女の三世代と死」というシリーズ。死すべき人間の無常感と確実に関係する、〝ヴァニタス〟というジャンルの芸術にも夢中だったりします。

現実で最も怖いのは、鋭いくちばしを持つ鳥ですが（笑）、深いところでは、死、自己の喪失、狂気が恐ろしいですね。世界に悪があるのかどうかはわからないけど、その一部が自分の中にあるかもしれないことが重荷ではあって。だからこそ、恐怖を追求しながら超現実的なイメージで遊べて、主観的なストーリーテリングがしやすいホラーは、私にとって完璧な仕事のジャンルだと思います。

Selector

ナタリー・エリカ・ジェームズ

映画監督

メルボルンを拠点に活動する日系オーストラリア人の監督・脚本家。全米興収3週連続1位記録のデビュー作『レリック―遺物―』（8月13日よりシネマート新宿他公開）の詳細はP77にて。

photo: Tim Herbert　coordination: Mifumi Obata
illustration: ONO-CHAN　text: Tomoko Ogawa

1: ©1973 NATIONAL FILM VENTURES. ALL RIGHTS RESERVED. 2: © 角川映画・日本テレビ・博報堂・IMAGICA／2001 3: © 2001 SOGECINE Y LAS PRODUCCIONES EL ESCORPION."

ドイツのヴィンテージと文化史の情報源。

ドイツの古いホラー作品は、ドイツならではの表現や民話を知ることのできるインスピレーションの源です。

ホラー映画で言えば、1920年代頃に起こった〝ドイツ表現主義〟と呼ばれるムーブメントさなかに作られた無声映画の視覚的表現に魅了されます。特徴は、人工的で歪んだ美術セットや非現実的な物語。『カリガリ博士』はその象徴的な作品で、風景が異常な角度で傾いていたり、影や光の筋がセットに直接描かれていたりします。これらの美術がとても不穏な雰囲気を醸し出していて、2018／19のコレクションでは同じように背景をペイントしてルックブックを撮影しました。『吸血鬼ノスフェラトゥ』も同じく傑作。1978年にリメイク版が作られていて、ドラキュラ物語を基にした同じストーリーにもかかわらず、視覚的に全く違うものに見えるのが面白いのです。

文化史としてユニークなのは、1845年に刊行されて以来、出版され続けている絵本『もじゃもじゃペーター』。児童書なのに、大きなハサミを使った残酷な描写などがあり、現代の子供向けとは言えません。ただ、そうした古い物語を通して、過去に想像を巡らすことでクリエイションの種を作るのです。

4

Title　もじゃもじゃペーター
Author　ハインリッヒ・ホフマン
Book　1845年｜ドイツ

医者のホフマンが3歳半の息子に自作した絵本で、現在も新装版が作られている。聞かん坊の子供たちが罰を受ける教訓譚なのだが、その罰がホラーすぎ……。¥2,530／ほるぷ出版

Selector
フランク・リーダー
ファッションデザイナー

1974年、ドイツ生まれ。セントマーチンズでファッションを学び、1999年にコレクションを発表。2018年に古本屋をそのまま使ったコンセプトストアをオープンした。

1

Talks About These Horrors

Title　吸血鬼ノスフェラトゥ
Director　フリードリヒ・ヴィルヘルム・ムルナウ
Movie　1922年｜ドイツ｜64分

不動産商の青年が上司の命令で訪ねた伯爵は、恐ろしい吸血鬼だった。1897年の本『吸血鬼ドラキュラ』が原作の無声映画で、ドラキュラ映画の原点。DVD ¥1,980（アイ・ヴィー・シー）

3

Title　ノスフェラトゥ
Director　ヴェルナー・ヘルツォーク
Movie　1978年｜西ドイツ、フランス｜107分

『吸血鬼ノスフェラトゥ』のリメイク版。カラーで、自然の描写が多いためか、受ける印象が全く異なる。'70年代の作品らしく、吸血鬼・オルロックには特殊メイクが施されている。

2

Title　カリガリ博士
Director　ロベルト・ヴィーネ
Movie　1919年｜ドイツ｜67分

医師・カリガリ博士と、夢遊病患者のチェザーレが連続殺人を引き起こす。サイレントゆえ、役者の異様な身振りや、奇抜な背景をじっくり楽しめる。DVD ¥1,980（アイ・ヴィー・シー）

Talks About These Horrors

2

Title　歪みの国のアリス～Encore
Production　ナイトメア・プロジェクト
Game　2015年｜iOS、Android

『不思議の国のアリス』がベースのサウンドノベル。放課後、自習室で目覚めた主人公の亜莉子はチェシャ猫とシロウサギを追いかける。携帯版でリリースされ、現在はスマホ対応。

1

Title　Ib
Production　kouri
Game　2012年｜Windows Me、2000、XP、Vista、7

「RPGツクール2000」で作られ、フリー配布されているホラーアドベンチャー。芸術家ゲルテナの美術展を訪れた少女イヴは、迷い込んだ世界から脱出するために探索を始める。

4

Title　ドキドキ文芸部プラス!
Production　Team Salvato
Game　2021年10月発売予定｜Nintendo Switch、PS5、PS4

文芸部に入部した高校生の男子生徒が、女子部員との交流を育むビジュアルノベル。途中から様相がガラリと変わり恐怖が襲う。10月7日に日本版がPLAYISMより発売になる。

3

Title　夜廻と深夜廻 for Nintendo Switch
Production　日本一ソフトウェア
Game　2018年｜Nintendo Switch

少女が夜の町を探索するホラーアクション。懐中電灯を手に手がかりを見つけていく。心臓が高鳴ると近くにお化けがいて、回避しないと捕まってしまう。自動販売機の駆動音もリアル。

日常が非日常になる、ホラーゲームの不穏な魅力。

ホラーゲームは小さい頃から好きです。ゲーム内の恐怖に集中していればいいので、現実の怖さや不安を忘れることができる。辛いことを明るい話や楽しい話で打ち消すんじゃなくて、毒をもって毒を制すやり方もあるのかなと思っていて。

日常から始まって非日常に引きずり込まれていくゲームが好きで、例えば『Ib』は家族と訪れた美術館が急に恐ろしい場所に変わるところに魅力を感じました。中学生のときに携帯で遊んだ『歪みの国のアリス』も、教室で目を覚ましたら誰もいなくなっていた、っていう始まり方がすごく好きだった。他には『夜廻』。いつもの町が、夜になるとお化けだらけになる。子供の頃は夜に一人で外を歩くのは非日常的で怖かったな、と思い出して懐かしくなりました。新しい作品だと『ドキドキ文芸部』。小説を書いてるから文芸部と聞いて気になりましたし、私は高校時代は運動部だったので、どんな部活か興味があって。でも、これがかなり精神的にくるゲームで。とある形で現実を侵食してくる感じが恐怖でした。

実況動画を観ることもあります。誰かがゲームをしている声を聴くとリラックスできるんです。狩野英孝さんの『デッドバイデイライト』の実況は、謙虚さが素敵。実は新作の『教育』でもこのゲームの話が登場していて、狩野さんがいなければ生まれなかったシーンと言えます。お化け屋敷やマスコットキャラクターに襲われそうになる場面もホラーゲームからインスピレーションを受けたもの。怖いものを入れよう、というよりは、自然と書きたくなる。ホラーゲームの不穏な感じが好きだから、小説にも持ち込みたくなるんでしょうね。

Selector
遠野 遥
小説家

とおの・はるか｜1991年、神奈川県生まれ。2019年に『改良』でデビューし、第56回文藝賞を受賞。2020年に『破局』で第163回芥川龍之介賞を受賞。新作となる初の長編『教育』が『文藝』2021年秋季号に掲載。

illustration: ONO-CHAN　text: Ku Ishikawa (4), Neo Iida (5)

(4)3: ©Everett Collection/aflo (5)1: ©kouri 2: ©SUNSOFT 3: © 日本一ソフトウェア
4: © 2021 Team Salvato & Serenity Forge. All Rights Reserved.
Licensed to and published by Serenity Forge LLC and Active Gaming Media Inc

社会の闇も、恋愛も、グロテスクに描き出す。

ホラー映画って、作り手にとってすごく魅力があると思うんですよ。間口が広いからどんなテーマも扱える。例えば『アメリカン・サイコ』なら、男性上位社会のひずみをスプラッターホラーで表現していますよね。主人公はNYの投資銀行の若くてハンサムな副社長。グッチのスーツだとか、有名レストランに顔が利くとか、エリートサラリーマン同士でマウントを取り合っている。その空虚さが闇を生み、彼を殺人へと走らせるわけですが、犯行現場は地下室でも山奥の豪邸でもなく、自宅の高層マンション。えっ、タワマンなん？　っていう。でも捕まりそうな気配はないし、変だなあと思っていると終盤で世界観が一変。ああ、俺が観てたのはひとつの側面に過ぎなかったんだ！　と脳みそがパカンと開く感覚がありました。なかでも好きなのが、空前絶後の名刺交換シーン。何だこの紙質……くそっ、エンボスか！　と、汗をダラダラかく異様な緊張感が最高です。

『ミッドサマー』は当初、〝未開の地で襲われる恐怖のウルルン滞在記〟だと思ってたけど、恋愛映画でしたね。アリ・アスター監督の来日会見の「恋人と別れた経験を基に作りました。みんなも不安な気持ちになってくれたらいいな」発言には、巻き込むなよ！　と思ったけど、予想もしない出来事が恋人同士の関係性を浮き彫りにしていく恐怖はすごかった。旅先で出会うカルト共同体の人々は、僕らとは違う倫理観で生活をしている。言葉が通じる怖さと、白夜の明るさと、花の溢れる幻想的な風景が恐怖を際立たせていく。世界観をきっちり描くことで、恋愛もホラーへと昇華できるんだと思いましたね。

映画ファンの中でも評価が真っ二つに分かれるのが、M・ナイト・シャマラン作品。でも、嫌いな人と好きな人で「あそこおかしいよ」「なんでワンテンポずらすんだろう」って話が成立する、不思議な魅力があります。僕はファンなので親しみを持って言いますけど、決して上手な監督じゃないんです。『サイン』なんて、ミステリー・サークルが出てくるから宇宙人の仕業ってことないよね？　と思いきや普通に出てくる（笑）。お決まりの〝あるある〟を削がずに、自分なりのリアルを追求するバランスが彼の魅力。『シックス・センス』は、越えなければいけない壁のためにホラーを取り入れた、主人公の成長譚。どんでん返しによって知らされる真実が温かいし、愛情に溢れている。もはやヒューマンドラマ。でもホラーは、それくらい懐が深いものなんです。

Selector

こがけん

お笑い芸人

1979年、福岡県生まれ。ピン芸人としてハリウッド映画モノマネが話題に。2019年においでやす小田とユニット、おいでやすこがを結成。2020年の『M-1グランプリ』で準優勝を果たした。

Talks About These Horrors

1

Title アメリカン・サイコ

Director メアリー・ハロン

Movie 2000年｜アメリカ｜102分

“ヤッピー”を地で行くリッチな副社長ベイトマン。しかしその裏では娼婦やホームレスを殺害していた。クリスチャン・ベイルのサイコな演技が話題に。DVD ¥4,180（キングレコード）

2

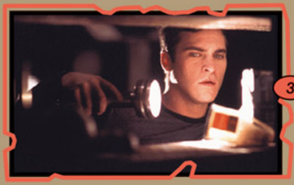
Title ミッドサマー

Director アリ・アスター

Movie 2019年｜アメリカ、スウェーデン｜147分

家族を失ったダニーは恋人のクリスチャンとも不安定。留学生ペレの故郷の夏至祭に誘われ、カルト共同体の儀式に巻き込まれる。Blu-ray通常版¥5,390（TCエンタテインメント）

3



Title サイン

Director M・ナイト・シャマラン

Movie 2002年｜アメリカ｜107分

妻を事故で亡くした牧師のグラハムは、ふたりの子供と弟、そして愛犬と慎ましく暮らしていた。しかし畑にミステリーサークルが出現してから、次々と不可思議な現象が起こり始める。

4

Title シックス・センス

Director M・ナイト・シャマラン

Movie 1999年｜アメリカ｜107分

患者に襲われリハビリを終えた精神科医のマルコムは、妻との不仲に悩んでいた。治療を引き受けたコールという少年に、とある秘密を打ち明けられる。アカデミー賞6部門にノミネート。

photo: Kazuharu Igarashi　illustration: ONO-CHAN
text: Neo Iida

1: ©2000 BY AM PSYCHO PRODUCTION, INC. ©Collection Christophel/aflo
2: ©2019 A24 FILMS LLC. All Rights Reserved.
3: ©Album/aflo　4: ©Album/aflo

B級ホラーの主人公は、付き合いたいくらい魅力的!

物心ついた頃からモンスターやお化けなど、見た目が変なキャラクターが好き。7〜8年前に、1970〜'80年代のアメリカのB級ホラー映画に自分好みのキャラクターが多く出てることを知り、のめり込みました。好きになりすぎてフィギュアもたくさん持ってます。

映画を観ているときは、人柄が一番滲む、細かな所作やディテールに目が行きます。そして、「恋人にするなら……」って好きなところを探しちゃう。なかでも一番お付き合いしたいのは、『悪魔のいけにえ』で皮のマスクをかぶり、チェーンソーを振り回すレザーフェイス。大柄で足が遅くて、走る姿はチャーミングの極み。マスクから覗く瞳は純粋そうでとても綺麗です。彼と似てるから夫と結婚したって言うとさすがに言い過ぎかな(笑)。それくらい好きですね。『大アマゾンの半魚人』のギルマンは、紳士な大人の男性。一目惚れした女性が海で泳いでいると、バレないように一緒に泳ぐ姿が、いじらしくて……。水に濡れた分厚い唇はセクシーで、ギャップにグッときます。

逆に、絶対無理なのは『ハロウィン』のむっつりスケベなストーカー、マイケル・マイヤーズことブギーマン。女の子にひたすらひどいことしてますからね。最後に、付き合いたいって思うことすらおこがましいほど憧れているのが『エルム街の悪夢』のフレディ。ホラー界の名物おじさんです。怖いとかグロいとかじゃなく、キャラクターに注目すると、愛せるホラー映画を見つけられると思います。

ホラー映画Tシャツも好きで、古着・新品を問わず20枚ほど所有。新品なら東中野の『ハードコアチョコレート』がおすすめだそう。今は奇形ものにハマっていて、ぬいぐるみは自作のスヌーピーゴジラ(写真左)。

Talks About These Horrors

2

Title 大アマゾンの半魚人
Director ジャック・アーノルド
Movie 1954年 | アメリカ | 76分

超美人なヒロインのケイ(ジュリー・アダムス)をはじめとした海洋生物研究クルーが、アマゾンの奥地でギルマンと対峙。Blu-ray ¥2,075(NBCユニバーサル・エンターテイメント)

Title 悪魔のいけにえ
Director トビー・フーパー
Movie 1974年 | アメリカ | 83分

テキサス州の田舎でロードトリップをする男女5人組。ヒッチハイクで怪しい男が乗り込んでくるところから物語は始まる。『悪魔のいけにえ 公開40周年記念版』Blu-ray ¥5,170(松竹)

4

Title エルム街の悪夢
Director ウェス・クレイヴン
Movie 1984年 | アメリカ | 91分

数十人の子供を殺した結果、地元住民に火にかけられたフレディの復讐譚。夢に現れて人を殺す、不死身の殺人鬼だ。Blu-ray ¥2,619(ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント)

3

Title ハロウィン
Director ジョン・カーペンター
Movie 1978年 | アメリカ | 90分

6歳で殺人を犯したマイケル・マイヤーズが、15年後に監禁されていた精神病院を脱走。故郷で殺戮を始める。『ハロウィン《4Kリマスター版》』Blu-ray ¥2,750(キングレコード)

Selector
小田原愛美
イラストレーター

おだわら・あいみ | 1988年、東京都生まれ。イラストレーション、コラージュなど、さまざまな手法で作品を制作。取材の日に着ていたTシャツは小田原さんのヒーロー、フレディ。

Selector
東郷清丸
シンガーソングライター

とうごう・きよまる | 1991年、神奈川県生まれ。ギター一本の弾き語り、デュオやフルバンドまで、会場に合わせて演奏を変える。Gotchとの共作カセットテープ『後藤と東郷』が限定発売中。

真っ暗な部屋で観るJホラーは最早エンタメ。

中学生までは、テレビでホラーシーンを少しでも見ると、一人で眠れないくらい極度の怖がりでした。でも中学生の終わり頃に『SIREN』というゲームに熱中し、ホラーって怖いだけじゃなくエンタメなのかもと思い始めたんです。そこから、怖いからと避けてきたJホラーの有名作品を観るようになりました。

例えば『リング』は貞子の顔が映るのって1秒ほどなんですよ。しかも映るのは瞳だけ。物語全体がたった1秒で最高潮に怖がらせるための伏線なわけです。『呪怨 白い老女』は登場人物のほぼ全員に不幸が降りかかる。主人公のアッキーナはいつ大変なことになるんだろう……と見入っていると最終的には死なずに済む。ホッとします。こういう起伏こそがホラーのエンタメ性と言えるのかなと。

観るときの約束事は、一人きりで部屋を真っ暗にすること。観終わった後に「自分には何も起きてない」って救いを感じられるのがホラー映画の醍醐味。その余韻を高めるために、怖がる準備をして作品に向き合うんです。

Talks About These Horrors

1

Title 呪怨 白い老女
Director 三宅隆太
Movie 2009年 | 日本 | 61分

高校生のあかねが小学生の頃、親友とその家族が惨殺された。犯人は司法試験に落ちた長男で、自身も自殺。現場にはカセットテープが残されていて……。DVD ¥3,080(東映ビデオ)

Title リング
Director 中田秀夫
Movie 1998年 | 日本 | 95分

ジャーナリストの浅川玲子は、姪の死が呪いのビデオと関係していると踏んで、調査に乗り出す。Jホラーを代表する貞子が登場する初の作品。Blu-ray ¥4,180(KADOKAWA)

photo: Kazufumi Shimoyashiki illustration: ONO-CHAN
text: Ku Ishikawa

(7) 1: ©MCMLXXIV BY VORTEX.INC. 2: ©Everett Collection/aflo, ©1954 Universal Studios. Renewed 1982 Universal Studios. All Rights Reserved. 3: ©1978 Falcon International Productions. All Rights Reserved. 4: ©Photofest/aflo, TM & © 2011 New Line Productions, Inc. All rights reserved.
(8) 1: ©1998「リング」「らせん」製作委員会 2: ©東映ビデオ・ドワンゴ

怖さだけじゃない、心に残るホラー。

ホラーはけっこう観てますね。きっかけは小学生の頃に観たヒッチコック。なにかの映画を観に行ったら、そのときの予告編がアルフレッド・ヒッチコック監督の『サイコ』だった。本人が出てきて、不気味な館の中を歩きながら、「ここで恐ろしい事件がありました」とか言うんです。それがとぼけていて面白かったので、封切られてすぐ観に行くと、予告編とは裏腹にすごく怖い。そこからヒッチコック・ファンになりました。『鳥』にも衝撃を受けましたね。鳥が人を襲う映画なんて、それまで観たことがなかったから。

ただ1950年代、'60年代は、ホラーの名作って少なかった気がするな。たしか『双頭の殺人鬼』というC級映画を観た記憶があるけど、あれはくだらなかった。そんな中、素晴らしかったのが『回転』です。モノクロで、デボラ・カーというきれいな女優さんが主演した、屋敷にまつわる霊的な話。観たのは公開後、ずいぶんたってからだったけど、怖かったな。オカルト的っていうかね。

ホラーの名作がたくさん出てきたのは'70年代だったと思います。その時代の映画でいちばん怖かったのは『赤い影』。いまだにいちばん怖い映画かもしれない。リアルタイムで観たのか覚えてないけど、監督のニコラス・ローグが音楽的な作品をいろいろ作っていたので、興味があって観に行ったら本物のホラーだった。しかも怖いだけでなく、すごく美しい。

ざっくりあらすじを言うと、水の事故で娘を亡くしたイギリス人の夫婦が、傷心のままヴェニスに向かうんです。夫は建築家で、ヴェニスにある教会の修復依頼を受けたんですね。ところがヴェニスに行くと、赤いレインコートを着た女の子の後ろ姿を、何度か見かけては見失う。実は娘が亡くなったときに着ていたのが赤いレインコートなんです。そして幻覚なのか、夫が自分の葬儀船に乗る妻の姿を見たり、盲目の老女が彼らに忠告を与えたりする。

観る人によっては、どこが怖いのかという映画かもしれません。でもすべてが予兆に満ちていて、最後の瞬間に恐ろしいことが起こる。その最後のシーンにズキーン、ドキーンとして、あ、これは二度と観られない映画だと思った。何度も観たけどね、その後(笑)。あとで調べたら、『赤い影』の原作を書いた小説家のダフネ・デュ・モーリアは、ヒッチコックの『鳥』や『レベッカ』の原作者でもあるんです。全部好きな作品だから驚きました。彼女の小説には映画作家を惹きつけるものがあるんだろうね。

スプラッターは苦手だな。血だらけの映像は恐ろしいけど、脅かされるのはむしろ音響で、聴覚へのアタックが心臓に悪い。ホラーでも心に残る映画はあるわけでね。例えば『アザーズ』は、古い屋敷を舞台にした画面の雰囲気が『レベッカ』に似ていて好きでした。アレハンドロ・アメナーバル監督作。でもヒッチコックみたいに耽美的なところがあって怖かった。この映画もそうだけど、脅かして怖がらせるわけではなく、本当の怖さとは何かを教えてくれるホラーが好きなんです。そういうものはいつ観ても色褪せない。ときどきあるね、そういうホラーが。

ＳＦホラーが好きだから、曲を作ったこともある。

小学生の頃、ハヤカワ・ＳＦ・シリーズばかり読んでいたせいか、ＳＦホラーも好きです。'70年代の終わりに『エイリアン』を観たときは怖かったな。それまでにはなかった映画でしたね。

そもそもＳＦにはホラー的な要素が多いんです。ＳＦホラーの中で特に怖かったのは、『ウエスト・サイド物語』のロバート・ワイズが監督した『アンドロメダ…』。古典的名作ですね。パンデミックものの先駆けと言っていいんじゃないかな。当時、この映画で有名になったのが原作者のマイケル・クライトンで、彼はこのあと『ジュラシック・パーク』などで知られるベストセラー作家になりました。『アンドロメダ…』はたまに観直します。

ＳＦホラーが好きだから、それをもとにして曲を作ったこともある。「ボディ・スナッチャーズ」という曲です。'50年代に作られた『ボディ・スナッチャー／恐怖の街』と、'70年代のリメイク版『ＳＦ／ボディ・スナッチャー』、そのどちらもすごく好きでした。『ＳＦ／ボディ・スナッチャー』はオリジナルに敬意を表していて、オリジナルの最後の場面で俳優が逃げ惑うところから始まります。その当時の俳優がちゃんと出てきてね。そういう演出も好きだった。

最近のホラーも観てますよ。でもがっかりすることが多いかな。２０１８年にロンドンへ行ったとき、映画館の前を通ると怖そうな映画を上映していて、それが『ヘレディタリー／継承』だった。帰国後に観たんだけど、定石どおりで怖くなかった、と思うのは少数派か……。悪霊ものは出尽くしたと思いますね。その点、『哭声／コクソン』は斬新でした。悪霊の本質を描いていたのは『エクソシスト2』。リチャード・バートン主演。名優の出ているホラーは逸品です。

Talks About These Horrors

1

Title　赤い影

Director　ニコラス・ローグ

Movie　1973年｜イギリス、イタリア｜110分

娘を亡くしたバクスター夫妻。ヴェニスを訪れたふたりは、霊感を持つ盲目の老女から、「ヴェニスを去らなければ夫の身に危険が及ぶ」と警告される。Blu-ray ¥5,280（KADOKAWA）

Selector

細野晴臣

音楽家

ほその・はるおみ｜1947年、東京都生まれ。はっぴいえんど、YMOでの活動やソロワークスを通じて、多彩な音楽を生み出す。7月にはSKETCH SHOWの過去作品がアナログで発売された。

illustration: ONO-CHAN
text: Yusuke Monma

Title 回転

Director ジャック・クレイトン

Movie 1961年｜イギリス｜100分

幼いきょうだいの家庭教師になった女は、古い屋敷で男女の幽霊を目撃する。ヘンリー・ジェイムズ『ねじの回転』を、トルーマン・カポーティらの脚色で映像化。

Title アザーズ

Director アレハンドロ・アメナーバル

Movie 2001年｜アメリカ、スペイン、フランス｜104分

屋敷にふたりの子供と暮らす女。新たに3人の使用人を雇った日から、屋敷で不可解な出来事が次々に起きる。最後に明かされる真相は感動的。Blu-ray ¥5,280（アイ・ヴィー・シー）

Title アンドロメダ…

Director ロバート・ワイズ

Movie 1971年｜アメリカ｜131分

人工衛星が墜落し、住人が死滅した街。未知の病原体が原因だと考えた4人の科学者は、細菌汚染の拡大を防ぐために奮闘する。DVD ¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

Title SF／ボディ・スナッチャー

Director フィリップ・カウフマン

Movie 1978年｜アメリカ｜105分

宇宙から飛来した侵略生物が、人体を複製し、入れ替わっていく。その事実を知ったマシューは……。Blu-ray「HDリマスター版」¥5,280（ハピネット・メディアマーケティング）

1: © REX/aflo, ©1973 NATIONAL FILM VENTURES. ALL RIGHTS RESERVED.
2: ©AFLO 3: © 2001 SOGECINE Y LAS PRODUCCIONES EL ESCORPION.
4: © 1971 Universal Pictures. All Rights Reserved. 5: ©INVASION OF THE BODY SNATCHERS
©1978 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved.

怖いからこそ見抜いてしまう、ホラーの核心。

怖がりで、悪魔や怨霊が出てくる映画がずっと観られなかったんです。殺人鬼は殴れば倒せるけど、幽霊には姿形がない。それが怖かった。『エクソシスト』も、小学校5年の公開当時は無理でした。中学か高校になってテレビで放送されたとき、覚悟を決めて観たんです。いやあ怖かった！ 何が怖いってリンダ・ブレアの顔！ よくあんな造形にするなあという表情でね。それからは、一度も通して観ていません。

あと、ふいに遭遇する怖さもありますよね。『顔のない眼』は、昼間にたまたまつけたテレビで観たホラー。僕が小学生の頃は、イタリアとかスペインの映画をテレビで放送してたんです。顔の皮膚を手術でベロンと剥がすシーンが恐怖でしかなかった。情報がないまま知らない恐怖を観てしまう。その偶発的な出合い方こそホラーだと思うんです。

そして『ゾンビ』は僕の青春です。高校になっても怖がりで、ホラーは積極的に観ていませんでした。そんなとき、テレビで最新映画の特集番組を観てたら、SWATの隊員がショッピングモールでゾンビと戦ってるシーンが紹介されていて。僕の中のゾンビは、洋館に出てくるゴシックホラーな存在だったのに、モールでSWATですよ？ 当時からロサンゼルス警察の装備品なんかが大好きだったから、これならいける！ とすぐ劇場に行きました。観たら面白い！ 日本修正版は謎の小惑星が爆発するし、食べられる場面で一時停止しちゃうんですけど、それも含めて最高で。ラストのヘリポートの緊張感では、気持ちの機微や絶望が繊細に描かれていて、過去のゾンビものと全然違った。それからゾンビ作品が平気になりました。

僕の中で最高に怖い映画は『女優霊』。画面のどこかに必ずいるという、その恐怖。これは多くを語らず、観てもらうしかないですね。主役が柳憂怜さんというのも味があって怖いです。

怖がらせるのって簡単なところがあるんです。笑わせたり人を勇気づけたりするほうが実はずっと難しい。急所を押せばいいだけの表層の恐怖じゃなく、真の怖さはホラーというジャンル以外にも存在している。以前作った『P.T.』というホラーゲームは、誰が作ったかわからないように配信しました。ユーザーにはきっと〝未知なるもの〟への恐怖があったはず。僕は元来怖がりなので、怖さの核がわかる。だからこそ、ホラー作品が作れるんじゃないかなと思いますね。

Selector

小島秀夫

ゲームクリエイター

こじま・ひでお｜1963年、東京都生まれ。1987年に初監督作品『メタルギア』でデビュー。コナミ退社後、コジマプロダクションを設立。2019年に『デス・ストランディング』を発表した。

Talks About These Horrors

1

Title エクソシスト　**Director** ウィリアム・フリードキン

Movie 1973年｜アメリカ｜121分

少女に取り憑いた悪魔と悪魔払いの神父との闘いを描いた傑作。小島さんが観た『月曜ロードショー』では、悪魔パズズの吹き替えを声優の飯塚昭三さんが熱演。会ったときにリクエストしたそう。Blu-ray ¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

2

Title 顔のない眼

Director ジョルジュ・フランジュ

Movie 1959年｜フランス、イタリア｜90分

交通事故で顔面に火傷を負ったクリスティーヌ。父ジェネシュ医師は娘のために若い女性を誘拐し、皮膚の移植手術を行うのだった。Blu-ray ¥5,280（KADOKAWA）

3

Title ゾンビ

Director ジョージ・A・ロメロ

Movie 1978年｜アメリカ、イタリア｜139分

リビングデッドシリーズの2作目。音響効果はダリオ・アルジェントが担当。ディレクターズカット版〈HDリマスター版〉Blu-ray ¥5,170（ハピネット・メディアマーケティング）

4

Title 女優霊

Director 中田秀夫

Movie 1995年｜日本｜76分

『リング』の中田秀夫監督と脚本家高橋洋の初タッグ作品。新人映画監督の村井俊男はデビュー作を製作中、不気味な映像が紛れていることに気づく。DVD¥4,180（バンダイナムコアーツ）

photo: Naoto Date　text: Neo Iida
illustration: ONO-CHAN

1: © 2013 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved. 2: © 1960 Gaumont
3: © 1978 THE MKR GROUP INC. ALL RIGHTS RESERVED.
4: © 1995 WOWOW ／バンダイビジュアル

一味も二味も違う、ヨーロッパ産ホラー。

Talks About These Horrors

1

Title REC／レック

Director ジャウマ・バラゲロ

Movie 2007年｜スペイン｜77分

人間を凶暴化させる伝染病により一軒のアパートが突然惨劇の場と化す様を、テレビリポーターの目線でリアルに描くパニック・ホラームービー。4作続いた人気シリーズ。

2

Title ラバー

Director クエンティン・デュピュー

Movie 2010年｜フランス｜82分

砂漠に捨てられた一本のタイヤ、ロバートに命が宿る。物を破壊するテレパシー能力があることに気づいたロバートは、次第に人間をターゲットにするようになる。

10代の頃、親がいないときによくアパートで仲間とパーティをしていて、友達の薦めでスペイン映画『REC／レック』を観始めたんです。テレビリポーターの女性が消防隊の密着取材をするために閉鎖されたアパートにやって来ると、謎のウイルスに感染した人たちが暴れだし、というコロナ禍の今を彷彿とさせる話です。しかも手持ちカメラを用いたポイント・オブ・ビュー手法なので、実際にカメラの向こう側に入り込んだみたいでリアルに怖いという。窓を開けて飲みながら観ていたので、恐怖シーンで僕らが叫んだ途端、隣人が大声で罵倒してきて。あれは映画より震えましたね（笑）。

フランス人監督クエンティン・デュピューが低予算でアメリカを舞台に撮った『ラバー』もおすすめです。タイヤが殺人鬼になるというバカバカしいナンセンス映画で、どうやって殺すかというと、轢くのではなくてテレキネシスで爆発させるんです。監督であるエレクトロ・アーティストとして有名だったデュピューのことは、昔から音楽家として知っていたけれど、今は彼の音楽よりも映画のほうが好きかもしれない。『ラバー』の前作『Steak』（日本未公開）を観たときも、今までこの手の不合理な映画に対する心の準備がまだ誰もできてなかったんだなと思ったものです。『ラバー』も、映画の無意味さや彼の作品を鑑賞する観客の想像しうるリアクションを、本編の中でメタ構造で見せていて、ホラーだけどシュールで面白いというジャンルです。

ホラー映画よりも僕が現実にホラーを感じるのは、時間の概念と年をとること。でも、それも若い頃よりはだいぶマシになってきた気がします。

Selector

コンタン・シャンブリ

アーティスト

1989年、フランス生まれ。2019年、レンヌから東京に拠点を移す。主にドローイングと出版物やzineの制作を行う。その他インスタレーションなど様々なメディウムを用いて制作。

怪奇ものを通し、埋もれた歴史を見る。

Talks About These Horrors

1

Title チェンソーマン

Author 藤本タツキ

Comic 2019年｜日本｜1〜11巻

アニメ化決定の話題作。川勝さん日く「現代漫画の新しい基準を作った」。第1部は完結（単行本11巻）し、第2部が『少年ジャンプ＋』で連載予定。1巻¥484／集英社

2

Title 怪奇文学大山脈

Editor 荒俣 宏

Book 2014年｜日本｜全3巻

西洋怪奇文学を知りたいならこれ。3巻にわたり54編掲載。荒俣宏の長文解説が素晴らしい。川勝さんのお気に入りは第2巻に収録の「未亡人と物乞い」。I¥2,640／東京創元社

Title 徳川女刑罰絵巻 牛裂きの刑

Director 牧口雄二

Movie 1976年｜日本｜80分

長崎奉行による隠れキリシタンへの拷問があっけらかんと描かれる。イントロの音楽も妙にポップで逆に怖い。牛裂き刑の前半と鋸引き刑の後半の2部構成。DVD ¥3,080（東映ビデオ）

悪趣味かもしれませんが、怪奇ものが大好きです。好きな作品を並べると「社会の底辺とされていた人や事柄」を取り扱ったものが多く、正史では語られにくいことに興味があるのかもしれません。

日本の怪奇漫画のルーツは、貧しい人が多い地域で1930年頃に生まれた街頭紙芝居。グロテスクでリアルな作風で、異形のものが出てくる作品が多く、僕はその基準を満たす漫画はホラーと呼んでよいと思う。そういう意味で『チェンソーマン』はいま最も面白いホラー漫画です。チェンソー、モンスター、悪魔、殺し合い、鮮血。要素はグロテスクだけれど、必要以上の描き込みのない美しい絵によって、いい意味で読者とキャラクターとの距離感が生まれています。主人公はストリートチルドレンで、父親の借金を返すために生きていて、自己実現じゃなく、飯を食うために悪魔を殺す。その冷めた態度も好きですね。

映画『徳川女刑罰絵巻 牛裂きの刑』は社会の底辺とされる人を取り上げる名作。映像はかなりグロいので、苦手な人は気をつけてください。時代物とエログロを合わせた作品を残している監督なのですが、主人公は迫害されている隠れキリシタンだったり、尼寺に逃げ込んだ女性だったり、アナキストだったりそういう人間に対する共感の眼差しがあります。

いずれにせよ、怪奇ものは本質的に見世物かつ煽情的なものなので、ひっそりと楽しむのがベストでしょう。この奇怪な世界にのめり込み、歴史を知りたくなった人は『怪奇文学大山脈』をぜひ。

Selector

川勝徳重

漫画家

かわかつ・とくしげ｜1992年、東京都生まれ。著書に『現代マンガ選集 恐怖と奇想』（ちくま文庫）、怪奇漫画同人誌『蝸牛2』など。最近、1943年に出版された『富士の山』（新関健之助著）を復刻。

photo: Naoto Date (11)　text: Tomoko Ogawa (11), Ku Ishikawa (12)
illustration: ONO-CHAN

(11) 1: ©REX/aflo 2: ©Everett Collection/aflo (12) 3: ©東映

日常と地続きのホラーで、整う。

1

Talks About These Horrors

Selector

ソーシキ博士

映像作家

そーしきはかせ｜1983年、宮城県生まれ。映像作家として「ふりふり組織」で活動する傍ら、YouTubeチャンネル「なんてことなの。」でインディーズゲームを実況配信。

仕事の面で不遇だった二十歳前後から10年くらい、写経のように読んでいたのが『異常快楽殺人』です。もちろん犯罪自体に共感したわけではないんです。シリアルキラーを面白がったり、露悪的に表現する殺人をテーマにした小説も多いですが、この本はメインストリームから外れてしまう人がいる事実を淡々と描写して、殺伐とした当時の自分の心境に合っていたんです。浮かばれない毎日の中、現実が無慈悲なことを確認して自分を保つ。ページをめくることは、さながらサウナで整うような、癒やしの時間でした。

そういう、現実を地続きに感じられる作品が好きですね。『ミッドサマー』がモロに影響を受けているフォークホラー『ウィッカーマン』もそう。敬虔なクリスチャンの警察官が、文明がアップデートされないまま野蛮な生活を送るコミュニティと関わるのですが、同じ人間なのに明らかに常識がズレている。公序良俗の価値観が違うからまったく会話にならないんです。現実でも環境とかその場にいる人数によって当たり前が変わることがあるじゃないですか。それと同じです。

『クリーピー』は、サイコパスに扮した香川照之と、普通の主婦役の竹内結子のやり取りが秀逸。自分も気が弱いからわかるんですけど、気が弱い人ほど人を嫌いになりきれないところがあって。自分の経験からしても本当にヤバい人って笑顔を出すタイミングが絶妙で、「もう嫌い」って寸前でニコニコするから「やっぱり良い人かも」って思い直しちゃう。そうやってサイコパスの深みに嵌ることに強く共感してしまいます。

どの作品も入り口は日常。良いことがあっても、こうしたホラー作品を観直すことで、「明日は我が身」じゃないけれど、姿勢を正しているのかもしれません。

Title	ウィッカーマン
Director	ロビン・ハーディ
Movie	1973年｜イギリス｜88分

とある警察署の巡査部長の元に、行方不明の少女を捜してほしいと匿名の手紙が届く。向かった先は、キリスト教以前の古代宗教を信仰する島だった。DVD ¥2,090（KADOKAWA）

2

Title	クリーピー 偽りの隣人
Director	黒沢 清
Movie	2016年｜日本｜130分

元刑事の犯罪心理学者の高倉幸一は、6年前に起きた一家失踪事件を元同僚と調べることに。捜査を進めると、事件が起きた家と自分の家の並びが似ていると気付く。Blu-ray¥4,730（松竹）

Title	異常快楽殺人
Author	平山夢明
Book	1999年｜日本

実在した連続殺人鬼7人の人格や生い立ち、殺人手段を、客観的な描写のみならず加害者の内情から丁寧に描いたノンフィクション小説の短編集。¥748／角川ホラー文庫

昭和ホラーは、手作り感満載で味がある。

中学生の頃に『ターミネーター2』や『ジュラシック・パーク』でフルCGが始まり、映像がリアルになっていきました。そんなCGネイティブの人間からすると、少し昔の手作り感のあるホラー映画のほうが観ていて印象に残るものが多いんです。フィクション性が強く、ビジュアルとしての完成度が高いというか。

もともと、父親がUFOなどの超常現象好きで、自分もオカルト的な見えない力に興味を持っていました。その文脈で荒俣宏が書いた小説が原作と知り、『帝都物語』を観たんです。陰陽師や巫女、風水が出てきてオカルト要素はあるんですが、『ウルトラマン』でジャミラが出る回を手掛けた実相寺昭雄さんが監督だからザ・特撮なんですよ。式神とかはパペット感が否めず若干拍子抜けするんですが、それゆえ、東京を滅ぼそうとするダークヒーロー・加藤保憲の奇天烈なビジュアルが頭に残り続けます。

ビジュアルといえば、大林宣彦監督のデビュー作『HOUSE』も素晴らしい。やけに安っぽいピアノに女の子が食べられたり、不自然感丸出しの生首が空に浮かんでいたり。あの時代なりのリアリティを追求することはできたはずなのにキッチュなムードをずっと漂わせてる。作り込みすぎないことで、都会的で余裕を感じるんですよね。しかも主人公のあだ名が、「オシャレ」。ここまでやるか、ってほど自由に遊んでますよ。色々言いましたが、スプラッター系の作品が大の苦手で、本当に怖いものへの防衛本能からこういう見方をしてるんだと思います（笑）。

Selector

佐藤 拓

ギャラリスト

さとう・たく｜1982年、アメリカ生まれ。広告制作会社勤務などを経て、2007年『CLEAR GALLERY』の立ち上げとともにギャラリストに。現在はギャラリー『PARCEL』のディレクターを務める。

Talks About These Horrors

1

Title	帝都物語
Director	実相寺昭雄
Movie	1988年｜日本｜136分

明治45年の東京を舞台に、軍人・加藤と、陰陽師や風水師たちの闘いを描く。『帝都 Blu-ray COMPLETE BOX』¥13,800（キネマ旬報DD／オデッサ・エンタテインメント）

Title	HOUSE ハウス
Director	大林宣彦
Movie	1977年｜日本｜88分

7人の女子高生が夏休みを過ごすために訪れた屋敷で、1人ずつ屋敷に食べられていくコメディタッチのホラー作品。『HOUSE ハウス 〈東宝DVD名作セレクション〉』DVD¥2,750（東宝）

illustration: ONO-CHAN
text: Ku Ishikawa

(13) 1: © 1974 STUDIOCANAL FILMS Ltd. All Rights Reserved
3: ©2016「クリーピー」製作委員会
(14) 1: ©キネマ旬報ＤＤ 2: ©1977 TOHO CO., LTD.

想像力をかき立てられるホラーが好き。

デヴィッド・F・サンドバーグのショートフィルムって観たことあります？ 彼はDCのヒーロー映画『シャザム！』で有名になった監督だけど、もとはホラーを作りたかった人。10年以上前から製作資金を稼ぐために動画共有サイトでPonysmasherという名前でホラーの短編を発表していて。僕は3年ほど前にそれを知ったんですが、まずはYouTubeを検索してください。どの作品も秀逸で、なかでも『Closet Space』がおすすめ。3分しかないから説明はしません。不条理でちょっと不思議でスマートな短編です。

恐怖映画は子供の頃から好き。昔よく観たのは『悪魔の手ざわり』というドラマシリーズ。オーストラリア版『トワイライト・ゾーン』で、もっとわかりやすく言えば『世にも奇妙な物語』的なもの。また観たいんです。どこかがソフト化してくれないかといつも思うんですけど。

あと、『ゾンゲリア』も印象に残ってますね。酷い邦題がついてますけど、当時の『ゾンビ』ブームに乗ったんでしょう。ゾンビはひとりも出てこないゾンビ映画ですけれど。M・ナイト・シャマランの『シックス・センス』が話題になったとき、構成がすごいとみんな感心していたけれど、僕は『ゾンゲリア』を知ってるから衝撃はなく。元ネタじゃないけど、トリックが同じだなって。この間、Blu-rayが出たから買いました。何度も観てるから封は開けてませんが(笑)。

リアリティのあるホラーが好きですね。想像力をかき立てる、本当にあった／あるかもしれない話。だから、奇妙な事件の謎を追うドキュメンタリーも、僕にとってはある意味ホラー。Netflixのドキュメンタリーはよく観ます。『モルモン教徒殺人事件』とか『セシルホテル失踪事件』とか。『邪悪な天才：ピザ配達人爆死事件の真相』はピザ配達人が届け先で時限爆弾の首輪をつけられ銀行強盗をさせられ、その後警察に捕まるんだけど、衆人環視の中、爆破されるというサイコな事件。当時CNNとかで生中継してたから僕も観ていて。映画『ソウ』はこれが元ネタなんじゃないかなと思いますね。あと、『コンフェッション・キラー　疑惑の自供』は『羊たちの沈黙』のハンニバル・レクターのモデルといわれる殺人鬼ヘンリー・リー・ルーカスの話だけど、100人以上といわれる殺害事件のほとんどがでっち上げだったという、アメリカの警察がホラーだなって(笑)。

『シェラ・デ・コブレの幽霊』という'60年代ホラーの名作があって。現存するフィルムがアメリカと日本に1本ずつという幻の映画で。これがすごくよくできていて、映像も美しい。電話がキーになっているんですが、鏡の向こう側に違う世界があるというのと同じで、電話の向こうに何かが広がっていると思わせるのが面白いんです。そういう小道具って、時代によって変遷するじゃないですか。今の時代はスマホでしょうけど、そうすると怖さは半減するんでしょうね。『リング』もテレビからお化けが出てくる演出に当時は驚いたわけだけど、今の時代のテレビは薄型で、スマホだと画面が小さい(笑)。ブラウン管のテレビだったからこその怖さだったんだなって。

Selector

藤原ヒロシ

音楽プロデューサー

ふじわら・ひろし｜1964年、三重県生まれ。フラグメント デザインを率いファッションシーンを牽引。近年は音楽家活動にも力を注いでいる。

Talks About These Horrors

1

Title **Closet Space**

Director デヴィッド・F・サンドバーグ

YouTube 2016年｜アメリカ｜3分

スウェーデン出身の映画監督デヴィッド・F・サンドバーグ(写真の人)によるホラー短編。俳優の妻とともに自身も出演しており不思議でクスッと笑える小品。YouTubeチャンネル「Ponysmasher」で視聴可能。長編映画デビューのキッカケとなった短編『Lights Out』も必見。

2

Title **ゾンゲリア**

Director ゲイリー・A・シャーマン

Movie 1981年｜アメリカ｜94分

港町で起こった奇怪な殺人事件を捜査する保安官が体験する恐怖を描く。『ゾンゲリア -日本語吹替音声収録コレクターズ版- 』Blu-ray¥5,280（ハピネット・メディアマーケティング）

3

Title **事件現場から:セシルホテル失踪事件**

Director ジョー・バーリンジャー

Netflix 2021年｜アメリカ

2013年、ロサンゼルスの「セシルホテル」に宿泊していた大学生エリサ・ラムが謎の失踪。ホテルの防犯カメラには奇妙な動きをする彼女の姿が捉えられており、まるで目に見えない何かに怯えているよう。その映像を最後に彼女の足取りは消えてしまった。Netflixで独占配信中。

4

Title **シェラ・デ・コブレの幽霊**

Director ジョセフ・ステファノ

Movie 1964年｜アメリカ｜81分

心霊調査員のネルソンは、盲目の資産家ヘンリーから「死んだ母親から毎晩電話がかかってくるので調査してくれ」と依頼を受ける。近年、「カナザワ映画祭2010」で1回だけ上映された。

photo: Naoto Date　illustration: ONO-CHAN
text: Izumi Karashima

1: ©Everett Collection/aflo
2: ©1981 Barclays Mercantile Industrial Finance Limited. All Rights Reserved.
4: ©Collection Christophel/aflo

ピエール瀧 × ANI

俺たちの好きなホラー。

先日、『モータルコンバット』を一緒に観に行ったピエール瀧さんとANIさん。同学年コンビによる「ホラーの余談」第一声は、「ゾンビは怖くないよね」なのでした。

いちばん怖い映画といえば『エクソシスト』でしょ

初めて買った漫画は『魔太郎がくる!!』。Ⓐ派です

ANI（以下Ⓐ）：ものごころがついたときに出合った怖いものといえば？

ピエール瀧（以下瀧）：といえば、つのだじろうの恐怖漫画でしょう。昭和42年男的にいうならば。

Ⓐ：『恐怖新聞』ね。

瀧：『うしろの百太郎』とか。

Ⓐ：『亡霊学級』とか。

瀧：いまでも覚えてるのは、『亡霊学級』の便所の肥だめに落ちて死ぬやつ。

Ⓐ：便所コオロギの中島君でしょ（笑）。

瀧：それで便所の地縛霊になって他の人も引きずり込むっていう。当時、うちも水洗じゃなくてボットンだったから、ヤバい、オレもああなるのかも！　絶対こんなふうには死にたくない！　って。

Ⓐ：恐怖の和便（笑）。

瀧：そういうイヤ～な恐怖といえば、日野日出志もそうで。こんな漫画を描く大人がいるんだっていう、そこを含めての怖さというか。『地獄の子守唄』とかさ、自分自身の猟奇的な子供時代を描いてるんだけど、最後、「次は私の秘密を知った君が死ぬ番だ」って読者に向かって言うじゃん。なんすかそれ！　って（笑）。『毒虫小僧』なんて、救いはないし、教訓もない。ただただ知らない闇を見せられる怖さがあるというか。

Ⓐ：俺、人生でいちばん最初に買った漫画は『魔太郎がくる!!』なんだよね。

瀧：『ドラえもん』じゃないんだ。

Ⓐ：藤子不二雄Ⓐ派です（笑）。

瀧：あれって、「うらみはらさでおくべきか!!」っていう『必殺仕事人』的なカタルシスがあるじゃない。

Ⓐ：酷いヤツは酷い目に遭う。そこがスカッとするから好きなのかも。あと、Ⓐ先生のマメ知識も良くてさ（笑）。

瀧：マメ知識って？

Ⓐ：メキシコのガイコツケーキの話とか、怪奇屋のオヤジが持ってるグッズの話とか、北京ダックの作り方とか（笑）。

瀧：遊び人・Ⓐ先生ならではの（笑）。

Ⓐ：あと、うちの兄ちゃんが妖怪図鑑が好きだったってのも影響大きいかなあ。

瀧：あった。学研とかじゃない本でしょ。「逆さ男」とかが載ってる妖怪図鑑。

Ⓐ：それの最後に、頭の後ろに口があるお化けっていうのが載っててさ。

瀧：「二口女」でしょ。饅頭食うときにパカッて後ろの口が開くんだよ（笑）。近所に妖怪っていた？　川崎は？

Ⓐ：新興住宅地だからそういうのはないんだけど、「口裂け女」はいたな（笑）。

瀧：静岡にもいたよ。「隣の学区で出たらしいよ」「え、マジで？」

Ⓐ：「うわ怖っ！」

瀧：「塾の帰り、どうしよう！」

Ⓐ：「逃げ切れない！」

瀧：「ぜってぇチャリで行く！」。口裂け女ってものすごい速さで走るんだよね。

Ⓐ：時速40㎞で追いかけてくる。で、マ

ピエール瀧

電気グルーヴ

ぴえーる・たき｜1967年、静岡県生まれ。'89年に石野卓球らと電気グルーヴを結成。道行く人にオススメを尋ねて旅するYouTube番組『YOUR RECOMMENDATIONS』配信中。

ANI

スチャダラパー

あに｜1967年、神奈川県生まれ。'88年にBose、SHINCOとともにスチャダラパーを結成。9月11～12日にオンラインで開催する『MUSER FEST.2021-MUSIC AID-』に出演。

Talk about These Horrors

恐怖のボットン便所！

1

Title **亡霊学級**

Author つのだじろう

Comic 1974年｜少年チャンピオンコミックス

「そう！　世の中にはいまの科学では解明できない不思議なおそろしい事実がいまもたくさんあるのです！」。長年、幽霊や霊魂の研究をしてきたつのだじろうが学校で起こった奇怪な話を描いたオカルト漫画。「ともだち」「虫」「水がしたたる」「手」「猫」の全5話。¥460／秋田書店

Ⓐ先生のマメ知識がいい！

2

Title **魔太郎がくる!!**

Author 藤子不二雄Ⓐ

Comic 1972～1975年｜少年チャンピオンコミックス

いじめられっ子の主人公・浦見魔太郎が自身の持つ超能力「うらみ念法」や魔術などでいじめっ子たちに復讐を果たす話。藤子不二雄Ⓐ自身がいじめられっ子だったことから、陰湿な人間の心の側面を描いている。決め台詞は「このうらみはらさでおくべきか」。全12巻。各¥539／秋田書店

呪われた映画としても有名

3

Title **エクソシスト**

Director ウィリアム・フリードキン

Movie 1973年｜アメリカ｜121分

何かに取り憑かれた12歳の少女リーガン。顔が醜く変貌し、汚物を吐き、神を冒涜する言葉を口にする。そんな彼女のもとに神父メリンとカラスが訪れ悪魔払いを始める。1970年代のオカルトブームを巻き起こした傑作。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

泣く子はいねがーっ

4

Title **ナマハゲ**

From 秋田

Yokai 来訪神

秋田県の男鹿半島に伝わる民俗行事。大晦日の晩、ナマハゲに扮した青年たちが「泣く子はいねがー、親の言うこど聞がね子はいねがー」などと大声で叫びながら地域の家々を巡る。男鹿の人々にとって、ナマハゲは、怠け心を戒め、無病息災、田畑の実り、山の幸や海の幸をもたらす来訪神である。

photo: Kazufumi Shimoyashiki
text: Izumi Karashima

スクしてて「私キレイ？」って聞くんだよ。いまの時代に合ってるけど(笑)。

瀧：呪文『ポマード』でしょ。

A：「ポマード」って3回言うと逃げてくっていう。あれ、なんなんだろうね。日本全国同じ伝説が駆け巡ってさ。

瀧：ネットなんてない時代だったのにね。

怖いけど観たいという思いと目に見えないものへの畏怖

瀧：映画は、『エクソシスト』かな。いちばん怖いといえば、いまだにコレかも。

A：実はちゃんと観たことがない。

瀧：え、そうなの？

A：要素はわかってんだけど。女の子が悪魔に取り憑かれる話でしょ？ ビョンビョンってブリッジで階段下りるやつ。

瀧：リンダ・ブレアが演じる少女の様子がだんだんおかしくなって、イタリアから悪魔払いの神父がやってくる話。

A：映画館で観たの？

瀧：いや、だって公開が1974年とかだもん。俺ら小1だから劇場には行かないでしょ。テレビで放送されたのを観て、衝撃的に怖かったのを覚えてる。

A：昔、そういう映画もテレビのゴールデンタイムで放送してたよね。日曜洋画劇場的な枠で。いまだと文句言われそう。

瀧：『サスペリア』とか『オーメン』とか、そういった'70年代ホラーはだいたいテレビで放送してたし、それで観た。

A：『犬神家の一族』とかね。「スケキヨ！マスクを取って見せておやり！」

瀧：横溝正史シリーズって、市川崑の映画が有名だけど、当時はテレビドラマでもやってたんだよね。古谷一行演じる金田一耕助シリーズ。『真珠郎』とかすげえ覚えてる。口が光る美少年、真珠郎。

A：でもさ、横溝正史って、ホラーじゃなくてサスペンスなんだよね。

瀧：超常現象とか怨念とかを装いつつ、犯人が必ずいるという。

A：生きてる人間がいちばん怖い。

瀧：'70年代'80年代というのは、目に見えないものへの畏怖の念のようなものがまだ身近にある時代だったじゃない。心霊写真ブームとかもあったしさ。

A：超能力とかUFOとか。そこからの終末思想みたいなものが流行ったし。

瀧：くだらないなと思いつつ、どこかでうっすら信じていたというか。何かの条件が揃うと具現化して映像に映り込むというのは「なくはないな」って。あとさ、3時のワイドショーとか、夏休みになると心霊特集をやってたし。

A：やってたやってた。

瀧：まあまあ楽しみにして観てたよ。昼間だし明るいから大丈夫って蝉が鳴いてるそばで観るっていう。とにかく、「怖いけど観たい」っていうさ。

A：そんくらいの感じだったよね。いま考えれば平和な時代でしたよ。

エロとギャグと恐怖は全部紙一重です

瀧：ANI君がいちばん怖いのは何？
ナマハゲ？ 泣く子はいねが〜！

A：ナマハゲ怖いです(笑)。まあ、パッと思い浮かぶのは、『ファイナル・デスティネーション』シリーズかなあ。

瀧：アレは「死に方図鑑」だよね(笑)。

A：「死のピタゴラスイッチ」(笑)。危険じゃない場所にいるはずなのにどっかからタイヤが飛んできて頭に当たって死ぬっていう。結構好きなのは、日焼けマシンに挟まれて死ぬやつ。

瀧：笑いながら観るやつだよ。作ってるほうも絶対楽しいはずで。それこそ『ミッドサマー』のでっかいハンマーでトドメ刺しに行くシーンとか、ゲラゲラ笑いながらやってると思うもん(笑)。

A：ていうかさ、そもそも俺、怖い映画ってそんなに好きじゃなかったんですよ。ただ、30過ぎた頃から、な〜んか観る機会が多くなって。(TVディレクターの)岡宗秀吾とよく遊ぶようになって、秀吾ってオカルトが大好きだから「一人で観るのが怖いからANI君一緒に観てぇや」とか言われて、『呪怨』とか『仄暗い水の底から』とかジャパニーズホラー的なものもよく観るようになってさ。

瀧：でも俺も、実は30前後。『エクソシスト』を一人で観られるようになったのは(笑)。それまでは友達とワイワイしながら一緒にっていう。あれ？ 瀧君、一人旅をできるようになった？ みたいなのはずいぶん大人になってから。

A：それこそ俺、旅先でわかった。海外へ行ったらテレビで(ジョージ・A・)ロメロの『ゾンビ』をやってて。なんとなく観てるうちに、ああ、これって怖いんじゃなくて、ギャグなんだなって、ハッと気づいて。そこからは、そういう映画が全部面白くなっちゃってさ(笑)。

瀧：『ゾンビ』は怖くないよ。死んでる人が恥かかされてるだけだから(笑)。やっぱ、エグければエグいほどどんどん面白くなっていくんだよね。ギャグと恐怖って表裏一体だから。それこそ楳図かずお先生って、『まことちゃん』みたいなギャグと『へび女』みたいな恐怖が共存してるじゃない。

A：紙一重だよね。どっちに振れるのか。

瀧：あと、エロとも紙一重。エロとギャグと恐怖。全部紙一重なんだよね。

無慈悲のAIこそがいちばん怖い

A：最近のでいえば、Netflixの『ブラック・ミラー』、ロボット犬に追われる回はめちゃめちゃ怖かった。イギリス流の風刺がすごく効いてるっていうか。

瀧：『メタルヘッド』でしょ。観た。あれ、主人公が何かを盗みに行くんだよね。そうしたらそこにいた番犬ロボットに顔を覚えられて延々と追いかけられて。途中、登れないだろうって木に登って逃れようとするんだけど、番犬ロボットがカシャンカシャンって足を折って電源落としてスリープ状態になるっていう(笑)。

A：マジ怖い。ハイテクの恐ろしさ。

瀧：『マイノリティ・リポート』でもトム・クルーズを追ってくる蜘蛛型ロボットが出てくるけど、無慈悲にオートマチックで追ってくるやつは恐ろしいね。

A：AIは容赦ないもん。

瀧：見逃してくれる確率、ゼロ。だから、ペッパー君とボストン・ダイナミクスの犬がダンスするやつ、すげえ怖い。あれこそホラーなんじゃないかと思うよ(笑)。

人間はお化けのせいにして納得してることもある

A：子供みたいなこと聞くけど、お化けってさあ、いると思う？

瀧：俺の中ではいないことになってる。それにはちゃんと理由があって。だいたいみんな服着てるじゃん。白いワンピース姿だったり、落ち武者姿だったり。死んで霊魂になってもこの世に未練があるっていうのなら、北京原人のお化けとか、そういうのもいてしかるべきなんだけど、そういうの出てこないじゃない、素っ裸のお化けは。文明や宗教が出来上がってから先のお化けしか出てこない。それは結局、自分たちが生み出してるものだからだなって。

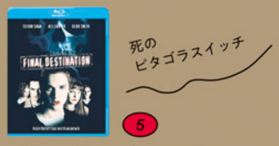
A：見えるって言う人の経験とか思い込みが作り上げてるものだもんね、結局。

瀧：とは言いながらも、お化けのせいにしたほうが整合性がとれることも実はあって。あまりにも理不尽なことが自分の身に起きたりすると、お化けのせいにして仕方がなかったんだと納得できたりするんだよね。厳しい現実にぶち当たったときの逃げ道としてお化けが存在してるのかもしれないなって。

6

Title	ブラック・ミラー／メタルヘッド
Director	デヴィッド・スレイド
Netflix	2011年〜｜イギリス｜シーズン1〜5

テクノロジーがもたらす歪みと人間の業が交わるとき、世にも不思議で奇妙な世界が広がる——。2011年から放送されているイギリスのTVドラマシリーズ。ダークで風刺的なSFアンソロジー。現在第5シーズンまで作られており『メタルヘッド』はシーズン4の作品。Netflixで独占配信中。



5

Title	『ファイナル・デスティネーション』シリーズ
Director	ジェームズ・ウォンほか
Movie	2000〜2011年｜アメリカ

死ぬ運命にあった若者たちが予知夢によって回避されるも結局は死に追いやられるサスペンスホラー。衝撃的な死に様が話題に。『デッドコースター』『ファイナル・デッドブリッジ』など全5作。『ファイナル・デスティネーション』Blu-ray¥2,619(ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント)

3: © 2013 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.
4: ©田中秀明 /aflo
5: © 2000 New Line Productions, Inc. All rights reserved.

HORROR T-SHIRT CLUB

思えば、映画の中のアメリカの少年たちは、
チェックシャツの下に大体いつも
毒々しいホラーTを着ていたもんだ。
そのわんぱくな気持ちを忘れたくないから、
大人になった僕らも夏はホラーT。
あくまでさりげない感じでさ。

アメリカンスケートカルチャーのヒーロー、ジェイソン・ディルってもしかしたら、ホラー映画マニアなのかも。だって胸にプリントされたグッドセンスなグラフィックは、1939年に製作されたSFホラー『ドクターXの帰還』を参考にしているからさ。全然知らなかったけれど、ハンフリー・ボガート唯一のホラーらしい。超マニアックだね。

Tシャツ¥6,600（ファッキング オーサム　https://fuckingawesome.jp/）　ユーズドのデニムパンツ¥10,780（ベルベルジン☎03·3401·4666）　時計¥14,300（スウォッチ／スウォッチ コール☎0570·004·007）

伝説級のホラームービーってものは、ポスターも抜群にセンスがよろしい。こちらは、1977年に製作されたイタリアンホラーの金字塔『サスペリア』の日本公開時のアートワークをそのままプリントしたオフィシャルTシャツだ。“決してひとりでは見ないでください”という日本語のキャッチコピーも最高じゃない？

Tシャツ¥3,740（TRADMODE www.tradmode.com/） ユーズドのギンガムチェックシャツ¥5,280（ベルベルジン） ユーズドの2タックチノショーツ¥5,500（オキドキ☎03-6407-8525） 時計¥14,300（スウォッチ／スウォッチ コール）

photo: Reiko Toyama
styling: Satoshi Kamei
grooming: AMANO
edit: Koji Toyoda

そうそう、ミスフィッツの“クリムゾンゴースト”もアイコニックなホラーモチーフ。バンドのシンボルとしてパンクロック界に君臨してきたけど、実は1946年の映画『The Crimson Ghost』の悪役がモチーフなんだって。こちらは3枚目の7インチのジャケ写で、ヘンリー・ロリンズも着用していた伝説のグラフィック。

Tシャツ¥5,280（MFC STORE☎03·6452·4944）　ユーズドの2タックチノショーツ¥5,500（オキドキ☎03·6407·8525）　時計¥14,300（スウォッチ／スウォッチ コール☎0570·004·007）

'80年代に比べると、ポップで過激なブランドが少なくなったスケート界にあって、そのDNAを正統に継承しているのが、英国のスケートブランド〈ヘロイン〉だと思う。だから、Tシャツのグラフィックは毎回楽しみで。この一枚もモンスターに不気味な生物、髑髏など、題材は禍々しいけれど、なんかキュート。匙加減が上手。

Tシャツ¥5,280（ヘロイン スケートボード／ソフツ☎0422·45·5433） ユーズドのギンガムチェックシャツ¥6,380（ベルベルジン☎03·3401·4666） ユーズドの2タックチノショーツ¥7,150（プロップス ストア アネックス☎03·6455·5388） 時計¥14,300（スウォッチ／スウォッチ コール）

マッドサイエンティスト。バットにのった生首。"死は始まりにすぎない…" という意味深なメッセージ。とにかくホラーなものを詰め込んだ見本市のようにグロテスクなTシャツは、メキシコシティの市場で仕入れた一枚。1985年に製作されたアメリカンホラーコメディ『ZOMBIO／死霊のしたたり』がモチーフである。

Tシャツ¥5,500（キオスコ　www.newkiosco.com/）　ユーズドのマドラスチェックショーツ¥7,590、ユーズドのレザーメッシュベルト¥9,790（ともにバド ヴィンテージ クロージング☎03·3401·7246）　時計¥14,300（スウォッチ／スウォッチ コール☎0570·004·007）

身頃は白。袖と首リブは、薄ピンク。キュートなボディカラーに古代のレリーフのようにプリントされるのはデビルだ。スウェーデンのブランドだけに、'90年代、若者に大人気だった北欧ブラックメタルの影響を受けているのかも。なんて妄想も膨らむ一枚。いつの世もシティボーイはホラーなものに惹かれるってことだ。

Tシャツ¥15,000（ストックホルム サーフボード クラブ／エドストローム オフィス☎03-6427-5901） ユーズドの2タックチノショーツ¥5,500（オキドキ☎03-6407-8525） 時計¥14,300（スウォッチ／スウォッチ コール）

SENSE OF HORROR

男は黙ってシャイニング。

#1

男は黙ってシャイニング〟なんて見出しをこのジャケットに付けてしまったのは、もちろん理由あってのこと。何を隠そう。この〈マーガレット・ハウエル〉のボンバージャケットは、映画『シャイニング』の主役、ジャック・ニコルソンがラストシーンで凍りつくまで相棒のように着ていた衣装なのである。時は1977年頃。ビバリーヒルズの高級セレクトショップ『マックスフィールド ブルー』にジャックが訪れたことに端を発する。『シャイニング』の衣装を探していた彼はたまたまこのブルゾンと出合い、一瞬で恋に落ちてしまったのだ。その品番は「M025」。まるで軍モノみたいなネーミングからお察しのとおり、アメリカ空軍のA2ボマージャケットをモチーフにし、英国的な太畝コーデュロイ素材で抜群に気品よく仕上げた一着だった。まさしく小説家志望の主人公にぴったりなワインレッド色のそれは、スタンリー・キューブリック監督のOKを無理やり取り付け、幸運なことに世界でもっとも有名なホラージャケットになった。もちろん、ここで紹介するからには廃番という言葉とは一切無縁。ジャックも知らぬところでアップデートを繰り返すこと44年、実は密かな定番として君臨している。いつ見ても『シャイニング』に恐怖を覚えるように、このジャケットも色褪せることなくずっと格好いい。考え方次第では、それもある種のホラーなのかも。

©Collection Christophel/aflo

シャイニング

スタンリー・キューブリック／1980年
イギリス、アメリカ／119分

いまだに若者たちから熱烈な支持を受けるスタンリー・キューブリックの名作ホラー。小説家志望の主人公、ジャック・トランスとその一家が冬季閉鎖されるリゾートホテルの管理人を引き受けるが……。様々な超常現象に巻き込まれ、狂気が体を蝕んでいく。

今年は黒1色のみ。ボンバージャケット「M025」¥79,200（マーガレット・ハウエル☎03·5467·7864）

A HISTORY OF HORROR FILMS

in the 20th century

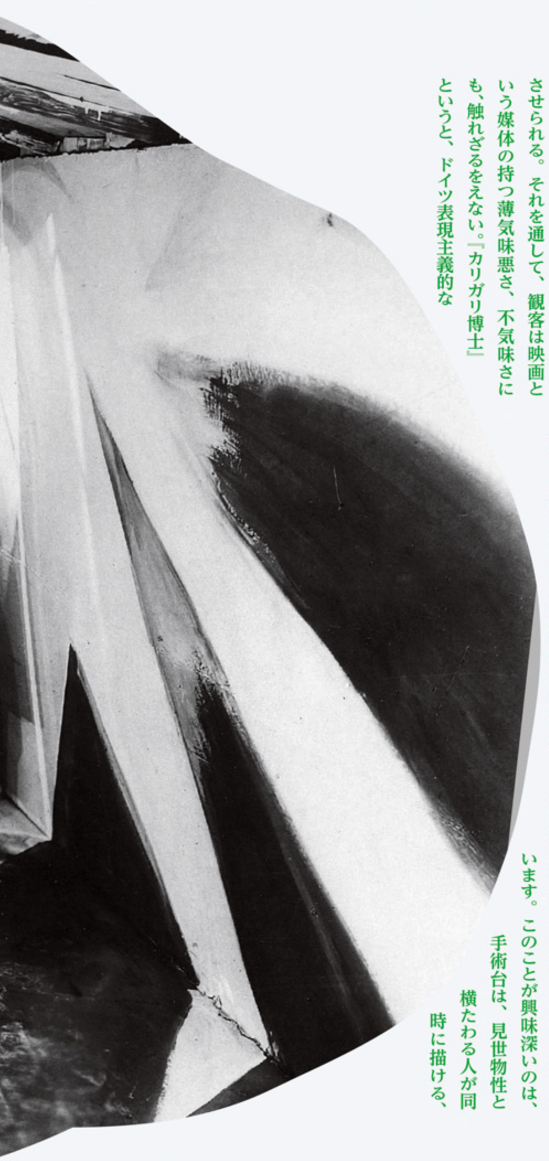
feat.
FREAK SHOW,
BODY & SOUL,
HITCHCOCK, SPLATTER,
ZOMBIE, GIALLO, ANIMAL,
FINAL GIRL, GOOEY,
CTHULHU, J-HORROR,
MOCKUMENTARY,
SELF PARODY,
21st CENTURY

キーワードで巡る

20世紀のホラー映画史

現在のホラー映画において重要な要素は、
20世紀の間にほぼ出揃ったと言っても過言じゃない。
その進化の歩みを、キーワードをとおして振り返ってみよう。
歴史を知ることは、今の作品をより楽しむための手がかりになるはずだから。
※ネタバレしまくってます。ご注意ください。

illustration: Ruminz　edit: Keisuke Kagiwada



a History of Horror Films '10s〜'50s

FREAK SHOW

ホラー映画は“見世物小屋”から始まった。

1919年、ドイツで作られた『カリガリ博士』。世界最初期の長編ホラーの中で最も強烈な印象を残す本作には、のちの作品にとっても重要になるモチーフがてんこ盛りだった。

「見てはいけないものを見てしまったかもしれない……」。ホラー映画とは、観客にそんな恐怖を呼び覚ますことに腐心してきたジャンルと言っても過言ではありません。ホラー的な題材を扱った映画は、まだ覗きカラクリの時代だった『メアリー女王の処刑』（1895）から、1910年代にはすでにエドガー・アラン・ポー原作の『プラーグの大学生』（1913）や『恐ろしき一夜』（1914）等の長編作品が撮られていますが、そうした最初期の長編ホラーの中で現在でも最もよく知られているのが、『カリガリ博士』（1919）だというのは、非常に興味深い。まさに「見てはいけないものを見てしまったかもしれない……」と思えるような禍々しい瞬間が描かれ、その後のホラー映画に頻出することになるモチーフを刻みつけているからこそ、『カリガリ博士』は人々の記憶に残り続けているのだと思います。

本作は、カリガリ博士というある種のマッド・サイエンティストと、彼のしもべである〝眠り男〟ことチェザーレが引き起こした殺人事件を、主人公が回想するという形で進みます。しかし、最後で主人公は実は精神病院の患者であり、回想された物語はすべて彼の妄想だったと判明する。その瞬間、観客はまさに「見てはいけないものを見てしまったかもしれない……」と思うわけです。こうしたいわゆる夢オチは、それ以前にも小説などであったでしょう。しかし、それをもっとも強烈に表現できるのは映画なんです。本作で言えば、観客の視点を狂人のそれと同期させることで、他の媒体にはなしえない心のざわつきを体験させられる。それを通して、観客は映画という媒体の持つ薄気味悪さ、不気味さにも、触れざるをえない。『カリガリ博士』というと、ドイツ表現主義的な画面の強さが注目されがちで、たしかにそれもすごいんですが、それ以上にこの物語の力こそが、本作を心に深く残る作品にしているんだと思います。当初の脚本では、カリガリ博士の殺人は現実で、彼が捕まるという結末だったそうですが、何らかの横槍が入り、現在の形になった。リライトしたのはフリッツ・ラングだともいわれていますが、もしかするときわめて妥協的な判断だったのかもしれません。結果的に面白くなったんだから、きっかけはなんでもいい（笑）。

そうした視点からすると、カリガリ博士が見世物小屋を運営しているという設定も見逃せません。そもそも見世物小屋とは、扉を開けると「見てはいけないもの」が待ち受けている場所なわけですから。映画もまた見世物なわけですが、この両者が交わると、映画は活気づき、禍々しさが増す。残虐な見世物と映画はその初期から親和性が高かったことは、最初に挙げた世界最初のホラー短編といわれている『メアリー女王の処刑』からして既に処刑という見世物を描いていたことからも明らかです。『カリガリ博士』の後で言うと、こうした見世物性を突き詰めた作家がトッド・ブラウニングです。本物の奇形の人たちが出演している『フリークス』（1932）なんて、映画が知的な構築物となる以前の泥くささが溢れていて、見世物性の原液みたいな作品です。

近年の作品で言えば、ジョーダン・ピールの『アス』（2019）が、見世物性を追求していて感心しましたね。作品冒頭、ファンハウスという一種の見世物小屋に迷い込んだ女の子が、後ろ向きに立っている自分の姿を見てしまう。あそこは非常に怖かった。そういうシーンを観ると、この監督には世界がいびつに見える瞬間があったんだろうなと伝わってきます。その手の体験を持っていることは、ホラーの作り手にとって重要な資質なんですが。

『カリガリ博士』に話を戻すと、本作に登場する見世物小屋の出し物は、チェザーレです。彼は見世物小屋では直立する棺の中から現れるのですが、より強烈なのは彼が小屋の裏手で横たわっているとき。映画において、人物が立っているより横たわっているときのほうがなぜか怖い。

’20〜’50年代にかけて勃興するユニバーサルのモンスター映画でも、横たわる吸血鬼やフランケンシュタインの怪物を通して、恐怖を演出していますが、その中で個人的に偏愛しているのが、『フランケンシュタインの花嫁』（1935）。『フランケンシュタイン』（1931）の続編で、フランケンシュタインの怪物の女版を作るという物語ですが、まずその発想がおぞましい。しかも、女版の怪物が誕生し、手術台から立ち上がると、ぎゃーっと狂ったように叫びだし、研究所が崩壊するのです。禍々しいものが生み出された途端にすべてが崩壊する。つくづく恐ろしい物語です。いずれにしても、横たわる者が起き上がるとヤバいぞという感覚は、ホラー映画の根っこにあるような気がします。

ところで、手術台といえば、私とオカルト研究者である稲生平太郎さんの対談集『映画の生体解剖』で、稲生さんが映画史には頻繁に手術台が登場すると指摘しています。このことが興味深いのは、手術台は、見世物性と横たわる人が同時に描ける、ホラー映画にうってつけの装置だからです。その昔、オペには医者以外の見学者も立ち会っていて、まさに見世物だったといいますからね。今も研修医なんかが見ているかもしれませんが。

手術台映画の系譜で印象に残っているのは、『悪魔のシスター』（1973）。結合双生児が題材の作品で、その分離手術のシーンが登場するんです。リアルな手術シーンではなく、主人公の幻想として描かれるのですが、プールに浮かぶ手術台に結合双生児が横たわっていて、そこに執刀用のでかいナタが振り下ろされる。これは強烈でした。

あと、『フラットライナーズ』（1990）。フラットラインとは脳波の波形が水平になる、つまり臨終で、医大生たちが薬物で人工的にフラットライン状態を作り、あの世を体験しようとするという、ある種のサイコダイブものです。これはアイデアが秀逸だと思いましたね。

もちろん、ここに挙げたすべての作品が『カリガリ博士』の影響を受けて作られたわけではないでしょう。しかし、その後のホラー映画にとって重要なモチーフが、本作には詰まっている。その意味で、世界最初期のホラー映画として記憶に残り続ける作品なんじゃないかと思います。

高橋 洋

たかはし・ひろし｜脚本家、映画監督。1959年、千葉県生まれ。『女優霊』『リング』など、Jホラー作品の脚本を数多く手掛ける傍ら、『恐怖』や『霊的ボリシェヴィキ』など自身が監督を務めた作品も多い。著書に『映画の魔』など。

『カリガリ博士』©Album/Aflo
『フランケンシュタインの花嫁』Film © 1935 Universal Studios. Renewed 1962 Universal Studios. All Rights Reserved.
『放射能X』©1982 Warner Bros. Entertainment inc. All Rights Reserved.

a History of Horror Films '50s

BODY & SOUL

体が変わるか、心が変わるか。

第2次大戦後、アメリカ製ホラー映画では、ひとつのモチーフが繰り返し取り上げられるようになる。生物の肉体の異常な変化だ。『放射能X』(1954)ではアリが、『巨大カニ怪獣の襲撃』(1957)ではカニが、それぞれ巨大化して人類をパニックに陥れる。あるいは、『縮みゆく人間』(1957)では、体がどんどん小さくなっていく男の悲劇を描く。興味深いのは、変化の原因が、放射能であるということ。少し方向性は違うが、他にも原爆実験によって割れた海底から巨大ムカデみたいな生物が出現する『大怪獣出現』(1957)や、水爆実験の衝撃で北極に眠っていた怪獣が蘇る『原子怪獣現わる』(1953)なんて作品もあり、同じく水爆実験の影響で誕生した『ゴジラ』(1954)とも一脈通じている。要するに、これらの作品は、同時代のアメリカで盛んに行われていた核実験に対する人々の不安をホラー的に料理してみせたわけだ。

その一方、肉体ではなく心の異常な変化を取り上げているのが、『ボディ・スナッチャー／恐怖の街』(1956)。本作では、主人公の周囲の人物が、外見はそのままに、中身がまったく別人になってしまう恐怖を描く。原因は未知なる宇宙生命体による乗っ取りだ。しかし、これは冷戦下のアメリカにおける、「隣人がソ連の社会主義に洗脳されちゃったらどうしよう」という大衆の不安の隠喩だといわれている。'50年代のホラー映画は、一方では体の変化を、他方では心の変化を通して、人々が現実に感じていた恐怖に肉薄する、社会派的側面もあったのだ。

Film
カリガリ博士
ロベルト・ヴィーネ／1919年／ドイツ／67分

主人公のフランシスは友人のアランとカリガリ博士なる人物が運営する見世物小屋を見物する。と、カリガリ博士は眠り男"チェザーレ"を使い、アランが明日死ぬと予言するのだった。DVD¥1,980（アイ・ヴィー・シー）

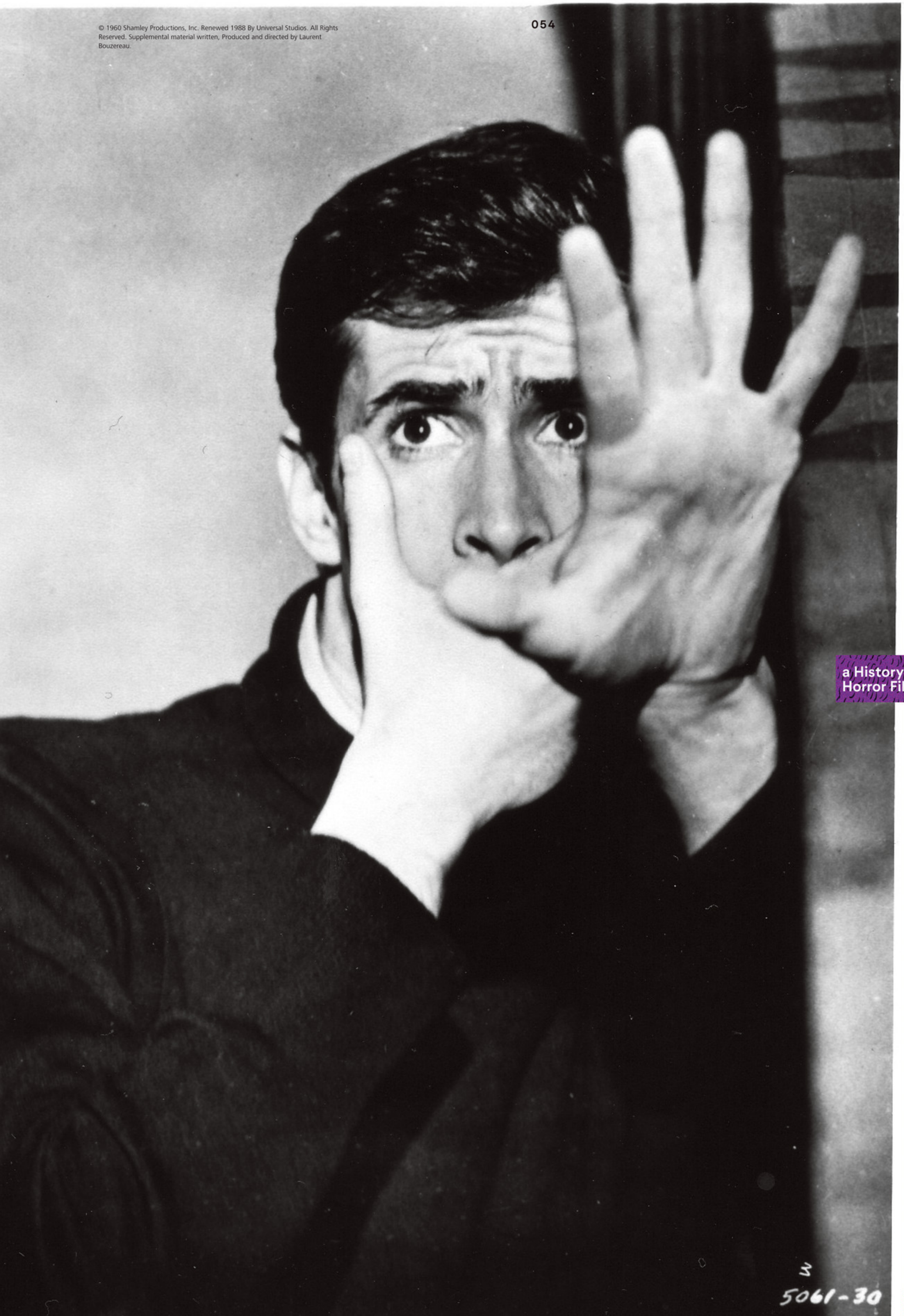
Film
『放射能X』
ゴードン・ダグラス／1954年／アメリカ／92分

砂漠で警察官が少女を保護。彼女の家族は放射能で巨大化したアリに食い殺されたのだった……。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

Film
フランケンシュタインの花嫁
ジェームズ・ホエール／1935年／アメリカ／75分

フランケンシュタイン博士が生み出した怪物の恐怖を描く『フランケンシュタイン』の続編。友達がほしい怪物が、フランケンシュタイン博士に女版怪物を作らせる。Blu-ray¥2,075（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

© 1960 Shamley Productions, Inc. Renewed 1988 By Universal Studios. All Rights Reserved. Supplemental material written, Produced and directed by Laurent Bouzereau.



Film

『サイコ』

アルフレッド・ヒッチコック／1960年／アメリカ／109分

会社の金を盗んで逃亡した女性マリオンが、宿泊したモーテルで惨殺される、サイコ・ホラー。作品中盤で主人公と思われた人物が死ぬという展開が衝撃的。DVD¥1,572(NBCユニバーサル・エンターテイメント)

アルフレッド・ヒッチコック監督は、〝日常がそのまま非日常になる恐怖〟を描くのに長けた監督でした。『サイコ』（１９６０）についても、それは当てはまります。『サイコ』は、恋人と駆け落ちするために会社の金を盗んだマリオンの逃亡劇として始まりながら、宿泊したモーテルのシャワールームで惨殺されてから物語が一変します。ですので、『サイコ』をホラー映画として位置付けるとき、シャワー・シーンや、その後に犯人が二重人格だったと判明する衝撃のラストが着目されがちですが、実はそこに至る過程でも、観客の居心地が悪くなるような瞬間をいろいろ忍ばせてるんです。

例えば、マリオンがベイツモーテルにたどり着いて、応接室で管理人のノーマン・ベイツと食事を取りながら話すシーン。最初はごく普通にマリオンとノーマンを交互に映していくんですが、話の内容がノーマンの母に及ぶとほぼ同時に、ノーマンを映すショットが彼を仰ぎ見るような異様なローアングルに変わるんです。一見するとなんでもない会話シーンですが、だからこそアングルの変化が強く印象に残ります。彼の背後には目を怪しく光らせたフクロウの剥製が羽を広げていて、ゾクッとします。

マリオンが殺されるのはこの直後。最初、映画はそれをノーマンの母の仕業であるかのように見せるのですが、実は母は既に死んでいて、最後でノーマンの仕業だったことがわかります。しかも、彼は自分自身と母親の人格を持つ二重人格者であり、殺人を犯すのは母の人格のときで、母屋にはミイラ化した母を置いている。そういった結末をすべて知ってからこの会話シーンを観直すと、ノーマンの複雑な内面を表しているかのようにも感じられますし、何げない会話シーンに不気味なショットを差し挟むことで、シャワー・ルームでの殺人という、日常が非日常に一変するその後の展開を予告しているかのようにも見えます。これがヒッチコックの恐怖表現の特徴だと思います。

『サイコ』のホラー的な表現ということで言えば、もうひとつ重要なのが音声の使い方だと思います。劇中では何度かノーマンの母の声が聞こえるんですね。一番有名なのは、捕まったノーマンが留置所のようなところで座っているシーン。ノーマンは口を閉じているんですが、「ノーマンは悪い子で母親の私に殺人罪を着せようとしたの」と語る母の声がボイスオーバーで響く。つまり、ここではノーマンの心の声であると理解できるんですが、だとしたら、それ以前の母の声もすべてノーマンの心の声だったのでしょうか。

例えば、マリオンの死後、彼女を捜してノーマンのところにはいろいろな人がやってくるのですが、そこで彼は母のミイラ（この瞬間はまだミイラだと観客は知りませんが）を地下室に運ぼうとします。そのとき、ノーマンと母の言葉のやりとりがあるのですが、ここもノーマンの心の声だったのでしょうか。たしかに、母の口元は映されないので、そう解釈することもできるのですが。しかし、さらに不可解なのは、モーテルに到着して間もなく、部屋の中にいたマリオンが、モーテルの裏にある母屋を部屋の窓から眺めながら、ノーマンと喧嘩する母の声を聞いているかのように見えるシーンがあるんです。このとき母屋の中は映されないので、すべてノーマンが演じていたという可能性もありますが、かなり異様です。答えは出ないですが、興味深いのは、母の声がノーマン自身だけでなく母屋と強く結びついているということ。だから、家自体が喋っているように思えるんです。ヒッチコック監督作ではありませんが、続編の『サイコ2』（１９８３）では、ノーマンが久々にあの母屋に戻ると、無人のはずの部屋から母の声が聞こえてくるというシーンがありますが、もはやこの続編は、〝怖い家〟を描くホラー映画のようになっています。ヒッチコックの『サイコ』もあえて言うなら、家という日常の空間を、声を付け加えることで異様な空間にしていると捉えられるかもしれません。

ところで、『サイコ』の母屋については、『悪魔のいけにえ』（１９７４）にかなり直接的に影響を与えているとよくいわれます。実際、レザーフェイス一家が住む家の階段の位置は、『サイコ』の母屋のそれとそっくりです。それ以外にも、レザーフェイスの家に入ったまま戻ってこない男性を捜して、恐る恐る家に近づく女性の姿を、ものすごくローアングルで撮ったシーンがあるんですが、『サイコ』でマリオンの妹が母屋に近づいていくシーンからの影響を感じさせます。その後、女性がレザーフェイスの家に入ると、鳥の羽根が散らばっているのも、これは母屋でなくモーテルのほうですが、剥製がたくさんある応接室を連想させます。

他の作品で言えば、『ハイテンション』（２００３）の人里離れた山奥の家や、『クリーピー 偽りの隣人』（２０１６）の何の変哲もない住宅街にある家も『サイコ』の母屋を想起させますね。直接的な影響があったかは定かではありませんが。

ヒッチコックのホラー映画というと、もうひとつ『鳥』（１９６３）がありますが、こちらはよりわかりやすく〝日常がそのまま非日常になる恐怖〟を描いていると思います。鷲や鷹ではなく、どこにでもいそうなスズメやカモメが突然、人間を襲ってくるという設定からして既に、それが表れていますよね。しかも、鳥の襲撃の多くは家の中で起こる。最初の本格的な鳥の襲撃は、主人公が招かれた誕生日パーティで起こりますからね。その後、主人公が好意を寄せる男性の母親が知人の男性を訪ねると、キッチンで割れたマグカップがまず彼女の目に留まるという演出も秀逸です。それでさらに部屋の奥へ進むと、鳥に目をえぐられた男性の死体が映し出される。これも、どこにでもありそうなマグカップが派手に割れているのをまず見せることで、〝日常がそのまま非日常になる恐怖〟を描いているわけです。

ハリウッドには１９６６年頃まで厳しい規制がいくつもあり、その中には残酷なシーンを直接見せてはいけないという項目もありました。実際、『サイコ』の惨殺シーンも、マリオンの肌にナイフが突き刺さる描写だけは回避して描かれています。こうした時代だったからこそ、ヒッチコックは〝日常がそのまま非日常になる恐怖〟の演出を、洗練させることができたと言えるかもしれません。

碓井みちこ

うすい・みちこ｜映画研究者、関東学院大学准教授。1973年、兵庫県生まれ。「「リメイク」映画とは何か―ガス・ヴァン・サント『サイコ』を中心に」（『入門・現代ハリウッド映画講義』収録）などヒッチコックにまつわる論考を多数執筆。

HITCHCOCK

ヒッチコックの恐怖演出。

アルフレッド・ヒッチコック監督は、“サスペンスの巨匠”として名高い。しかし、’60年代に作られた『サイコ』と『鳥』はまごうかたなきホラー映画だ。彼はいかにして恐怖を演出したのか。

『血の祝祭日』©Collection Christophel/aflo
『マニアック2000』©Alamy/aflo
『カラー・ミー・ブラッド・レッド』©Album/aflo

Film
『血の祝祭日』
ハーシェル・G・ルイス／1963年／アメリカ／90分

エジプトの女神イシュタルを蘇らせるため、自分が古代エジプトの高僧の生まれ変わりだと信じる料理人が、生贄として捧げる女性を殺しまくる。2人の刑事が、この事件を捜査するのだが……。

廣瀬 純
ひろせ・じゅん｜批評家。龍谷大学教員。1971年、東京都生まれ。映画から哲学まで幅広く論じる。著書に『シネマの大義』『資本の専制、奴隷の叛逆』『暴力階級とは何か』『絶望論』『シネキャピタル』『蜂起とともに愛がはじまる』など。

a History of Horror Films '60s

SPLATTER

ハーシェル・G・ルイスと血。

1963年、ハーシェル・G・ルイス監督は、『血の祝祭日』において映画史上初めてド派手な血の噴出を描き、“スプラッター映画の始祖”の称号を手にする。その血の意味とは？

'60年代、ハーシェル・G・ルイス監督（以下、HGL）は、〝ザ・ブラッド・トリロジー〟（血の3部作）と呼ばれる『血の祝祭日』（1963）、『マニアック2000』（1964）、『カラー・ミー・ブラッド・レッド』（1965）を撮ります。一見、どれもかなりバカバカしい。でも、HGLはこの3部作で、とても重要なことを成し遂げました。映画史上初めて画面に派手に血を噴出させ、ホラー映画あるいは映画全体を根底から刷新した。当時のハリウッドスタジオは規制が厳しくて血を見せることができませんでした。だったらハリウッドの外で血を見せる映画を作って大儲けしてやろうと、HGLとプロデューサーのデイヴィッド・F・フリードマンは考えた。〝スプラッター（血しぶき）映画〟は、チンピラ映画人がカネ欲しさに始めたジャンルなのです。

HGL以前の古典的なホラー映画にも、血をテーマにした作品はありました。ただ、画面に血が映し出されることはなかった。むしろ、目に見えない血こそが怖いんだと考えられていた。「あの女には呪われた血が流れている」とか「俺の血は穢れている」とか。血族や血統が語られるような、ちょっと文学テイストの作品を想像してもらえばいいでしょう。いずれにせよ、血はあくまでも皮膚の下で流れるものであって、皮膚の上に噴き出してはいけなかった。

古典ホラーでは、画面に映っているのは、人間のごく一般的な普通の皮膚ですから、見た目上はちっとも怖くない。映像自体は怖くない。では、怖さはどうやって作り出されていたのか。編集によってです。編集で繋がれることで、映像Aと映像Bの間に血が流れる。例えば、親と子との間で呪われた血が受け継がれる。古典ホラーで怖いのは、映像ではなく編集、目に見えるものではなく、見えないもの、不可視の血だったのです。

HGLが〝血の3部作〟で試みたのは、映像内を血だらけにすることで、映像それ自体を怖いものにする、怖さを目に見えるものにするということです。もう編集には頼らない。恐ろしい血が流れているのなら、それが血管から溢れ出て目に見えるようになれば、映画自体、もっと怖くなるはずだとHGLは考えたのです。

『血の祝祭日』は、実際、まさに〝編集の失敗〟についての作品です。エジプト系アメリカ人の男が、5000年前の悪の女神を復活させるために、街の女性を次々に殺し、その一人ひとりから体の様々な部位を切り取る。それらを再構成すれば、すなわち〝編集〟すれば、悪の女神が蘇るはずだというわけです。しかし、計画は失敗に終わる。『血の祝祭日』は、いわば自ら進んで、古典ホラーになり損なうのです。その代わりに、画面は血みどろの映像で溢れ返ることになる。女性たちの目や心臓を切り取る作業は、当然ながら、大量出血を伴うからです。そのようにしてスプラッター映画は誕生した。しかし、ここで正直に言っておかなければならないことがあります。目に見えるようになった血は、HGLの当初の予想を裏切って、誰がどう見てもまるっ

Film
『マニアック2000』
ハーシェル・G・ルイス／1964年／アメリカ／110分

南北戦争終結から100年後にあたる年。北軍に殲滅させられたある村の2000人の亡霊たち（実際に登場するのは数人）が、戦争記念祭を装って北部からやって来た旅行客を誘い込み、次々に惨殺する。

Film
『カラー・ミー・ブラッド・レッド』
ハーシェル・G・ルイス／1965年／アメリカ／80分

画家のアダムは思うように絵が描けず悩んでいた。そんなある日、ひょんなことから自分が求めていたものが血の赤であると気づくのだった。※本編はカラーです。

きり怖くなかった！　恐ろしい血は、皮膚の外にひょっこり出てみたら、その恐ろしさを失ってしまったということです。

その反省からのことでしょうか、2作目の『マニアック２０００』では、実のところ、〝見えない血〟に逆戻りしてしまっています。舞台はアメリカ南部の村。南北戦争で南軍が負けてから１００年目の年に、北軍に虐殺された南部の村人の亡霊が、北部から来た観光客を血祭りにあげるという物語なのですが、血祭りのほうは相当控えめで、怨念で亡霊たちを結束させる〝見えない血〟のほうが断然話の中心です。とにかく、この第2作は基本的に盆踊り系古典ホラー映画で、血しぶきは言い訳程度の量にとどまってしまっています。

『マニアック２０００』を撮り終えてHGLは、「血塗れ映画を作るはずだったのに、オレはいったい何をやってるんだ」と自分を責めたに違いありません。3作目の『カラー・ミー・ブラッド・レッド』でHGLは、〝見える血〟に再び取り組み、それを徹底的に掘り下げることになります。求めている赤色が出せずに悩んでいる画家の男が、人間の血を使うことを思い立つという物語ですが、すでに冒頭から極めて興味深いシーンが見られます。赤いレオタードを着た恋人の女性がアトリエに入ってくると、作業中の画家は誤って赤い絵の具を彼女の首筋につけてしまう。首筋についた絵の具は、一瞬、血にしか見えないものになる。しかし、絵の具は、そのように血になった途端、女性のレオタードの赤色に接続されて、単なる赤色に戻ってしまうのです。一般に映画での血はそもそも赤い絵の具で、映画の作り手たちはそれをどう血に見せるかと工夫するわけですが、ここで示されるのは、そうした血が結局はただの絵の具でしかないという事実です。

映画に限らず、人間の想像力全般において血は、おどろおどろしい意味をつねに付与されてきました。〝呪い〟だとか〝穢れ〟だとか、〝人種〟だとか〝民族〟だとか。皮膚の外に血を噴出させたら、そうした意味も一緒に目に見えるものになってくれるかと思いきや、血ですらなくなって、単なる赤色に成り下がってしまった。HGLの破壊力はここにあります。彼によって、血は、それまで担わされてきた一切の意味から解放され、同時に赤色も、それまで演じさせられてきた血の役割から解放されたのです。

余談ですが、同時代にHGLと同じことをしていたのが、ジャン＝リュック・ゴダール監督（以下、JLG）です。JLGは１９６５年に『気狂いピエロ』を撮った際、雑誌のインタビューで「今回の作品には血がたくさん流れていますね」と指摘され、「いえ、単なる赤色ですよ」と答えています。実際、『気狂いピエロ』の物語は、まさに「血の赤で私を塗ってくれ」（カラー・ミー・ブラッド・レッド）といった内容のものです。パリのインテリ監督JLGと、ヤンキー・チンピラ監督HGLとは、もちろん知り合いでもなんでもなかったはずですが、同時期に同じ問題に取り組んでいたのです。

HGLは、その後のホラー映画に大きな課題を残しました。血を噴出させてなお怖く見せるにはどうしたらいいのかという課題。ホラー映画はやっぱり怖くなきゃ困るわけです。そこから、血の量を増やすなどの試みがありました。しかし、画面全体に血の沼が広がったところで、どこまで怖いのか。正直、かなり疑問です。HGLによって、ホラー映画のハードルは突然、とてつもなく高いところに引き上げられてしまったのです。

ZOMBIE

そぞろ歩くゾンビの夜明け。

映画の中のゾンビは、同時代のさまざまな社会問題の陰画として描かれてきた。その元祖が、ジョージ・A・ロメロ監督による1968年の『ナイト・オブ・ザ・リビング・デッド』だ。

a History of Horror Films '60s

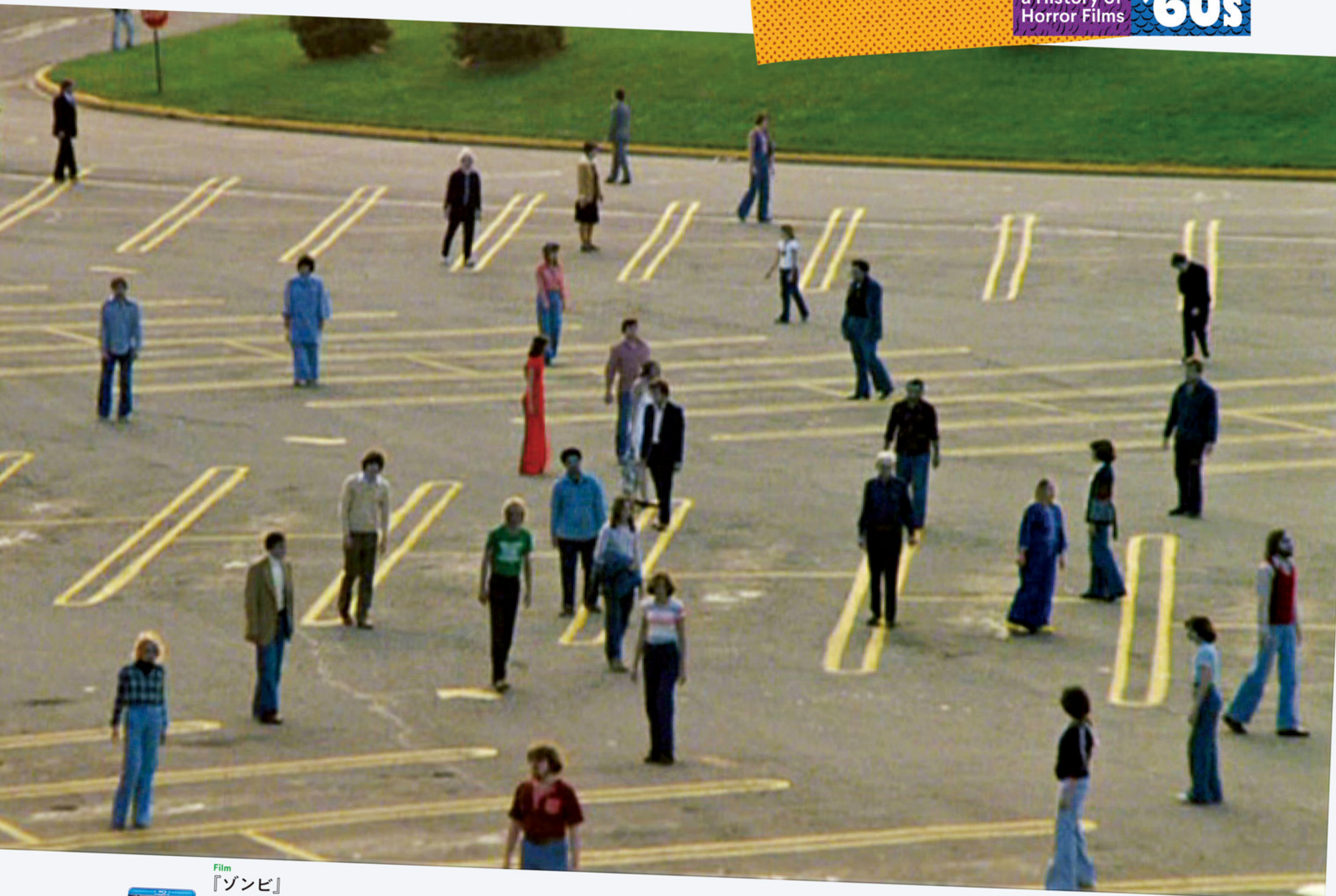
福田安佐子

ふくだ・あさこ｜国際ファッション専門職大学国際ファッション学部助教。1988年、兵庫県生まれ。専門はホラー映画史、表象文化論、身体論。おもな論文に「ゾンビ映画史再考」など。共訳書に『ゾンビの小哲学』『ポストヒューマン』。

1968年に公開されたジョージ・A・ロメロ監督の『ナイト・オブ・ザ・リビング・デッド』（以下、NOTLD）は、現在まで続くゾンビ像の原型を作ったといわれています。『恐怖城 ホワイト・ゾンビ』（1932）など、それ以前にもゾンビを題材にした映画はありました。だけど、基本的にはハイチのブードゥー教の儀式で蘇った死者を描いていて、見かけは普通の人間。人間を襲うにしても、それは呪術のせい。腐敗した体を抱えて集団で行動し、人肉への欲望から人間を食い、食われた者もまたゾンビになるという造形は、ロメロが生み出したものなんです。ただ、『NOTLD』の時点でロメロ自身は自分が作ったモンスターを、ゾンビとは名付けてなかったんですよ。同時代のホラー漫画などでは墓から蘇る死者がゾンビと呼ばれていて、それと結びついて『NOTLD』のモンスターもゾンビと呼ばれるようになった。その後、ロメロ自身もそれを受け入れ、『ゾンビ』（1978）や『死霊のえじき』（1985）など、ゾンビと謳った作品を作っていくことになります。

『NOTLD』のゾンビが画期的だったのは、人間の形をしたものが、人間を襲ってくるところにあると思います。なぜならそれは、自分たちの暮らしを脅かす脅威が、人間社会の中にこそ潜んでいることを、観客に想像させるから。例えば、白人男性からすれば、自分たちが頂点に立つ社会の中で差別されてきた女性や黒人の反発にも見える。その一方で、自分たち自身が持つ恐ろしさも同時にあぶり出しています。本作ではやんちゃな男性たちが徒党を組み、ゾンビを撃退するのですが、そのやり口がかなりひどい。ゾンビの的当てゲームを始めたりする。隣人こそが一番怖い。それを明確に示したのが『NOTLD』だったのです。

　ちなみに、脳みそを撃つと死ぬという、今ではゾンビ映画でお馴染みの設定も『NOTLD』で最初に描かれたといわれています。ただ、『恐怖城 ホワイト・ゾンビ』ではボスである呪術者を殺すとゾンビも動かなくなるという設定で、呪術者をゾンビの〝頭〟の象徴と見るなら、つながっていると言えな



Film

『ゾンビ』

ジョージ・A・ロメロ／1978年／アメリカ、イタリア／139分

ショッピングモールにおける人間とゾンビの攻防戦を描く。Blu-ray『ゾンビ ディレクターズカット版〈HDリマスター版〉』¥5,170（ハピネット・メディアマーケティング）

『ゾンビ』© 1978 THE MKR GROUP INC. ALL RIGHTS RESERVED.
『ナイト・オブ・ザ・リビング・デッド　ゾンビ誕生』© Everett Collection/Aflo
『バイオハザード』© 2002 Constantin Film Produktion GmbH. All Rights Reserved.

くもないと、個人的には思っているんですけど。あと、『NOTLD』が公開された'68年は、脳死判定に関して法的な整備が進みつつあった時代であるということも重要です。脳死患者から心臓を移植しても罪に問われないようにするための新たな基準が設定され、議論を巻き起こしていましたが、命とは脳と心臓のどちらに宿るのかが問われていた時代に、こうした設定ができたことは興味深いなと思います。

という感じで、『NOTLD』には社会問題について考えるための素材をいろいろ見いだせるわけですが、これについてもロメロにとっては想定外だったようです。主役に黒人俳優が選ばれたのも、オーディションに来た中で一番演技がうまかっただけだそうです。だけど、公開後に当時盛り上がりと限界を露呈しつつあった公民権運動を反映していると評価され、ロメロは社会批評としての映画の可能性に気づく。そして、それを意識的にやったのが『ゾンビ』(1978)でした。本作では主人公たちとゾンビの戦いがショッピングモールを舞台に描かれるのですが、そこには資本主義への批判が込められています。生前の欲望のままショッピングモールを訪れるゾンビを通して、買うものがあるわけでもないのにただぶらぶらする人間への批判がなされているのです。それはゾンビを撃退した主人公たちが、お店に並んでいる宝石や毛皮のコートを身に着けたり、レジからお金を取って遊んだりするシーンからも伝わってきます。ゾンビがいるような状況で、高級品なんて役に立たないにもかかわらず、人間は欲望に振り回されてしまう。ゾンビも人間も変わらない。そんな皮肉が込められているのです。今でこそ珍しくない社会派ホラーを、ロメロはこの時点でやっていたのです。

その後も、ロメロのゾンビ映画は、社会批評を繰り返しています。『ダイアリー・オブ・ザ・デッド』(2007)には、SNSやYouTubeへの言及がありましたし、遺作『サバイバル・オブ・ザ・デッド』(2009)のラストでは、ゾンビと人間の共存の可能性が示唆されます。もっと続編を作ってほしかったですね。

それはともかく、『NOTLD』以後、ロメロにオマージュを捧げたようなゾンビ映画が数多く作られましたが、2002年、『バイオハザード』(2002)、『28日後…』(2002)によってそのゾンビ像が一新されます。ロメロのゾンビといえばのろのろ歩きが特徴ですが、この2作のゾンビはめちゃくちゃ速く走る。これによって、アクション映画のような臨場感溢れるゾンビ映画が増えていきます。

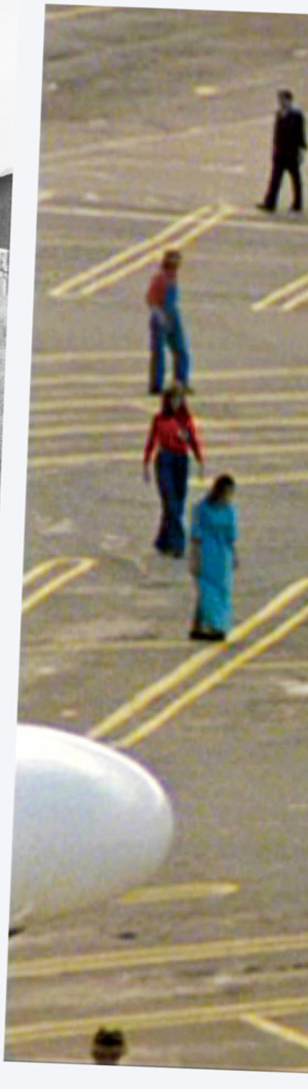
また、この2作の新しさは、ゾンビになる原因がウイルスだと明確に打ち出していること。なので、一度死んで生き返るのではなく、発症したらそのままゾンビ化する。死の契機がないんです。それまでもウイルス性ゾンビはいましたが、この2作のあとは、その傾向が顕著になっていきます。これは同時代のHIVやエボラの脅威の反映かもしれません。

そうしたウイルス性ゾンビ映画の中で、個人的に推しているのが、『ワールド・ウォーZ』(2013)です。まず、ゾンビのウイルスに感染して発症すると、人間の形をしつつも、ウイルスそのものとして、新たな種として行動を始める、という設定が、ウイルスに対する知見を反映していてとても新しい。また、ゾンビは周りに食料としての人間がいなくなったときどうなるのか?という問題ともしっかり向き合っている。『28日後…』では餓死してしまうのですが、本作ではまた違うアプローチを取っています。虫のなかには餌が周りにないとき、休眠状態に入り、餌が近づいてくるとまた動きだすものがいます。そうやって生き延びる習性があるんですが、本作のゾンビにはそれが適用されている。残念ながら一般的な評価はあんまり高くない作品ですが、ぜひその辺に注目して観てほしいです。

先ほど2000年代のゾンビ映画ブームは、HIVやエボラの脅威の反映だと言いましたが、じゃあ、コロナ後にまたブームはやってくるのでしょうか。たしかにウイルスの流行という意味では状況は似ていますが、前者が一部の人にとっての脅威であるのに対し、コロナはすべての人類の身近な脅威。これをうまくゾンビ映画に反映できるのか。個人的には難しいと思うけど、すごいものを期待しています。

Film
『ナイト・オブ・ザ・リビング・デッド ゾンビ誕生』
ジョージ・A・ロメロ／1968年／アメリカ／96分

バーバラとその兄は、父の墓参りの途中、蘇った死者に襲われる。兄を殺されたバーバラは逃げ込んだ民家で、隠れていた人間たちと遭遇。力を合わせてゾンビたちを迎え撃つ。



Film
『バイオハザード』
ポール・W・S・アンダーソン／2002年／アメリカ、イギリス、ドイツ／101分

アメリカの薬品会社の研究所でバイオハザード（生物災害）が発生し、ゾンビが誕生。研究所の警備員を務めるアリスがこれに立ち向かう。DVD¥1,551（ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント）

a History of Horror Films '70s

GIALLO

ジャッロ映画とは何か？

’70年代のイタリア製ホラーは、“ジャッロ”という言葉とともに語られる。ダリオ・アルジェント監督とも縁が深いというその言葉が意味するものとは、果たして何なのだろうか。

矢澤利弘

やざわ・としひろ｜県立広島大学教授。1965年、東京都生まれ。著書に『ダリオ・アルジェント 恐怖の幾何学』。また、アルジェント研究会を主宰し、公式YouTubeチャンネルではアルジェントにまつわる情報の発信をしている。

ジャッロの起源は1929年のイタリアに遡ります。きっかけは「モンダドリ」という出版社が、アガサ・クリスティをはじめとする英米のミステリー作家の翻訳シリーズの刊行を開始したこと。黄色い表紙が特徴の同シリーズは、「リブリ・ジャッリ」（イタリア語で「黄色い本」の意味）と名付けられました。これが話題を呼び、追随するように他の出版社もミステリー小説を黄色い表紙で刊行していったことで、イタリアではミステリーや探偵小説に対し、ジャッロという呼称が定着するようになったのです。だから、ジャッロ＝ホラーというのは間違いなんです。

そんな中で作られたのが、マリオ・バーヴァ監督の『知りすぎた少女』（1963）。若い女性が犯罪に巻き込まれる姿を描いたこの作品は、〝ジャッロ映画第1号〟と呼ばれることになります。それは彼がかねて作っていた『血ぬられた墓標』（1960）などの怪奇映画とは異なり、本作には犯人探しの要素があったから。そんなバーヴァの影響もあり、イタリアでは’60年代からジャッロ的要素が映画に取り入れられ、’70年代に絶頂期を迎えます。

その立役者と言えるのが、ダリオ・アルジェント監督で、デビュー作『歓びの毒牙』（1970）以後、『4匹の蝿』（1971）、『わたしは目撃者』（1971）と続けざまにジャッロ映画を作ります。バーヴァが〝静〟なら、アルジェントは〝動〟。実際、バーヴァは脚本を手堅くまとめるのに長けていて、かつどれも水準が高い。また、彼は撮影監督出身なので、ちょっとしたシーンでもため息をつくほどキマるんです。例えば、『モデル連続殺人！』（1964）の冒頭、ガクッと外れた看板が揺れるというなんてことないシーンでも、とてもセンスよく撮ってしまう。

一方のアルジェントといえば、華麗なる殺人シーンが有名ですよね。ビジュアルが重視されている半面、謎解き部分の脚本が練られてないと批判されたりもしますが（笑）。しかし、他のジャッロ映画は話が複雑すぎて、イタリア国外の観客にはついていけないものが多いんです。その点、強烈なビジュアルには言語や国境を超えた魅力がある。そういう作り方をしているからこそ、アルジェントは世界的な監督になったのではないかと思います。実際、バーヴァとは違って、アルジェントの作品はデビュー作からほとんどすべて日本で公開されていますから。

そうしたアルジェントの鮮烈なセンスが全面開花したのが、『サスペリアPART2』（以下『2』）（1975）です。ちなみに、誤解される方も多いと思うので付け加えておくと、『2』は、『サスペリア』（1977）の続編ではありません。そもそも製作されたのは『2』のほうが先ですから。ただ、日本では『サスペリア』が先に公開されてヒットしたので、日本の配給会社が邦題を『サスペリアPART2』にしてしまったというだけです。

それはともかく、『2』を最初に観たときの衝撃は今も忘れられません。殺人シーンはもちろんですが、一番記憶に残っているのは、何の前触れもなく笑いながら歩いてくる赤ん坊の人形が現れるシーン。本当にゾッとしました。そもそも本作は推理映画として優れているんですよ。最後の最後で犯人の顔がばーんと映るシーンも衝撃的で、夢が叶うなら記憶を消して予備知識なしにもう一度この映画を観てみたいくらい（笑）。しかし、ミステリーに恐ろしいシーンを入れることによって、巧みにホラー映画と融合させた記念碑的な作品が、『2』だったんです。

そして、そんなアルジェントの世界的な評価を決定づけたのが、『サスペリア』。とにかく冒頭15分の勢いがすさまじい。雷鳴の轟く空港に到着した主人公が、タクシーに乗ってバレエ学校に行き、そこで起こる鮮烈な第1の殺人までを一気に見せてしまう。あそこまでパワフルなイメージは、アルジェントはもとより、映画自体としてもそれまでなかったもの。私はかつて取材でアルジェントの家にお邪魔したことがあるんですが、壁にはルイス・ブニュエル監督のポスターが貼ってありました。幻想的とも言えるアルジェントの映像美は、ブニュエルをはじめとするシュルレアリスムの世界観の影響があるのかもしれません。

厳密に言うと、『サスペリア』はジャッロとは言えないんです。謎の力に翻弄されるバレエ学校を描いたホラーなので。とはいえ、主人公はどこかへ消えていく足音を頼りに、謎の力の正体を明かそうともする。そういうところを見ると、アルジェントはあくまで〝ジャッロの人〟なんだなと思ったりします。

’70年代の重要なジャッロ監督としては、他にルチオ・フルチがいます。『幻想殺人』（1971）や『マッキラー』（1972）など、ある意味ではアルジェントを超えるような演出で魅せるジャッロ映画を作っています。ただ、フルチの場合、『サンゲリア』（1979）という非常にグロテスクなゾンビ映画で当たってしまったがゆえに、その後はジャッロというより、派手なスプラッターを作っていくことになるのですが。肌が削がれるとか、内臓を口から吐き出すとか……（笑）。人を生理的に嫌悪させる描写ではあるものの、ビジュアル能力は高く、やっぱりイタリア人監督だなと思ったりもします。イタリア映画は、ホラーに限らず肉体損傷シーンを執拗に描く傾向がありますからね。町の教会なんかに、地獄絵図、磔刑図が普通にありますから、肉体の損傷をリアルに描くのはこの国の伝統なのかもしれません。

その後、こうした先駆者たちの影響もあり、ストーリーを犠牲にしてもビジュアル面を強調するのがジャッロの特徴となっていきます。冗長になるくらいなら、整合性がなくてもたるみのない作品にしたいということなんでしょう。商売として世界市場を見据えているので、見せ場を作らなければいけないということでもある。そういう傾向は、他の国のホラー映画には見られません。ただ’90年代くらいまではよく作られたジャッロ映画も今では壊滅状態。アルジェントが1人で孤軍奮闘している状況です。彼にはこれからも頑張ってほしいですね。

『サスペリア』©VIDEO S.P.A.©Everett Collection/aflo
『ウイラード』© 1971 Bing Crosby Productions, Inc. All Rights Reserved.

a History of Horror Films '80s

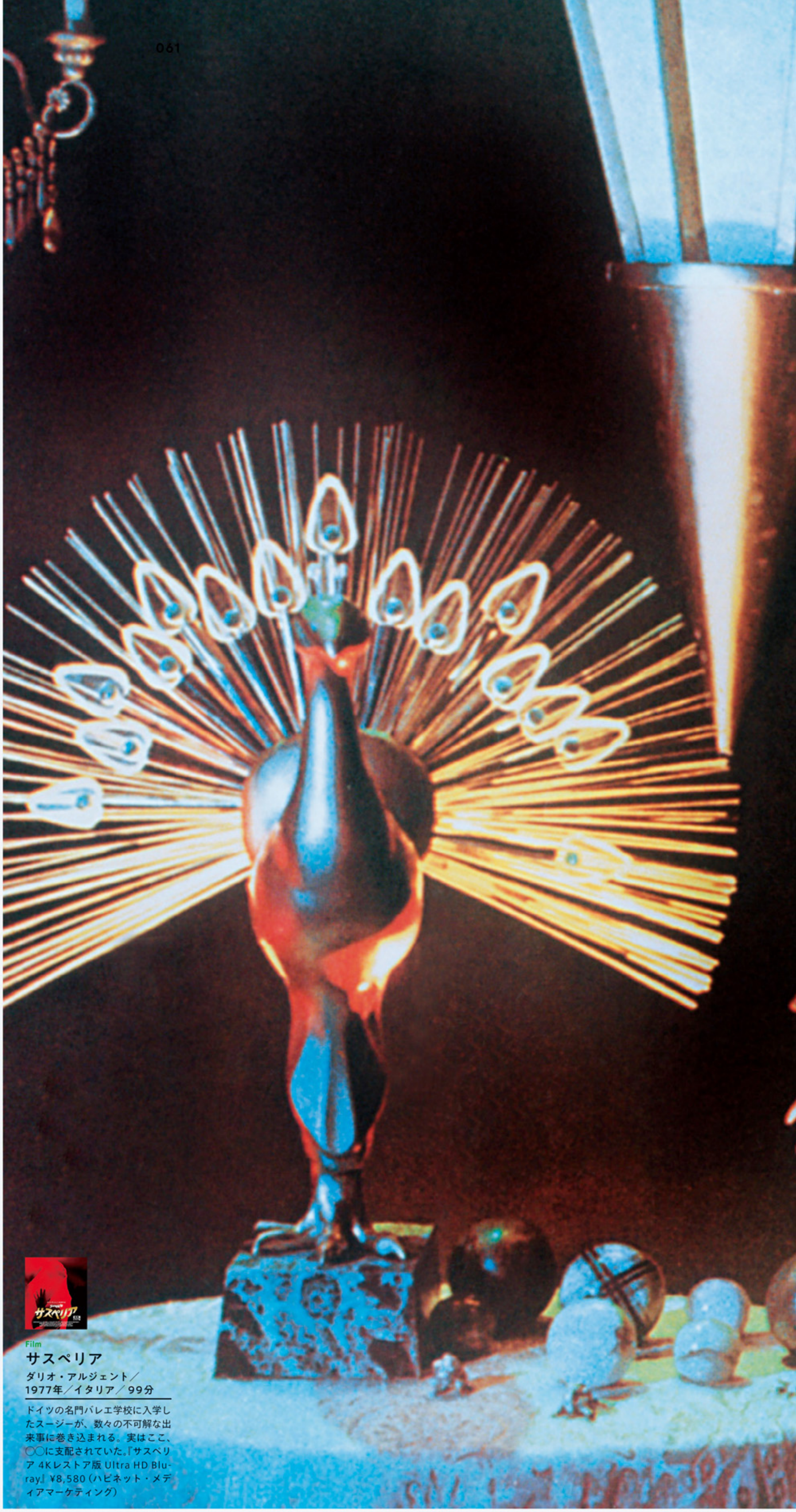
ANIMAL

危険動物に気をつけろ！

　ある日突然、身近に生息する生き物が、僕らのよく知る姿のまま襲ってきたら、もう逃げるしかない。このリアルな恐怖を取り上げた映画には『鳥』(1963) などの古典があるが、'70年代にはこれがブーム化。きっかけは人喰いザメの襲来を描き、当時の世界最高興行収入を記録したスティーヴン・スピルバーグ監督の『JAWS／ジョーズ』(1975) だ。以後、その後塵を拝するべく、死肉に群がるウジ虫のように動物パニックホラーが量産されていく。

『グリズリー』(1976) ではハイイログマ、『オルカ』(1977) ではシャチ、『怒りの群れ』(1977) では野良犬の群れ、『スクワーム』(1976) ではなんと大量のミミズまでが襲ってくる。しかし、ここで注目したいのは、その手の有象無象のひとつと誤解されがちだが、実は『ジョーズ』より以前に作られた『ウイラード』(1971)。本作で人間に襲いかかるのは、大量のネズミだ。撮影には実際のネズミが約600匹も投入され、役者が体にピーナツバターを塗りたくってネズミを誘導したというが、その甲斐あって恐怖&生理的嫌悪感が半端ない。

　驚くべきことにこの『ウイラード』、『ザ・スーサイド・スクワッド "極"悪党、集結』(2021) でオマージュが捧げられている。街中を埋め尽くすほどの大量のネズミが、ヒーローとして描かれるシーンがあるのだ。さすがホラー映画スタジオ「トロマ・エンターテインメント」でキャリアをスタートしたジェームズ・ガン監督。スターになってもその愛を忘れてないんだな。



Film
ウイラード
ダニエル・マン／1971年／アメリカ／95分

陰気な青年ウイラードはかわいがっていたネズミを会社の上司に殺される。怒ったウイラードは数百匹のネズミを武器に、上司に復讐する。DVD¥2,090（キングレコード）

Film
サスペリア
ダリオ・アルジェント／1977年／イタリア／99分

ドイツの名門バレエ学校に入学したスージーが、数々の不可解な出来事に巻き込まれる。実はここ、◯◯に支配されていた。『サスペリア 4Kレストア版 Ultra HD Blu-ray』¥8,580（ハピネット・メディアマーケティング）

a History of Horror Films '70s～'80s

FINAL GIRL

反撃する女子はフェミニズムを目指す。

'70年代から'80年代にかけて量産された多くのスプラッターでは、最後に女子が生き残る。"ファイナル・ガール"と呼ばれる彼女たちの秘めたるフェミニズム的ポテンシャルとは？

怪物的なパワーを持つ殺人者が若い男女の集団を襲って次々に殺害し、最後に女の子が1人だけ生き残り、もしくは殺人者に反撃する。『悪魔のいけにえ』（1974）、『ハロウィン』（1978）、『13日の金曜日』（1980）、『エルム街の悪夢』（1984）を筆頭に、'70年代から'80年代にかけて量産されたスプラッター（スラッシャー）映画ではそのようなパターンが繰り返されましたが、1992年刊行の著書『男性、女性、チェーンソー（Men, Women, and Chainsaws）』で、この最後に生き残る女の子に注目し、〝ファイナル・ガール〟と名付けたのが、中世北欧文学と映画学の研究者キャロル・J・クローヴァーです。同書はクエンティン・タランティーノ監督が『デス・プルーフ』（2007）を作る際、参照したことでも知られています。

1970年代に興隆したフェミニスト映画批評では、映画は女性に受動的な犠牲者性を押し付けるという論調が主流でした。例えば、映画研究者のローラ・マルヴィは「視覚的快楽と物語映画」（1975）という論文で、主流の物語映画の世界では、男性が能動的なヒーローとして視線とアクションを担当し、女性はその視線を楽しませるエロティックな見せ物や、ヒーローがアクションを通じて獲得する目標といった役割を与えられていると指摘しています。ホラーで言えば、女性の役割は、怪物に襲撃されてヒーローに救出され、襲われる過程でエロティックな肉体を晒す受動的な見せ物である、ということになります。クローヴァーは、こうした当時主流だった見解に対し、だとしたら、最終局面で能動的なアクションと視線を獲得し、怪物を打倒するファイナル・ガールのような存在をどう考えればいいのか、と問題提起をするわけです。

最後に女の子が生き残るというパターンのルーツは古く、例えば、アルフレッド・ヒッチコック監督の『サイコ』（1960）でも、最後に殺人者の秘密を探り出すのは生き残った女性の役割です。その後、『悪魔のいけにえ』で、クローヴァーのいうファイナル・ガールの原型が登場するわけですが、とはいえ、最初からアクションと視線を担っていたわけではありません。『悪魔のいけにえ』のファイナル・ガールのサリーは、襲

Film
『ハロウィン』
ジョン・カーペンター／1978年／アメリカ／90分

実姉を殺した過去を持つマイケルが精神病院を脱走する。ベビーシッターをしていた女学生ローリーは、不気味な白い仮面をかぶった彼に付け回されることに。『ハロウィン≪4Kリマスター版≫』DVD¥2,090（キングレコード）

鷲谷 花

わしたに・はな｜大阪国際児童文学振興財団特別専門員。専攻は映画学、日本映像文化史。共編著に『淡島千景──女優というプリズム』、訳書にジル・ルポール『ワンダーウーマンの秘密の歴史』など。近年は幻灯の研究も。

ってくる食人一家に向かって逆襲しませんし、逃げられたのはたまたま通りかかったトラックのドライバーに拾われたからです。このドライバーはせりふもほとんどない脇役ではありますが、最後に男性がヒロインをレスキューするという点で、古典的ホラーのパターンを守っていると言えます。

『ハロウィン』のローリーも、襲われて恐怖の悲鳴を上げながら逃げ惑いますし、襲撃されることによって衣服が破けて素肌が見えるなど、典型的な女性的役割を担う面もあります。しかし、最終的にはベビーシッター先の子供を守ろうとし、殺人者に物理的に反撃し、何度も倒すという、伝統的には〝男らしさ〟と結び付けられてきた役割を引き受けます。ここにきてファイナル・ガールが能動的なアクションを担うというゾーンに入ってくるのですが、しかし、最後の最後に駆けつけてヒロインを救うのは男性です。少し話は逸れますが、ローリーが走って逃げるのに対し、殺人者マイケル（ブギーマン）は走らず、くせになる音楽にあわせてだらだら動くんですよね。にもかかわらず、いつの間にかローリーと同じフレームに収まってしまう。マイケルが常人とは違う時間のルールに則っているかのようで、秀逸な表現だなと思います。

このように'70年代までのファイナル・ガールは最後に自分自身を救うためにアクションをする余地が大きくなってくるけれど、ギリギリのところで男性が助けに来るパターンが維持されていました。しかし、'80年代に入るとファイナル・ガールが完全にヒーローを兼ねるようになるというのが、クローヴァーの見立てです。実際、『13日の金曜日』のアリスは武器を手にひとりで殺人者と闘い、完全に行動不能な状態にしてしまう。さらに頭の回転も速く体もよく動くのが『エルム街の悪夢』のナンシーです。殺人者であるフレディは、夢に入ってきて人を殺害するという、もう人間にはどうにもならなそうな怪物なのですが、それでも彼女は夢の中にもさまざまなトラップを仕掛けて倒してしまう。『13日の金曜日 PART7 新しい恐怖』（1988）になると、とうとう超能力者のファイナル・ガールが登場し、殺人者もファイナル・ガールもどっちも超人という状態にまで突入していきます。

Film
『悪魔のいけにえ』
トビー・フーパー／1974年／アメリカ／83分

アメリカの片田舎を訪れた男女5人が、人皮のマスクをかぶり、チェーンソーを振り回して大暴れする大男レザーフェイスに襲われる姿を描く。『悪魔のいけにえ 公開40周年記念版』Blu-ray¥5,170（松竹）

Film
13日の金曜日
ショーン・S・カニンガム／1980年／アメリカ／95分

数十年前、一人の少年が溺れて行方不明になったクリスタルレイク。その湖に面したとあるキャンプ場で、若い指導員候補生が次々に謎の殺人者に殺されていく。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

また、クローヴァーはこうした作品に対する観客の感情移入のプロセスの複雑さにも注目しています。当時、スプラッターをはじめとするホラー映画の主な観客は若い男性で、女性の身体を暴力的に支配してコントロールする楽しみを与えるジャンルだと考えられていました。であるなら、彼らは殺人者に感情移入をしていたのかといえば、どうやらそうではない。映画館の中を観察してみると、男性観客はいけ好かないカップルが殺されるシーンで、確かに「ぶっ殺せ！」と叫んではいる。その時点では殺人者に感情移入していると言えるでしょう。しかし、いざファイナル・ガールが殺人者に対して反撃を開始すると、そこでもまた「ぶっ殺せ！」と叫んでいる。そこでは感情移入のフレキシブルな入れ替えが起きている可能性をクローヴァーは指摘します。つまり、スプラッターでは、自分の本来の立場や性別からかけ離れた感情移入のジェットコースターを楽しむようなポテンシャルが重要らしい、ということになります。この点に関して、登場する殺人者の多くが、顔が見えなかったり、何も喋らなかったり、そもそもアイデンティティが分裂していたり、ストレートには感情移入しづらいのに対し、逆襲するファイナル・ガールたちは力強くて両性具有的なイメージをまとっていて、男性観客が感情移入できるようなキャラクターとして描写されます。

そういった'80年代のスプラッターは、ジャーナリズム的にはほとんど評価されませんでした。しかし、他ジャンルに先駆けて、伝統的な窮地に陥れられてヒーローの救出を待つヒロインではなく、性別の壁を超えた感情移入を可能にするようなタイプの女性キャラクターを量産し、映画で女性のやれることの範囲をどんどん拡大させていたという点でとても重要です。その後に関して言えば、このファイナル・ガールのパターンをより高級なスリラーに落とし込み、アカデミー賞主要5部門を受賞した『羊たちの沈黙』（1991）をはじめ、いまだにホラーでは最後に女の子が生き残り、逆襲するなり真実を突き止めるなりといったパターンが繰り返されていますが、それはこのような文脈において確立していったのです。

『ハロウィン』© 1978 Falcon International Productions. All Rights Reserved. 『悪魔のいけにえ』©MCMLXXIV BY VORTEX.INC. ©Collection Christophel/aflo『13日の金曜日』Friday the 13th is a trademark of New Line Productions, Inc. © 2009 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.©Everett Collection/aflo

Film

ザ・フライ

デヴィッド・クローネンバーグ／1986年／アメリカ／97分

テレポーテーション装置を開発した天才物理学者のブランドル博士は、自分の体で実験してみる。すると、たまたま装置の中に入り込んだ蝿と遺伝子レベルで融合してしまい、みるみる蝿人間へと変容していくのだった。

GOOEY

クローネンバーグのヌチョヌチョした肉体。

平倉 圭

ひらくら・けい｜横浜国立大学准教授。1977年生まれ。専門は芸術学。著書に『かたちは思考する—芸術制作の分析』『ゴダール的方法』。共著に『オーバー・ザ・シネマ 映画「超」討議』『ディスポジション 配置としての世界』など。

グロテスクな描写がホラー映画において最高潮に達した'80年代。肉体のヌチョヌチョ表現を、生命についての哲学の域に高めたのが、デヴィッド・クローネンバーグ監督だ。

'80年代のホラー映画において、目立っていたのがヌチョヌチョした表現です。『死霊のはらわた』（1981）と『バタリアン』（1985）が、すぐに思い浮かびます。どちらもゾンビ映画ですが、前者に登場する極彩色のゾンビは、粘土のような肉体がまさにヌチョッと潰れて、絵の具のような血が噴き出す。とても物質的なんです。それは撮影現場に、俳優と実際の粘土や蝋や液体が同居していた時代だからこそ生まれた造形だと思います。デジタル合成とモーションキャプチャーが導入された'90年代以後のホラーでは、造形のテクスチャーはもっと視覚的に細かくシックになり、ヌチョヌチョした触覚性は減っていく印象があります。

この'80年代ホラーのヌチョヌチョした「肉（flesh）」の表現を極限まで推し進めて、それを一種の思想に変えたのが、デヴィッド・クローネンバーグ監督です。一般にホラー映画は、異質な他者に「外」から襲われる恐怖を描きます。しかしクローネンバーグが描くのは、異質なものはこの肉体の「中」にいて取り出せないという恐怖です。自他が溶けて混ざり合う肉の中で、なんとか自己を分離しようとしてもがく。ヌチョヌチョした造形を通して描かれるこの肉の内部の争いこそ、クローネンバーグの大きなテーマです。

'80年代クローネンバーグのホラーというと、『スキャナーズ』（1981）、『ヴィデオドローム』（1983）、『ザ・フライ』（1986）がまず思い浮かびます。いずれも「肉」をめぐる映画です。なかでももっとも重要なのが、『ザ・フライ』。主人公のブランドル博士は、テレポーテーションを可能にする装置、テレポッドを開発します。動物を転送すると体の内と外がひっくり返ってしまうという欠陥を乗り越え、博士はついに、自分の肉体で初めての人体転送実験を行います。しかしそのとき、一匹の蝿が装置にまぎれ込んでいた。コンピューターは転送途中、そのふたつを遺伝子レベルで合成してしまいます。装置から出てきた博士は、超人的な身体能力を現したり、砂糖が異常に好きになったりという変化はありますが、最初は普通の人間の見た目をしているんです。しかし、だんだんと肉体も崩れていき、ついには蝿人間へと変容してしまう。

興味深いのは、博士が恋人の科学記者ヴェロニカに「君もテレポッドに入ればめちゃくちゃ元気になるよ」と勧めて拒絶されるシーンです（ちなみに、2人を演じたジェフ・ゴールドブラムとジーナ・デイヴィスは当時、実生活でも恋人でした）。嫌がるヴェロニカに、博士は「君は社会の常識的な肉しか知らない。肉に対する社会の病んだ恐怖を貫けない。俺は肉のヴェールを貫くことについて話しているんだ！」と怒鳴って出ていく。〝貫く〟は英語で〝penetration〟です。これはセックスにおける挿入を意味する言葉ですが、ここでは通常の人間のセックスを超えて、自身の肉そのものを切り開いて、新しい肉へと変容する〝penetration〟が語られている。「新しい肉（the new flesh）」は、人間の体とビデオが一体化してしまう『ヴィデオドローム』でもキーワードです。クローネンバーグは映画を通して、肉の変容について一貫して考えているのです。

博士の肉体の変容の過程で、注目すべきポイントが3つあります。まずは、博士が蝿と融合してしまったと気づき、「コンピューターが僕たちを結合（splice us together）してたんだ」と言うところ。〝splice〟という動詞は、DNAの編集と同時に、フィルムの編集も意味する言葉です。つまり、映画を〝splice〟することと、生物のDNAを〝splice〟することの重なりが示唆されている。映画を編集することは、新しい肉を生み出すことなのです。

もうひとつは、変容途上の博士がドーナツを食べようとしたまさにそのとき、ドーナツに白い液体を吐いてしまうシーン。これは、蝿のように食物を体外で溶かして吸うためだとあとで説明されるのですが、食物という異質なものを自己に同化する、自他の区別をまさにヌチョヌチョに溶かしてしまう「肉」の姿です。

3つ目は、博士の印象が、ヌチョヌチョしてはいるけど、知的であり続けること。なぜなら、言葉が喋れるから。たしかに、まず唇が変化して、〝FLY〟の〝F〟がうまく言えなくなる。次に歯が抜けて、〝TEETH〟

『ザ・フライ』©Album/aflo『ヴィデオドローム』『スキャナーズ』©Everett Collection/aflo

a History of Horror Films '50s

CTHULHU

オカルトと
クトゥルフ神話。

『エクソシスト』(1973) の大ヒット以降、超自然的な恐怖を扱うオカルト・ホラーが一世を風靡した。'80年代に入るとその余波が他国に広がった……かどうかは定かじゃないが、'80年代のイタリアで異形のオカルト・ホラーが誕生する。ルチオ・フルチ監督の『地獄の門』(1980) と『ビヨンド』(1981) だ。

物語はあってなきようなもの。目を覆わずにはいられないほど残虐な身体破壊描写の波状攻撃が苦行のように続くこの2作に、申し訳程度のオカルト味を添加しているのが、クトゥルフ神話だ。大枠としては古代の地球は謎の生物が旧支配者として君臨していて、それが現代に蘇るという発想の架空の神話である。創始者は小説家のH・P・ラヴクラフト。『地獄の門』の舞台であるダンウィッチという町も、『ビヨンド』に登場する魔術書「エイボンの書」も、この神話からの引用なのだ。

クトゥルフ神話と映画の蜜月は長い。ラヴクラフト作品映画化第1号は『襲い狂う呪い』(1965) といわれているが、この神話の要素を取り入れた作品はそれ以前にもある。また、近年こうしたクトゥルフ・オカルト・ホラーが、流行りつつあるらしい。狂気に陥ってドナルド・トランプ前大統領みたいな喋り方になるニコラス・ケイジの演技が素晴らしい『カラー・アウト・オブ・スペース—遭遇—』(2019) や、ドラマではあるがジョーダン・ピールが製作総指揮を務めた『ラヴクラフトカントリー 恐怖の旅路』など良作が多いので、注目すべし。

Film
ビヨンド
ルチオ・フルチ／1981年／イタリア／87分

ルイジアナ州にある「セブン・ドアーズ・ホテル」の地下で、現世と地獄を繋ぐ門が開かれ、ホテルの新米オーナーであるライザは、地獄からやってくる死者たちに襲われる。

Film
ヴィデオドローム
デヴィッド・クローネンバーグ／1983年／カナダ／89分

ケーブルTV会社社長のマックスは、アンダーグラウンドで流通している拷問ビデオ「ヴィデオドローム」にのめり込む。そのうちに、彼の周囲で奇妙な現象が巻き起こる。彼はビデオの生みの親である教授に接触を図るが……。

Film
スキャナーズ
デヴィッド・クローネンバーグ／1981年／カナダ／104分

人間の神経に接続してコントロールする特殊能力"スキャナー"を持つベイルは、ある警備保障会社に要請されて、同じ能力で世界の破滅を目論むレボックと戦うことに。スキャンされた男性の頭が爆破する描写が衝撃的だ。

の"TH"が言えなくなる。そうやってどんどん言葉が崩れていくんだけど、それでも言語と、言語に象徴される理性は残っているんです。最後の変容が起こるのは、博士が自分の子供を妊娠している恋人に、3人でひとつに融合しよう、ひとつの肉の中で完全な家族になろうと、テレポッドに無理やり連れ込もうとして抵抗されるとき。恋人の手が博士の顎に当たって、顎がメキョッと取れてしまう。顎が取れちゃうともう喋れない。奇妙な音が漏れるだけ。と同時に、博士の顔がバリバリッと割れて、手の中から虫の鉤爪みたいなものが出てきて、博士は完全な蝿人間になってしまう。肉というヌチョヌチョしたものの中にある、言語というものの不思議さが、ここでは感じられます。

ラストシーンは本当に衝撃的です。完全な蝿人間となった博士が、恋人と融合しようとする途中で邪魔され、テレポッドの外に出ようとした瞬間、コンピューターが作動してしまう。その結果、蝿人間の肉体とテレポッド装置が融合してしまうんです。テレポッドの扉が開くと、ヌチョヌチョになった蝿人間の体に、さらに金属がめりこんだ新しい肉体がドーンと飛び出してくる。蝿＋人間が融合するところからさらに進んで、蝿＋人間＋機械が融合する。これはつまり、クローネンバーグの思考においては、「肉」が生物の領域に閉じてないということ。生物も非生物も広い意味で「肉」であり、融合することができる。融合した生命がどれくらい生きられるかはわからない。だけど、人間もその一部であるところの肉の論理は、ある制約を解除すると、止めることができなくなる。その止めどない肉のドライブっていうのが、蝿も機械ものみ込んで進行していく。その止めどなさの、造形的であると同時に思想的な説得力が、『ザ・フライ』では行くところまで行っている。本当にパワフルな映画だと思います。

最後に、現在においてこうしたクローネンバーグの思想を受け継いでいる表現として、ニール・ブロムカンプ監督の『第9地区』(2009)を挙げたいと思います。この作品に登場する宇宙人の「声」がとにかくいい。手掛けたのは、サウンドデザイナーのデイヴ・ホワイトヘッド。どうやって作ったのかというと、まず自分の声で宇宙人の台詞を読む。そして、10%くらい人間の声を残しつつ、子音をいろいろな昆虫の立てる音に置き換え、母音は野菜の表面をこすったりする音に置き換えているんです。その音を聞いていると、自分の耳の中から未知の生物が生えてくる感じがする。音を介して別の生物と混ざり合うような感覚が、観客の肉体にも生々しく起こるんです。シックで細かい質感の視覚表現が全盛の21世紀映画において、ヌチョヌチョの美学は音響に引き継がれているんじゃないかと思います。

私が〝Jホラーの先駆者〟と呼ばれるようになったのは、ビデオ専用映画『ほんとにあった怖い話』（1991〜1992）シリーズを手掛けたのがきっかけです。読者から募集した心霊体験を描く同名漫画が原作なんですが、なぜ作ろうと思ったかというと、私自身が子供の頃に心霊体験をしていたからなんです。

小学3年生の頃、学校から帰宅して、2階の自室に行くために階段を上っていると、廊下を曲がったところを、男の人がスーッと歩いているのが見えたんです。下から見上げてたので、見えたのは腰から上だけなんですが。最初は親父かなと思ったんですけど、そんなはずはない。私の家は、祖父と祖母、それから両親と5歳年上の兄貴と私の6人で生活をしていたのですが、当時の私は3年生なので、おそらく帰宅したのが16時くらい。祖父も父も仕事だし、兄も学校に行っているんです。おかしいなと思ってそのまま見ていたら、その男の人は廊下の突き当たりにある両親の部屋に、ふすまを開けずに入ってしまった。要するに、すり抜けてしまったんです。それで「あれ？　これ変だ」と。ただ、変だと思っただけで、そのときは怖くありませんでした。それで台所で夕飯の支度をしているお袋に、「お客さん来てた？」って聞いたら「来てない」と言う。だから、「2階で人を見たよ」と訴えたんですよ。すると、お袋がこう言うんです。「ノリくんね、そういうことを学校で話したらみんなに嫌われちゃうよ」って。意味はよくわからなかったけど、自分の部屋でランドセルを下ろした瞬間、「え、これって幽霊!?」と急に怖くなってきて。客観的な証拠はないし、今だったら心理的な何かが見せた幻覚の可能性を考えることもできるんですが、当時はただただ怖かった。以来、幽霊とか心霊現象に興味を持つようになったんです。

その数年後です、映画の『エクソシスト』（1973）を筆頭にいわゆるオカルトやホラーが爆発的に広がったのは。私もその恩恵を受けるわけですが、日本の心霊研究の

Film
『ほんとにあった怖い話／第二夜』
鶴田法男／1991年／日本／60分

「霊のうごめく家」が収録された『ほんとにあった怖い話』第2弾。その他、夜の体育館で肝試しをする少女たちの心霊体験を描く「夏の体育館」など全3話が収録されている。ビデオマーケットで配信中。

a History of Horror Films '90s

J-HORROR

世界に影響を与えるJホラー。

これまで映画に登場する幽霊はこれみよがしに驚かしてくるのが常だった。その逆転の発想で一世を風靡したのが'90年代に花開いたJホラー。先駆者が語る、その誕生秘話とは？

鶴田法男

つるた・のりお｜映画監督。1960年、東京都生まれ。主な監督作『リング0 バースデイ』『予言』『おろち』『POV～呪われたフィルム～』など。近年は『恐怖コレクター』などをはじめ、児童小説の執筆も手掛けている。

『ほんとにあった怖い話』©1991朝日ソノラマ、ジャパンホームビデオ
『呪怨 劇場版』©「呪怨」製作委員会
『リング』©1998「リング」「らせん」製作委員会
『ブレア・ウィッチ・プロジェクト』©Everett Collection/aflo

a History of Horror Films '90s

MOCKU-MENTARY

疑似ドキュメンタリーのリアリティ。

ホラー映画に本当の怖さをもたらすものは何か？　言うまでもなくリアリティだろう。「本当にあったのかも……」と思えるものが一番怖いに決まっている。これを手っ取り早く担保してくれるジャンルに、フィクションをドキュメンタリー風に撮ることで、実際に起きた出来事かのように見せるモキュメンタリーがある。ドキュメンタリーの撮影班が、アマゾンの奥地で残虐な原住民を撮ってしまったという体裁の『食人族』(1980)がホラーでは有名だ。一般的な劇映画において、カメラマンは黒子に徹さねばならないことになっている。しかし、こちらはPOV、つまり、誰かが回していることを強く感じさせるカメラの視点で撮られる。"映画らしさ"を手放すことで、"本当らしさ"とそれがもたらす恐怖を手に入れるのだ。

'90年代に入り、これをより洗練させたのが『ブレア・ウィッチ・プロジェクト』(1999)だ。こちらは魔女伝説を題材としたドキュメンタリー映画を撮影するために、森へ入ったまま消息を絶った者たちが残した映像という体裁。『食人族』の時代にはフィルムカメラだったが、こちらでは部分的に民生用ビデオカメラが使われた点が、"映画らしさ"をより消すことに一役買っている。このように、ホラーは映画らしさを手放してでも、観客にとって身近な映像メディアを貪欲に取り入れることで進化してきたと言ってもいい。全編Zoom映像で製作されたホラー『ズーム／見えない参加者』(2020)は、その最新型と言えるだろう。

Film
ブレア・ウィッチ・プロジェクト
ダニエル・マイリック、エドゥアルド・サンチェス／1999年／アメリカ／81分
3人の大学生が魔女伝説を題材にしたドキュメンタリーを撮影すべく森に入る。3人はそのまま消息を絶ち、森には彼らが撮ったフィルムとビデオだけが残されていた。

第一人者である中岡俊哉さんが出された『恐怖の心霊写真集』シリーズと『恐怖新聞』をはじめとするつのだじろうさんの漫画には特に影響を受けました。これは本当に怖い。だけど、同時にこういう体験をしているのは私だけじゃないんだという気持ちにもしてくれた。一方で、当時の日本のホラー映画は、すべて嘘っぱちに思えた。「四谷怪談」とかを原作にしていて、時代背景は現代じゃないし、出てくる幽霊は「うらめしや」でしたから。しかも、幽霊が登場すると赤とか青の照明が当たり、「ひゅーどろろ」という音楽が流れる。私が見たものとは全然違います。

そんなふうに過ごしながら大学を卒業して、映画好きなんで映画ビデオのソフト販売会社に就職するのですが、そうこうするうちにビデオ専用映画が作られるようになって、「待てよ」と。ビデオだったら、私がかつて見たような形で幽霊をちゃんと描いた作品が作れるんじゃないかと思ったんです。それで『ほんとにあった怖い話』の権利を預かって作ったら、私が考えていた以上にヒットして、シリーズ化もされた。それがすべての始まりですね。

あのシリーズは短編オムニバスなんですが、なかでも話題になったのが、2作目に収録された「霊のうごめく家」です。とある古い一軒家に引っ越してきた平凡な家族が幽霊に出会ってしまうという話なのですが、原作を読んだときからこれなら私自身の体験に近いし、それを再現すればかなり怖いものができると思って挑みましたね。例えば、作中ではお母さんが畳についた謎のシミを雑巾で拭いていると、後ろの扉が音もなく開き、振り返ると幽霊が立っているというシーンがあります。そのときお母さんは驚かずに、じーっと見ているだけという演出をしました。これなんかは見た瞬間には幽霊とわからなかった私自身の経験の反映です。とはいえ、こうした表現は、私の中だけから出てきたものではありません。例えば、『ウエスト・サイド物語』(1961)で知られるロバート・ワイズ監督の『たたり』(1963)やジャック・クレイトン監督の『回転』(1961)が描く幽霊描写は、私の体験にもかなり近く、影響を受けています。

Film
『リング』
中田秀夫／1998年／日本／95分
テレビ局のディレクターである浅川は、見た者を1週間後に死に至らしめる「呪いのビデオ」の噂を耳にする。調査を開始した浅川は、そのビデオが実在することを突き止める。Blu-ray¥4,180 (KADOKAWA)

「霊のうごめく家」は「画期的な幽霊表現だ」と黒沢清監督や中田秀夫監督、それから清水崇監督から評価を受けることになります。黒沢監督とお話したとき、「ホラー映画はドラキュラ城みたいなところに行って怖い目に遭わないといけないんじゃないかと思っていた。だけど、『霊のうごめく家』を観て、普通の家でも十分に怖くなるんだと気付かされた」とおっしゃっていました。私自身は意識してませんでしたけど、日常の延長で幽霊に会うほうが、怖いわけですよね。そんな感じで、後にJホラーのブームが本格化していく中、こうした表現が定着していくことになったというわけです。

他の監督のJホラー作品で衝撃を受けたのは、やはり中田監督の『リング』(1998)ですね。すごいなと思ったのは、最初からガンガン脅かさないところです。貞子がテレビから這い出してくるシーンを除けば、びっくりするのは、とある登場人物が押し入れで死んでいるところくらい。でも全体的に嫌な感じがずっと続く。それはやっぱりすごいことだと思います。『呪怨』(2000~)シリーズも「やられたな」と思いました。ただ、清水監督は、私や中田監督とは違う方向性でやろうとしている。いきなり手がビュッと出てきたり、フィジカルな恐怖表現ですよね。私はメンタルな表現を追求してきたので、「その手があったか」と思いました。だけど、首が飛んだりゾンビが出てきたりはしない。そのバランスが素晴らしい。

ジェームズ・ワン監督をはじめ、最近のハリウッドのホラーを観ていると、「相当Jホラーの研究しているな」って描写がよくあります。幽霊にしても、かつてだったらもっとこれみよがしに見せたところを、あっさり描いていたり。我々が作り出したJホラーは、そうやって健全な形で発展していっているんだなと思います。正直、ちょっと悔しいなという気持ちもなくはないですが(笑)。

Film
『呪怨　劇場版』
清水 崇／2002年／日本／92分
女子大生の仁科は、介護ボランティアで訪れた老婆の家で、不気味な体験をする。そこは強い怨念を抱いたまま死んだ者たちに呪われた家だったのだ。Blu-ray¥2,750 (NBCユニバーサルエンターテイメントジャパン)

〝落差〟が、ホラー映画が観客に恐怖を与える上で、もっとも重要な原理のひとつだと私は思います。例えば、スタンリー・キューブリック監督の『シャイニング』（1980）には、主人公の息子が三輪車で誰もいないホテルの廊下をぐるぐる巡るシーンがあります。カメラはそれを背中から追うことを通して、観客にこのホテルのデフォルトの状態をまず認識させる。すると、その後にまた息子がぐるぐる巡るシーンでは、231号室のドアが少し開いているのを目にするだけで、観客は恐怖を覚える。これなんかは、典型的な〝落差〟による恐怖演出です。

逆から言えば、その映画を下支えする世界観のデフォルトが何であるか、観客にしっかりと認識させることがとても大事になってくる。でないと、何が〝落差〟かも伝わらないですから。しかし、それさえきっちり設定できれば、ドアをちょっと開けただけでも恐怖を作り出せる。こうしたコスパのよさも手伝って、'80年代以後のアメリカでは「郊外で暮らす若者の平和な日常」をデフォルトとし、「殺人鬼が襲ってくるという非日常」で〝落差〟をつけるスプラッターが大量生産されることになります。

そうした前提を踏まえて『スクリーム』（1996）の新しさについて考えてみましょう。本作もまた、「郊外で暮らす高校生の平和な日常」をデフォルトとする学園スプラッターには違いありません。大きく異なるのは、その高校生たちが過去のホラー映画を普通に観ていて、「変な電話には出ちゃいけない」とか「殺人鬼が迫ってきたら2階へ行っちゃダメ」とか、ホラー映画でお約束とされていたことに対してどんどんツッコミを入れていること。つまり、これまでのホラーで〝落差〟に該当した「殺人者が迫ってくるという非日常」が、日常的な娯楽として消費されてしまっているんです。デフォルトとしての日常のベースが、拡大されていると言ってもいい。その上で整理すると、『スクリーム』では「ホラー映画を通してフィクションの恐怖を楽しんでいた高

Film
スクリーム
ウェス・クレイヴン／
1996年／アメリカ／111分

舞台はカリフォルニア州の田舎町の高校。そこに通う学生たちが、謎のマスクをかぶった殺人鬼に次々と惨殺される事件を描く。果たして、犯人はどこのどいつなのか？　最初の犠牲者は若き日のドリュー・バリモアが演じている。DVD¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

©Alamy/Aflo

a History of Horror Films '90s

SELF PARODY

自己模倣するホラー映画。

1996年に公開された学園スプラッター『スクリーム』は、劇中で過去のホラー映画に言及するという点が斬新だった。しかしそれは“終わりの始まり”だったのかもしれない……。

入江哲朗
いりえ・てつろう｜アメリカ思想史研究者、映画批評家。1988年、東京都生まれ。著書に『火星の旅人──パーシヴァル・ローエルと世紀転換期アメリカ思想史』（青土社）がある。現在、脳筋映画論を準備中。

校生の平和な日常」をデフォルトとし、「ゴーストフェイスというまるでホラー映画のような本物の殺人者に脅かされる非日常」で〝落差〟をつけ、恐怖を演出している。加えて、劇中のツッコミによって、過去のホラー映画との〝落差〟もアピールしています。要するに、過去のホラー映画の「日常＝平和」対「非日常＝恐怖」という構図を、「日常＝平和＋フィクションの恐怖」対「非日常＝本物の恐怖」というふうに組み替えた点が、『スクリーム』の斬新さでした。

それはそれで確かに怖い。ただですね、この複雑な〝落差〟を取り入れてしまったことにより、『スクリーム』はかなり微妙な問題をも招くことになります。というのも、観客はだんだん、フィクションの殺人鬼と本物であるところのゴーストフェイスを区別しづらくなってくるんです（笑）。もちろん、劇中の登場人物には区別がつくんでしょうが、観客にとってはどちらもフィクションなわけですから。しかも、『スクリーム』はその後にシリーズ化されていくのですが、前作で非日常とされたものがネタ化され、どんどん日常の側に回収されていくんですよ。例えば『スクリーム2』（1997）は、前作の事件が書籍化され映画化されたという設定になっており、冒頭から街中にゴーストフェイスのコスプレイヤーが溢れている（笑）。1作目では「過去のホラー映画とは違うんだぜ！」ということをアピールするために、劇中でそれらの作品にどんどんツッコミを入れていたわけですが、第2作ではその第1作自体がツッコミ対象になっています。第1作の10年後を描く『スクリーム4：ネクスト・ジェネレーション』（2011）で、ある警察官が「ある世代にとっての悲劇は次の世代にとってのジョークだ」と呟きますが、前の世代どころか1年前の作品さえジョークにしてしまうのが、『スクリーム』シリーズの特徴なんです。こうなると、その映画で恐ろしいとされているものを、最初からネタ化する観客も増えはじめます。

事態を更に複雑にしているのが、『スクリーム』シリーズなど'90年代のホラー映画をパロディしたコメディ『最終絶叫計画』（2000）です。『ホット・ショット』（1991）をはじめ、パロディ映画はそれまでにもありましたが、『最終絶叫計画』が一線を画しているのは、まず配給会社が『スクリーム』と同じくディメンション・フィルムズであること。つまり、同じ会社が同じ資源を使いまわしたセルフパロディなわけですね。恐るべき商売魂です。また、『ホット・ショット』は『トップガン』や『ランボー』シリーズを主にパロディしているのですが、オリジナルは大金と俳優の筋肉で勝負しているわけですから、パロディ版は粗末でもいいし、粗末であるからこそ笑いを誘うという構造になっています。ですが、ホラー映画の場合、そういう作りにはなってない。先ほど述べたようにデフォルトとしての日常あっての〝落差〟がホラー映画の肝なので、怖いものをずっと映しつづける必要はないし、日常のシーンをゴージャスにする必要もありません。実際、『スクリーム』も全体のうちの70分くらいはアメリカの何の変哲もない高校生が話をしているだけで、そこにちょくちょくゴーストフェイスのシーンが入るという作りになっています。その作りは実は『最終絶叫計画』も変わらない。するとどうなるか。流し見をしていると『スクリーム』なのか『最終絶叫計画』なのかわからないという事態が生じます（笑）。『最終絶叫計画』に登場する殺人鬼は、『スクリーム』と全く同じマスクをかぶっているだけですから。

『スクリーム』は「〝落差〟さえあればなんでも怖くなるでしょ！」という方向を突き詰めることで、ホラー映画の原理を純化させてしまった。その意味で偉大なる一歩だったかもしれません。しかし、突き詰めすぎた副作用として、「それが怖いのかどうかわからない」という極点までいってしまったのです。

'90年代はポストモダンの時代だと当時からよくいわれていました。その特徴は、あらゆるレベルで「オリジナル」と「コピー」の境目が曖昧になったこと。映画で言えば、CGの発達によりかなり本物らしくなった『ジュラシック・パーク』（1993）の恐竜などがわかりやすい例ですね。『スクリーム』シリーズにおける本物とコピー（パロディ）の区別しづらさも、こうしたポストモダン的な時代状況の反映と見ることができるでしょう。

21ST CENTURY 21世紀のホラー映画簡易年表。

a History of Horror Films 21C

これまでキーワードをとおして20世紀ホラー映画史を確認してきた。では、その後はどのように歩んできたのか。21世紀のホラー映画の重要なトピックスを年表形式で振り返る。

2001

『アルマゲドン』(1998)の監督として知られるマイケル・ベイが、仲間と映画製作会社「プラチナム・デューンズ」を設立。記念すべき1作目は『悪魔のいけにえ』(1974)のリメイク『テキサス・チェーンソー』(2003)。そのヒットを受け、同社では『13日の金曜日』(2009)や『エルム街の悪夢』(2010)など、名作ホラーのリメイクを数々手掛け、リメイクブームの先陣を切った。

Film
テキサス・チェーンソー
マーカス・ニスペル／2003年／アメリカ／97分

1973年の夏、テキサスの田舎町を訪れた若い男女が、人肉で作ったマスクをかぶったレザーフェイスに襲われる。傑作『悪魔のいけにえ』のリメイクだが、残虐シーンは前作を凌がんばかりに気合が入っている。

2003

'90年代末からその存在を世界に知らしめた韓国映画は、21世紀に入るとホラーでも頭角を現す。先駆となったのは『箪笥〈たんす〉』(2003)と『4人の食卓』(2003)。前者は『ゲスト』(2009)としてハリウッド・リメイクもされた。その後も、國村隼が謎の怪物を演じる『哭声／コクソン』(2016)や、ハリウッド顔負けのゾンビもの『新感染 ファイナル・エクスプレス』(2016)など良作を発信し続けている。

Film
新感染 ファイナル・エクスプレス
ヨン・サンホ／2016年／韓国／118分

ゾンビ・ウイルスが感染爆発した韓国を舞台に、高速鉄道の中でサバイブする乗客たちを描く。前日譚『ソウル・ステーション／パンデミック』や続編『新感染半島 ファイナル・ステージ』もある。DVD ¥5,170（ツイン）

2006

トビー・フーパー、ダリオ・アルジェント、ジョン・カーペンターをはじめ、世界のホラーの巨匠13人によるオムニバス作品『マスターズ・オブ・ホラー』の第1期がアメリカのケーブルテレビで放送開始。日本からは三池崇史が参加し、岩井志麻子の同名小説が原作の『インプリント～ぼっけえ、きょうてえ～』を監督。しかし、その残虐すぎる内容が物議を醸し、アメリカでは放送が見送られた。

2007

「グラインドハウス」とは、'60年代から'70年代に存在した低予算映画を数本立てで上映する映画館のこと。その血なまぐさい上映作にオマージュを捧げたオムニバス『グラインドハウス』(2007)が公開。映画本編2本と、実在しない映画の予告編5本によって構成。指揮を執ったのはクエンティン・タランティーノとロバート・ロドリゲス。タランティーノ監督作『デス・プルーフ』は、同年のカンヌ国際映画祭でも上映。

Film
デス・プルーフ
クエンティン・タランティーノ／2007年／アメリカ／113分

耐死仕様のマッスルカーで女性を死に追いやることが趣味のスタントマン・マイクと、パワフルな女性たちの攻防。こちらは『グラインドハウス』の1編をアップグレードしたバージョン。Blu-ray ¥2,075（ブロードメディア・スタジオ）

2009

結合双生児分離手術の名医が、人間の口と肛門を繋げて「ムカデ人間」を創造する『ムカデ人間』(2009)が公開。そのおぞましいアイデアの炸裂っぷりは、『ソウ』(2004)シリーズを皮切りにブームとなった「トーチャーポルノ」(拷問ポルノ)の変異体と呼べるかもしれない。同じ系譜の作品には、「人間をセイウチに変える手術」を偏愛する老人が主人公の『Mr.タスク』(2014)もある。

2011

タイ・ウェスト監督の『インキーパーズ』(2011)が公開。'00年代、アメリカのインディー映画界では、〝マンブルコア〟というムーブメントが勃興した。簡単な機材で撮影されたゆるーい会話劇が特徴であるこのムーブメントに、ホラー味をプラスしたのが〝マンブルゴア〟。ウェスト監督はその筆頭とされていた。しかし、本作ではマンブル感は抑えられ、かなり本気のホラーが目指されている。

Film
ザ・ヴァンパイア ～残酷な牙を持つ少女～
アナ・リリー・アミールポアー／2014年／アメリカ／101分

イランの架空の街"バッドシティ"に夜ごと現れる孤独な吸血鬼の少女と、人間の青年の運命的な出会いを、美しいモノクロームで綴る。少女がボーダーTを着て、スケートボードで移動するという設定が新鮮だ。DVD ¥4,180（ギャガ）

Drama
ツイン・ピークス The Return
デヴィッド・リンチ／2017年／アメリカ／全18話

クーパーは謎の赤い部屋で女性と出会う。彼女は25年前に死んだはずのローラ・パーマーだった。Blu-ray『ツイン・ピークス Blu-ray ザ・テレビジョン・コレクション』¥14,080（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

Film
アナベル 死霊館の人形
ジョン・R・レオネッティ／2014年／アメリカ／99分

1970年代初頭、ジョンは妻ミアにアンティーク人形をプレゼントする。その日から、夫婦の周辺で奇妙な出来事が多発するようになるのだった……。Blu-ray ¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

2013

'00年代のホラー界を『ソウ』シリーズで一世風靡したジェームズ・ワン監督の『死霊館』(2013)が公開。その後、シリーズ化されていく。前者が〝人間の怖さ〟を描いているのに対し、超常現象研究家、心霊現象作家のウォーレン夫妻が主人公の後者が取り上げるのは、〝怨霊の怖さ〟。第1作の冒頭に登場する呪われたアナベル人形は、続く『アナベル 死霊館の人形』(2014)で主役級の役割に。

2014

男性社会の映画界において、ホラーは比較的に女性監督が活躍しやすいジャンルだったといわれているが、作られた数はそう多くなかった。しかし、アナ・リリー・アミールポアー監督の『ザ・ヴァンパイア～残酷な牙を持つ少女～』(2014)、ジェニファー・ケント監督の『ババドック 暗闇の魔物』(2014)を筆頭に、ここにきて独自のテーマをホラー的に料理する女性監督の躍進が目立つようになる。

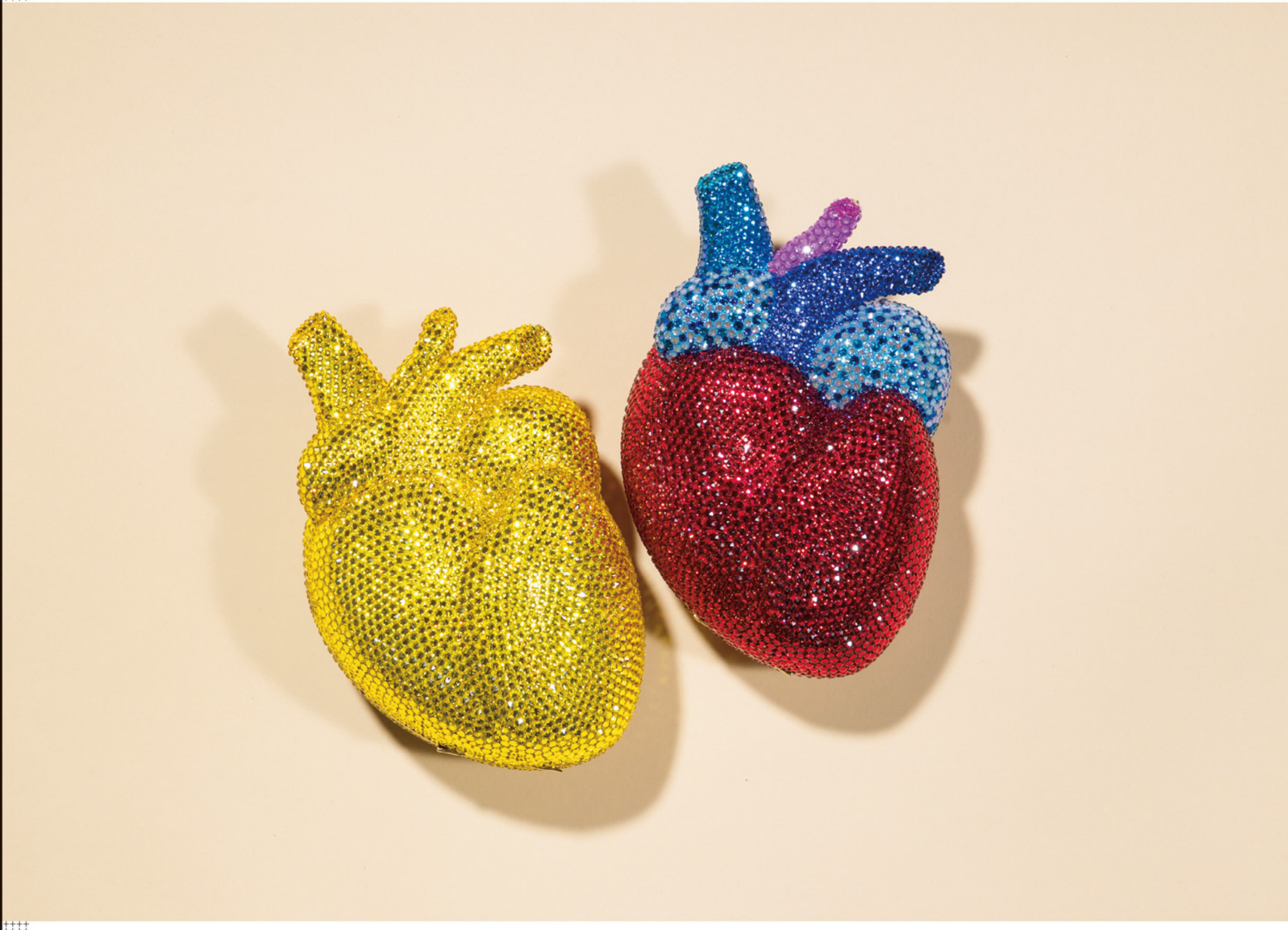
2017

鬼才デヴィッド・リンチが監督し、全世界で社会現象を巻き起こした伝説の連続ドラマ『ツイン・ピークス』(1991～1992)の25年後を描く『ツイン・ピークス The Return』(2017)が放送開始し、ファンを驚かせた。同作では田舎町で起きた殺人事件の真相が、数々の奇想を織り交ぜながら描かれる。また、この年はジョージ・A・ロメロ、トビー・フーパーなど、巨匠たちが相次いで亡くなった。

2020

『クワイエット・プレイス 破られた沈黙』(2020)がNYでプレミア公開される。少しでも音を立てると怪物に襲われる恐怖を描いた『クワイエット・プレイス』(2018)の続編となる本作は、息をしてはいけない『ドント・ブリーズ』(2016)や見てはいけない『バード・ボックス』(2018)など、'10年代からブームの一途をたどる〝○○してはいけない〟ホラーの一作と言える。

『テキサス・チェーンソー』©Album/aflo 『新感染 ファイナル・エクスプレス』© 2016 NEXT ENTERTAINMENT WORLD & REDPETER FILM. All Rights Reserved. 『デス・プルーフ』©Everett Collection/aflo 『アナベル 死霊館の人形』©2014 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC. AND RATPAC-DUNE ENTERTAINMENT LLC 『ザ・ヴァンパイア～残酷な牙を持つ少女～』©Shahre Bad Picture, LLC 『ツイン・ピークス The Return』©2020 Twin Peaks Productions, Inc. All Rights Reserved. ©2020 CBS Studios Inc. CBS and related logos are trademarks of CBS Broadcasting Inc. All Rights Reserved. Twin Peaks ©Twin Peaks Productions, Inc. All rights reserved. SHOWTIME and related marks are registered trademarks of Showtime Networks Inc., a CBS Company.



SENSE OF HORROR

グッチの心臓。

#2

思えば、〈グッチ〉にホラーは欠かせない。2018年プレフォールコレクションをテーマに、イタリアンホラー映画の巨匠、ダリオ・アルジェントの名作『インフェルノ』にインスピレーションを受けた写真集を出版。続く秋冬コレクションでは、自らの頭部を模した頭像を抱えたモデルがランウェイを颯爽と歩いた。デザイナーのアレッサンドロ・ミケーレのホラー好きは知ってるつもりだったけれど、今季のグッチ アリア コレクションには度肝を抜かれた。いや、ハートを射抜かれたと言ったほうが正しいか。だって、ランウェイを闊歩するモデルが肩からぶら下げたミニバッグが、紛れもなく心臓だったから。

よく見るとそれは、大きさも形も理科の教科書で眺めたような精細な心臓の形そのもの。ゴールド加工されたメタルの上から青、水色、紫にピンク、赤のスワロフスキーをふんだんにちりばめた、途方もなくゴージャスな臓器だった。実際に両手で持ってみると重量も生々しく、自らの心臓を手にしているような感覚に頭が混乱してしまう。でも、その一方で神秘的な何かに心が満たされるのも事実だ。それはまるで100周年を迎えた新生〈グッチ〉に新しい血液を送り出す〝シンボル〟を持ち歩いているような……。そう思ったら、なんだか誇らしい。シティボーイもシティガールも今年の秋冬は大切な何かを心臓内部にしまって、肩からぶら下げてみませんか。

2018秋冬 コレクション

グッチ アリア コレクション

Courtesy of Gucci

ボタンのようなクロージャーをギュッと押すとパカッと開く心臓。内部には、華奢なチェーンが仕込まれ、まるで本物みたく赤いのもホラーである。右¥913,000、左 参考商品(ともにグッチ/グッチ ジャパン クライアントサービス☎0120·99·2177)

ENDLESS HORROR TALK

まだまだ尽きないホラーの話。

案内人

藤井健太郎

テレビプロデューサー

ふじい・けんたろう｜1980年、東京都生まれ。2003年にTBSに入社。現在『水曜日のダウンタウン』の演出を手掛ける。年末に放送される『クイズ☆正解は一年後』では謎のインスタグラム企画が進行中。@seikai1nengo

**あれも怖い、これも怖い、って話し始めると時間はあっという間。
ホラーの世界は広大だ。
ABCで語り切れなかったホラーの話をもう少々。**

水曜日のダウンタウン

MCに浜田雅功、パネラーに松本人志を据え、芸人や芸能人が持ち寄る様々な説を検証するバラエティ。OP曲はPUNPEEが手掛け、BGMにもHIPHOPが多用されている。クロちゃんが主役の回を8月末に放送予定。TBS系水曜22:00〜。

THEME 1 OWARAI
お笑いとホラーってなんだか似てないか？

『エクソシスト』の、例の階段ブリッジシーンを観ていたときのこと。ふと、ここに笑い声を足したらコントの一場面に見えるのでは……といけない考えがよぎった。でも「ぼくの好きなホラー」で取材したこがけんさんも「笑いと恐怖は表裏一体」と言ってたし、ホラーって、角度を変えれば笑いになる気がする。そこで思い出したのが、『水曜日のダウンタウン』。「フューチャークロちゃん」は衝撃のエンディングに鳥肌が立ったし、家や車の中に「人がいる」シリーズもゾッとする。笑いと恐怖の相関関係が気になって、プロデューサーの藤井健太郎さんに話を聞きに行った。

「うーん、笑いと恐怖、みたいなことを意識したことはないですねえ。視聴者を怖がらせようとも、尖った企画をやろうとも思っていない。基本はその時々でどんなことが起こったら面白いかなって考えているだけなんです」

ホラー映画は普通に観るけれど、番組に転用しようと思ったことはないという。でも、ベッド下で他人が生活する「クロちゃんのベッドの下ギリ人も住める説」(Paraviで配信中)なんて、ホラー映画ばりの傑作だ。仕掛け人が流し忘れた大便でクロちゃんが「誰かいる！」と気づくラストは、爆笑と戦慄が襲った。

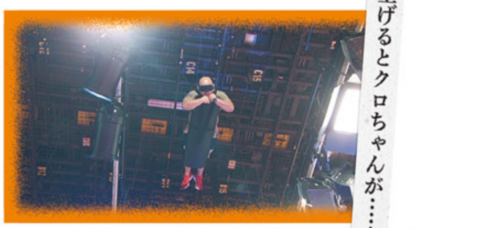
「意外性なんだと思います。『こんなところにこんなものが』と思うと、びっくりするし笑っちゃう。ナレーションもテロップも『恐怖の大便』と煽りましたけど、実際知らないウンコがあったらめちゃくちゃ怖い。でも傍から見ればウンコを怖がる姿は滑稽でもある。その滑稽さをどう打破するのか、どう乗り越えるのか、そこに興味が湧くんでしょうね」

そうか、意外性の構図が共通しているんだ。

「番組を作るときは笑いだけに向かっているわけではなくて、なるべく他で見たことがない面白いものを作りたいと思っているんです。ホラー映画を観て面白いと感じるように、ともすれば恐怖も面白さの中に入っている。そういうものが僕の好みなんだと思います」

ホラーのオモシロは怖さの引き立て役にすぎない。一方お笑いは、笑いと恐怖がいっぺんに押し寄せる。その刺激と破壊力たるや。『水ダウ』の説は、ホラー1本分より濃ゆし！

見上げるとクロちゃんが……。



ある日、自分そっくりのツイッターアカウントが作られているのに気づいたクロちゃん。つぶやきどおりの出来事が身の周りで起こり始めて……。「フワフワした気分」のツイートを最後にVTRは終了。ダウンタウンやゲストが上を見上げて絶叫する様は、まさにスクリームホラー！「フューチャークロちゃん」(DVD10巻に収録。¥2,750)。

行動がすべて予告されていて……。

上／答えが1週間以内に起きた出来事の中にある、『SAW』的な脱出クイズ。ラストのあとに“真のラスト”が訪れる二重構造が怖い！「リアルスラムドッグ$ミリオネア」(Paraviで配信中)。下／実は知らない人がずっとそばにいた、トレンディエンジェル斎藤司さんの「1週間予告ドッキリ」(未映像化)は、『イット・フォローズ』のよう。落とし穴にまで！

そこに、知らない人がいる……。

「起きたら人がいる」「ベッドに人がいる」と進化を続ける「人がいる」シリーズ。右／マテンロウのアントニーさんに3年前のドッキリを再検証。「『後部座席に人がいる』が結局一番怖い説」(Paraviで配信中)。左／シリーズ第1作、ジャングルポケット斉藤慎二さんによる「『開けたら人がいる』が結局一番怖い説」(DVD6巻に収録。¥2,750)。

text: Neo Iida

RAKUGO THEME 2

ホラーのクラシック、三遊亭圓朝の怪談噺を聴く。

ホラーが生まれる遥か昔から、古典芸能の落語には幽霊などを題材にした「怪談噺」というジャンルが存在する。毎年、夏になると寄席の演目に「怪談噺」の文字が並んで気になっていたけど、一体、何から聴いたらいいの？　そこで落語に関する著作も多い、構成作家の和田尚久さんを訪ねた。

「怪談噺は大きく2種類あります。一つは怪奇話をモチーフに笑いを取る、怪談風の滑稽噺。もう一つは、江戸の巷説などを取り込んだ純粋に怖い怪談です。落語は上方と江戸に大別されますが、怪談噺は江戸・東京で発展したもの。上方落語は興行会社の意向もあって笑えるネタが中心になったので、怪談が発展しなかった。江戸落語のなかでも幕末から明治にかけて活躍した三遊亭圓朝の作品はいまでもよく口演されています。ことに傑作とされる『牡丹燈籠』には落語的な怪談の要素が詰まっていると思います」

最も有名な部分のあらすじはこう。一度会っただけで惚れ合った新三郎とお露の二人。その後、再会することは叶わず、お露は恋煩いで死んでしまう。すると、死んだはずのお露が新三郎の家に訪ねて来る。喜んだ新三郎だが、後にそれは幽霊だとわかり、幽霊除けのお札を家に貼る。しかし悪どい夫婦が百両の金に目がくらんで札を剥がそうと……。

「圓朝の作品の面白さは、幽霊や死に神が出て終わりではなく、あくまで人間を描いたこと。江戸の古典にも怪談はありますが、それらは人を殺したらその怨霊が出てくるなど教訓譚の色が強い。『牡丹燈籠』では、新三郎とお露の話のあと、百両を手にした夫婦の人生が大金によって狂っていく様子が描かれます。『牡丹燈籠』の速記が刊行されたのは明治17年。近代的な価値観が流れ込む時代に、人間が環境の変化でどう変貌するか、という物語は大いにウケた。圓朝の現代性と言えます」

圓朝の音源は残っていないが、怪談噺を得意とした昭和の大名人、三遊亭圓生と林家彦六の「牡丹燈籠」の聴き比べから始めるのがおすすめ。「簡単に言うと圓生がモダンで彦六がクラシック。まずは圓生からが聴きやすいですよ」

案内人

和田尚久

放送作家、文筆家

わだ・なおひさ｜1971年、東京都生まれ。著書に『芸と噺と―落語を考えるヒント』(扶桑社)、『落語の聴き方楽しみ方』(筑摩書房)など。落語会のプロデュースも行う。ホラー映画も好きで、昨年のベストは『透明人間』。

林家彦六

はやしや・ひころく｜1895年生まれ、1982年没。八代目・林家正蔵であるが晩年は彦六と名乗った。しゃがれ声でスローテンポな、独特の間の取り方が特徴的で、怪談の語りにも丸みがある。ちなみに『笑点』の“キクちゃん”で有名な林家木久扇さんは彦六の弟子であり、林家彦六の逸話集「彦六伝」を持ちネタとし、モノマネも披露。

「牡丹燈籠」の「お札はがし」が収録。他の収録作品は「ちきり伊勢屋」「ガマの油」「天狗の鼻」。『八代目林家正蔵（彦六）名演集7』¥2,100（ポニーキャニオン）

六代目・三遊亭圓生

さんゆうてい・えんしょう｜1900年生まれ、1979年没。古今亭志ん生と並び称される落語家。芸風は端正かつ洗練された語り口が持ち味。怪談もハキハキとメリハリがあり、聴きやすい。一方で「〜げす」「〜がす」「〜やす」といった、江戸末期から明治初期の芸人が使った言葉を日常的に話した最後の人。記憶力が抜群で、持ち噺の数は300を超え、落語史上最多ともいわれる。

「牡丹燈籠」の最も有名な部分である「お露と新三郎」「御札はがし」が収録。ライナーノートには圓生の対談も。『圓生百席46』¥3,568（ソニー・ミュージック・ダイレクト）

円朝全集

圓朝が残した作品をまとめた全13巻のシリーズ。口演した内容を筆録した「速記」を中心に、当時の貴重な資料もまとめた、圓朝の語り口を知れる貴重な文献。第一巻に「牡丹燈籠」、第五巻にはこれまた圓朝を代表する名作怪談「真景累が淵」を収録。各巻¥8,800〜（岩波書店）

text: Ku Ishikawa

実は一番怖いかもしれないオーディオ・ホラーの世界。

RADIO THEME 3

うっかりラジオ番組で怖い話を聴くと、音だけなのに妙に想像が膨らんで相当怖い。最近はポッドキャストも人気だけど、音声メディアとホラーって相性いいのでは？と思っていたら、映画やドラマで多くのホラー作品を手掛ける三宅隆太監督がTBSラジオの伝説的なホラー番組『夜のミステリー』を、最新技術を駆使した音声ドラマとして復活させたらしい。さっそく話を聞いてみた。

「ホラー映画では、観ている人全員に〝同じ恐怖の対象〟を見せて怖がらせることができます。一方音声ドラマではそれができない。だからこそ聴いた人それぞれの過去の記憶や体験から、その人なりの〝違う恐怖の対象〟をいかに連想させるかが肝になります」

確かに、足音の主がわからない状況で「ドタドタ」と迫る音を聴くと、自分が一番怖い映像を無意識に思い描いてしまう。

「映像を作る上で音の怖さはとても重要です。効果音で不穏さを匂わせたり不安を煽ったりすることで、映像が更に怖く感じるんです」

とはいえ映像ありきで音の使い方を考えるのと、音だけの表現は別物。そこで今回、三宅さんは過去の『夜のミステリー』を聴き直し、音声による恐怖演出を試行錯誤したそう。

「当時のAM放送はモノラルで、かすかな物音で怖さを表現しようとしても聞き取れなかったり、伝わりづらく、どうしてもセリフに頼らざるを得なかった。今は高音質のポッドキャスト配信ですし、立体音響で聴かせることも可能です。昔は使えなかったような、小さな効果音も生かせます。ステレオイヤホンで聴いてもらえば、まるで自分の身に起きているかのような恐怖体験を味わえますよ」

聴く側に想像させる余地を残すよう、徹底的に計算された音。絵が見えないからこそ、没入しすぎて超怖くなるのだ。そんな『令和版 夜のミステリー』、音の立体感がありまくりなので、心臓が弱い人はご注意を……。

案内人

三宅隆太

脚本家、映画監督、スクリプトドクター

みやけ・りゅうた｜1972年、東京都生まれ。映画『クロユリ団地』の脚本や、『呪怨 白い老女』の監督・脚本をはじめ、テレビドラマ『ほんとにあった怖い話』『怪談新耳袋』シリーズなど、ホラー作品を多数手掛ける。

令和版 夜のミステリー

TBSラジオで1976年から放送されていたホラー番組『夜のミステリー』が復活。ホラー好きの間では、語り継がれるラジオ番組だ。リスナーから寄せられた恐怖体験や、オリジナルストーリーで構成。今回の『令和版 夜のミステリー』では、『体験実話シリーズ』と銘打ち、1話完結の10〜15分のショートドラマが展開。audiomovie.jp

photo: Kazuharu Igarashi　text: Ku Ishikawa

CATCHPHRASE THEME 4

観る前から怖い。ホラー映画の名作コピー。

8月公開の食人ホラー『人肉村』の予告編を見ていたら「超ド真ん中の鬼畜豪速球！！！！」というパンチラインが目に飛び込んできた。これもう笑わせに行ってるんじゃ、と思ったが確かにホラー映画のコピーには印象に残るものが多い。心霊現象や恐怖演出は言葉で説明しづらいから、工夫が必要だったのだろうか。調べてみると、過去には恐怖を呼び起こすための大胆な広告戦略も。『サスペリア』では、上映中あまりの恐怖にショック死した場合に1000万円を保証する死亡保険を用意。『サンゲリア』では「メモリアル・セミテル保証」と銘打ち、ショック死用にオアフ島の墓地を確保していた。これらは大掛かりなキャンペーンだが、コピーも負けてない。潜在的な恐怖心に気付かされる文学的な一本から、長州力風の名言まで。怖くてもついつい気になっちゃう歴代名コピー8選。

text: Ryota Mukai

宇宙では、あなたの悲鳴は誰にも聞こえない。

1『エイリアン』

Alien

リドリー・スコット／1979年／アメリカ／116分

幼い頃に誰もが一度は抱いたであろう宇宙に対する恐怖と、未知なる生命体への恐怖がリンクする名コピー。真っ暗闇の宇宙空間でエイリアンに襲われて、助けを求めて力の限り絶叫するも、空気のない真空では音は伝わらず誰の耳にも届かない。そんな絶対的な事実を突きつけられた絶望の断末魔が、この短い文章には漂っている。と思いきや、肝心の映画は宇宙“船内”が舞台の話。悲鳴はギャンギャン轟いているのだ。

5分前は人間だった！

2『ハウリング』

The Howling

ジョー・ダンテ／1981年／アメリカ／91分

え、じゃあ今はなんなの？　と咄嗟に疑問が頭をよぎるが、問題はそこではない。このコピーが伝えるのは、つまりは隣にいる友達も5分後には人間ではない可能性があるってこと！　価値観を揺さぶられるショッキングな一本だ。ちなみに冒頭の疑問の答えは狼人間。襲われた女性が療養に訪れたのは、狼人間のコロニーで……。顎がむくむくせり出し、体が膨らんで人間が変貌する様子を特殊メイクで表現したモンスタームービー。

人間で死にますか、それとも バタリアンで生きますか……

3『バタリアン2』

Return of the Living Dead Part II

ケン・ウィーダーホーン／1987年／アメリカ／89分

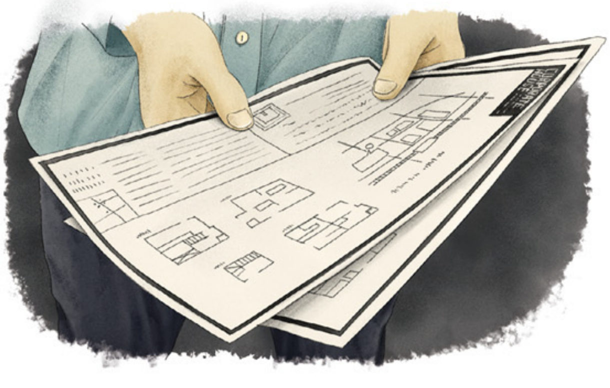
これぞ究極の2択。生きるか死ぬかと聞かれたら、生きるほうを選ぶ。だが、バタリアンってなんだ？　死と天秤にかけるくらいだから、生き延びてもロクなことがないのは目に見えている。実際、それはゾンビである。脳みそを食べて生き、自身は脳が破壊されても死なない（というか死ねない）。浴びるとゾンビ化するガスが覆いつつある街で奮闘する少年たちの物語。DVD¥1,572（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

KAIDAN THEME 5

シティボーイの本当にあった怖い話。

辿り着けない物件。

確か20年前のこと。ちょうど引っ越しを考えていて、いろんな物件サイトを覗いていまして。あるとき、理想的なマンションを目黒区で見つけたんです。当時の彼女（現在の妻）にも見せたら、とても気に入ってくれたので、サイトに記載された不動産業者にすぐ連絡を入れました。普通なら指定された日に不動産屋を訪ねるところですが、穴場の物件だったこともあって舞い上がっていたんでしょうね。「近所だし、ドライブがてら外観だけでも見に行こうよ」って深夜なのにわざわざ出向くことにしたんです。ナビに住所を打ち込んで、軽い深夜ドライブのつもりでした……。ところがその目的地、ナビ上に赤くポイントされたマンションの前に辿り着けないんです。「あれ、おかしいな？　でも、初めての場所だし……」と不安な気持ちを落ち着けてさらに走るも、それらしき建物は見当たらない。「この先かな？」とナビを無視して手当たり次第に進んでも空振り。「一体どこだよ？」と苛立ちながら、ある角を曲がった瞬間。彼女が「やばい、やばい、これ以上進まないで！」と急に騒ぎだしちゃって。実は彼女には霊感があるんですが、それで自分も気持ち悪さを感じてしまって。急いでバックして元の道に戻り、その日は帰宅しました。まぁ、内見で見られると思っていたんですが。結局、当日も辿り着けなかったんです。不動産屋もあのときの僕みたいに「おかしいな」「こんなはずないのに」とつぶやくばかり。紙の住宅地図まで取り出して何度も位置を確かめるんですが、実物を拝めませんでした。既に取り壊されたマンションの情報が紛れ込んでいただけなのか？　だとしたら、彼女が感じたものは何だったのか？　理由は今もわからないままですし、知りたくもありません。



江川芳文　〈オンブレニーニョ〉〈PLUS L by XLARGE〉ディレクター

えがわ・よしふみ｜1972年、東京都生まれ。'90年代に〈HECTIC〉を立ち上げ、現在は〈オンブレニーニョ〉〈PLUS L by XLARGE〉のディレクションを手掛ける。オカルトにも目がない。

ユースホステルの亡霊。

これは若い頃、兄と一緒にドイツをクルマで回ったときの話です。その日は、小高い丘に立ったユースホステルに宿をとっていました。街で遊びすぎたせいか宿に到着したのが、深夜0時を過ぎたくらい。駐車場の周りには鬱蒼と木々が生い茂り、白枠を確認できないほどの暗闇が横たわっていました。やたらと眠たくて、早くベッドに横たわりたい……と思いながら、ふと森に目をやると、奥の方に、パレードのようにライトが煌々と灯っているところがある。何やら楽しげな雰囲気に見えて、「お祭りかな、ちょっと寄っていかない？」と、兄に声を掛けたんです。でも、「どこ、どこ？」と惚けたような返事しか返ってこない。お前の目は節穴か？　なんて思いながら、その方向に近づいて、「あれ、見えないの？」

と指をさしながら、目を凝らすと……。そこでは、大きな木の枝でブロンド髪の美しい女性が首を吊っていたんです。どんな原理かわかりませんが、下から光で照らされ、恨めしそうな表情でこっちを見つめている。しかも、どうやら兄には見えていない。恐怖が雪崩のように押し寄せ、兄の手を強引に引っ張ってチェックイン。部屋に着くなり毛布をかぶって寝てしまったんです。だけど、それで終わりではありませんでした。やっぱりというか、深夜に目が覚めてしまって。気づくと、背後には人の気配。後ろを振り返ろうとするんですが、金縛り状態で動けない。そうしたら、次の瞬間、まるで幽体離脱するかのように部屋を俯瞰する視点に切り替わって。寝ている僕の体に添うように、あのときの女性が張り付いているのが見えたんです。そこからは何も覚えていません。いつの間にか朝になっていて、シーツの上に見覚えのないブロンドの髪が落ちていることもありませんでした。

米谷 仁威　〈SUICOKE〉グローバルディレクター

よねや・じんいち｜1985年、香港生まれ。〈バンド オブ アウトサイダーズ〉のPRを経て、現在は〈スイコック〉の海外セールス業務やブランディングを行う。地縛霊専門の視える人。

決してひとりでは見ないでください――

4『サスペリア』
Suspiria
ダリオ・アルジェント／1977年／イタリア／99分

シンプルに恐怖を煽り、一世を風靡した名作コピー。実際問題として、映画館で観るのに自分ひとりというのは考えにくいが、現代はひとり画面に向かうことも少なくないVOD時代。今でこそ刺さる、未来的なコピーだったとも言える。ひとりで観ちゃいけない理由がわからないのも地味に不安。バレエ学校の恐るべき秘密を描くオカルトホラー。Blu-ray『サスペリア 4Kレストア版』¥8,580（ハピネット・メディアマーケティング）

警告！ご注意ください――あなたの眼が破れます。

5『サランドラ』
The Hills Have Eyes
ウェス・クレイヴン／1977年／アメリカ／89分

目が"潰れる"とはよくいうけれど、"破れる"という新語を生んだ革新的コピー。状況は不明だが、どうやら目が破れることは確定している。となると、警告されても注意しようがないんですが！ と思ったら、公開当時は前売り券にサングラスのような特製アイプロテクターが付いていた。上映前から楽しすぎ。『エルム街の悪夢』の監督による2作目で、田舎町で異形の殺人鬼ファミリーに襲われるパニックホラー。DVD¥4,290（是空）

扉が閉まったら、後はいっさい責任もてません。

6『レリック』
The Relic
ピーター・ハイアムズ／1997年／アメリカ、イギリス、ドイツ、日本／110分

社会に出ると実感するが、自己責任ほど恐ろしいものはない。こんな言い方されたら、絶対楽しいことなど起きないし、明らかに誰も助けてくれなそう！ 映画館で「扉」と聞くと劇場の重たいドアが思い浮かび、客席の自分と重なって一層リアリティが感じられるところも巧妙。舞台はパーティのため閉館中のシカゴ歴史博物館。閉め切られた密室空間に怪物レリックが現れた。その正体の謎解きと、バトルを描くモンスターホラー。

覗くな、狂うぞ。

7『マウス・オブ・マッドネス』
In the Mouth of Madness
ジョン・カーペンター／1994年／アメリカ／95分

相席食堂での長州力の名言「食ってみな、飛ぶぞ」を彷彿とさせるキャッチーさとインパクト。"狂う"から"覗くな"と注意してくれているのでよく考えると真っ当なセリフで、もはや紳士的な感じすらするが、たった6文字だけでこれだけのキレを見せるコピーはなかなかない。クトゥルフ神話へのオマージュがちりばめられた、読んだら狂う小説を巡る物語。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

怖がってください とても、とても怖がってください

8『ザ・フライ』
The Fly
デイヴィッド・クローネンバーグ／1986年／アメリカ／96分

表現こそ平凡だが、よく考えれば、こんなふうに怖がることをリクエストされるというのは異常である。丁寧語が妙に気持ち悪いし、まるで獲物を前にした猟奇殺人鬼みたいじゃないか。あれ、そういうこと？ 聞き馴染みのない表現で考えるほどぞわぞわする一本。本編は実験のミスによってハエと遺伝子レベルで融合してしまった天才科学者が、徐々にハエ化し狂っていく様を描くSFホラー。切ないラストがコピーの静けさと重なる。

3 ©1987 Warner Bros Entertainment Inc. All Rights Reserved. 4 ©VIDEA S.P.A. 5 THE HILLS HAVE EYES ©1977 BLOOD RELATIONS COMPANY. ALL RIGHTS RESERVED. 7 ©1994 Warner Bros Entertainment Inc. All Rights Reserved.

illustration: Tatsuya Kobayashi text: Koji Toyoda

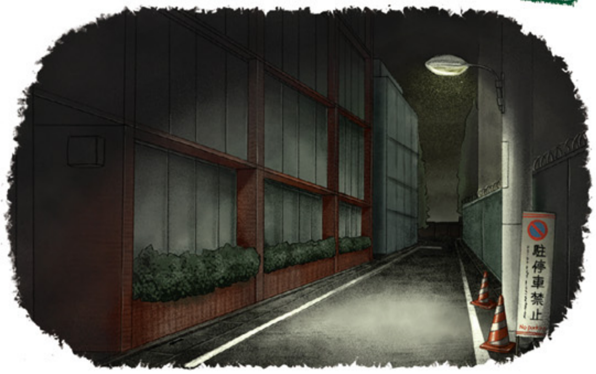
夜の神社に響くお経。

私が大阪在住で学生だった頃、週末の楽しみといえば、深夜に集まって友達と心霊スポットを巡ることでした。「あそこの廃墟は一家心中があったらしい」「あの廃ホテルは、出る確率が高い」なんて地元に広まった怪しい噂にどきどきしながら、道中の異様な盛り上がりを楽しんだものです。大抵は何事もなく、朝を迎えるわけですが、その中でも、いまだに忘れられない体験があります。その日、友達と3人で向かったのは、海辺のとある神社。とくに事前情報もなしに、何かヤバいらしいよ、という噂だけを信じて、到着したのが22時頃でした。真夜中と呼ぶにはまだ早い時間帯ですが、辺りがやけに真っ暗なんです。しかも、静まり返った境内から、何やら不気味な声が聞こえてくる。耳を澄ますと、それはお経のようなんです。「嫌な感じやな」と思いつつ、懐中電灯で足元を照らしながら参道を進み、境内に入る。すると、3人のお坊さんが一心不乱にお経を唱えているんです。宮司じゃなくて、お坊さんですよ。そのチグハグな感じも気持ち悪いですし、侵入者である私たちのことをまったく意に介する気配がない。本当に人間なのか？ それすらも判断できないほど異様な光景で。人は理解できない怪に遭遇すると心の中で恐怖が増幅すると聞きますが、まさにその心境。もう辛抱たまらなくなり、「はよ帰ろう」と友達の方に懐中電灯の光を向けたんです。そしたら……、その背後にはおびただしい数の日本人形が置いてあったんです。無感情にただこちらを見つめるたくさんの顔に恐怖のボルテージが振り切れて、一目散に駐車場の方に駆け出していました。幸い、誰かが行方不明になったとか、怪我をすることはなかったですが、それ以来、心霊スポット巡りは控えるようになりました。

尹 勝浩 ファッションディレクター
いん・かつひろ｜1969年、大阪府生まれ。クラシックなメンズファッションや映画に造詣が深く、文筆家としても活動する。今年も行けなかったが恐山の大祭にいつか赴くのが、目下の夢。

五反田の古い雑居ビル前で。

あの日、もしかすると僕は、何かに呼ばれていたのかもしれません。学芸大学で友人と飲んだ帰り。終電もある時間でしたが、なぜか徒歩で帰りたくなったんです。自宅は品川方面。歩くと1時間半以上かかる距離ですが、イヤホンで好きな音楽を聴いて、携帯を見ながらトロトロと歩いていたら、思っていた以上に苦でもなくて。「たまには運動もいいもんだ」なんて呑気に構えていたくらいです。ちょうど半分くらいでしょうか。西五反田近辺の、巨大な雑居ビルの前を歩いていたときのことです。前触れもなく、急に肩をガッと掴まれて、後ろに強く引っ張られたんです。最初は「知り合いかな？」と思いました。「にしても失礼なやつだな」と、ムッとした気持ちで振り向いたんです。でも、そこには誰もいなかった……。肩透かしを食らったような気分になったのも束の間、状況を理解すると、一瞬で頭の中を恐怖が埋め尽くしました。「早く帰ろう」。音楽の音量を上げて、その場を立ち去ろうとした次の瞬間、ドンガラガッシャン！ 音漏れするほどの音楽に覆いかぶさるように、大きな物が倒れる音が周囲に響き渡って。「え？ え？ え？」と背後を振り向くと、50代くらいの男の人が、自転車ごと歩道に転がっているんです。咄嗟に駆け寄ったのですが、その人は妙に落ち着いていて。「ああ。肩を引っ張られてさ。ここではよくあることなんだ」と言い残すと、何事もなかったように立ち去ってしまったんです……。残された僕の横には、暗闇に包まれた巨大なビルが不気味に佇むのみ。その大きな影が、自分を見つめているような気がして、競歩ばりの速足で逃げ帰ったのは言うまでもありません。それからは、終電を逃したとしても、なるべくタクシーで帰るようにしています。



SHUNSAKU スタイリスト
しゅんさく｜1996年、埼玉県生まれ。大学在学中にスタイリストとして活動をスタート。古着好きが高じて、本誌ウェブサイトにて「古着のＡＢＣ」を連載中。霊感は少しあるほう。

THEME 6
WEEKEND

暑い夏にはひんやりホラーな週末を。

暑い夏がやってきた。海か、山か、プールか？　いや、今年の夏は断然ホラーだ。とはいえ心霊スポットは怖いし危ないのでパス。怖すぎないホラースポットで、程よく健康的に涼を取ろう。例えば調布。ここは『クレヨンしんちゃん』の春日部よろしく、漫画『ゲゲゲの鬼太郎』が生まれた妖怪の街。ゆかりの場所も多く、至る所で妖怪たちとたわむれられる。自然は多くて気持ちがいいし、深大寺そばも旨い。かたや浅草。実はこの街、歴史を掘ると妖怪伝説や怪談噺が多くあり、「番町皿屋敷」のお菊さんにまつわる祠が祀られた寺院や、牛の化け物が落としていった玉を祀る神社がひっそりと存在していたりする。夏バテ対策で『駒形どぜう』へ行くついでに、ひんやりした風を感じるくらいがこの夏の正しい週末の過ごし方かしら。

調布

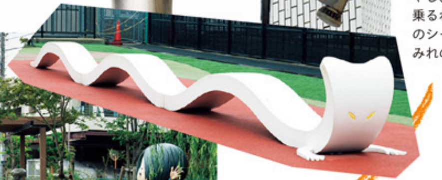
水木しげる第二の故郷で妖怪まみれ。

©水木プロ

駅を降りたら、即ゲゲゲ。

CHOFU_1 天神通り商店街

作者の水木しげるさんが1959年に家を買い、2015年に亡くなるまでの56年間を過ごした調布。調布駅の中央口を出て徒歩2分の「天神通り商店街」には鬼太郎と目玉おやじ、ねずみ男、ぬりかべ、一反もめんに乗るねこ娘のオブジェがある。他にも漫画のシーンが描かれた柱があるなど、妖怪まみれの商店街！　〇東京都調布市布田1



妖怪とたわむれよう。

CHOFU_2 鬼太郎ひろば

妖怪ともっと遊びたければ、「鬼太郎ひろば」へ。入り口ではかわいいポーズの鬼太郎に挨拶だ。長さ12mの一反もめんベンチに、リアルなぬらりひょんの縁台など、見ているだけでも楽しい。一番トライしたかったボルダリング用のぬりかべクライミングには、子供がたくさん……！　また今度。〇東京都調布市下石原1-58-5

せっかくなので厄除けも。

CHOFU_3 深大寺

調布に来たら深大寺も。目的は江戸時代から魔除けとして日本中の家に貼られた降魔札。角の生えた鬼の姿が描かれたお札（¥500）が有名だ。毎日行う護摩祈願もあり、お札（¥3,000〜）を購入すると名を入れて、僧侶が炎の前で厄除けをしてくれる。締めは納涼がてら深大寺そばを。〇東京都調布市深大寺元町5-15-1　☎042·486·5511

鬼太郎の聖地でひと休み。

CHOFU_4 鬼太郎茶屋

参道入り口にあるのが、築60年ほどの木造建築に佇む『鬼太郎茶屋』。水木さんの著作が多く売っていたり、メモにお菓子にサコッシュなどのマニアックなグッズに出合えたりと、ディグ欲をそそられる！　併設された喫茶店では「ぬり壁のみそおでん」（¥400）がおすすめ。2時間は楽しめる。いったんメモ¥440、目玉おやじの棒つき飴¥518　〇東京都調布市深大寺元町5-12-8　☎042·482·4059　10:00〜17:00　月休

CHOFU_5 布多天神社

鬼太郎がすんでいたとされる鬱蒼とした森が、布多天神社にはある。漫画にも実際に描かれているのだ。普段は柵の手前から覗くことしかできないが、水木さんの命日である11月30日前後には入れるらしい。せっかくだし鬼太郎のおみくじ（¥200）も引いて帰ろう。〇東京都調布市調布ヶ丘1-8-1　☎042·489·0022　6:30〜16:30　無休

そして、辿り着いた鬼太郎の棲み家…。

浅草

下町の裏名所で肝を冷やす。

ASAKUSA_1 さがみ屋

かっぱ橋道具街の付近では、河童を見ると縁起がいいとされ、河童を祀る、通称かっぱ寺まである。その目の前にあるのが『さがみ屋』で、黒毛和牛のバラに、和牛の赤身を巻いて"かっぱの皿"に見立てた「かっぱステーキ」（¥380※店頭で焼く場合）が名物。〇東京都台東区松が谷2-31-10　☎03·3841·7541　10:00〜18:30　日〜火休

かっぱステーキを知っているか？

浅草寺では、狸にお参り。

ASAKUSA_2 浅草寺・鎮護堂

明治時代には浅草にたくさんの狸がすみつき、悪戯をしていたそう。そのときの住職の夢に狸が出て「保護してくれたら火災から守りましょう」と言われたことから、鎮護堂では狸を「お狸さま」と呼び、守り神として祀っている。〇東京都台東区浅草2-3-12　☎03·3842·0181　6:00〜17:00、10月から3月は6:30〜　無休

しっかり怖い、クラシックなお化け屋敷。

ASAKUSA_3 浅草花やしき

せっかくだから「浅草花やしき」のお化け屋敷へ。日本最古の遊園地だが、油断は禁物。普通に怖い。ちなみに1984年から2010年まで営業した旧お化け屋敷では、怪奇現象がたびたび起こっていたそうだ……。〇東京都台東区浅草2-28-1　☎03·3842·8780　10:00〜18:00、不定期で〜17:00　入園料¥1,000、お化け屋敷¥300　不定休

photo: Jun Nakagawa　text: Ku Ishikawa

1 ©2020 George A. Romero Foundation, All Rights Reserved. 2 ©UNIVERSAL PICTURES 3 © 2019 Carver Films Pty Ltd and Screen Australia 4 ©UNIVERSAL PICTURES 5 Courtesy of Amazon Studios 7 © 2021 Universal Studios. All Rights Reserved.

THEME 7
COMINGSOON

さて、次は何を観に行こう。

この特集で名作をおさらいしたら、お次は映画館へ。この秋冬には、名監督の新作が次々と公開。死のビーチを舞台にしたM・ナイト・シャマランのスリラー『オールド』もあれば、ネオンきらめくエドガー・ライトのサイコホラー『ラスト・ナイト・イン・ソーホー』も待機。ゾンビ映画の巨匠ジョージ・A・ロメロの未発表作『アミューズメント・パーク』はジャンルこそホラーじゃないものの、ある意味ホラーを感じる一本だ。10月のハロウィン時期には、お馴染みのブギーマンが再び登場。シネマヴェーラで開催するモノクロームのクラシックホラー特集上映も楽しみだし、VOD配信にも見逃せない新作が。何が言いたいかというと、夏が過ぎてもまだまだホラーの季節は終わらないってこと！

身ぐるみ剥がされ、邪魔者扱い。悲惨すぎる老人の遊園地体験記。

1『アミューズメント・パーク』

THE AMUSEMENT PARK

ジョージ・A・ロメロ／1973年／アメリカ／53分

ジョージ・A・ロメロが傑作『ゾンビ』以前に撮った作品が、約半世紀を経て初公開。楽しいはずの遊園地で、老人はスリに遭い、事故の目撃証言も信用されず、バイクに乗った不良3人組に襲われ……。と、ことごとく理不尽な扱いを受け続ける。年齢差別や高齢者虐待に対する世間の認知を高めようとルーテル教会がロメロに依頼した企画だったが、容赦ない描写が原因で封印されたという問題作。冒頭に入る教育テレビ的な解説も逆に不気味。グロいシーンはなくとも気持ちがずんと沈む、ある意味ホラーな映画だ。10月15日公開。

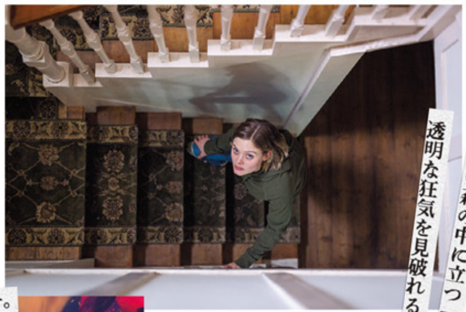
あなたは私で、私はあなた。1960年代のロンドンで起こる恐怖譚。

2『ラスト・ナイト・イン・ソーホー』

Last Night In Soho

エドガー・ライト／2021年／イギリス／116分

『ショーン・オブ・ザ・デッド』も手掛けたエドガー・ライトの新作は、前作『ベイビー・ドライバー』を思わせる鮮やかな演出と映像で見せるサイコホラー。ファッションデザイナーを目指すエロイーズは、1960年代のロンドン、ソーホー地区にタイムスリップ。ネオンきらめく劇場「カフェ・ド・パリ」でミュージシャンのサンディと出会い、次第に意識も感覚もシンクロしていく……。『ジョジョ・ラビット』に出演して以来、引っ張りだこのトーマシン・マッケンジーと、新世代のスクリームクイーン、アニャ・テイラー＝ジョイの共演も見逃せない。2021年冬公開。



深い森の中に立つ一軒家の、透明な狂気を見破れるか。

3『レリック　－遺物－』

Relic

ナタリー・エリカ・ジェームズ／2020年／オーストラリア、アメリカ／89分

P32でも好きなホラー作品を教えてくれた、日系オーストラリア人ナタリー・エリカ・ジェームズによる初の長編監督作。人里離れた森の中で暮らす祖母が突如失踪。無事帰宅するものの、どこか様子がおかしい。訝しむ娘と孫は、幻覚を見る彼女に振り回されていき……。血が滴ることも殺人鬼に追い立てられることもないが、全編を通して何かが起こりそうな不穏な静けさが充満し、とにかく息苦しい。が、それこそがこの映画の醍醐味だ。製作には俳優のジェイク・ギレンホールが設立した会社、ナイン・ストーリーズがクレジット。8月13日公開。

10月31日に気をつけろ。ヤツは不死身の殺人鬼。

4『ハロウィン・キルズ』

Halloween Kills

デヴィッド・ゴードン・グリーン／2021年／アメリカ

え、これ何作目？　ってほど再生産を続ける本シリーズ。TV版やらが無数に存在し、ざっと数えても10は超えるが、こちらは1978年の元祖『ハロウィン』の40年後を描いた続編3部作の第2弾。前作で火だるまにしたはずの"ヤツ"が、業火の中から復活。ハドンフィールドの街を再び恐怖に染め上げる。監督は『セルフィッシュ・サマー』でベルリン国際映画祭の銀熊賞（監督賞）を獲得したデヴィッド・ゴードン・グリーンが続投。もちろん、製作総指揮にはブギーマンの生みの親ジョン・カーペンターも。ハロウィンの予定はもちろんこれで。10月全国公開。

VODもお忘れなく。ここでしか観られないブラムハウス・アンソロジー。

5『ウェルカム・トゥ・ブラムハウス』

Welcome to the Blumhouse

エラン・ダッサーニー、ラジーヴ・ダッサーニー他／2020年／アメリカ、インド他

P23でも触れたとおり、ホラーの話題作を連発する映画製作会社「ブラムハウス」。こちらはアマゾンプライムでしか観られないその新作アンソロジー。「ウェルカム・トゥ・ブラムハウス」と題された全8作品は、それぞれが異なる恐怖を描く。昨年4作が公開され、残る半分も年内に配信が決定。写真は、娘の新恋人に因縁を抱いた母親の狂気を描いたサイコロジカルスリラー『イーブル・アイ』だ。Amazon Prime Videoにて独占配信中。

幽霊退治も世代交代。ミニマシュマロンも一網打尽だ！

6『ゴーストバスターズ／アフターライフ』

Ghostbusters: Afterlife

ジェイソン・ライトマン／2021年／カナダ、アメリカ

30年の時を経て『ゴーストバスターズ2』の続編が遂に。主人公はかつてNYで幽霊退治に成功した4人組の孫とその友達。祖父が操ったゴーストトラップなど懐かしのアイテムも総動員でゴースト退治に挑む！　ミニマシュマロンも大量発生。ホラーじゃないけど！　年内公開予定。

クラシックなホラーも気になるぞ！

シネマヴェーラ渋谷 CINEMAVERA SHIBUYA

シネマヴェーラで特集上映が開催中。

『優しき殺人者』

BEWARE! MY LOVELY

ハリー・ホーナー／1952年／アメリカ／77分

ホラー映画の礎を築いてきた名作たちを一挙に観られる特集上映「恐ろしい映画」が「シネマヴェーラ渋谷」で開催中。ソフト化されていないジョセフ・ロージー版『M』や『優しき殺人者』や、ホラー映画の原点『カリガリ博士』を含む全38作品を上映。1931年版『フランケンシュタイン』などは16㎜フィルム上映も。モノクロームの映像からは、現代のカラー映画とはまた違う不穏な空気をビンビン感じる。9月3日まで。

7『オールド』

OLD

M・ナイト・シャマラン／2021年／アメリカ／108分

『ヴィジット』『スプリット』で恐ろしい密室劇を描いたM・ナイト・シャマラン。新作の舞台は一転、開放的な海辺。だがもちろん普通の海辺のはずはなく、そこは1日で一生が終わる死のビーチ。物理法則を超越した空間から逃げようと来た道を戻れば、失神の憂き目に遭うという最悪の状況で、家族はある暗号を発見するが……。父親役のガエル・ガルシア・ベルナルにどんどん皺が刻まれていく様が恐ろしい。8月27日公開。

危険！　この先のビーチ、余命1日。

text: Ryota Mukai

THEME 8 NIKKI

ホラー1週間日記。

「7日間、ホラー映画を観続けてください」と声をかけたのは、ホラー遍歴バラバラな3人。辺境を掘ったり、あらためて名作を観たり、たまに寄り道したり。体を張って（？）挑んだ彼らの1週間の記録。

3人の挑戦者たち。

ホラーに興味津々な漫画家

不吉霊二

漫画家、イラストレーター

ふきつ・れいじ｜1996年、広島県生まれ。『ドカベン』の不吉霊三郎の妹という設定でこの名前に。自費出版『ぜ〜んぶ！不吉霊二』でデビュー。漫画『あばよ〜ベイビーイッツユー〜』(torch comics)が発売中。Instagram: @da.i.su.ki

MONDAY

麗猫伝説

大林宣彦／1983年／日本／95分

伝説の美人女優の復帰作のシナリオを任された若き脚本家の志村良平。不老の彼女と対面した志村のもとで怪奇現象が起き始める。DVD¥4,180（ハピネットメディアマーケティング）

深夜。近所のノラ猫を訪問した後は『麗猫伝説』。美熟女や吸血鬼風老人が登場し、我が身を震わし、笑かす。と思いきや……ん？　あら？　涙!?　ガーン、こりゃ涙のホラーエレジーだ！　主演の入江たか子と娘の人生に心吸い寄せられた。一方ド衝撃の死亡シーンにギョッ。人生の一瞬の夢＝美・哀・恐ね。

キャーレベル　\キャー/\キャー/\キャー/

TUESDAY

怪猫 有馬御殿

荒井良平／1953年／日本／49分

舞台は有馬の御殿。大名の頼貴の気持ちが新参のおたきの方に移り、嫉妬に駆られたおこよの方は彼女を殺害してしまう。その夜から、有馬家では恐ろしい化け猫騒動が起こるように。

ゆうべ興奮し、寝不足。『麗猫伝説』は入江たか子の「怪猫」シリーズに捧げられている……。ほー。と朝までネット検索した。必然的に今日の映画は怪猫だ！　んゲ、マジに怖い。淑女→怪猫への豹変ぶり！　怪猫様が悪婆をどう成敗するかと思えば、無理やりブレイクダンスをさせたり、生首にして飛ばしたり。はあ、コワ。

キャーレベル　\キャー/\キャー/\キャー/

WEDNESDAY

ミートザフィーブルズ／怒りのヒポポタマス

ピーター・ジャクソン／1989年／ニュージーランド／95分

ほっこり可愛いパペットムービーかと思いきや、ドラッグや殺人、セックスがてんこ盛りのドロドロスプラッター映画。監督は『ロード・オブ・ザ・リング』のピーター・ジャクソン。

そろそろスプラッターを観るかね。暴食、性病、薬物、最悪の衛生面とワケわからん数の登場人物。全部人形と着ぐるみでやりきるなんて正気と思えない。こんな内容のくせに考えさせられるシーンがあるのもすごい。「一座」モノには底知れぬ魅力があると確信した。漫画で一座を描きたい。カバの歌姫が飾るフィナーレは圧巻。

キャーレベル　\キャー/

どちらかというとホラーは苦手

徳利

ラッパー

とっくり｜1985年、福岡県生まれ。別名、博多のナポレオンダイナマイト。2012年に「徳利からの手紙」で注目を集める。YouTubeチャンネル「徳利TV」を不定期配信中。1stアルバム『REVOLUTION』が発売中。Instagram: @lxxtok

MONDAY

学校の怪談3

金子修介／1997年／日本／96分

20年前に亡くなった男子生徒が棲むと噂の鏡を一目見ようと、放課後の小学校に忍び込んだ女子生徒4人。なんと、鏡の中に引きずり込まれてしまい……。DVD¥2,700（東宝）

新大久保でサムギョプサルに舌鼓を打って帰宅。時刻は23時。梅雨でじめじめして不快だな。1本目は『学校の怪談3』。小学生のときに映画館で観て前田亜季さんのファンになったきっかけの作品。今観てもめちゃくちゃ素敵だった。懐かしさと甘酸っぱさに普通に泣いた。運命は自分で変えろ！

キャーレベル　\キャー/\キャー/\キャー/

TUESDAY

幽幻道士

チャオ・ツォンシン／台湾／1985年／95分

大道芸の旅をする親方と子供たちが、眠っている妖怪キョンシーに遭遇。いたずら心からキョンシーのお札を剥がしてしまい、彼らを目覚めさせたことで続々と不幸が訪れる。

21時帰宅。『幽幻道士』を観る。映像の古さも相まってキョンシーが普通に怖い。親方と子供たちの関係性がいいなあ。途中で唐突にキックボードみたいなものに乗っているんだがめちゃイケてた。登場人物の着古したチャイナシャツがかっこいい。キョンシーが食べていた米がやたらうまそうに見えた。

キャーレベル　\キャー/\キャー/

WEDNESDAY

サマー・オブ・84

RKSS／2017年／カナダ／106分

1984年、アメリカの田舎町で起こった思春期の子供を標的にした連続殺人事件。犯人を突き止めようとする4人の少年たちを描く青春ホラー映画。DVD¥4,180（ブロードウェイ）

気づけば夜の2時。寝る前に何か観よう……。『サマー・オブ・84』にするか。少年たちのスパイ活動ものに弱い。不穏な流れとは裏腹に進む恋愛も大好物。と思いきやラストに向けて加速していくサスペンス＆スリルで心臓がやばい。そして最悪の後味……。寝れねえ。地下室入るとロクなことないって。

キャーレベル　\キャー/\キャー/\キャー/\キャー/\キャー/

C級までチェックするほどのホラー好き

後藤有哉

〈ローチ〉デザイナー、『キオスコ』店主

ごとう・ゆうや｜1986年、秋田県生まれ。2012年から自身のブランド〈ローチ〉をスタート。2019年にオープンした高円寺の『キオスコ』では、メキシコを中心に買い付けた雑貨や、セレクトした洋服などを販売。Instagram: @kioscojpn

MONDAY

ザ・クレイジーズ／細菌兵器の恐怖

ジョージ・A・ロメロ／1973年／アメリカ／103分

アメリカの田舎町で、男性が突然発狂する殺害事件が発生。その後白い防護服の兵士が町に現れ、伝染病の発生をこじ付けて住人たちを次々と連行し始める。DVD ¥2,090(キングレコード)

最初に何を観るか悩んだが、まずは好きなジョージ・A・ロメロ監督のまだ観ていない作品『ザ・クレイジーズ』にした。タイトルどおり、内容はとてもクレイジーでとにかく後半は人がたくさん死ぬ。でも笑ってしまうシーンもある。ホラーって面白い。とにかく観たらガスマスク欲しくなる！

キャーレベル　\キャー/\キャー/

TUESDAY

スリープレス

ダリオ・アルジェント／2001年／イタリア／117分

ある男性客から逃げるように夜行列車へと乗り込んだ売春婦が殺害される。そこで浮き彫りとなったのが17年前の殺人事件だった。『サスペリア』のダリオ・アルジェントが監督を務める。

嫌な雨が降る中、今日の作品は『スリープレス』。ミュージックはホラー映画では有名なゴブリンが担当。その時点でテンションが上がる。殺しの描写などもホラー1好きかも。もっと早く観とけばよかったと後悔しました。まさかの結末。子守歌にはみんな気をつけて。ちなみに気になって続けて2回観た。

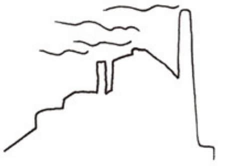
キャーレベル　\キャー/\キャー/\キャー/\キャー/

WEDNESDAY

ヘル・オブ・ザ・リビングデッド

ブルーノ・マッティ／1980年／イタリア、スペイン／99分

パプアニューギニアの奥地の化学工場でガスが流出し、従業員らが次々とゾンビになってしまう事件が発生。なんと劇中ではジョージ・A・ロメロの『ゾンビ』のサントラが流れる。



ゴブリンのミュージック繋がりで今日はゾンビ映画にした。ゾンビ映画ならではのグロいシーンが結構多めにやってくる。内臓系。後半はゾンビの量が半端じゃなく、あれだけいたら自分もやってみたくなる。車のエンジンがかからないなどベタな感じも良かった。最高なバッドエンドゾンビ映画でした。

キャーレベル　\キャー/\キャー/\キャー/

SUNDAY	SATURDAY	FRIDAY	THURSDAY

7日間ホラー映画を観てみて…… 暁に霊を見た！

SUNDAY マリアの胃袋

平山秀幸／1990年／日本／104分

不倫旅行中に事故で死んだサラリーマンの江島とモデルのマリア。1年後、同じ場所を訪れた同僚たちを待っていたのは、亡霊になった江島と人食い怪物へと変身を遂げたマリアだった。

小学生のとき、近所の『ふたば図書』でこのタイトルを目にして恐怖に貫かれた。『マリアの胃袋』。今日まで心に引っかかっていた本作を鑑賞。なんと我が母校出身の女優が化け物役で出ていた。先日観た映画と似て、老いること食べることの哀しさが沁みた。一方間抜けなバカンス映画でもある。因縁の映画はどこか優しかった。

キャーレベル \キャー/

SATURDAY ラブリーボーン

ピーター・ジャクソン／2009年／アメリカ、イギリス、ニュージーランド／135分

14歳で殺害されたスージーが、美しい死後の世界から、事件を経てバラバラになってしまった家族や犯人を見届ける感動物語。DVD ¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

公開当時の私は中1だった。『ラブリーボーン』のCMを観たことをよく覚えている。なんと、『ミートザフィーブルズ』と同じ監督！　驚きだ。観るしかない。ところが、あの下品な動物たちとは無縁の、とても悲しい物語だった。変態殺人鬼vs妹のシーンでホンモノの冷や汗が出た。悲しすぎて言葉がない。すごすご床に就く。

キャーレベル \キャー/\キャー/\キャー/\キャー/

FRIDAY アタック・オブ・ザ・キラートマト

ジョン・デ・ベロ／1978年／アメリカ／83分

アメリカのとある町。見つかったのは血まみれではなく、トマトジュースまみれの変死体だった。巨大な人食いトマトが人々を襲いだし町中は大パニックに。DVD ¥2,090（キングレコード）

昼に読んだ中島らものエッセーの中で、B級ホラーとして紹介されていた『アタック・オブ・ザ・キラートマト』を観た。トマトが……転がっていく。あまりのバカバカしさに脳腐る。この映画の中にあるはずの恐怖を必死に探したが、なし。友人曰く、この映画は夜中の2時に観始めて4時に観終わらなきゃだめとのこと。

キャーレベル

THURSDAY ドールズ

スチュアート・ゴードン／1986年／アメリカ／78分

嵐の中、ある家族とヒッチハイカーたちが雨宿りで訪れたのは優しい老夫婦の暮らす洋館。と思いきや、そこは、童心を忘れ欲にまみれた大人を殺害する人形たちの巣窟でもあった。

今夜は大雨。ホラー版トイストーリーと聞いていた『ドールズ』を観た。不良女が登場し、あがる。しかし、道化人形のパンチくん、怖すぎる。と思いきや予想以上に嫌なことが起こって、ここまでのホラー DAYSで一番ギョッとした。もし自分に子供がいて、その子がパンチくんを大切にし始めたらどうしよう。

キャーレベル \キャー/\キャー/\キャー/\キャー/\キャー/

7日間ホラー映画を観てみて…… 怖いだけじゃないぜ

SUNDAY タッカーとデイル 史上最悪にツイてないヤツら

イーライ・クレイグ／2010年／カナダ／88分

念願の別荘を手に入れ、山での休暇を楽しむタッカーとデイル。しかし、同じ山を訪れた大学生に殺人鬼だと勘違いされ、誤解が誤解を生み次々と悲劇が起きる。血飛沫にご注意。

今日でもう1週間か。早いなあ。時刻は14時、最後は『タッカーとデイル　史上最悪にツイてないヤツら』を観る。めちゃくちゃ面白い。何もしてないのに勝手に大学生たちが死んでいく。最高にアホらしいんだけど死に方は割とエグい。誰でもツイてない日ってあるよね。なんだか俺も別荘欲しくなってきたな。

キャーレベル \キャー/

SATURDAY クリスティーン

ジョン・カーペンター／1983年／アメリカ／110分

内気な高校生のアーニーが手に入れたのは'58年型のプリムス。クリスティーンと名付け大切にするが、残忍な車と判明。Blu-ray¥5,217（ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント）

夜の3時。いつも気づいたら夜だな……。『クリスティーン』を観る。主人公のアーニーがどんどんグレて凶暴になって服装も変わるんだけど最初のさえないときが一番おしゃれ。にしても親友のデニスかっこいいし友達思いだな……。なんだか車に乗りたくなってきた。あ、免許持ってなかったわ……。

キャーレベル \キャー/\キャー/\キャー/

FRIDAY ザ・フライ

デヴィッド・クローネンバーグ／1986年／アメリカ／97分

天才科学者のセスが自らの身を挺して生物の転送実験を図る。実験は成功を収めたと思いきや、転送ポッドに1匹のハエが紛れ込んだことで遺伝子が狂い、徐々に人間の姿を失う羽目に。

外に出るときに雨降るのやめてほしい……。花金の0時。ふさわしいかわからんが『ザ・フライ』を観る。いい感じに恋愛が展開していくかと思いきや、ある出来事をきっかけにどえらい方向に。どんどん醜く変貌していく過程がつらすぎる。時代を超越するグロテスクな特殊メイク。救いのないラスト。今日はもう寝るしかねえ。

キャーレベル \キャー/\キャー/\キャー/\キャー/

THURSDAY ゾンビーノ

アンドリュー・カリー／2006年／カナダ／93分

人食欲求を抑える首輪の発明によりゾンビをペットとして飼う時代が到来したが、一体の首輪が壊れ、町にゾンビが溢れることに。DVD¥4,180（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

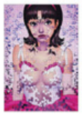
アイスをしこたま買い込んで21時に帰宅。相変わらず大谷のホームランすごい。今日は怖すぎるのは勘弁してほしい。というわけで『ゾンビーノ』。お母さんがめちゃくちゃ銃を撃つところウケた。俺もゾンビの友達欲しい。あとカーハートのチョアコート似合ってた。一応ゾンビ映画だけど普通にいい話だった。

キャーレベル \キャー/

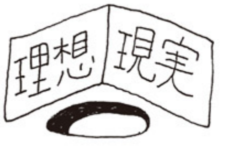
7日間ホラー映画を観てみて…… ホラーって本当にいいもんですね

SUNDAY パーフェクトブルー

今敏／1998年／日本／81分



アイドルを卒業し女優へ転向した霧越未麻は、路線変更をした彼女を許さないファンにストーキングされ、徐々に自分を見失ってしまう。Blu-ray¥5,700（マッドハウス）



用事が押して今日は深夜2時からのスタート。絶好のホラータイム。あまりアニメは観ないけどホラー系となると気になる。絵のタッチも好きで、すんなり観られた。今回の中で一番ホラーの言葉が似合う作品と感じた。何度も観たくなるミステリーホラー。昔好きだった『週刊ストーリーランド』を思い出した。

キャーレベル \キャー/\キャー/\キャー/\キャー/

SATURDAY 黒い家

森田芳光／1999年／日本／118分

保険会社に勤める若槻が契約者の家で子供の首吊り遺体を発見。自殺と断定され、保険金が下りるが不審に思った若槻は、独自でその家族を調査することに。DVD ¥3,080（KADOKAWA）

今日はリベンジも含め、お酒と近所のおばちゃんが作っている惣菜を買って夜映画モードに。某事件をイメージしている映画でもある『黒い家』。映画のジャケットから想像していたホラー感はそれほどなく、割と普通に観られた。「乳しゃぶれー」のセリフも最高でした（笑）。ボウリングも何げにしたくなる。

キャーレベル \キャー/\キャー/

FRIDAY 許された子どもたち

内藤瑛亮／2020年／日本／131分

同級生を殺害した少年は、裁判で無罪に相当する「不処分」を言い渡される。犯罪を許されてしまった少年が罪とどのように向き合っていくのかを描く。Blu-ray¥5,280（ライツキューブ）

風呂上がりにお酒とナッツをつまみに部屋を暗くし、準備万全で今日の映画を観始める。ストーリーも知らずにタイトルで選んだ。そんな気分で観たら、久しぶりに考えさせる作品で、子供がいる親なら必ず観てほしいと思った。ホラー映画ではなかったが、違う種類の恐ろしさ。お酒はあまり進まなかったな……。

キャーレベル \キャー/\キャー/\キャー/

THURSDAY スペース・ゾンビ／吸血ビールス大襲来

グレン・コバーン／1984年／アメリカ／79分

宇宙からやってきた吸血ゾンビが、突風を起こし、空気感染によって村人たちをゾンビ化していく。撮影地の地元住民も出演する手作り感満載のゾンビ映画。（WHDジャパン・フォワード）

今日は昼からまったりラーメン食べた後にゾンビ映画を観る予定にした。タイトルにちょっと変な期待をしていたが、昼のせいか怖さもなければ、ちょっとだけ眠気も。一休みしてから観直し。ゾンビというか吸血鬼系のゾンビで、話し合いができるゾンビは初めて観ました（笑）。ホラー系はやっぱり観るなら夜ですね。

キャーレベル \キャー/

illustration & text: Reiji Fukitsu, Tokkuri, Yuya Goto　edit: Nozomi Hasegawa

30 THINGS TO KNOW ABOUT STEPHEN KING

Guide

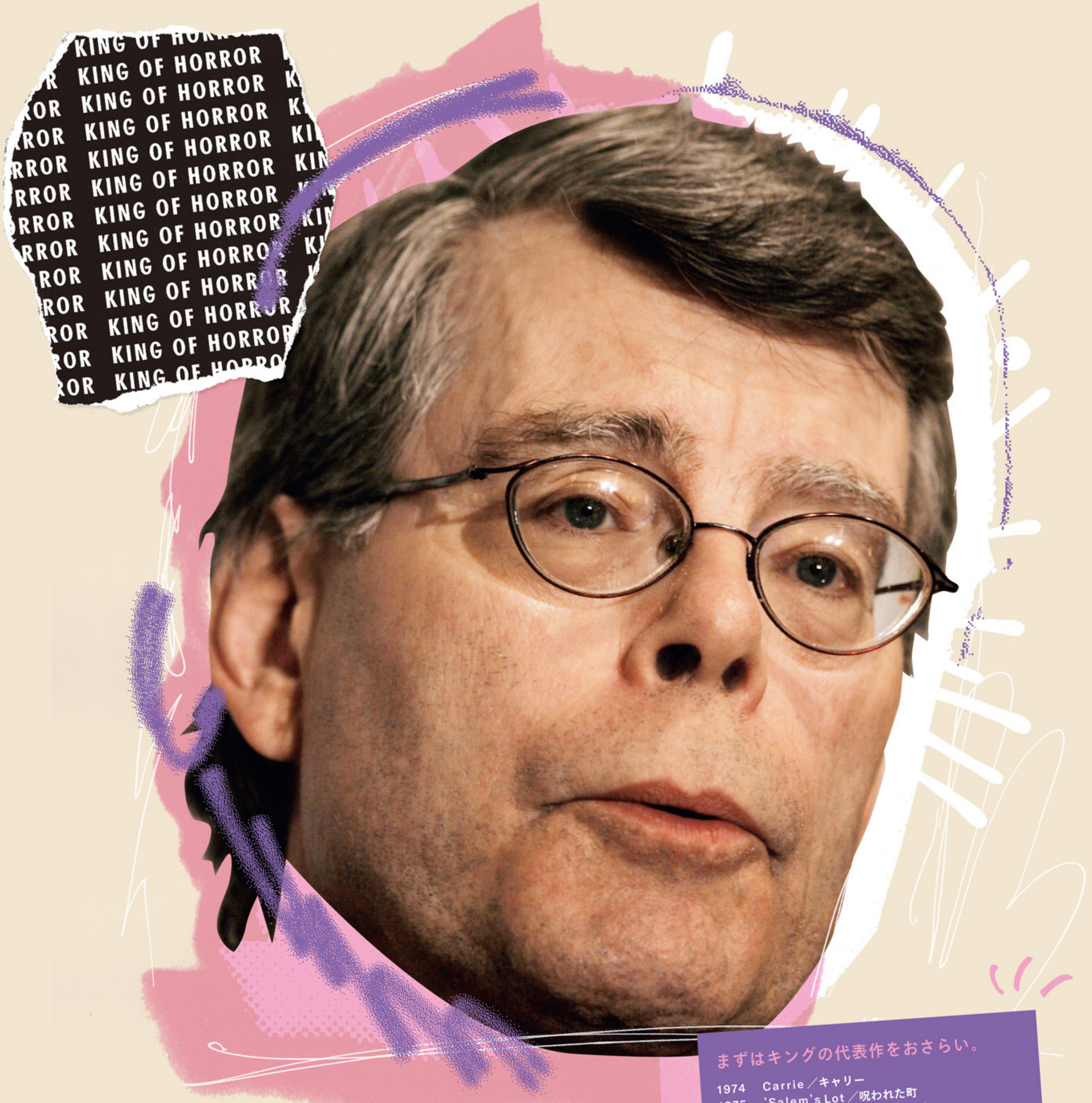
KENJI KAZAMA

風間賢二｜翻訳家、幻想文学研究家。国内におけるスティーヴン・キング研究の第一人者として知られる。主な著書に『ホラー小説大全』（角川書店）、訳書にスティーヴン・キング『ダークタワー』シリーズなど多数。

スティーヴン・キングについて知りたい 30のこと。

その作品は読んでいても、本人のことはよく知らなかった。
アメリカ中からこよなく愛される男。
"恐怖の帝王"と呼ばれ、アメリカ中からこよなく愛される男。
ひと夏の冒険の締めくくりは、偉大なるホラー小説家について。

illustration: Shinji Abe　photo: Kazuharu Igarashi
text: Kosuke Ide　prop: UTUWA



スティーヴン・キング、フーアーユー!?

まさかその名を知らない人はいないだろうが、その全貌を知る人もまたいない。なぜなら、そのスケールがあまりにもデカすぎるから。『キャリー』『IT』『シャイニング』『ミザリー』など世界を戦慄させた傑作ホラーから『スタンド・バイ・ミー』『ショーシャンクの空に』『グリーン・マイル』他心温まるヒューマンドラマまで。映像化された作品を通じて広く知られるこの大家は、現役バリバリで活躍するベストセラー作家の中でも「世界最大」の存在と言ってもいい。長編だけで70以上、中編が200ほど、短編とテレビシナリオも含めるとその作品数は膨大であり、実のところ僕らが知っているのはほんの氷山の一角でしかない。いまだに毎年のように原作を手掛けた作品が公開され続ける(正直、追いきれない……)御年73歳の巨匠は、自身のTwitterアカウントから650万人超のフォロワーに向かって毎日のようにツイートを繰り出している! ヤバすぎ。このミステリアスな作家はいったいどんな人物なのか? そして、どんな仕事をしてきたのか? その謎を探索すべく、キング作品をすべて読破している研究家で翻訳家の風間賢二さんの元へ。この未知なる"怪物"の正体について、たっぷり教えていただいた。

まずはキングの代表作をおさらい。

1974 Carrie／キャリー
1975 'Salem's Lot／呪われた町
1977 The Shining／シャイニング
1978 The Stand／ザ・スタンド
1979 The Dead Zone／デッド・ゾーン
1980 The Mist／霧
1982 The Body／スタンド・バイ・ミー
1982 Creepshow／クリープショー
1983 Christine／クリスティーン
1983 Pet Sematary／ペット・セマタリー
1986 IT／IT
1987 Misery／ミザリー
1989 The Dark Half／ダーク・ハーフ
1996 The Green Mile／グリーン・マイル
2004 The Dark Tower Ⅶ: The Dark Tower／ダークタワー Ⅶ 暗黒の塔
2009 Under the Dome／アンダー・ザ・ドーム
2011 11/22/63／11/22/63
2013 Doctor Sleep／ドクター・スリープ
2014 Mr.Mercedes／ミスター・メルセデス
2018 The Outsider／アウトサイダー

キングのホラー小説は、何がすごいのですか？

実はキング作品の物語の題材そのものはさほど新しくなくて、むしろ古典的と言えるものが多いんです。『キャリー』なら超能力、『呪われた町』なら吸血鬼、『ザ・スタンド』なら破滅後の世界、『シャイニング』なら幽霊屋敷……といった具合に、ホラーやオカルト、SFというジャンルの中で古くから使われてきた定番的なテーマを採用している。1950～'60年代アメリカではすでにこうした類いの作品は珍しくないものでしたが、それらは一部のマニア的な読者向けの作品として読まれていました。キングが画期的だったのは、こうした物語を一般の読者層にまで圧倒的に支持される小説に作り上げたことでしょう。その要因のひとつは、キング小説の登場人物が〝普通の人々〟だったこと。それまでの怪奇・幻想小説では、例えばラヴクラフトの「クトゥルー神話」もののように、事件に巻き込まれていくのが古文書研究者や文献学者など、特殊な存在であることが多かった。しかしキング作品ではごくありふれた市井の人々が登場し、物語が展開していく。その設定にリアリティがあり、幅広い読者の共感を生んだのでしょう。しかし、当然ながらそうした特別でない人々を描いて面白く読ませるのは容易ではないわけで、それだけの筆力があったということ。またキング作品とそれまでのホラー小説との違いとして、作品の長さが挙げられます。群像劇を得意とし、マルチキャラクター&マルチプロットで細密画のように詳細にキャラクターや状況を描き込んでいくキングの小説は長く、彼の中編は一般の小説の長編くらいのボリュームがあります。アメリカには「サマーリーディング」という文化があって、夏に長めのバカンスを取って、ビーチなどでゆっくり本を読む習慣がありますが、そうしたときに持っていく本は長いほうが喜ばれたという面もあったのでしょうね。いずれにしても、それだけの長さでも読者をまったく飽きさせない、高度なストーリーテリングの技術があったということだと思います。

現代までのホラー小説の流れは、18世紀後半から流行したゴシック小説に始まる。これはホレス・ウォルポールの『オトラント城奇譚』に代表される、中世を舞台にした幻想小説であった。次いで19世紀には、ブラム・ストーカーの『吸血鬼ドラキュラ』のように舞台を現代の都市に移したモダンゴシックが、20世紀に入るとH・P・ラヴクラフトの「クトゥルー小説」のようにSF要素を取り入れたモダンホラーが登場。ごく普通の一般市民が恐怖にさらされるキングの作品は、それまでの恐怖小説にはないスタイルだった。

Q どのように アメリカを代表する ベストセラー作家に なったのですか？

キングの最初のヒット作品となったのは『キャリー』。１９７６年にブライアン・デ・パルマ監督によって映画化され、その原作として小説のペーパーバックが１００万部を超える売り上げとなりました。その背景にあったのは、'70年代アメリカのオカルトブームです。'60年代のヒッピーに代表されるカウンターカルチャーの神秘思想などから超自然的なもの、超常現象などに注目が集まり、映画では『エクソシスト』『オーメン』、実社会ではユリ・ゲラーの超能力が大人気に。そうした状況の中で次作『呪われた町』も１００万部超え、長編第３作『シャイニング』はスタンリー・キューブリック監督によって映画化されてこれも大ヒット。こうした映画との相乗効果によるセールスの手法が確立したのもこの時代でした。その後、'78年にキング作品の中で一番長い『ザ・スタンド』を発表。群像劇、マルチプロットなどキングの手法がほぼ完成され、この時点ですでにモダンホラーの旗手として「出せば売れる」ベストセラー作家の地位を得ていました。

そもそもホラー小説というジャンルは18世紀に中世ヨーロッパを舞台に魔女裁判などを描いたゴシックロマンスに始まり、19世紀にロンドンなどの都市を舞台にした恐怖譚であるモダンゴシック、20世紀に入ってＳＦ的なものを取り入れたモダンホラーという流れがありますから、キングは正確には「ポストモダンホラー」の作家と言えるかもしれません。'80年代はオカルトよりもホラーがブームとなり、スプラッターなど過激なボディホラー映画が注目を集めました。この時期にもキングは『ペット・セマタリー』『クリスティーン』『ＩＴ』などの映画化作品を発表しヒットを連発。その後、過激化の反動で異常殺人鬼ものなどのサイコホラーが流行しますが、その流れに先駆けて『ミザリー』を発表しています。またこの頃から高まってきたフェミニズムの機運に合わせるように、女性を主人公にした作品を書き始めたり、ＤＶや幼児虐待を題材にしたりと、その時々の社会の状況に敏感に反応しながら、40年以上にわたり常にヒット作を世に送り続けてきた、まさしくアメリカを代表する作家です。

Q シティボーイにおすすめの一冊を教えてください。

ぜひ最初におすすめしたいのは中短編集『ミスト』。収録の「霧」は僕が最初に読んだ作品で、キングにどっぷりハマるきっかけになった作品。ラストが素晴らしいけれど、ネタバレになっちゃうから言えません（笑）。ぜひ予備知識なしで読んでみてください。中編集『ランゴリアーズ』は、奇想天外な表題作はもちろんのこと、「秘密の窓、秘密の庭」もおすすめ。『シークレットウィンドウ』のタイトルで映画化もされていて、あっと驚く予想外な展開がいい。先に述べたとおり、キングの小説の特徴は「長い」ことにあるので、正直、普段から読書に慣れていない人は怯んでしまうようなものも少なくありませんが、それでもグイグイ読ませるストーリーテリングの面白さがありますから、まずはほどほどの分量の中編から手にとってみてほしいですね。

KAZAMA's VOICE

'50年代のB級SFホラー映画に影響を受けた作品。映画化作品とは異なる結末もさることながら、スーパーマーケットに閉じ込められた人々の人間ドラマが素晴らしい。

ミスト 短編傑作選

矢野浩三郎訳｜文春文庫｜2018年

メイン州を襲った未曽有の嵐。被災した人々は物資を求めてスーパーマーケットに集まった。やがて周囲を覆う、目の前も見通せぬほどの濃霧。その奥には恐るべき何かが潜んでいた——。極限状態に置かれた人間の狂気を描いた中編「霧」他、短編4作収録。¥946

KAZAMA's VOICE

ミステリーとしても楽しめる「秘密の窓、秘密の庭」と、奇想天外な設定がキングらしい「ランゴリアーズ」。どちらも中編ながら、語り口の巧みなキング・ワールドを味わえます。

ランゴリアーズ

小尾芙佐訳｜文春文庫｜1999年

眠りから覚めると、他の乗客たちはみな消えていた。上空の旅客機に残された11人が直面する危機を描いた表題作。身に覚えのない盗作疑惑で追い詰められていく作家の恐怖と、事件の意外な真相を描いた「秘密の窓、秘密の庭」。中編2本を収録。¥1,058

Q 一番怖い作品はどれですか？

ほとんどが「怖い」作品なので甲乙付け難いですが、どうしても一冊だけとなると、やはり名作『シャイニング』ということになるでしょうか。雪に閉ざされたホテルに棲む悪霊が管理人一家を襲う恐怖譚は20世紀におけるホラーの頂点と言ってもいい高い完成度を誇ります。長いですが、映画版との違いを楽しみながら読み進めるのも面白いのでは。

KAZAMA's VOICE

人智を超えた存在により、普通の人々が悲劇の運命を辿る恐怖を見事に描いた本格ホラー。主人公のアルコール依存症にはキング自身の経験も重ねられています。

シャイニング

深町眞理子訳｜文春文庫｜2008年

現代版「幽霊屋敷」として描かれた家族の悲劇。雪に閉ざされたホテルに管理人としてやってきたトランス一家。だが幼い息子ダニーはホテルに潜むこの世ならざる存在に気づく。次第に一家を怪異が襲い、父親ジャックは狂気に侵される。上下巻。上巻¥1,012

風間さんのベスト5を教えてください。

超多作の作家であり、傑作と目される作品だけでも十指では足りないくらいの大家だけに、選ぶのは難しいですが、個人的に好きな作品を選んでみました。どれもキングらしさがたっぷり詰まった面白い作品ばかりです。

KAZAMA's VOICE 大学時代から構想を始めたキングのライフワークであり、彼の物語世界の中枢にあたる。第1巻は読みづらいが、最終巻までには号泣必定。

『ダークタワー』シリーズ

風間賢二訳｜角川文庫｜2017年

現実世界とは異なる「中間世界」。最後の"ガンスリンガー"と呼ばれる拳銃使いのローランドは、世界の腐敗を食い止めるため、「暗黒の塔」を目指し旅に出る。構想・執筆に34年の歳月をかけたライフワーク的一大サーガ。シリーズ全7作14巻。『ダークタワー Ｉ ガンスリンガー』¥968

KAZAMA's VOICE キングの悲観的な人生観が堪能できます。人生は悪意ある残酷な神のたわむれなのか。驚天動地のラストが待ち受けています。

デスペレーション

山田順子訳｜新潮文庫｜2000年

ネバダ州を横断するハイウェイ50。一人の警官が旅行者を拉致し、鉱山町デスペレーションに監禁していた。神秘の力を持つ少年の導きで脱出を試みる人々は、街に潜む邪悪に直面する。善と悪、そして神。壮大なテーマを扱った大作。上下巻。上巻¥942

KAZAMA's VOICE キングの作品のすべての要素が詰まっています。映画化作品もよいですが、原作とかなり違うので、ぜひ一読驚嘆してもらいたいです。

IT

小尾芙佐訳｜文春文庫｜1994年

27年に一度、デリーの街に現れ、子供を食らう怪物"IT"。その脅威と対持する「負け犬クラブ」の6人の物語を、複数の時間と空間を交錯させて綴った大長編。「少年」と「怪物」を主要なテーマとしてきたキングが、その総決算と語る作品。全4巻。第1巻¥1,045

KAZAMA's VOICE 「ドラキュラ」に代表される、吸血鬼ものホラー作品の最高峰。キングが得意とする架空の町を舞台とした一連の作品の原型でもある。

呪われた町

永井 淳訳｜文春文庫｜2020年

田舎町セイラムズ・ロットに帰郷した作家ベン・ミアーズ。だが町では住民の失踪や不審死が頻発し始める。その裏では、人々が次々と吸血鬼に姿を変えられていたのだった――。平凡な生活を襲う吸血鬼の透明な恐怖を描いたデビュー2作目。上下巻。上巻¥1,045

KAZAMA's VOICE ホラーの語り部としての技法が堪能できます。ポストモダンなメタフィクションの見本としてもおすすめ。キング作品中、もっとも痛いホラー。

ミザリー

矢野浩三郎訳｜文春文庫｜1991年

雪道の自動車事故で重傷を負った作家ポール。彼のファンだと言う元看護師アニーに死地を救われるが、それは凄惨な監禁生活の始まりだった――。ポールがアニーのために強制的に書かされる小説「ミザリー」を作中に織り交ぜつつ展開するサイコ・スリラー。¥712

Q 泣けるやつはありますか？

KAZAMA's VOICE ケネディ暗殺をめぐるSFミステリーであると同時に、切ないラブストーリーでもある。大人が泣ける作品。

11/22/63

白石 朗訳｜文春文庫｜2016年

高校教師ジェイクは、死が迫る友人から、過去に戻り歴史を変えてほしいと頼まれる。Xデーは1963年11月22日、ケネディ暗殺の日――。過去の世界で暮らす主人公の日常をみずみずしく描き、切ないラストへ向かうタイムトラベル・ロマンス。上下巻。上巻¥979

Q 人間ドラマが面白いのは？

KAZAMA's VOICE 通常の長編とは異なり、毎月1冊（全6冊）刊行していく方式を採用し、ストーリーテリングの限界に挑戦した作品。

グリーン・マイル

白石 朗訳｜小学館文庫｜2014年

1932年、コールド・マウンテン刑務所に、黒人死刑囚ジョン・コーフィが送られてくる。罪状は双子の少女の強姦殺人。だがその純粋な心根と、所内で発揮された奇跡的な力を目の当たりにした看守のポールは、彼の罪状に疑問を持ち始める。上下巻。上巻¥891

Q 物語の結末が気になるのは？

KAZAMA's VOICE アメリカ探偵作家クラブによる栄誉あるエドガー賞を受賞した、キングの初めての本格ミステリー。

ミスター・メルセデス

白石 朗訳｜文春文庫｜2018年

群衆の中に暴走車が突入、多数の死傷者を出した凄惨な事件は未解決に終わった。時はたち、退職刑事ホッジズの元に、「ミスター・メルセデス」と名乗る人物から手紙が届いたことで事件は再び動きだす。犯人視点で描く倒叙型ミステリー。上下巻。上巻¥1,023

Q 笑える作品ってあるんですか？

KAZAMA's VOICE 嵐の中で仮設トイレに閉じ込められるという尾籠な物語に、キングの悪趣味が最もよく出ています。

どんづまりの窮地（『夜がはじまるとき』収録）

白石 朗訳｜文春文庫｜2010年

建設現場へ呼び出された中年男性カーティスは、トラブルを抱える隣人ティムの策略で簡易トイレに閉じ込められる。扉を下にして地面に倒され、脱出は困難。悪臭と暑さの中、絶体絶命を迎えるが――。ブラックユーモア溢れる短編スリラー。他、全6編収録。¥847

スティーヴン・キングってどんな人？

好きなファッションは？

ジーパンにTシャツ、ワイシャツ、ときどきキャップなど。まあどこにでもいる"アメリカのおじさん"的なラフでリラックスしたスタイルが好み。ライフスタイル全般、保守派と言えそう。でも、政治的には急進派です。

好きなスポーツは？

大の野球好き。ボストン・レッドソックスの熱烈なファンでシーズンチケット・ホルダー。同チームのクローザーを務めたトム・ゴードンを小説に登場させたことも（『トム・ゴードンに恋した少女』）。本拠地「フェンウェイパーク」で始球式もした。レッドソックスに関するノンフィクションも刊行しています。

怖いものはある？

飛行機嫌いで知られるキングは『ランゴリアーズ』をはじめとした「飛行機ホラー」をいくつも執筆している。また『IT』を読んだ人ならわかるように、多くのアメリカ人同様、キングもやっぱり蜘蛛が怖い!?

好きな音楽は？

'50年代と'60年代のロックンロールで育っただけにやはりアメリカン・ロック好きで、お気に入りはAC/DCやラモーンズ。映画『ペット・セメタリー』はキングの依頼で主題歌をラモーンズが担当、彼らのCDのライナーを書いたこともあった。ロック界の重鎮ブルース・スプリングスティーンとはお友達だし、作家仲間で構成されたロックバンド「ロック・ボトム・リメインダーズ」でサイドギターとボーカルを担当しています。ヘタだけど（笑）。

家族は何してる人？

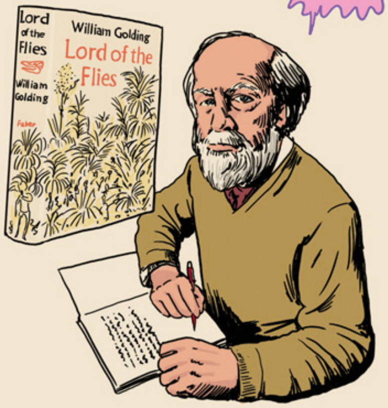
妻のタビサは作家で、キングが創作上のアドバイスを求めることも。長男ジョー・ヒルと次男のオーウェンも作家であり、特にジョーは今や売れっ子の一流ホラーの書き手です。長女ナオミ以外、5人中4人が作家というファミリー。

キングのライフスタイルは典型的な米国人（ヤンキー）のおじさんのそれという感じでしょうか。メイン州の田舎町に住み、ジーパンにTシャツを着て、ハンバーガーとビール、野球とロックを愛するといった感じで、大作家であるにもかかわらずインテリぶったところはなし。キングと『タリスマン』他を合作している作家ピーター・ストラウヴがエリート風のスーツ姿でワインを飲み、聴くのはジャズやクラシックといういかにも作家らしいスタイルなのと対照的ですね。ベストセラー作家としては地味な生活を送っている一方で、地元のリトルリーグのために野球場を建設したり、図書館に莫大な寄付をしたりして、コミュニティへの貢献もしています。

キングにとって ホラーとは？

　キングだけでなく、アメリカ人はそもそも超自然的なものが好き、という国民文化があると思います。'30年代にオーソン・ウェルズのラジオドラマ『宇宙戦争』で火星人襲来を信じた人々がパニックになった事件は有名ですが、いまだにアメリカ人の3分の1はゾンビの存在を信じているという話もあるくらいで、UFOや超能力実験など、スピリチュアリズムやオカルトは大体アメリカ発。実際にCIAや国防総省が本気でこうした分野を研究しているともいわれています。彼らがこうした未知のものに強い関心を向けるのは、合理主義の裏返しという面があるのではないでしょうか。科学ですべてを解明してきた人々にとって、怖いもの＝未知なるもの。人間が死を怖がるのも、死がいつ訪れるかわからず、死後の世界がわからないからですよね。キングはこうしたアメリカ人の潜在的な恐怖心を刺激する形で作品を作ってきた。プラグマティズムの裏で不条理に慄く意識こそ、キングが得意としてきた分野なんですね。

影響を受けたものは？



　当然さまざまな作品から影響を受けていますが、最初のきっかけになったのは、キングが少年時代に家出した父が実家の屋根裏に残したダンボール箱に入っていた、たくさんのホラー小説のペーパーバック。また'50年代には映画やテレビでもSFやホラーが流行して、当時の少年たちはみんな夢中になりました。'59〜'64年に放送されたテレビドラマ『トワイライト・ゾーン』(『ミステリー・ゾーン』)のシナリオを書いていた作家リチャード・マシスンや、『サイコ』のロバート・ブロック、『火星年代記』のレイ・ブラッドベリらSF作家の作品もやはりよく読んだようです。スティーヴン・スピルバーグやジョン・カーペンター、トビー・フーパーら、キングと同世代で'70年代に登場した映画監督の多くもこうした作品から強く影響されていますよね。文芸作品では、ウィリアム・ゴールディングの『蠅の王』が大好きで、一作でも『蠅の王』に匹敵するものを書けたらというのがキングの目標なんだとか。

下積み時代はありましたか？

　めちゃくちゃありました。初期の『キャリー』がヒットしたこともあり、デビュー後すぐに売れっ子作家になったシンデレラボーイと思われがちですが、実はそれ以前の下積み時代は長かった。そもそも中学1年生で母にタイプライターを買ってもらって小説を書き始め、高校時代から文芸雑誌に投稿を始めています。数え切れないほどの「不採用」の連絡をもらったというエピソードは、『書くことについて』などの自伝的エッセイに詳しく書かれています。大学を出てからも投稿を続け、すでにタビサと結婚して子供もいましたが、クリーニング工場で働き、トレーラーハウスに住む貧乏暮らし。その後は高校の英語教師をしながら、子供の世話が終わってから夜に執筆を始めるという過酷な環境の中で、時々掲載される作品の微々たる原稿料を得ながら生活を続けていました。その間にすでに数本の長編も書き上げていましたから、『キャリー』で華々しく登場する以前にかなりの筆力がついていたというわけです。

スランプはあった？

　大ヒット作を次々と飛ばし続けたキングにも、やはりスランプはありました。'70年代、人気作家のプレッシャーからいわゆる「ライターズ・ブロック」(文筆家の創作上の不調)に陥り、アルコールに頼るようになったキングは、毎晩ビールのロング缶を1ケース空けていたとか。その後はコカインなどのドラッグにも手を出し、完全な中毒に。'80年代を通じて毎年、長編を生み出す驚異的な仕事量の背後で、キングの体は蝕まれ続け、'86年頃には鼻血が止まらず、脈拍が130にまで上がっていたと書いています。その後、危機的状況を見かねた妻タビサの献身的な助力もあって、中毒から脱し、作家として復活を遂げました。こうした依存症の状況は『シャイニング』から『トミーノッカーズ』までさまざまな作品の物語に影響を与えているといわれています。

これは名作、というキング原作の映像化作品は？

数え切れないほど映画化・ドラマ化されているキング作品ですが、そもそも極端に長い小説が多く、映像化の際に2時間前後の枠に収まりきらないことも多々。そのため、当たり外れがあるという面も否めませんが、そんな中でも「ホラー縛り」でおすすめの3作品をご紹介。文句なしの傑作と呼べる作品ばかりです。

ホラー版、グーニーズ的な感じでとにかく子供たちがかわいい。1990年版のほうも好きです。

IT／イット “それ”が見えたら、終わり。

アンディ・ムスキエティ | 2017年 | アメリカ、カナダ | 135分

原作とは異なる1989年を舞台に、怪物ITと対決する「ルーザーズ・クラブ」の成長を描く。1990年のTVドラマのリメイク。ITの姿は不気味な赤ん坊のように進化。大人時代の後編に続く2部作。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

IT © 2017 Warner Bros. Entertainment Inc. and RatPac-Dune Entertainment LLC. All rights reserved.

Q どうして こんなに映画化されるの？

キング作品の多くが映画化されてヒットする理由の一つは、そもそも彼の小説の文体が映像的だということがあります。映画好きで強い影響を受けているキングは、フェードインやディゾルブなどの映画的手法、および読者の頭にそれぞれのシーンが映像として浮かんでくるような細密描写をしており、それが映像化しやすい要因になっているのではないでしょうか。しかしそれだけに読者が先にビジュアルイメージを脳内で作り上げてしまうため、実際に映像化した際にギャップが生まれやすいという点もあるんです。

キング史上最も“痛い”映画。キャシー・ベイツの迫真の演技は一見の価値あり。

ミザリー

ロブ・ライナー | 1990年 | アメリカ | 108分

タフガイのジェームズ・カーン演じる人気作家がファンに監禁虐待されるスリラー。恐怖小説史に残るサイコキラー、アニー・ウィルクスをキャシー・ベイツが怪演し、アカデミー賞主演女優賞に輝いた。監督は『スタンド・バイ・ミー』のロブ・ライナー。

ラストが原作とまるで違うのに、それが成功している。キングよりキングらしい結末。

ミスト

フランク・ダラボン | 2007年 | アメリカ | 125分

『ショーシャンクの空に』『グリーンマイル』を名作に導いたフランク・ダラボン監督が、霧に閉ざされた人々の恐怖を描く。原作と異なる結末は賛否を呼んだが、キングは「なぜこれが思いつかなかったのか」と絶賛。Blu-ray¥2,750（ポニーキャニオン）

©2007 The Weinstein Company,LLC.All rights reserved.

Q キングが好きなホラー映画は？

子供の頃から多数の映画を観てきたキングだけに、映画は大好きで一家言の持ち主でもあります。近年ではTwitterなどで観た映画の感想をつぶやくことも多く、フォロワーの注目を集めています。2020年7月には日本映画『カメラを止めるな！』について「Original and big fun」と賛辞を送ったなんてニュースも。ここでは近年でキングが称賛した作品の中から5本を紹介。

イベント・ホライゾン

ポール・W・S・アンダーソン | 1997年 | イギリス、アメリカ | 96分

海王星付近で消息を絶った宇宙船が、7年後、突如姿を現した。調査を試みるウェアー博士は、乗組員たちの無残な死体を発見する。著書『死の舞踏』2010年増補版のまえがきで紹介された作品の中の一本。DVD¥1,572（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

クリムゾン・ピーク

ギレルモ・デル・トロ | 2015年 | カナダ、アメリカ、メキシコ | 119分

20世紀初頭、ニューヨーク。作家志望のイーディスは準男爵の男性と結婚し屋敷に移り住む。だが、そこにはおぞましい秘密が隠されていた——。息子ジョー・ヒルもお気に入りの美しきゴシック・ホラー。Blu-ray¥2,075（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

ディセント

ニール・マーシャル | 2005年 | イギリス | 99分

年に一度の冒険旅行で、巨大洞窟を訪れた6人の女友達。だが陥落事故で出口は塞がれ、地下に取り残される。疲弊し反目し合う一行は、やがて暗闇に蠢く亜人の人影の存在に気づき——。6人の女性の抱える感情と秘密をリアルに描き、キングが称賛した英国産ホラー。

©2015 Witch Movie,LLC. All Rights Reserved.

ウィッチ

ロバート・エガース | 2015年 | カナダ、アメリカ | 92分

1630年、ニューイングランド。敬虔なクリスチャンとして荒野で暮らすウィリアムとその家族。だが赤ん坊サムの失踪を機に、一家は疑心暗鬼に駆られていく。キングも「本当に怖かった」とポストしたロバート・エガースの初長編。Blu-ray¥5,280（インターフィルム）

ジェーン・ドウの解剖

アンドレ・ウーヴレダル | 2016年 | イギリス、アメリカ | 86分

キングが「『エイリアン』や初期クローネンバーグに匹敵する」と賞した解剖ホラー。検死官トミーのもとに、身元不明の女性死体の検死依頼が入る。だが死体からは不可解な点が次々と見つかり、やがて解剖室でも奇妙な現象が起き始める。Blu-ray¥5,170（松竹）

キング自身が気に入っている映像化作品はどれ？

スタンド・バイ・ミー

ロブ・ライナー | 1986年 | アメリカ | 89分

1950年代末、キャッスルロックに住む4人の少年は、死体探しの旅に出る。キングの半自叙伝的物語を、原作ファンのロブ・ライナーが映像化した名作。Blu-ray¥5,217（ソニー・ピクチャーズエンタテインメント）

© 1994 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.

ショーシャンクの空に

フランク・ダラボン|1994年|アメリカ|142分

原作は1982年の作「刑務所のリタ・ヘイワース」。無実の罪で刑務所に収監されたアンディが起こす奇跡を描く。VHS化を機に再評価されたフランク・ダラボン初監督作。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

©Everett Collection/aflo

グリーンマイル

フランク・ダラボン|1999年|アメリカ|189分

原作を読んだフランク・ダラボンがテレビ版『シャイニング』撮影中のキングに直接映画化をオファー。看守ポールをトム・ハンクスが演じた感動的な人間ドラマ。Blu-ray¥2,074（NBCユニバーサル・エンターテイメント）

映像化作品を原作者が気に入らないという例は枚挙に暇がありませんが、キングではやはり『シャイニング』に対する否定的評価が最も有名で、さまざまなところで語ったり書いたりしています。監督のキューブリックとキングの意見の相違の最も大きなポイントは超自然的なものに対する認識の違い。キューブリックは死後の世界や霊などに対して懐疑的で、ホテルの邪悪な意思などではなくダニーの父の狂気が妄想を生み出したという「合理的」な答えを出す形で描いているのがキングには気に入らなかったようです。エキセントリックなイメージのジャック・ニコルソンのキャスティングにも反対だったそう。不満を抱いていたキングは'97年に自ら製作総指揮してテレビドラマ版を作っています。逆に気に入っていると公言しているのは『スタンド・バイ・ミー』や『ショーシャンクの空に』『グリーンマイル』など。いずれもホラー作品でないのが興味深いところですね。

逆に、納得できなかった作品は？

© 1980 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.

©Album/aflo

チルドレン・オブ・ザ・コーン

フリッツ・キアシュ | 1984年|アメリカ|93分

原作は、カルト宗教ものとしても堪能できる"邪悪な子供もの"の短編「トウモロコシ畑の子供たち」。キングは「スペインの名作ホラー『ザ・チャイルド』に匹敵する傑作にもなりえる素材を台無しにした」と激怒。タイトル以外に原作と共通するものは一切ないと切り捨てている。一方で、この映画にはキング作品最多の計10本の続編とリメイクが作られた。

シャイニング

スタンリー・キューブリック|1980年|イギリス、アメリカ|146分

「あキューブリックは原作で重要なテーマだった超自然的要素をカットし、る男の家族が静かに正気を失っていく物語」として鮮烈な映像で描いた。キャラクター像や結末も異なり、その点もキングは不満だった模様。Blu-ray¥2,619（ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント）

監督や俳優もやってるって本当？

映画好きが高じて、何と自ら監督を務めたのが、'86年の『地獄のデビル・トラック』。自身の短編を映像化し、ファンであるAC/DCに音楽まで依頼したが、やはり素人の仕事、内容は推して知るべし。自ら画面に登場するのも大好きらしく、『シャイニング』から『ランゴリアーズ』まで10本以上の映像化作品にカメオ出演しています。

ペット・セメタリー

メアリー・ランバート | 1989年 | アメリカ | 103分

死んだものを蘇らせる動物墓地に、事故死した息子を埋葬した家族の悲劇を描く物語。撮影がメイン州の自宅近くで行われたため現場に立ち寄ったキングは、そのまま地元の牧師を演じた。

地獄のデビル・トラック

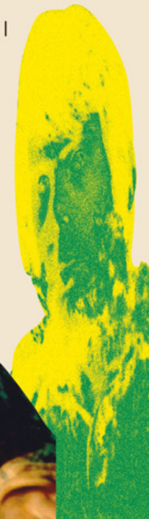
スティーヴン・キング | 1986年 | アメリカ|98分

『深夜勤務』収録の「トラック」を原作にキングがメガホンを取った唯一の監督作。異星の塵を浴び、地球のあらゆる機械が殺人衝動を持つ、というぶっ飛んだストーリーで、キング自身が認めるとおり出来はイマイチ。興行成績も散々だった。

クリープショー

ジョージ・A・ロメロ | 1982年 | アメリカ | 120分

キングとロメロがともに少年時代に熱中したECコミックスにオマージュを捧げたオムニバスホラー。第2話「草まみれの男」はキングの演技経験の中で唯一の主演作である。



Q 小説はどのように書いていくんですか？

膨大な量の作品を手掛けてきたキングの小説作法については、自身の創作について詳細に綴ったエッセー集『書くことについて』にも多く書いています。キングが物語の題材とするものは、神話・伝説などから新聞の三面記事まで幅広く、なかには実話を基にした作品もあります。『11/22/63』はジョン・F・ケネディ暗殺事件をモチーフにしたタイムトラベルものですし、『素晴らしき結婚生活』は25年連れ添った夫が世間を騒がす連続殺人鬼だったと妻が知るという物語ですが、これは実在したシリアルキラー、デニス・レイダーの事件を基にしています。もちろん自身の体験が基になった作品も。キングは'99年に交通事故に遭い、大怪我をしましたが、その後、退院して自宅の書斎に戻ってみたら、置いていたものすべてがすっかり仕舞われ、掃除されていた。それを見て、「実は俺は死んで幽霊になったのかな」と感じたという体験から『リーシーの物語』の着想を得たとか。またキングは小説を書く際、全体のプロットの見取り図のようなものを予め作らず、筆の進むままに任せて書いていくと語っています。物語はキャラクターがどんどん勝手に動いていくことで進んでいくのだと。もちろん後で推敲してブラッシュアップしたり辻褄を合わせたりはしますが、基本的には思いつくまま書き進め、書き上げたら6週間は見ないで放置するそう。本が出来上がるまでには最低10回以上も読み、全文を暗唱するのだとか。

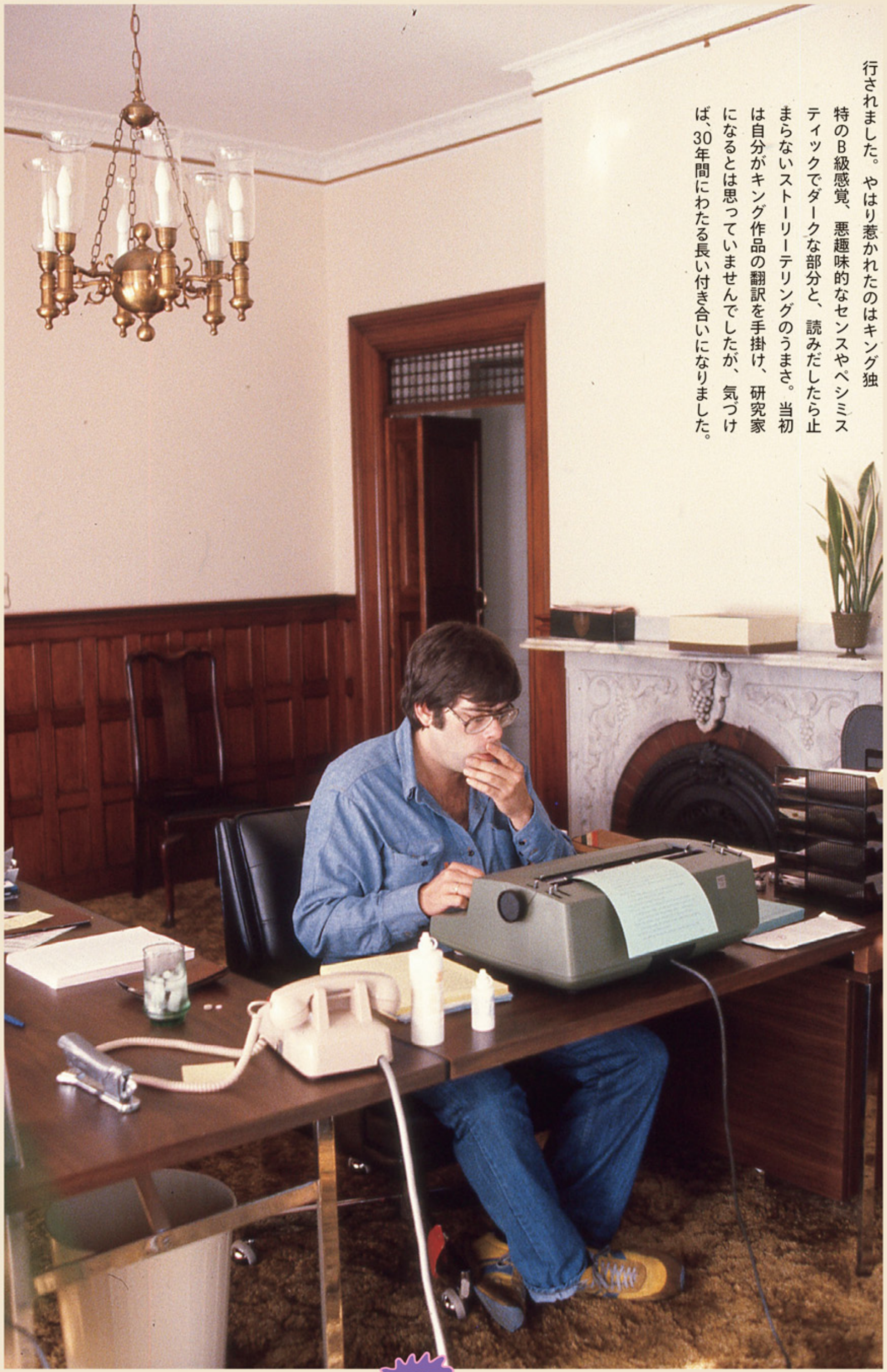
書くことについて

田村義進訳｜小学館文庫｜2013年

少年時代から、下積み時代、そしてデビューに至る半生を振り返りながら、自身の小説作法について語った文章読本。「会話を説明する地の文で副詞を使うな」など、具体的な助言が並ぶ。巻末にはキングの読書リストも掲載。¥880

Q 作品の舞台がいつもメイン州なのはどうしてですか？

メイン州が舞台になることが多いのは、もちろんキングの故郷であり、ずっと住み続けている土地だからでしょう。アメリカ北東部、森林に覆われたこのエリアはヨーロッパからの入植者の古い歴史があり、白人の住民が多いのも特徴。キングの作品はこうした田舎にある典型的なスモールタウン、それもメイン州の架空の町を舞台にしたものが多い。キャッスルロック（『デッド・ゾーン』『スタンド・バイ・ミー』他）やデリー（『IT』など）がその代表例です。こうした町はいわゆる「ムラ社会」で、よそ者を簡単に受け入れません。そこでは誰々の年収はいくらだとか、あそこの家は子供がこんな悪いことをしているとかいった噂が住民の間で流れたり、隣人が勝手に家に上がり込んできたりと、田舎特有の人間関係がある。その意味で、'50年代以後にできた新興住宅地であり、都市で働く人々のベッドタウンであるサバービア（郊外）とは町並みの風景も居住者のタイプも違うわけです。ある意味では最も一般的なアメリカ人、といってもあくまで下層階級、ワーキングクラスの人々です。キング自身がそうした貧しい家庭の子供でしたから、そういうコミュニティの人々の心理をよくわかっているんですね。大学教授や医者などエリートの人間が主人公になることはあまりないし、会話文の言葉遣いも下層階級の人々が使う卑語・俗語を多用していてリアリティがある。そうした部分にも、キング文学の大衆性の秘密があると言えるでしょう。



Q 風間さん、どうしてそんなにキングが好きなんですか？

私がキング作品に初めて触れたのが、ミステリーやSFで知られる早川書房で編集者をしていた1980年頃。ある日、同僚の編集者にキングの中編『霧(ミスト)』のゲラを「読んでみたら」と手渡されました。私は大学では仏文科だったこともあり、ヨーロッパの格調高い文学こそ文芸と信じていて、現代アメリカの娯楽小説の作家なんて、簡単に言えば馬鹿にしていたんですね。

それが薦められるがままに読んでみたら、これが何と面白い。その勢いで、当時すでに邦訳が刊行されていた『キャリー』『呪われた町』『シャイニング』の3作を読んで、すっかり魅了されてしまいました。もっと他の作品も読みたくなり、仕方なく原書にまで手を出すように。そのうちにキングもメジャーになり、邦訳も次々と刊行されました。やはり惹かれたのはキング独特のB級感覚、悪趣味的なセンスやペシミスティックでダークな部分と、読みだしたら止まらないストーリーテリングのうまさ。当初は自分がキング作品の翻訳を手掛け、研究家になるとは思っていませんでしたが、気づけば、30年間にわたる長い付き合いになりました。

Q キングに会ったことはある？

上は風間さんが初めてキングに会ったときの一枚。子供たちに野球を教えていたキングは、記念写真のリクエストにも気さくに応じ、自分の野球帽を風間さんにかぶらせてくれたそう。下は同じく『エスクァイア』の取材旅行で訪れた、バンゴーにあるキングの自宅前。

キングに直接、面会したのは2度です。1度目は1992年の雑誌『エスクァイア』のキング特集でのインタビュー。彼が住んでいるメイン州バンゴーへ飛んだところ、ちょうど今、彼が地元のリトルリーグの集まりで野球場にいると教えられて。練習が終わったところを直撃したら、無事会うことができました。偉い大作家という感じでなく、本当に近所の普通のおじさんみたいな気さくな感じで子供たちと接していたのが印象的でした。その後、'95年にも同地を訪ねて、自宅の近くで少しだけお話しました。世界的な有名人のキングも、バンゴーではパパラッチに追いかけられることもなく、市井の人間として静かに暮らせるということなんでしょうね。

Q もっと知りたくなってしまったら？

スティーヴン・キング論集成
-アメリカの悪夢と超現実的光景-

風間賢二著｜青土社｜2021年

キングについてさらに知りたくなったら、彼のすべてがわかると言っても過言ではないこちらを。30年以上にわたりキングについて論じてきた風間さんが、過去の著作や著述に大幅に加筆をしてまとめ直した集大成的な一冊で、そのキャリアと主要作品を年代順に詳しく追っていく。2020年までの全作品解説付き。¥3,740

Anchor by Spotify アンカーで オカルト番組をつくってみた。

MC岡宗秀吾さん

ポパイ初のホラー特集ってことで、ポッドキャストで怖い話はいかが？
“オカルトさん”こと岡宗秀吾さんMCの、ヒヤッと奇妙な番組できました。

仕事中はMacにかじり付き、帰りはスマホに釘付けで、ヘタすればお風呂の中でもSNSや動画を見ちゃってる。現代っ子は本を読まないなんていわれるけど、文字情報、バチボコ追っかけてますから！　一日に摂取してるテキスト量なんてえげつないと思う。てなわけでフル稼働の目ん玉を休ませてあげたくて、最近ポッドキャストを聴くようになった。更新が楽しみな『ハイパーハードボイルドグルメリポート no vision』は、ながら聴きNGってくらいだから目を閉じて心頭滅却して聴いてる。『ホントのコイズミさん』は、小泉今日子さんと一緒に馴染みの場所で本トークしてる気分。面白い番組がいっぱいあるから、Spotifyでお気に入りにどんどん追加して、移動の間とか夜寝る前とか、好きなときに聴いている。なんだかめちゃくちゃ健やかだ。

ポッドキャストは、自分でも簡単に番組が作れるみたいだし、ポパイ編集部もしてみんとてするなり。今回はホラー特集だから、オカルト話がいいのでは。我々のまわりで恐怖体験に事欠かなくて、トークが面白い人といえば……岡宗秀吾さんだ！　さっそく相談してみよう。

ポッドキャスト作成日記

7/10（土）

まずは打ち合わせ。聞き手にエリイさん抜擢！

「子供の頃からしょっちゅう不思議な体験をしてるからねえ。バナナマンのラジオでは〝オカルトさん〟て呼ばれてる（笑）」

僕らのオファーを快諾してくれた岡宗さんは、旧知の仲であるバナナマンの『バナナマンのバナナムーンGOLD』でオカルト話を披露する実績の持ち主。業界で定評がある岡宗さんのトークがあれば、もはや番組はできたも同然？　さらに「聞き手がいると喋りやすいと思う」という岡宗さんの提案で、Chim↑Pomのエリイさんの出演も決定。とんとん拍子。

ウェブ記事と番組は
こちらから！
↓

『岡宗秀吾のオカルト事件簿』
8月6日（金）Spotifyにて配信予定！

岡宗さんが演出を手掛けた『BAZOOKA!!!』に、エリイさんが出演してからのお付き合い。左／岡宗秀吾（おかむね・しゅうご）　テレビディレクター。小誌で「青春狂の詩」を連載中。著書に『煩悩ウォーク』。右／エリイ　アーティスト。2005年にChim↑Pomを結成。今後、『Chim↑Pom展（仮題）』を森美術館で開催予定。

7/12（月）

どうやって録るか。それが問題だ。

出演者も内容も収録日も決まってニンマリした直後、恐怖が襲った。どうやって録って、編集して、公開するのか、何もわかってなかったのである！（ホラー！）慌てて情報収集したら、Spotifyが「Anchor」（アンカー）というポッドキャストの作成から編集、配信までできるアプリをリリースしているのを発見。スマホの内蔵マイクで収録でき、音声やカバーアートも付けられるらしい。これだ！　と即ダウンロードしてテストしたら超簡単。ありがとうテクノロジー！

7/16（金）

収録日。岡宗さんから、不思議体験がザクザク。

用意したのは、テーブルと椅子と「Anchor」だけ。台本は一切ございません、というシンプルすぎる環境で、岡宗さんとエリイさんによるトークがスタート。「怖い話大好き！」というエリイさんに、「妹と側溝で遊んでたときのことなんやけど……」と静かに話し始める岡宗さん。怪談芸みたいに必要以上に怖がらせることはしないけど、「夢だったのか本当だったのかわからない」という体験者ならではの語り口ってじわじわ怖い。収録時間は1時間半ほど。録れ高十分です！

7/25（日）

編集しながらまた聴いて。公開作業は超カンタン！

公開に向け準備。聴き直したらやっぱり面白い。岡宗さん曰く「状況によってトークの長さを調整することも。でも地名や人物名は省きません。見聞きした事実はちゃんと伝えたいから」。声の世界は嘘がつけない。パーソナリティとリスナーの距離が近いからこそ真摯に喋るべし、という教えを勝手に受け取った。岡宗さんばりのトークスキルがなくても、その姿勢があれば番組作りがはかどりそう。さて、トリミングしてBGMも追加。ポパイ初のオカルト番組、ご聴取あれ。

How to REC

Step. 1

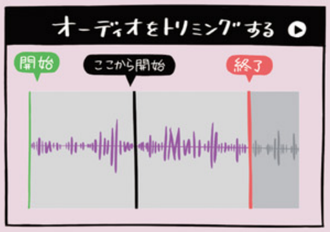
ダウンロード＆セットアップ

アプリストア（App StoreまたはGoogle Play）から「Anchor」をダウンロード。ログインしたら、アカウント設定画面でプロフィール画像、公開時のURL、自身のウェブサイトを設定しよう。「Anchor」自体がポッドキャストコミュニティになっているため、ユーザー間で繋がりながら番組を聴取できるようになっている。

Step. 2

録音スタート！

画面下の「＋」（ツール）をタップし、日付のタブから「新しいエピソード」を選択。再度「＋」をタップして録音画面を開き、マイクのアイコンが付いた「録音」をタップすればレコーディング開始。オープニングやエンディングなど、パートを区切りたい場合は録音中に「停止」を押せばOK。「フラグ」をタップすれば編集点が作れる。



Step. 3

編集作業

編集したいセグメントの「…」からセグメントオプションを開き、BGMの追加やトリミング、オーディオ編集を行う。音声をカットしたり繋げたり、といった操作を直感的に行うことができる。また、著作権フリーの音源が豊富に揃っているため、ポッドキャスト番組らしい雰囲気づくりが手軽に行える。

Step. 4

アップする

エピソードビルダーの右上にある「公開する」から、エピソードの説明などの必要な情報を入力して「今すぐ公開する」をタップすれば、アップ完了！　すぐに「Anchor」で再生可能になり、URLが発行される。Spotify以外の外部プラットフォームへも同時に配信され、認証後に公開される。

Information

Anchor（アンカー）／Spotifyが提供するポッドキャスト制作プラットフォーム。スマホ一つ（iOSとAndroidに対応）だけで、番組収録からミキシング、編集、配信、分析までを無料で行うことができる。ZoomやGoogle Meetでのオンライン会議をポッドキャスト化する機能も。詳細はこちらでチェック！　https://podcast101.byspotify.com/

（問）スポティファイジャパン株式会社　https://www.spotify.com/jp/about-us/contact/
photo: Naoto Date　illustration: Hiroaki Seto
text: Neo Iida

料理の話。

TIMEX PRESENTS

毎月、旬の食材とレシピを料理人・原川慎一郎がご紹介。真夏の火照った体には、ナスを。食べ応え十分な揚げ焼きで。

　一年で最も暑い季節がやってきましたね。体内に溜まりがちな熱を外に出して、少しでも体温を下げたいところです。そんな今にぴったりなのが夏野菜で、ナスもそのひとつ。水分がたっぷり含まれている上に、利尿作用があるから、食べると体の水分が循環し、熱も出ていくんです。水っぽいと思われがちですが、旬のナスにはコクがあって、油との相性が抜群。だから今回は揚げ焼きにします。香菜をたっぷり入れて、その香りと一緒に、がっつりとした食べ応えを楽しみましょう。スーパーで選ぶ際に注目したいのは、実のハリ。そしてヘタの部分がトゲトゲしていると鮮度がいい証拠です。

　まずは切ったナスに塩を振る。そうすると実の水分が外に出て、味が凝縮され、油ハネも防げます。香草はお好みでOK。数種類あると複雑で楽しい味わいになりますよ。唐辛子パウダーを入れるのもおすすめです。大切なのは、揚げ焼き中の火加減。実に火が入る前にパン粉が焦げないよう、弱〜中火程度で調整を。考えすぎず、トースト感覚でやってみましょう。ナスは油を吸うので、適宜、フライパンに足してくださいね。カレーのトッピングにしても間違いない一品です。

CHEF:
SHINICHIRO HARAKAWA

原川慎一郎　はらかわ・しんいちろう｜1978年、静岡県生まれ。2021年1月、長崎県雲仙市にレストラン『BEARD』をオープン。HP（b-e-a-r-d.com）では現地の風景やお店の様子が写真で見られる。

VOL. 10
今月の旬：ナス

原産地はインド東北地方で、日本では奈良時代から栽培されていた。4月から5月に植えられて、初夏から晩秋にかけて収穫される。丸ナス、長ナス、卵形ナスなど形状は様々で、色も紫だけでなく、黄や白、緑色もある。

illustration: Luis Mendo
photo: Yasutaka Tomiyama
text: Ryota Mukai

今月のTIMEX

Original Camper

夏野菜は、失われた体の水分を補う上に循環も促してくれる。ホラー映画と同じくらい、この季節に欠かせない存在だ。こちらも同じく夏の大定番「キャンパー」。ナイロンベルトで軽く、スッキリしたデザインのクラシックウォッチだ。ネイビーは涼しげだけど、このモデルは文字盤さえもネイビー。販売店が限定された型だから、ファンにとっても盲点な、意外と知られていない幻の名品かも!?　¥9,130（タイメックス／ウエニ貿易☎03·5815·3277　www.timexwatch.jp）

今月のレシピ

ナスの香草パン粉焼き

材料（1人分） ナス…1本、塩…適量、にんにく…1片、香草（バジル、イタリアンパセリ、パクチー）…適量、クミン…小さじ1、こしょう…適量、パン粉…200g、オリーブオイル…適量、玉ねぎ…1/8個、赤ワインビネガー…大さじ1

作り方 ①1.5㎝幅に切ったナスに塩をまぶし、水分が出てしなるまで20分ほど待つ。②にんにく・香草のみじん切りと、クミン、塩、こしょうをパン粉と混ぜ合わせる。③熱したフライパンに、薄く膜が張るくらいオリーブオイルを入れる。④❶の水分を拭き取り、皿に入れたオリーブオイルに浸してから、❷をよくつけて、弱〜中火にかけた❸に入れ両面を揚げ焼く。⑤玉ねぎ、香草のみじん切りと、塩、赤ワインビネガー、オリーブオイル(大さじ3)を混ぜ合わせる。⑥❹と❺を盛り付ける。

girl in the city — Nana Mori — 3170W
a tale of three themes about music — Ryohei Matsunaga - 2444W
talk about books and movies - Eiko Ishibashi — 2400W
sexy ni yoroshiku season2 — Maho Shimao — 1095W
pop-eye cinema — Sho Miyake — 885W
stay home shopping — SEX Yamaguchi — 600W
bonjour paris — Ramdane Touhami — 1575W
ascension please! — Tamura King — 1155W
heard on the street — Peter Arkle — 300W

ISSUE 893 SEPTEMBER 2021

Popeye Journal

photo: Masumi Ishida
styling: Takanohvskaya
hair & make: Mariko Adachi
text: Ryoko Iino

Girl in the City 第3回

君といる街

FEATURE

森七菜と谷中銀座

もり・なな●女優。2001年、大分県生まれ。2016年にスカウトされ、デビュー。映画『ラストレター』で第44回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。歌手としても活躍。趣味は料理とギター。最近は街のレンタサイクルで歌いながら(笑)走り、東京の風景を楽しむのも好き。

ラガーシャツ¥33,000（ポロ ラルフ ローレン／ラルフ ローレン☎0120·3274·20） ヴィンテージの〈ラルフ ローレン〉のチノパン¥7,590（リオール☎03·6454·6802） カシミヤのバンダナ¥13,200（EXTREME CASHMERE／Firsthand RAYARD MIYASHITA PARK☎03·6805·1828） チェックのバッグ¥33,000（ERNEST W. BAKER／jackpot☎03·3352·6912） その他は私物

「大分では知らない人とすれ違う時も『こんにちは』って挨拶するけれど、東京では言わないんですね。最初、それを知らずに挨拶して、反応がないからびっくりしたんです（笑）。道で人とぶつかっても謝らないし、『東京は冷たい』って本当かも、と思っていました」

中学3年生の夏にデビューの準備で初めて東京を訪れた時のことを、女優の森七菜さんはそう振り返る。地元の大分県から正式に上京したのは1年前。まだ「渋谷はこわい」し、「満喫するのもこれから」と話す彼女だけど、最近は商店街に行くのが好きだそうで、この日、一緒に出かけた谷中銀座がそのマイブームのきっかけだとか。

「初めて来たのは岩井俊二監督の映画『ラストレター』に出演が決まった15歳の時。あらためて岩井さんの映画を観たいと思っていたら、谷中の『屋根裏シアター』というところで『四月物語』の上映会があったんです。隣の人の肩の温かさが伝わるほど会場が狭くて、一緒に映画を観ているだけなのにそこにいるみんなと仲良くなれた気がして。行き帰りも、自分で作れそうなお惣菜を売っているお店がたくさんあって、温かくて素敵だなと思ったんです。商店街って『ここを歩けばいい』っていう道標みたいだから、その土地に慣れていなくても楽しめますよね。どこか地元の匂いもして落ち着くんです」

森さんが観た『四月物語』は、松たか子演じる卯月が、北海道から一人上京する物語。当時の森さんにも重なる設定だが、どんな気持ちで観ていたんだろう。

「その時は一人で上京して暮らす卯月が大人だなと思っていました。私は家族と東京に来て、今も家に帰れば美味しいご飯がある。一人暮らしって、自分が何を好きで、どんなものを選んで生きていくのかを知る機会だと思うんです。いつかは一人暮らしをしてみたいですね。その時はやっぱり谷中みたいに都会すぎない場所がいいな」

お弁当屋さんの唐揚げや、惣菜屋さんのコロッケに目を輝かせる森さんは、精肉店でメンチカツを買って食べ歩き。すると、ふと路地裏に駆け出して立ち止まった。

「ここ、お洋服や雑貨のお店があったんです。前にここでスカートを買って、今日も何かいいものに出合えるかと思ったら、閉店したみたい……ちょっと寂しいですね」

「電車の駅と駅の間隔が近い」とか「野菜が高い」とか、まだ東京には驚くことばかりで慣れないと話す森さん。だけど、こうやって谷中という好きな街を見つけて、その移り変わりに心が動く。彼女はすでに立派な東京の一員だ。

谷中銀座●台東区谷中にある、下町情緒溢れる商店街。最寄り駅はJR日暮里駅。「夕やけだんだん」とよばれる夕日の名所の階段を下りると、170mほどの短い通りに約60店の商店が並ぶ。森さんのお気に入りは階段近くのイカ焼き屋さん。この日は残念ながら定休日だった。

illustration: Makoto Wada

にしきごい●長谷川雅紀と渡辺隆の漫才コンビ。結成から8年目に『M-1グランプリ2020』でファイナリストに選出され、大きな話題に。いかつい風貌から繰り出すストレートすぎるギャグが爆笑を呼んだ。すでに長谷川（50歳）、渡辺（43歳）という「若手」と呼ぶには高すぎる年齢だが、苦節を重ねた長いキャリアと人柄もあって熱い支持を得ている。

プライマル・スクリーム●1982年、スコットランドのグラスゴーでボビー・ギレスピーらが結成。当初はサイケデリックな音楽性だったが、やがてダンス・ミュージックとルーツ・ロックの要素を兼ね備えたバンドにパワーアップ。'91年のアルバム『Screamadelica』で、イギリス発信のムーブメント"セカンド・サマー・オブ・ラブ"の中心的な存在となった。

コンピューマ●1968年、熊本県生まれ。本名は松永耕一。CDショップ店員時代から独自のセレクトは話題を呼んでいた。ADS（アステロイド・デザート・ソングス）、スマーフ男組のメンバーを経て、現在はDJとして国内外で活動。異次元的なサウンドのミックスCDやリミックス作品も人気が高い。近年は竹久圏との共同名義でオリジナル作品もリリース。

今月の一枚

Heart Of Glass (12inch)
Blondie

1978年の大ヒット「Heart Of Glass」には'75年の時点でデモ録音が存在していた。ゆったりとしてラフなアレンジのデモ版が近年はDJたちには人気。シカゴのNumero Groupはこの曲の全バージョンを収めた12インチを'18年にリリースした。

｜第15回｜

ONGAKU三題噺

文・松永良平

1. 錦鯉　2. プライマル・スクリーム　3. COMPUMA

携帯電話を切って、友人は「もー」とこぼしながら、大きくため息をついた。映像ディレクターである彼は、ある音楽番組の制作のためにぼくと京都に来ていた。昼下がりの鴨川沿いまで出てきたのは、この時季の街並みや景色をインサート用に撮っておくためだ。

彼は最近あるバンドのミュージックビデオ（MV）を担当しているのだが、このロケ中も先方からしょっちゅう電話がかかってくる。細かいダメ出しが多く、彼もちょっとイラだっていた。とはいえそのバンドにはかなりの愛着があるらしく、次に撮るMVの構想も進めているのだと話してくれた。

「（新曲では）錦鯉をね、ブッキングしようと思ってるんですよ。すごいでしょ？」

それを聞いて、ぼくとようこちゃんは顔を見合わせた。彼女は、この連載の第1回に登場した「ジョンとポール（という日本人ミュージシャン）をぼくに紹介したヨーコ」の「ようこ」だ（ややこしい）。"上等な錦鯉は、動物タレントと一緒できっと事務所に所属してるのね" と彼女の目が問いかけてきたので、ぼくも "そうらしいね" と目で返事した。バンドが演奏する近くの清流を、立派な柄の錦鯉が悠然と泳いでゆくさまをふたりして想像していたと思う。よくわからないけど、彼には見えている構図があるんだろうな。

しばらく鴨川の景色を撮ったあと、ぼくらは喫茶店に入ってひと休みした。相変わらず彼の携帯は鳴りっぱなしで、ああでもないこうでもないとやりとりが続く。この店の名物だとようこちゃんに教わったフレンチトーストを口に運ぶひまもない。ようやく一段落したらしく、いろいろと困りものな状況を説明してくれた。「大変だねえ」と相槌を打っていたのだが、そのうち彼が「こないだね、もう待ちきれなくて錦鯉に電話したんですよ！」と言い出して、ぼくとようこちゃんは同じタイミングで「え！」と大声を出してしまった。錦鯉に電話って！

そのとき初めて彼はこの話の意味が通じてなかったことに気がついたらしく、「いやいやいやいやいや」と手を振って否定した。「錦鯉って、リアルな鯉じゃないですよ。あっちのほう」

ようやくぼくの頭のなかでもお笑いコンビの錦鯉が浮かび上がり、「あー！」と声が出た。いろんな番組で仕事している彼は、去年の『M-1グランプリ』で錦鯉がブレイクする前から彼らとのつきあいがあったのだ。しかし、「わたし、『M-1』見てへんもん。錦鯉言われたら、本物の鯉ブッキングすると思うやんなー！」と、ようこちゃんはまだ納得いかないらしい。だけど錦鯉のおかげで、ぼくらはひとしきり笑った。

同じ名前によって起きるひと悶着は、音楽の世界でも結構多い。イギリスで人気になったバンドが、同名のバンドがすでにアメリカにいたという理由で改名したりすることもある。それでも先着順が守られるのならまだいいが、'60年代後半のイギリスで活動したサイケデリックなロックバンドであるニルヴァーナは、あのニルヴァーナ（カート・コバーンの）よりもはるかに先輩バンドだったのに、いまでは "ニルヴァーナUK" と表記されることが多い。

そういえば、大学生だった'80年代の終わり、友人が「プライマル・スクリームのレコード買ったんだけど、これ本当に流行ってるの？」と聞いてきた。見せてもらったのは、プライマル・スクリームの『Volume One』と名乗っているアルバム。リリースは1987年で、ジャケットでは人間と猿が合体したような怪獣が絶叫している。「こ、これは……？」。中身は、本家プライマルとは似ても似つかないアメリカのスラッシュメタル・バンドだった。このバンドは一枚で解散したが、活動を続けていたら「プライマル・スクリームUSA」と名乗らされていたかもしれない。

「田中宏和」という同じ名前に生まれた人たちがネット上で「田中宏和運動」を立ち上げ、ついに『田中宏和さん』という本まで出したこともあった。ぼくの名前は「松永良平」だが、ツイッターのアカウントだけでも同姓同名が数人存在する。そのうち超有名な「松永良平」が現れたら、ぼくも「松永良平・熊本」とか、出身地をうしろにつけなきゃいけないのか。

じつは、似たような事態はすでに起きている。ときどきライブハウスやクラブでDJをするが、DJをする「松永」が、目に見える範囲で3人存在する。ひとりはいまやテレビやラジオでも引っ張りだこで活躍中のヒップホップ・ユニット、Creepy NutsのDJ松永さん。もうひとりの「松永」はCOMPUMAというDJネームで活動されている松永さん。エクスペリメンタルなダンス・ミュージックを作り出すCOMPUMAの名前は世界でも有名だ。こちらの松永さんは元レコード店のスタッフで、出身も熊本と、ぼくと共通点が多い。学年はぼくがひとつ下だが、生まれ年は一緒。一緒にいることが多いので、ときどき、どっちの「松永さん」が話しかけられているのかわからなくなることもある。

もちろん「DJをする松永」3人のなかではぼくの知名度は最下位なので、大きく混同されるようなことは起こらないはず。ああ、でも、2年くらい前の神戸で、それは起きた。

塩屋という町に立つ旧グッゲンハイム邸で行われた、牡蠣食い放題＋DJという非日常なイベント『オイスター DUB祭り』に参加したときだった。なにしろ、蒸し、焼き、生と牡蠣の醍醐味を味わい尽くせるイベントなので、お客さんは音楽好きだけでなく地元の住民も多い。ぼくがブロンディの名曲「Heart Of Glass」の初期ヴァージョンをかけていたときだった。少年がひとり、ブースの前で立ち止まって言った。

「DJ、松永……？」

顔を上げ、しばし彼と見つめ合って沈黙。そして手を振って失笑。「いやいやいやいや」。

もしかして彼はイベントのフライヤーを見て、「あのDJ松永さんが牡蠣食い放題に？」と思い込んでいた？　あのとき、否定しなければどうなってただろう。握手して、ツーショット撮って、サインして……、いやいやいやいや。

まつなが・りょうへい｜大学時代の友人たちと音楽雑誌『リズム＆ペンシル』を1999年に創刊。レコード店勤務のかたわら音楽関係の執筆やインタビューに携わる。近著に平成の音楽シーンを振り返る自伝的エッセイ『ぼくの平成パンツ・ソックス・シューズ・ソングブック』（晶文社）。

photo: Ichisei Hiramatsu
text: Kosuke Ide

色々なことに直面して、困ったり苦しんだりしながらものを作っていきたい。

この原稿を書いている最中に、石橋英子さんが音楽を手掛けた濱口竜介監督の映画『ドライブ・マイ・カー』が、カンヌ映画祭で脚本賞を含む4つの賞に輝くという喜ばしいニュースが飛び込んできた。妻を亡くし、深い喪失感を抱える舞台俳優の男が、ある女性との出会いを通して新たな一歩を踏み出していく——村上春樹の短編小説を原作とするその物語では、タイトルどおり車が重要な意味を持つ背景として登場する。映画音楽、いわゆる「劇伴」を担った石橋さん自身もまた「映画中、車の音がとても印象的だった」と語るのが興味深い。そして今回、彼女が挙げてくれた映画もまた、車が大きくフィーチャーされた作品である。

「1970~'80年代のアメリカ映画には、車が主役級の扱いで登場する映画が多いですよね。『バニシング・ポイント』『ラスト・ラン』『クリスティーン』とか……」と石橋さんの口からシブいニューシネマのタイトルが次々と飛び出す。その意外性に気を取られていたら、「映画はほぼ毎日、何かしら観ています。もしかしたら私、音楽より映画のことを考えている時間のほうが好きかもしれない」との発言にさらに驚かされた。

「観ている間だけじゃなくて、観る前とか、観た後に思い出して浸るのがまた楽しいじゃないですか。映画音楽も、観ている間はあまり意識させないけど、観終わった後に、ああ何か音楽が良かったなあと思い出す、みたいな感じが理想ですね。その意味では、今回選んだ『断絶』と『ザ・ドライバー』も、観た後で記憶に残るのはほとんど車が走っているシーンばかりという映画で。どちらも台詞は少なくて、特に若者が喋らないんですね。『断絶』ではジェームス・テイラーとデニス・ウィルソン演じる若者二人がシボレーに乗って旅をしている途中で、ウォーレン・オーツ演じる中年男と出会い、レースを始めるんですが、嘘の身の上話をペラペラ喋る中年男と若者たちの間には、まさしく世代間の〝断絶〟のようなものがあって。その間に大きく横たわる『わかりあえなさ』みたいなものが、彼らのあてのないロードトリップに象徴されるように、映画の全編に貫かれている。『ザ・ドライバー』でも、犯罪者を逃亡させるプロドライバーである主人公と彼を執拗に追いかける刑事とが、いつまでも交わることなくすれ違い続ける。そうしたテーマは、『ドライブ・マイ・カー』にも通じているところがあって。主人公の男とその妻、彼らをめぐる人々との間にあるわかりあえなさ、コミュニケーションにおける齟齬とかズレみたいなもの、『〝交流できない〟という交流の形』を描いているというのかな。そうした姿を通じて、人と人が出会うことの不思議さみたいなものが伝わってくるんですね」

『断絶』の原題『Two-Lane Blacktop』（2車線のアスファルト道路）のように、どこまでも平行線を辿り、交わることのない人間の生。明確なゴールもないその途上のどこかで、人は偶然に出会い、また別れていく。その「あてのなさ」に石橋さんは惹かれると言う。そんな彼女が、精緻な作曲に基づく音楽制作の一方で、数多くの即興演奏を含むセッションやコラボレーションに参加してきたことはよく知られる。予定調和を拒み、瞬間に懸けるインプロヴィゼーション、その世界にこそ重要な何かが潜んでいるのだと、若き日に教えてくれたのもまた一本の映画だった。

「濱口監督はジョン・カサヴェテス監督の映画『ハズバンズ』に大きな影響を受けたと仰っていますが、私も19歳のとき、カサヴェテスの『オープニング・ナイト』に出合ったことで人生を変えられたと感じていて。ファンの若い女性が事故死したことをきっかけに心のバランスを崩し、苦悩するベテラン女優が、泥酔状態のまま舞台上で即興芝居を繰り広げ、それを通して生きていく力を勝ち取っていく。その姿にただただ圧倒され、ショックを受けました。人生にこういうことが起きるんだと。それまで色々なことをあきらめて、どこか無気力に生きていた自分にも、こんな瞬間が訪れる可能性があるのかもしれない、と思えた。年齢とか性別とか社会の状況とか、色々な制限を乗り越えたところにある、自分の中の本当の核みたいなものを見つければいいんだと。カサヴェテスの映画の多くはわかりやすい筋書きやドラマチックな展開はありませんが、観終わった後に、何かすごく大事なものを得たと感じさせるんですね。それはずっと古代からある詩のような、大きくて普遍的なメッセージのようなものというか。『ジョン・カサヴェテスは語る』は監督のインタビュー集ですが、やはり監督の言葉はエネルギーに満ちていて、ものを作るということはこういうことなんだ、生き抜くことと同じなんだと教えてくれます。自分にもっとパンチしなければ、という気持ちをもらえるんですね。読んでいると、彼が長年にわたってインディペンデントで映画を作り続けてきた中で、あらゆる困難を乗り越えてきたことがわかる。スポンサーがつかず資金難になり、自分の家を抵当に入れたり。ただアーティストというだけでなく、生活を営む一人の人間として率直に語っていて、嘘がない。創造的な仕事を続けていく上では、誰もがそうした壁に必ずぶち当たるわけですよね。辛い状況の中で、もう辞めたいとか、すでに世の中にいい作品はいっぱいあるからもう作らなくていいんじゃないか、とか考えたりもする。だけど、そうしたリアルな生活を切り離して作品を作ることはできないんですよね。私も昔、それまでやっていた派遣の仕事などを辞めて音楽を本気でやっていこうと決意したときがあって、その頃はもう家の電気代が支払えなくて電気を止められるくらいの状況だったりしたんですけど、今思えば、ある意味では幸せだったのかなとも思う。これから先もそんなふうに、ちゃんと色々なことに直面して、困ったり苦しんだりしながらものを作っていきたいなと思っています」

今、目の前にある現実にただまっすぐ向き合うこと。そんな当たり前のことが、いかに難しいことか。カサヴェテスはその長年の苦闘を通じて教えてくれた。彼が生涯を通じて求め続けた即興性とは、単に脚本や演技を即興的に決定することでなく（実際その作品の多くには緻密な脚本があったという）、どんな人間であれ、誰のものでもない一回きりの生を生きているという事実から目を逸らさないということだったのかもしれない。

「これまで多くの即興演奏をやってきましたが、考えてみれば作曲のプロセス自体も即興と言えるんですよね。既成の枠にとらわれず自由な気持ちで取り組んでいると、自分ではできないと思っていたこととか、自分には関係ないと追い込んでいたことが、ふとした瞬間に出てきたり。私はそういうものに出合いたくて音楽をやっている

『ジョン・カサヴェテスは語る』ジョン・カサヴェテス　米インディペンデント映画界の父と目される俳優兼監督の膨大なインタビューでの発言から、映画批評家レイ・カーニーが構成したもの。遠山純生、都筑はじめ訳。品切れ／ビターズ・エンド　『映画にとって音とはなにか』ミシェル・シオン　作曲家である著者が、さまざまな傑作映画の魅力を、音に対する認識論と音響技術に関する方法論から解き明かす。川竹英克訳。品切れ／勁草書房

『ザ・ドライバー』監督：ウォルター・ヒル／出演：ライアン・オニール、ブルース・ダーン、イザベル・アジャーニ他／1978年。銀行ギャングや強盗ら犯罪者の逃走を請け負うプロの逃がし屋「ドライバー」と、彼を逮捕しようと執拗に追う「刑事」。そこにミステリアスな美女「プレイヤー」が現れ、三つ巴の戦いが幕を開ける……。夜のロサンゼルスを舞台に繰り広げられるカー・チェイスをスタイリッシュに描くノワール・アクション・ムービー。

『断絶』監督：モンテ・ヘルマン／出演：ジェームス・テイラー、デニス・ウィルソン、ウォーレン・オーツ他／1971年。ストリートレースで儲けた賭け金を手に、レース用チューニングを施した'55年型シボレーで走るザ・ドライバーとザ・メカニックが、あるガソリンスタンドでポンティアックGTOに乗った男と遭遇し、互いの車を賭けた長距離レースを行い、ワシントンD.C.を目指す。『断絶〈HDニューマスター版〉』DVD ¥2,090（キングレコード）

GUEST

石橋英子

ミュージシャン

BOOK ジョン・カサヴェテスは語る ジョン・カサヴェテス

BOOK 映画にとって音とはなにか ミシェル・シオン

MOVIE 断絶 モンテ・ヘルマン

MOVIE ザ・ドライバー ウォルター・ヒル

いしばし・えいこ｜日本を拠点に活動する音楽家。国内外レーベルからの作品発表に加え、アニメ『無限の住人-IMMORTAL-』、シドニーのArt Gallery of NSWの『Japan Supernatural』展などの音楽を手掛ける。8月18日に『ドライブ・マイ・カー』のサウンドトラックが発売。

第112回

本と映画のはなし。

んだと思う。そうすることで、自分が捉えている世界の見方に対して意識を開くことができるから」

手本のない即興には「失敗」はなく「成功」もない。『ドライブ・マイ・カー』の主人公のように、『断絶』の若者たちのように、『オープニング・ナイト』のジーナ・ローランズ演じる女優のように。石橋さんもまた路上をあてもなく彷徨いながら、さまざまな人々と出会い、触れ合うことを通じて、「〝交流できない〟という交流の形」を見つめ続けている。

「ミシェル・シオンの『映画にとって音とはなにか』はタイトルどおり、映画の中で聞こえる音について分析したもので、自分にとって大切な本です。私自身、映画を観ていて『音楽なんていらないじゃん』と感じる瞬間もあって。本当に音楽が必要なのか、そもそも音楽って何だろうとか、そういうことを考えるんですね。演奏することそのものよりも、音の立ち位置とかあり方を考えたりするほうが好きなんです。客演をするときも、音楽全体の中で自分が出すべき音を探っていくようにしていて。そんな自分にとって、この本は〝音楽〟以前の〝音〟に立ち返らせてくれるもの。どんな音楽を奏でるかをまず考えるよりも、『音楽がいらない』と感じる、そのことのほうが大切だと思うから。〝音〟であることを忘れずにいたいんです」

しまおまほの セクよろ Sexy ni YOROSHIKU 〜season 2〜

|第3回|

海外旅行と捨てられないパンツ。

1年半以上続くコロナ禍で意外なところに弊害が出てきた。捨てられないパンツが溜まってきてしまったのだ。コロナ以前、パンツは旅先で捨てるものと決めていた。しかもなるべく遠い場所で。熊本、沖縄、台湾、香港、ベトナム、インド、イギリス、フランス、スウェーデン、カナダ……。あらゆる場所で捨ててきた。

地元の、いつものゴミ捨て場に捨てる気にはどうもなれない。もし、カラスが袋を破って咥えていたら。もし、時々現われるゴミチェック&持ち帰りオジサンに見つかってしまったら。捨ててからすぐに収集車が来てくれるのならまだ良いのだけれど、自宅からほど近い路上に2時間3時間と自分のパンツが放置されることになるのは落ち着かない。また、旅の荷物に持って帰ってくる前提で下着を用意すると使用済のものを帰ってから洗わなければならない。長旅だとバスルームで洗ったりもするけれど、帰国日が近づくとどうしても生乾き状態 or 未洗濯のものを持って帰らざるを得ない。

そこで、旅には穿き古したパンツと生地がうっすくなったTシャツを持っていき、旅の最終日に捨てて帰る、と言うのが恒例だった。ほんの少しだけれど、トランクのスペースも空く。捨てる場所のオススメは空港の保安検査場直前のダストボックス。「楽しかったたよ、また来るね！ バイバイ！」と心の中で唱えてダストボックスに思い切りボスッ！ っとパンツの入ったビニール袋を捨てる。もちろん二重で、口もかたく絞ってある。そのくらいのマナーは持ち合わせてる。

帰国日に穿いて帰るパンツのことをちゃんと考えてローテーションを組まないと、うっかり捨てるつもりだったパンツを穿いて帰る羽目になるので、そこは注意。

で、コロナ禍で旅に出ることができなくなって、本来なら捨てられるべきパンツがいつまでも家に居座っている。もう鼠蹊部がスカスカなパンツ。腰のゴムでかろうじてぶら下がっている暖簾状態のパンツが現役ヅラして新米パンツと肩を並べている。ああ、許せない。コロナさえなければオマエらは今ごろ異国の空港で言葉の通じないゴミたちと処分されているはずなのに……。さー日本に帰るぞーと思いきや、保安検査場手前で置いていかれる運命だったのに！

と、いうわけで……早くコロナが終わりますよーに♡

しまお・まほ｜漫画家、エッセイスト。1978年、東京都生まれ。最新エッセイ集『家族って』が好評発売中。

三宅唱の POP-EYE CINEMA

©2021『ドライブ・マイ・カー』製作委員会

妻を亡くした舞台俳優・演出家の家福（＝西島秀俊）は、愛車のサーブで招待された広島の演劇祭に向かう。そこで専属ドライバーのみさき（＝三浦透子）と出会う。村上春樹の短編小説『ドライブ・マイ・カー』を原作に、濱口竜介監督がオリジナル要素を加え映画化した。8月20日より全国公開。

|第79回|

『ドライブ・マイ・カー』

たったいま舞台の本番を終えたばかりの男が楽屋の鏡の前に座っている。そのカットに妙に惹きつけられた。疲労と充実感から滲み出る色気や、その姿を捉えたカメラポジションもその理由だろうし、前の場面からなにかが流れ出して尾をひいているような感触もあった。終わったと思ったらまだ続く感じ。喩えるなら、前の場面で水がコップに少し溜まったとして、次の場面に移ったときその水がなかったことにはされず、また新たに水が足され、その後もまた水が足されていくような。考えてみれば、当然だが、舞台が終わったとてその日は終わらない。着替えをし、挨拶をし、帰り道があり、次の朝も人生は切れ目なく続く。かつてどれほどとりかえしがつかないことがあっても、どうしようもなく、続けなければならない。そんな感慨がじわじわと押し寄せる。たとえば建物の入り口や壁を真正面から捉える場面を見ているときに、また、手で体を支えるようなものがない場所でまっすぐに立ち続けようとする人の、その全身や顔をじっと見つめているときに。上演中の場面ではないのにもかかわらず、しかし上演の続きを見ているような気もし、ふと劇場で演劇を見ているときのあの緊張感が蘇える。観客の誰かがアッと声を出せば壊れてしまうあの時間。上を見れば照明機材があり、横を見れば非常出口マークのある場所。劇というものはとんでもなく儚い世界だと思うし、信じがたいほど強靭に立ち上げられた世界だとも思うが、この映画の演技とカメラによって、この世界そのものもそのように儚く、また強靭であることが明らかになるようで、震える。人物たちの顔や撮影された土地の傷を見るうち、またそれぞれの個人史の語りを聞くうち、この十年この百年に自分自身や日本で起きたことも脳裏によぎる。深刻かつ辛い、あまりにもスリリングな場面では「もう終わってくれ」と願う自分が、終盤には「終わらないでくれ」と願っている自分がいた。ベッドでの声、車での声、舞台上での声、それぞれの響きがまだ耳に残る。この映画は全然終わってくれない。こんな大きな映画を同時代に見ることができて嬉しい。とにかくすごい。最高に面白い。皆さんぜひ映画館で！

みやけ・しょう｜映画監督。監督作に『Playback』『THE COCKPIT』『きみの鳥はうたえる』など。

セク山のステイホームショッピング

|第15回|

スマホスタンド

1000円強でビューティフル快適生活。コンパクトにトランスフォームするのも◎。

このコロナ禍、自宅でのリモート環境を良くするためにデスクや椅子、モニターやら何やらを一新した。それなりに快適にはなったのだが、ひとつだけ置き場所がなかなか定まらないものがあった。スマホである。

それまでは100均で買ったプラスチックのスマホスタンドをなんとなく使っていたのだが、角度調節もできないし何より見た目の

｜第13回｜

コロナのせいでパリが美女だらけになった件。

マスクがマストになって女の目と髪の重要度が飛躍的に高まった。パリにしろ東京にしろ、結果的に世界中に美女が増えたのは嬉しい限りだ。

コロナは一瞬でおれたちの生活を変えちまった。コロナでよくなったことなんて何一つない。ひどいことばかりだが、何よりも最悪だったのはマスクだ。

窮屈だし、面倒だし、肌荒れの原因にもなる。独特な妙な匂いも気持ち悪い。そして何よりマスクをしてると夏は暑い。おれみたいにお客さんと対面でものを売る店をやっていると、マスクはさらに輪をかけて厄介だ。

もう誰も覚えていないだろうけどコロナ前、韓国あたりのスカした奴らは、マスクをファッションとしてつけてたぐらいのものだった。でもコロナで一瞬にしてマスクがおれたちに課せられた、最低最悪の義務になった。

マスクを常時つけるようになって一年ばかり。マスクが最悪なのはまったく変わらないが、マスクにも一つだけ優れた点があることにおれは気づいた。マスクをしてる女たちが、やたらキレイに見えることだ。

おれたちがすれ違う女を一瞥し品定めする時、初対面の女と向かい合って話す時、マスクから露出する目の印象は決定的に重要だ。この女、こんなにきれいなまつ毛だったのか！　なんて気づいたりする。顔全体のバランスがイマイチでも関係ない。瞳に力があればそれだけで確実に美女に見える。

街を自転車で走っていると、'21年初夏のパリは、さながら美女の都だ。笑っちまうくらいに美女しかいない。楽園だ。そしておそらく東京も横浜も大阪も、同じように楽園になってるんだろう。

おれの肌感覚でいうと、上手なやつならマスク着用の効果で、見た目を最大4割増しくらいにはできる。おれにしても、何をするわけじゃないけれど、美女が多いのはそれだけで楽しいもんだ。

女たちは男よりもずっと賢いんだ。女が目と髪に戦力を集中投下すれば、男どもは割と簡単にコロっと転がされちまう。男は目で殺せる。これがコロナ禍の女どもが、したたかに学んだ戦術だ。

コロナ禍に入り、まずはどこの化粧品ブランドでもリップがまるで売れなくなった。これはまあ当然だ。少し遅れてマスカラの売上が大幅に伸び、さらに少し遅れへアサロンにも人が戻ってきたという。聞いた話だが、日本ではまつ毛パーマはもちろん、最近は「まゆ毛パーマ」も人気だっていうじゃねえか。

ただ最大の問題は、マスクを外す時だ。男と女が仲良くなり事態が進展すると、いずれ素顔を晒さなきゃいけないわけだが、この局面に有効な技術は、残念ながらまだ開発されていない。今のところ部屋を極端に暗くするぐらいしか手立てはないが、暗闇でしか会わないってわけにも行かねえし、その前に一緒に食事に行ったり酒を飲みに行ったりもするだろうしな。でも、初めてマスクを外した顔を見るスリルも、これまではなかった喜びだ。まあ悪くない。

コロナ以前にも、前を歩く女の後ろ姿を見て、口笛かなんか吹きながら追い抜きざまに顔を見ると、想像とは全然違う感じでがっくりした経験は、男なら誰でもあるはずだ。あれのアフターコロナバージョンだよ。

そして賢い男ならもうわかっていると思うけど、女だけじゃなく男だって、うまくやれば同じように4割増しだ。コロナはおれたちにとっても人生最大のチャンスかも知れない。コロナが終息に向かいつつあることは心から喜ばしいが、ワンチャン狙う男どもにとっては、終息しちまってからじゃ手遅れだ。幸運を祈る。

ラムダン・トゥアミ —'74年フランス生まれ。1803年パリに創業した香水・化粧品ブランド〈オフィシーヌ・ユニヴェルセル・ビュリー〉オーナー。好きな食べ物は、うどん。

チープさが気になってしまい「なんだかなぁ……」とだんだんと捨てるのも面倒な存在に。「何も考えずにとりあえずで物を買うもんじゃないなー」と反省しつつ、アマゾンの検索窓に〝スマホスタンド〟と打つと……そこには検索結果2万件以上の大きな沼が待ち受けておりました。何も考えずにダラダラ閲覧してたら時間を溶かすだけ、と瞬時に判断し箇条書きした選考基準は以下のとおり。

・角度と高さ調整可能
・電源ラインに干渉しない
・折り畳んで持ち運べる
・頑丈そうで重さがある
・iPadも置ける
・安すぎず高すぎない

こんな簡単な条件だが、これのおかげで5分足らずで「これだ!」というものにたどりつけた。コロナ禍にアップしたアマゾン検索スキル、少しは一人前のステイホームショッパーに近付いているのか。

肝心の使用感なのだが、友人たちとのオンラインモンハン中のグループチャットがとても快適！　ゲーム中はとにかく忙しいので瞬時に反応できるセッティング場所がわかっただけでも大収穫。よりいっそう狩りも捗っております！

せくやま（せっくす・やまぐち）— 神奈川県生まれ。ダンサー、雑誌編集者などを経て、現在はDJなど。Bリーグ・川崎ブレイブサンダース専属アリーナDJとしても活躍。

edit: Izumi Karashima

みんな、アセンションしてる？
タムラキングと考える、時事と哲学と次元上昇。

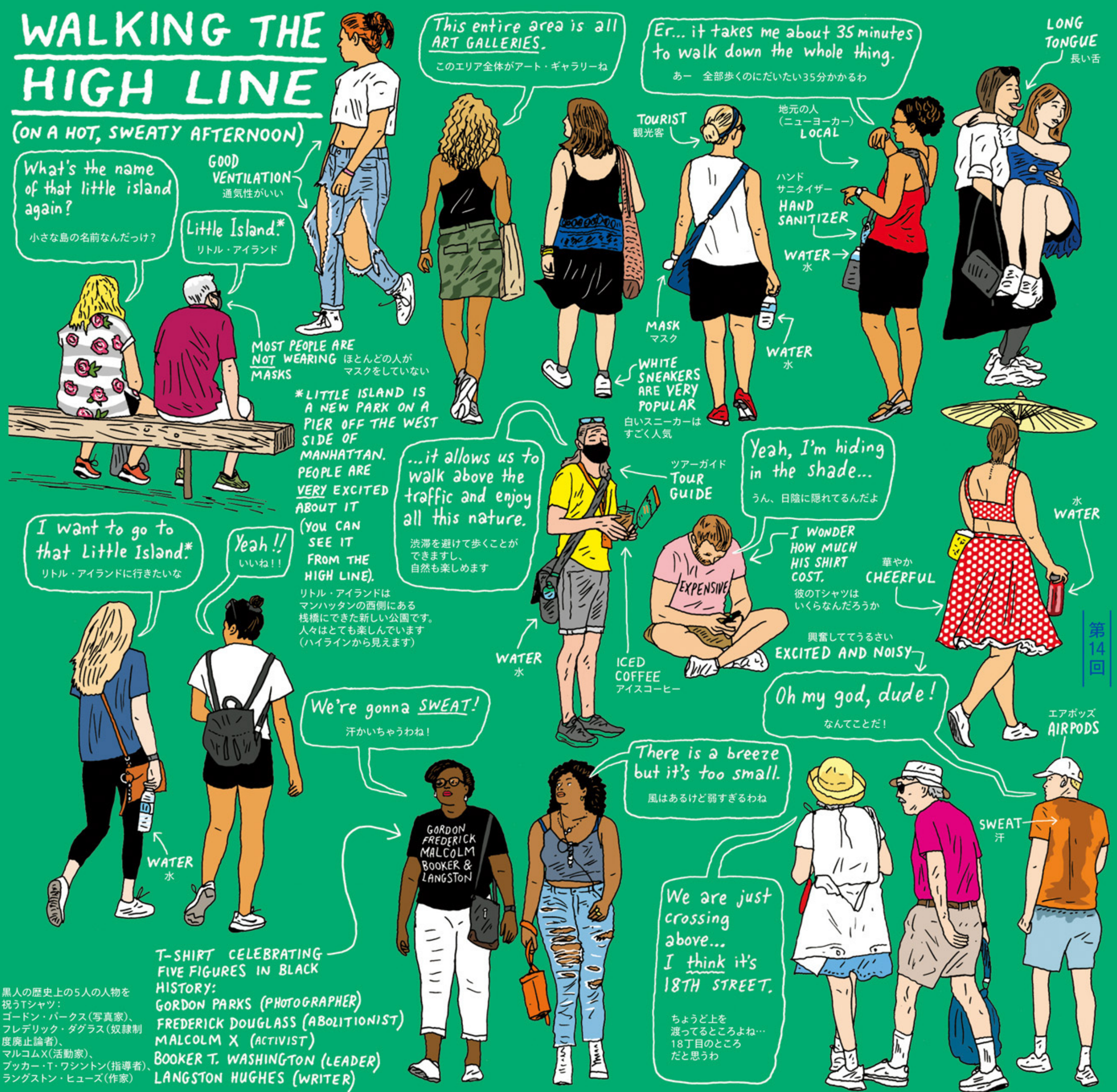
NASA（以下Ⓝ）基本的にホラーは大っ嫌い。ホラーをとりまいてる言葉とかアクションとか、全部がネガティブだから。呪いとか死とか恨みとか、ディテールでいったら腐敗した状態とか、精神を病んでトラブルになる感じとか、とにかく希望がない。そういうの引き寄せそうで、あんまり観たくないんだよね。それよりはバイク事故のリアルな映像のほうが観るかな。

まな（以下**ま**）怖い。Ⓝ普通に気をつけようって思う。**ま**怖いの好きだけど、元気じゃないと観ない。Ⓝそうだね。こっちが元気だとまあ観れるかな。**ま**周りに霊感がある人が多くて。お兄ちゃん幽体離脱してなかった？　Ⓝああ、なみの遠足で江の島水族館に行ったときね。お母さんが引率で付いていったから、赤ちゃんだったまなちゃんと僕も一緒に行った。で、イルカショーを観て、みんなが「シャチだ！」って言うのを、僕はぼんやり、シャチじゃないのになあイルカなのになあって思ってて。あとで家に帰ってから「みんなシャチって言ってたよね？」って聞いたら「え、来てなかったでしょ？」って。そのときがっつり小学校で授業受けてたっていう。**ま**ヤバい。Ⓝそのときのことを思い出すと、全体的にホワイトアウトしてるんだよね。カメラで露出オーバーしてる感じ。友達の顔も、座ってる位置もいまだに覚えてるけど、なんだか真っ白い。江の島水族館って学校から車で20分くらいのところなんで、そうか飛んだんだなあって。夢みたいな感じ。**ま**まなは夢の中に行きつけのパン屋がある。荒々しいアルプス山脈がそびえてて、電車にのって学校に行く。多分夢の中では中学生か高校生で、いつもパン屋に立ち寄る。起きたときいつも、あ〜またあのパン屋行ったなあって思う。Ⓝ夢もある意味ホラーなのかも。ものすごいでっかいヘラクレスオオカブトが飛んできて、バチンッて背中にくっつく夢とか超怖かった。それはどうやら襟足の髪の毛がのびて、背中にあたったのが反映されたっぽい。まなちゃん映画だとどのへんが好きなんだっけ？　**ま**日本のホラーが好き。『仄暗い水の底から』とか『リング』とか。『映画クレヨンしんちゃん 爆発！温泉わくわく大決戦』も裏の組織があって怖かったけど、あれはホラーではないかも……。Ⓝゾンビ映画とかは普通に観るけどね。『ドーン・オブ・ザ・デッド』とか。ショッピングモールで暮らすのいいなって思うし、調達シーンも楽しいし、ゾンビも作り物ってわかるから全然怖いと思わない。むしろ仕事で忙しくてボロボロな状態のとき、ああ、今の自分ってゾンビだなって思う。**ま**通勤時間に電車からうわ〜って降りてくる人とか、ゾンビかも。Ⓝだって資本主義がそうじゃん。疲弊して、なんでも言うことを聞く従順な状態の人間って扱いやすい。組織的に計画してやってると思うと恐ろしいし、それがいちばんのホラーだと思うけどね。

長男のNASA、長女のなみちえ、次女のまなの3人によるヒップホップユニット。神奈川県茅ケ崎市出身。なみちえさんは今回お休み。

text: Neo Iida

coordination & translation
: Momoko Ikeda



第14回

From PETER ARKLE　暑く汗ばむ午後に、ダウンタウンの西側にある「ハイライン」へと行ってみた。高架跡地を再開発した空中庭園になっていて、今の季節は緑が清々しい。最近は予約が必要な場所が多いけれど、ここはその必要がないのも気楽でいい。2kmほど続く緑道は、新しくできた公園「リトル・アイランド」と複合大型施設の「ハドソンヤード」にも繋がっていて観光客にも大人気だ。23丁目より下のエリアは古い線路跡地の間に樺の木が茂っていて僕は特に好きだね。

聞こえるニューヨーク

HEARD ON THE STREET

illustration by PETER ARKLE

聞いても教えてもらえない、ニューヨーカーの本音を聞くため、NY在住のイラストレーターは街で聞き耳を立てることにした。今回は新名所のひとつ、ハイラインへ。

ピーター・アークル｜イラストレーター。スコットランド出身で1995年よりNY在住。『The New Yorker』『The New York Times』などで活躍中。「リアルライフのほうが作り上げられた話よりずっと面白い」と、日々ストリートの出来事を記録している。peterarkle.com

photo: Nagahide Takano
text: Tamio Ogasawara
cooperation: Takahiro Goko

1

PRADA

上品この上ない〈プラダ〉のウールカシミヤシャツ。ふんわり優しい着心地に、シルエットも細からず太からずの優等生。着ると自分に自信が持てるほどの高揚感。左胸には同色のマークがしれっと入り、これが〈プラダ〉のものだとさりげなくわかる。¥242,000※予定価格（プラダ／プラダ クライアントサービス☎0120·45·1913）

2

ONTAYAKI

メダカは飼っているかい？　ってことで、小鹿田焼の睡蓮鉢。僕らのまわりはメダカに夢中な人が多く、増えるたびに睡蓮鉢を東長崎の『小鹿田焼ソノモノ』に買いに行く。こちらは陶工、坂本浩二さんに特注した尺一寸のもので、内側まで小鹿田の伝統技法、飛びカンナがびっしり。¥33,000（小鹿田焼ソノモノ☎03·3958·5231）

3

GUCCI

誰がなんと言おうとかわいい〈グッチ〉のサテンジャケット。背中のリンゴの中にはハートがいっぱい。GUCCIのロゴもちょこん。襟付き、リブ付きで、左胸にはLovedの刺繍。薄いブルーのジーパンくらいで合わせたいね。やっぱり愛に満ちた生活はいいのだ。¥269,500（グッチ／グッチ ジャパン クライアントサービス☎0120·99·2177）

4

HENDER SCHEME

〈エンダースキーマ〉の新作で気になったのが、ボタニカル柄のポリエステルキルティングもの。ウレタンボンディングを施してからのステッチ、縮絨でデコボコ感がすごい。クセが強くて格好いいのよ。ショルダーバッグ¥26,400、ハット¥19,800、巾着¥26,400（すべてエンダースキーマ／スキマ 恵比寿☎03·6447·7448）

5

PROPS STORE

このバカバカしいお洒落なTシャツセットは〈フルーツ オブ ザ ルーム〉だ。見てのとおり、サンデーからサタデーまでの各曜日が1枚ずつ、計7枚入ったパックTシャツ。夏だし、試しに1週間着てみてよ（笑）。アメリカ企画の日本未発売もの。友達と分けて買うもよし。¥14,850（プロップスストア☎03·3796·0960）

6

WHITE MOUNTAINEERING

なんだか未来の軍もののような〈ホワイトマウンテニアリング〉のシェルジャケット。「小松マテーレ」のSAITOS 3レイヤー生地を使っていて機能性も申し分なし。ヤマト運輸の制服を手掛けたデザイナーの相澤陽介さんにはぜひ自衛隊の服も作ってもらいたいね。¥88,000（ホワイトマウンテニアリング☎03·6416·5381）

7

VINSON HOUSE

ようやくというか、いよいよ、渋谷の名店『イルミネート』のバイヤー、雨宮功治さんがお店をオープン。その名も『ヴィンソン ハウス』。まだまだイギリスにバイイングに行けないだろうから大変だろうけど、イギリスのものを中心に、いわゆる珍しくていいものが並ぶ店。'40年代のブリティッシュアーミーシャツ（¥21,780）なんてめっちゃ格好いい。○東京都渋谷区神宮前1-2-7 1F ☎03·6271·1623 12:00～20:00 不定休

8

NANAMICA

一見ヘビーなカバーオールとワークパンツは、ポリエステル芯にコットン巻きの糸を使い、見た目以上に軽くて柔らか。ニットキャップもこう見えてゴアテックス仕様。着てこそわかる〈ナナミカ〉の服。ジャケット¥46,200、パンツ¥28,200、ニットキャップ各¥9,680（すべてナナミカ／ナナミカ 東京☎03·5728·3266）

10

F.C.R.B. × MLB

〈SOPH.〉が手掛ける架空のフットボールクラブ〈F.C.R.B.〉が、垣根を越えてMLBとコラボ。老舗4球団とのキックベース大会というファンタスティックな設定で、ご覧のとおりデザインもアイテムも幅広くご用意。上左¥20,900、上右¥14,300、中左¥25,300、中央¥20,900、中右¥20,900、下¥42,900（すべてF.C.R.B.／SOPH www.soph.net）

Major League Baseball trademarks and copyrights are used with permission of Major League Baseball. Visit MLB.com.

9

ARTEK

これは〈アルテック〉から登場のアルヴァ・アアルトの名作家具をミニチュアで再現したコレクション。「タカラトミーアーツ」と開発したガチャで『ArtekTokyo Store』他、いろんなガチャ場で回せるそう。レアものは「スツール 60」のヴィンテージ。当てたいね。1回¥400（すべてアルテック☎0120·610·599）

12

JOY ORBISON

イギリスのXL RECORDINGSよりリリースされるジョイ・オービソンの14曲入りミックステープ『Still Slipping Vol.1』。CDとレコードが出るのだが、〈C.E〉とコラボしたTシャツとソックスも発売。エレクトロニックな音楽をどうぞ。CD¥2,420、レコード オープン価格（ともにBEAT RECORDS info@beatink.com） Tシャツ各¥7,700、ソックス¥2,200（すべてC.E www.cavempt.com）

11

GOLDWIN

クラシックな山ものを思わせるよき発色に、最先端の機能を詰め込んだ〈ゴールドウイン〉のシェルジャケット。雪山にも耐える3層のゴアテックスに、想像以上に動きやすい立体設計。形はお好みで。プルオーバージャケット¥77,000、マウンテンジャケット¥82,500（ともにゴールドウイン／ゴールドウイン原宿☎03·6419·7920）

13

SANS LIMITE

気分はマオカラーだ。美術館に行ったりするときにでも着たくない？　着やすいボックスシルエットに、ストライプ生地はイギリスの「トーマスメイソン」を使っている。普段はマオカラーって選びづらいが、これなら着たいし、うまく合わせられたらテンション上がるね。¥33,000（サンリミット／サンリミット 上野店☎03·5826·4791）

14

GRAMICCI

街でも山でも快適な〈グラミチ〉のクライミングショーツを、はき心地はそのままに、海にも川にもプールにも入れるナイロンシェル素材でアップデート。いつもよりほんのり丈短めの夏仕様で、気になるカラーはアッシュオリーブ。小さく畳めるパッカブル仕様なので夏休みはだいたいこれ一本でいけちゃう。¥8,580（グラミチ／インス☎0120·900·736）

15

DESCENDANT

〈ディセンダント〉のヘッドウェアとボトムスはいかがかな？　ナイロンポリエステルのしっとり気味のシャカパンに、〈ニューエラ〉コラボのベースボールキャップ。この手のパンツは一度はき始めると、ラクだし、合わせやすいし、クセになる。パンツ各¥26,400、キャップ各¥9,900（すべてディセンダント☎03·5784·0314）

17

POLYPLOID

シャツならシャツ、ジャケットならジャケットを着たいタイプだが、この〈ポリプロイド〉のシャツジャケットなら心置きなく気持ちよく着られそう。ブルーグレーの色合いに、後ろ身頃が長めの仕様で、胸には大きなポケット付き。これは着た瞬間に買おうと思ったね。¥38,500（ポリプロイド／ライコス☎03-5829-3501）

16

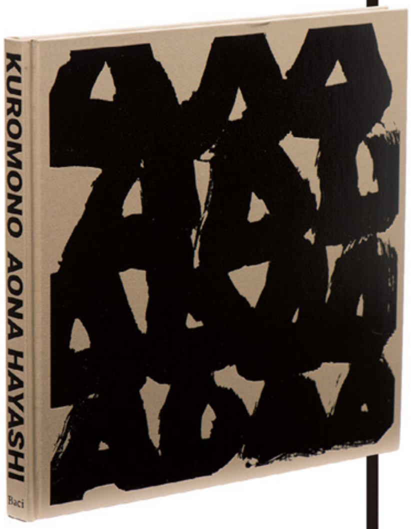
DRIES VAN NOTEN

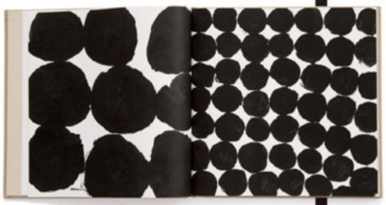
かなりビッグシルエットな〈ドリス ヴァン ノッテン〉のウールジャケット。オーバーサイズでトレンディに着たほうがこのテーラードは確実に映える。ショーツは、グラフィカルなプリントが入った再生素材のビスコース。ウールジャケット¥191,400、ショートパンツ¥66,000（ともにドリス ヴァン ノッテン☎03-6820-8104）

18

AONA HAYASHI

ブックレーベル「Baci」より、画家・林青那の作品集『KUROMONO』が刊行。2017年以降の個展で発表されたものから、今回のために描き下ろした新作までが、大胆に拡大、トリミングされてレイアウト。黒に、黒と、黒のインクを重ねるトリプルブラックと呼ばれるモノクロ印刷は必見。¥5,500（Baci　bacibooks.com）





20

SWIMSUIT DEPARTMENT

ずんぐりフォルムに、'80年代的タイポグラフィーが入った〈スイムスーツ・デパートメント〉のロックグラス。今回はお店限定のゴールドとシルバーの箔プリント。氷を入れてアイスコーヒーやらオレンジジュースを飲んでいるけど、やけに美味しく感じるから不思議。各¥1,980（SWIMSUIT DEPARTMENT☎03-6804-6288）

19

FILA × MAJOR FORCE

伝説のクラブミュージックレーベル「MAJOR FORCE」と、〈FILA〉のゴールデンエイジといえる'70〜'90年代のラインナップが揃う〈FILA HERITAGE〉によるスニーカーが登場。モデルは「Trigate」で、当時の雰囲気からインスパイア。各¥13,200（FILA × MAJOR FORCE／フィラ カスタマー センター☎0120-00-8959）

TET'S ROOM

徹の部屋
VOLUME 15

photo: Wataru Kitao
text: Tamio Ogasawara

MERCHANDISE

音楽レーベルのマーチャンダイズはファッションというよりもサポート精神強めで。古着もいいけど、今のものもリイシューも出ていて面白いのだそう。

ウータン・クランの「C.R.E.A.M.」のトラックを使っていたニコール・バスやジャズミュージシャン、アルファ・ミストは最近のもの。THE GOAT & THE OCCASIONAL OTHERSはプロスケーターのアンドリュー・レイノルズがギターのバンドで、ロゴデザインはネックフェイス。

いっときある種のブームがあってバンドTシャツがレアな存在になりましたよね。2000年代になってからだと思いますが、そのあとくらいからレーベルがマーチャンダイズに力を入れ始めるようになって、最近はずいぶんと買いやすいんです。僕は当時のものでなくても、バンドやグループのサポートの意味で今のものも結構買っています。まさしくサポートグッズですよね。こういったものの始まりはグレイトフル・デッドのデッドヘッズが売っていたグッズだと思いますが、僕の持っている中で古いのは、ビースティ・ボーイズが世界ツアーをやって初来日した1987年のものなどですかね。袖にカタカナでビースティ・ボーイズと文字が入っていて当時はそんなに気に入ってはいなかったのですが(笑)。彼らはマドンナの前座もやっていましたし、そのマドンナのツアーTシャツをパウエルのビデオでジェフ・グロッソが着ていたから古着で買ったり。ちなみに、モーターヘッドのTシャツは本気で一番よく着ていたかも。この中で実際にライブに行ったのはそんなになくて、パブリック・エネミー、ビースティ・ボーイズ、サイプレス・ヒル、メタリカあたりです。渋谷の『ビートカフェ』に行ってKatomanくんと会うときなどはちゃんと正装していくんですよ。バンドT着て、ピンズつけて。そうすると、話も弾むんです(笑)。それにしてもバンドTって黒のボディが多いですよね。なんでなんだろう。

これがスタッフ用なのか何かはよくわからないのですが、パブリック・エネミーのナイロンスタジアムジャンパーなどTシャツ以外にもいろいろあります。コットンキャンディカラーのタイダイスウェットはブラックピンクとセレーナ・ゴメスのコラボ曲「ICE CREAM」のもので、娘用に買ったもの。フーディーはビースティ・ボーイズのいたレーベル、BROOKLYN DUST MUSIC。缶ビールはサンディエゴのブルワリー、エールスミスから出たサブライムのもので、イギリスのザ・ポーグスのアイリッシュウイスキーも。ピンズは基本ですよね。

西山 徹
WTAPS / DESCENDANT / FPAR director

にしやま・てつ｜1974年、東京都生まれ。基本はサポート精神なので、そのバンドが好きな人がいたら譲ったり、着ていく回数も増えがちに。この手の買い物は下北沢の『45REVOLUTION』が多いそう。

TET'S ROOM

TET'S ROOM

世界を増やせばいい

Artwork: Ao Sakaguchi
text: Kyohei Sakaguchi　edit: Kosuke Ide

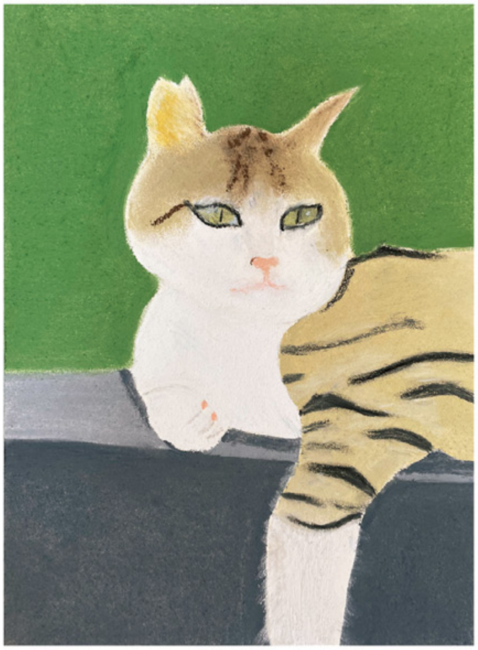
僕が「いのっちの電話」という死にたい人からの電話を受けるサービスを始めて、もう10年が過ぎた。やっているときに、いつも「どうして、お金にならないのにやっているんですか」と聞かれた。なんでやっているのか。僕はあんまり考えたことがない。みんなは行動するときに、それをなぜやるのか、と考えたりするんだろうか。お金にならないことはみんな本当にしていないんだろうか。そんなはずはないはずだ。僕はなぜやるのかということはよくわからなかったが、そもそも自分がそんなことを考えないんだから当然だ、でも、僕はやりたくないことは全くしない。つまり、僕はやりたいからいのっちの電話をしている。

僕はやりたくないことをすると、すぐに鬱になってしまう。だから、やりたくないと思ったことは少しもすることができない。子供の運動会に行くと、すぐに鬱になってしまっていた。窮屈さを感じるからだ。知らない人間として、参加できない。いつもそこにいる人は、誰かのお父さんお母さんで、微妙な知り合いがいて、世間話みたいなことをする必要がある。そういう場所がとにかく苦手だ。だから、僕は子供たちに、あなたたちの演技や競走は見たいのだが、どうも窮屈さを感じてしまうので、しんどいから、行きたくないと伝えた。すると、子供たちは、自分たちが出る競技だけ参加してくれたらいい、とアドバイスをくれた。プログラムを見て、何時に何をするのかはあらかじめわかっているので、それに合わせて、見にいけばいい、あとは外に出ていればいい、弁当くらいは一緒に食べようと助言してくれたので、僕は気が楽になった。

映画を見たり、誰かの講演みたいなものを聞くのも、苦手である。一度に受け取る情報量が多いからか、僕はすぐ疲れてしまうからだ。だからいつも憂鬱だったが、ここ数年は、もう疲れた、と思った瞬間に立ち上がり、どんなに知り合いの講演会でもお腹を押さえつつ、外に出ることにした。そうすると、とても心地いい。嫌だと思ったときに、すべての行動をやめると、体が楽なことに気づいた。まあ、当然の話なのだが。

僕は原稿を依頼されるのも苦手だ。だからこそ、毎日、日課として、自分で好きに原稿用紙10枚分の原稿を書き続けている。自分で好きに書いて一度完成させて、それを出版社に持っていくのである。自分が楽にやれる、やりたいようにやる方法を見つけ出して、やりたくないことはせずに、どうにかやりたい方法で、補う。そうやって僕は生きてきた。それでなんとかなってきた。

いのっちの電話で、僕に「どうしてお金にならないのに、いのっちの電話をするんですか？」と聞いてきた人に、今度は僕から「あなたは何をやっているときが一番楽しいんですか？」と質問すると、みんな、言葉につまる。やりたいことがないらしい。じゃあ「嫌なことばかりなんですか？」と聞くと「そうです」と即答が返ってくる。僕なら死んでると思う。嫌なこと全



部やめたらいいのに。「嫌なことをやるのが人生でしょ、やりたいことばっかりなんかできないですよ」と言われる。「でもそれで嫌になって、死にたくなるくらいなら、全部どうでもいいと放り投げて、やりたいことだけやればいいのに」と僕が言うと「そうなんですけどねえ」と、やっぱり嫌なことはやりたくないようだ。どうにかできないものかといつも思う。

やりたいことがわからない、のも大変だが、まずは嫌なことは全部やらない、ってことを選んでみたら、と僕はいつも伝える。自分のやりたいようにやる、って方法は、前例があまりないので、つまりは自分で必死に考え出さないといけない。答えはどこか他にあるわけではない。自分で見つけないといけない。でも、僕の経験からわかったことは、やりたい方法は、必ず見つかるということである。

いのっちの電話も、元々は日本国家が300億円近い税金を投入して自殺対策政策をしているらしいのに、死にたいときにかける緊急の電話サービスが10%未満しか繋がらないという社会問題を知ってから始めた。みんなやりたがらないから、人手が足りないのである。しかも、電話相談員の方はみな強制的に匿名で、しかも無償だった。国家は本当にどうしようもない。しかし、文句を言ったとしても、誰も、じゃあおれがやる、と手を挙げることもしない。お金にならないからである。だから、僕がやることにした。一人で、自腹で。お金にならないからやらない、みたいな思考回路で生きていないからである。人から相談を受けるのが好きで、解決法をすぐ考えつくことが得意で、まさにやりたいことだったからだ。やり始めてすぐに天職だと思った。もちろん、いまだに誰からもお金はもらっていない。でも、電話を始めてから一度も僕は食うことに困ることはなかった。やりたいことをやっていて、いのっちの電話をやることにやりがいも感じ、誤解を恐れずに言うならば、楽しいのである。毎日、50人近くの人から、誰にも言えない悩みを打ち明けられ、感謝の言葉を聞くのは、他じゃ味わえない、素晴らしい経験だと僕は思っている。

発達障害と軽度の自閉症で苦しんでいるという男性からも「なんでやっているんですか？」と聞かれた。お金にもならないのにと。そこで僕は「小さい頃何してるときが一番楽しかった？」と聞いた。彼は今、何一つ楽しいことがないと言ったので。すると彼は「友達と鬼ごっこしているときが楽しかった」と言ったので、僕はすかさず「お金にならないのに？」と聞いた。すると男性は笑った。「あなたの小さいときの鬼ごっこやってた感覚と、僕が今電話やっているのはほとんど変わらないと思う」と僕が伝えると、彼は「なるほど、わかりました」と答えた。さらに僕がギターを持って歌い出すと「音楽が好きだったことを思い出した！」とびっくりしたような声で言った。

全ての行動にお金がかかると思い込まされ、必死に働かせる後期資本主義の現在、先進的な人は、資本主義に代わる新しい経済を！　と訴え、貧困に困る人は訴える力もなく、資本主義がおかしいと思いながら、それでも家賃の支払いができずお金について考えている。世の中は変わるのか。僕は人と協同できない体質なので、いつも一人で行動をする。だから、世の中の動き自体を変えることはなかなか難しいと思う。でも、僕はいのっちの電話をすでに今、一円もお金をもらわずに10年間続けられている。しかも摩耗せず疲労が溜まっているわけではなく、健康に毎日過ごせている。お金にならないことだって、悪いもんじゃないよと人に伝えたくもある。僕は資本主義の世界を変えることなく、また別の世界を増やしたいと思って、この電話サービスを試みている。しかもいのっちの電話の中で、僕が考える新しい経済がすでに実現していることに気づいた。ここにはお金が介在しない。それなのに、10年も続いている。僕は我慢しているわけではない。むしろ、電話をかけてくる人から、力をもらっているとも感じる。世界は変えなくていい。世界は増やせばいい。

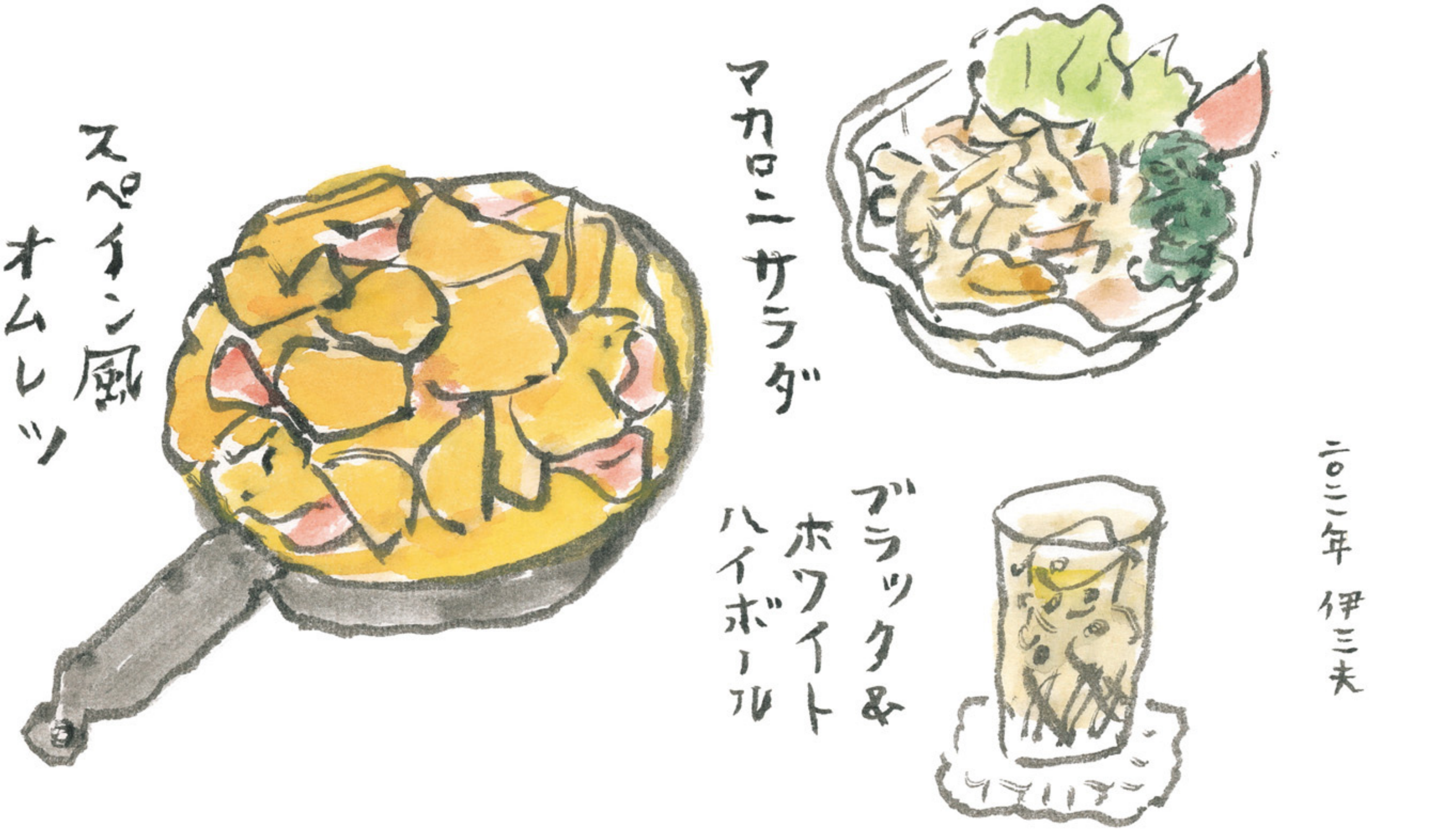
「多くの別世界を発見しよう」と哲学者ニーチェは言った。

それはやっぱり子供のときの遊び方に似ている。幼少の僕がいつも21世紀を生きる僕にヒントをくれる。

さかぐち・きょうへい｜1978年生まれ。建築家、作家、画家、音楽家。本誌連載をまとめた『ズームイン、服！』の他、近著に『まとまらない人 坂口恭平が語る坂口恭平』（リトル・モア）、『自分の薬をつくる』（晶文社）、『お金の学校』（晶文社）。

のみ歩きノート

画と文　牧野 伊三夫



15 中野ブリック

中野のバー『ブリック』の閉店を知って、しばらく呆然として仕事も手につかなかった。ただ、ただ悲しくて、愛する酒場が消えることが、これほどこたえるのかと思い知った。昨年四月に閉店して、もう一年以上経つが、閉店した姿を見るのがつらくて、それ以来一度も中野へは行っていない。

二十代のなかばから三十年の間ずっと、僕にとって中野へ行くということは『ブリック』で飲むということであった。木造二階建ての山小屋のような店内には、ランプのようなうす暗い照明が灯り、ジャズがとても似合っていた。階段は歩くとギシギシと音がした。東京大空襲で焼けたという褐色の赤レンガでつくられた壁には、山口瞳、開高健、柳原良平らがウィスキー文化普及のために作った『洋酒天国』が額装して飾られ、二階席へ料理を運ぶための小さなエレベータが備えつけられていた。

最初は、いつものごとく会社帰りに酒場を探して歩いていて、時代がかった建築に惹かれて入り口の扉を開けた。まだ収入も少ない頃で、もしかしたら高い店かもしれないと心配したが、渡されたメニューを見てその安さに驚いた。トリスのハイボール、一杯二百円。僕はすぐさま、この店が何でもばかばかしく高値のついたバブルに翻弄されることなく時代をくぐりぬけてきたのだと悟った。そして、映画を見て憧れていた小津安二郎監督の『彼岸花』に登場する、バー『ルナ』のような店だなとうれしくなった。

通いはじめてしばらくの間、蝶ネクタイに白いバーコート姿のマスターの菊池さんは決して一階の常連席に座らせてくれなかった。

「こっち、座ってもいいですか」

何度か僕は、一階の席を指して聞いたことがあるのだが、聞こえないかのように「お二階へどうぞ」と、まるで交通整理をする警官のように、びしっと階段の方へ向けて右手をのばすのだ。三年ほど経ったある日、入り口の扉を開けて店に入るなり、「こちらへどうぞ」と一階席のカウンターに案内してくれたときは、ようやく客と認めてもらえたことがうれしく、僕はうろたえて、体がふわふわ宙に浮くようであった。

しかし若かったから、僕はほかの常連客たちのようにカウンター席に座っても、グラスに注がれた酒をまえに、ひとり落ち着いてバーのひと時を愉しむというようなことができなかった。常連客たちのなかには、本を広げて読む人もいたし、肘をついてちびちびグラスに口をつけ、バーテンダーにひとことふたこと、たとえば競馬レースの話などする人もいたが、そんな姿が店にしっくりとなじんで、実に様になっている。僕はどうやってバーカウンターですごしたらよいのかわからず、あっという間に料理をたいらげてしまい、せわしなく煙草に火をつけては、酒のおかわりを続けてやりすごした。ただボンヤリと黙ってすごすという簡単なことが、できなかったのだ。通いながら、常連客たちの飲み方を自分も身につけたいといつも思っていた。

ウィスキーハイボールのうまさを知ったのも、この店だった。店で使っているのと同じグラスを買い求め、同じ銘柄のウィスキーと炭酸を用いて家でも作るようになった。しかしどこか味が違った。それでバーテンダーにウィスキーの分量をたずねて、グラスの格子の切子模様のここまでと教わり、言われたとおりに作ってみたが、やはり同じ味にはならなかった。でも、それは当然のことだった。ハイボールの氷の入れ方や炭酸の注ぎ方、マドラーでの混ぜ方などは実に繊細で、素人が簡単に真似ることのできないものなのだ。

『ブリック』には、チーズとトマト入りのスペイン風オムレツやコンビーフのホットサンド、カニクリームコロッケ、揚げシューマイなど、どれもパセリやレモンを添えて彩られ、日本にウィスキー文化が普及した昭和の時代を感じさせるおいしい料理がたくさんあった。なかでも僕が必ず注文したのはマカロニサラダ。くたくたのやわらかいマカロニとハムの組み合わせが絶品だった。こちらも家で真似て作ってみたが、なかなかあの味にならなかった。ずいぶんいろいろなマカロニを試していたが、あるとき、茹で時間を表示より三倍くらい長くしてみて、やっと近い味になった。

長く通ううちに、すっかり舌が料理の味を記憶している。先日、一度も行ったことがないと嘆く若い友人がいたので、僕の家で『ブリック』を再現してあげようと家に招いて、いくつか料理を作った。よくボトルキープしていたウィスキーでハイボールを作り、ジャズをかけて飲んでみたが、当然ながら本物とはちがい、かえって懐かしさがこみあげてきて落ち込むことになった。

誰かが、なんとかして『ブリック』を蘇らせてくれることが、僕の切なる願いである。

まきの・いさお｜画家。1964年、福岡県生まれ。東京の広告制作会社でグラフィック・デザイナーとして勤めた後、画家として書籍挿画や広告を数多く手掛ける。酒好き、風呂好き、料理好きとしても知られる。

違う世界とか異文化ってものは、自分のデスクの上でも、
すぐに聴ける音楽でも、床屋でも見つけられるもんだ。

真っ赤な体のベタ。仕事中は常にパソコンとにらめっこなので、ふとアクアリウムを眺めます。右／ギョピちゃんが泡で巣を作る様子。

デスクワーク中にふと、小さな世界を眺めて、目が合うとほっこり。

梅雨が明け、蝉の声が聞こえてきました。夏は最高の季節です！ そんな夏に清涼感を与える可愛らしいアクアリウムを紹介します！ 熱帯魚のベタ、ギョピちゃんです。鑑賞用に改良されており、原種よりヒレが長いのが特徴。こんなに可愛いのに、闘魚という異名を持つほどオスは気性が荒く、他のオスをチラリと見ると傘を開いたようにヒレを大きくして相手を威圧します。メスを懸けたダンスバトルの始まりです。人間は知恵で異性にアピールする傾向がありますが、他の生物の多くはメスを引き付けるためにオスのほうがカラフルだったり、ツノが生えていたり、弱肉強食というシンプルな構図が出来上がっていて面白いんです。しかも、ベタのオスはイクメンでもあります。水面にオスが泡で巣を作って子供を育てます。カップルが水中で情熱的な愛のダンスを終えた後、ポロポロと落ちる卵をオスが一個一個拾って水面へ運び、その後は子供たちが大きくなるまで、オスが面倒を見続けるんです。

また、この水槽はグラスアクアリウムと言って、空気のブクブクをつけていません。日光代わりのライトを浴びた水草が二酸化炭素を吸って酸素を出し、その酸素を魚が吸って老廃物を出し、バクテリアが老廃物を分解することで植物の栄養となる、いわば小さな地球みたいなサイクルがこの瓶の中で行われているんです！ 机の上の小さな地球！ 気になった方はぜひ調べてみてくださいね。

本間亮成
ライター、エディター
ほんま・りょうせい｜1992年、熊本県天草市生まれ。執筆のかたわら、たくさんの生き物や植物を育てる。

上・下左／「ill skillz」のTシャツ。肩には彼らが主催していたパーティの名前が。下右／〈SOUND SHOP Balansa〉と〈Den souvenir〉のコラボアイテムはパロサントバーナーとして使用。

最近の韓国のムードを象徴するリミテッド・アイテムをご紹介。

〈Helinox〉×ＢＴＳのアウトドアギアや、ストリートブランドの〈SOUND SHOP Balansa〉と韓国の老舗パン屋『太極堂』によるアパレルなど、最近韓国では面白い限定アイテムが目白押しだ。個人的に手に入れたアイテムを紹介したい。

一つは、便器の形をしたセラミック。〈SOUND SHOP Balansa〉とタイのチェンマイをベースに活動する〈Den souvenir〉との限定コラボグッズだ。それぞれの店のメンバーは年齢も違えば、実際に会ったこともないというがどことなく展開の仕方が似た2つ。韓国限定で発売されたのは〝ヨガン〟のカラー。昔の韓国のトイレは衛生管理のため母屋と離れた場所にあったので、夜中は部屋の外に丸い壷を置いて用を足していた。その壷の名前が〝ヨガン〟。韓国の若者もわからないようなところからアイデアを採用するところも〈Balansa〉らしい。

もう一つは、憧れのHIPHOPクルーのTシャツ。小学生の頃、私はB-BOYになるのが夢だった。ある日仲が良かったダンサーが聞かせてくれたのが、韓国のアーティスト・ill skillz。今のように情報が少ない中で必死に追いかけ、ＣＤやグッズを買うために奔走していたが、程なくして解散。それが今年4月、突如20年ぶりにＴシャツの再販を発表した。自分にとっては幻のような存在だったから、手に入れられて嬉しかった。日常からイベントごとが減った今だからこそ、こうして楽しませてくれる出来事に救われる。

Moojin Lee
日韓通訳、翻訳家
むじん・い｜1987年生まれ。釜山在住。西面で新しい生活をスタートするために、部屋探しに夢中。

兄妹フォークデュオ、來吧！焙焙！（Come on! Bay Bay!）の2ndアルバム『真實的印象』。

左／2013年に結成した4人組バンド、Deca Joinsの1stアルバム『浴室（Bathroom）』。右／日本のバンド、スーパーカーに憧れて活動を始めたDSPSと、1stアルバム『時間的產物（Upon Time）』。

台北のインディーバンドを聴くなら、日本の音楽とも縁深いこの3組。

私は音楽を聴くなら国やジャンルを問わず、'70年代の音楽も聴くし、近年のインディーズバンドも好きだ。今回は台北を拠点に活動している3つのバンドを紹介。

まずは、青山と台北にあるライブハウス「月見ル君想フ」を主宰するBIG ROMANTIC（大浪漫）とコラボし、日本各地でライブを行ったDSPS。甘くて繊細で軽快な演奏と、風に吹かれているようなメロディーに心落ち着く。彼らはHomecomingsやシャムキャッツと仲良く、MONO NO AWAREと共演したことも。２０２０年のシングル「Catch Me Baby Come and Dive」がおすすめ。

次にミツメやLampとも共演し、アジア、アメリカでも注目を集めるDeca Joins。涼しい夏の夜にドライブするような雰囲気で、素朴でゆったりとした歌声と曲に合わせて体を揺らしたくなる。外国人に台湾音楽を勧めるなら、間違いなく彼らの１ｓｔアルバム『浴室』を挙げる。

最後は、私が一番好きなバンド、來吧！焙焙！／Come on! Bay Bay!。ボーカルの兄妹、そして日本でも高い評価を得ているサンセット・ローラーコースターのメンバーで結成。デビュー10年後の２０１６年に活動休止し、今年待望の復活！ 軽快でかわいい曲のように聞こえるけど、実は歌詞も旋律もとてもディープで、うっかりすると殺されるくらい重い曲。これまで台湾音楽に触れたことのない方でも、この３つの台湾バンドは違和感なく楽しめると思う。

高妍
イラストレーター、漫画家
がお・いぇん｜1996年、台北生まれ。『月刊コミックビーム』（KADOKAWA）で「緑の歌」連載中。

edit: Rio Hirai, Ryota Mukai, Mayumi Yamase

上／床屋の中はコーヒーを飲みながら集う若者で賑わう。左／見てください、この嘘みたいに整ったもみあげ〜髭のラインを！

髪を整えるという文化は世界共通。実際に現地の床屋に行ってみると、その国の特徴を体験できるからおすすめ。ちなみに僕のプロフィール写真はパキスタンのビザ取得のために撮ったやつです。

世界中を旅して記憶に残った、パレスチナの床屋さんの話。

現地に着いたらまず宿に荷物を置き、散歩をしながら地元の美味しそうな食堂を探しに行く。好みが決まっているので大体いつも辛そうな料理は避け、野菜スープのような優しいものを注文するのだがそれだけでもそのお店の味全体が分かった気になる。腹ごしらえをしたら人が集まるところを探しに行く。今回は床屋だ。

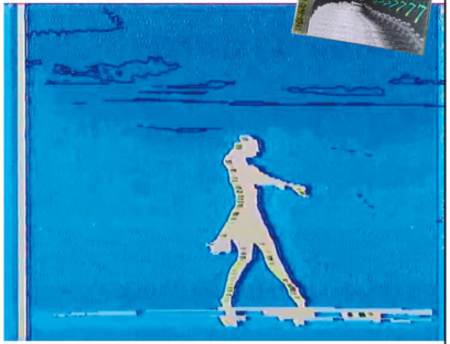
世界各国で床屋にチャレンジしてきたが、インド・ガンジス川のガートに椅子一つ、手鏡スタイルのときもあった。ここ、パレスチナのヨルダン川西岸地区の男性の多くは、サイドを刈り上げモヒカンのような髪型をし、自信ありげに歩いている。このときも、床屋から出てきた刈り上げ男性にたまたま声をかけられ、中にまんまと招き入れられてしまったのだ。「アーユージャパニーズ?」

髭と刈り上げなら任せろとハサミとバリカンを手にとる。10人ぐらいのお客に囲まれ散髪が始まる。後ろにいる男たちはダラダラと話している。ここがコミュニティーの広場のようだ。カット、シェービングで約500円、セットされた彼らはコーヒーを飲みながら何時間でもいるそうだ。フィニッシュ。綺麗な刈り上げと線で書いたかのような髭のライン。そして、コレでもかという量のヘアスプレーを使ってセットしてくれた。後ろの男たちは立ち上がり、珍しそうに僕の写真を撮る。家に招待したいと言ってくる輩もいる。旅の始まりは、いつもこうだ。

阿部裕介

写真家

あべ・ゆうすけ｜1989年、東京都生まれ。世界各国を旅しながらドキュメンタリー作品を制作する。



上／収集している懐かしのビデオデッキなど。中／VJ中のBANANAさんと、自費で作っていたCD-R。ジャケットのビジュアルを見るだけでクラクラしてくる。下／制作している映像。

ビデオデッキまで収集するコレクターでアーティストのBANANAとは何者？

似たり寄ったりなトレンドを共有する世界線とは全く別軸でブレずに活動し続けるアーティスト、BANANA。DJ、VJ、演奏など様々な表現をする彼は一見肩書きが多い作家だと思われがちだけど、活動の根底には一貫して〝好きなものを収集し、再構築する〟というコレクターとクリエイター両方の気質を強く感じる。実際にレコード、ビデオ、貸本、電子楽器などの収集家である。VJの際はデカいビデオデッキを持参しその場でコラージュ映像を作ったり、DJではレコードやカセットでプレイしたり、洗濯機くらいのリズムボックスや洋服ダンス並のシンセ数台でライブをしたり……。今やPCで何でもできる時代だけど、実機はやっぱりインパクト大。

そんな彼は、先月初となる個展で映像作品とデジタルアートを発表。六畳のギャラリーには数十台のモニターやテレビが運び込まれ、自作の映像が流れ続けていた。彼のあらゆる作品に共通して言えることは、アナログ好きの懐古趣味とかではなく、ただひたすらに一途な美しさを秘めている。その美しさの奥にある、がむしゃらでひたむきなPUNK精神が大好きだ。

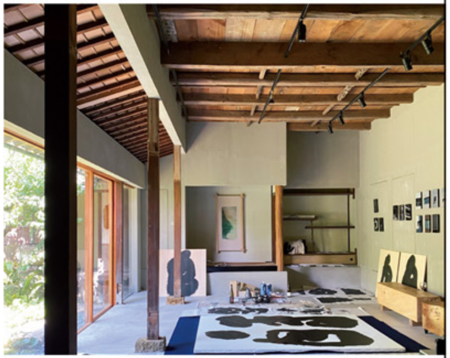
ライブ会場で数枚だけ販売していたCD-Rを聴いて私はトんだ。総作曲数は100曲以上あると聞き、「もっと聴かせて〜」と思っていたところ、年内にレーベル「conatala」から初の公式リリースでカセット作品を発表するとのこと。ヤバい!!

プラスチック米

トラックメイカー、DJ

ぷらすちっく・まい｜土日は下北沢ボーナストラック内にある『pianola records』の店頭に立つことも。

上／的形の夕景。下左・下右／ギャラリー『M1997』とアーティストがステイする小屋、茶菓子とお茶を扱う『井上茶寮』も併設。



制作した作品は『M1997』（兵庫県姫路市的形町的形1997 https://m1997.jp/）で、9月5日まで展示中。訪れた際にはぜひ『井上茶寮』のカヌレ羊羹を食べてみて。

姫路にある海の町で過ごした、ギャラリー『M1997』での1ヶ月。

梅雨入り前の5月の暮れ、的形町という姫路市南東部の播磨灘に面する町で約1ヶ月過ごした。姫路駅から車で20分ほど離れたこの町は今なお木造の造船所もある、かつては塩田で栄えた海の町。利用したのは、長年パリで美術関係の仕事に携わっていたオーナーの井上ユキさんが、帰国後に夫婦で始めたレジデンスプログラム。庄屋さんの築100年超の屋敷を改装したギャラリーは既存の茶室や床の間、庭園を残しており機能以上に文化度が高い。僕の滞在中に展示していたのは昨年このプログラムに参加していたフランス人写真家のAlexandra Mocanu。外国人として異国で孤立した心情がわかる良い作品だった。というのもこの的形町、潮干狩りで賑わう週末以外はほとんど人気がない。山奥ではないし駅もあるけれど、人の声よりも鳥の声という感じ。真っ暗な夜はカニの歩く音すら聞こえる。制作に没頭するには本当にいい環境。漆喰壁と立派な太い梁に支えられた明治時代から建つ小屋一棟がレジデンス。なんだか落ちつく場所でよく寝れる。井上夫妻が5時起き8時就寝なのも納得だ。

身体を見知らぬ場所へ移動して制作することはより自分を客観的に捉えられるし、その環境との差異が大きいほど作品の変化が面白い。海外での滞在制作は何度かあったけど、時差もなければ言語も通貨も共通するこの場所での生活、制作はこんな時代も作用してかなり有意義な思考をくれた。

新城大地郎

アーティスト

しんじょう・だいちろう｜1992年、宮古島生まれ。書道の枠組みを超えコンテンポラリーな表現を追求する。

シティおじさん 大根仁が行く！東京タイアップデート

思えばあの頃、オレは調子に乗っていた。この連載が始まったのは8年前、2013年の夏。その2年前に『モテキ』という映画がヒットして、半年後にDVDがリリースされてそれも記録的なヒット、その年の映画賞や監督賞をいくつもゲット、オレは【モテキの大根監督】として業界を越えて世間に知られるようになっていた…すなわち、調子に乗っていたのだ。そんな時期に事務所にやってきた当時のPOPEYE編集長・Kさんがオレに連載のオファーをした理由は、今となってはわからないが、「コラムが書ける映像クリエイターって最近そんなにいないし、調子に乗っているヤツが、調子に乗って書くものは面白いだろう」まあ、そんなとこだったんじゃないかな。Kさんからは「書きたいものを書いてくださ い」と言われたが、調子に乗っていたオレは「毎回女のコとデートして、それをレポートするってのはどうですかね？」と、その場で逆提案した。そんな思いつきで始まったこの企画がまさか8年、デート相手の数100人まで続くとは…。【オレことシティおじさん大根仁は「下心満々、向こうさえその気ならお持ち帰りも辞さない！」という決死の覚悟だが、相手は「会社及び商品のPRが目的。LINE IDすら教えるつもりはありません」的な気持ちでやってくるこの連載】数年前までお約束だった書き出しのフレーズも、調子に乗っていたオレをよぉおく表している。実際、連載が始まって3年くらいまでの原稿を読み返すと、下心どころか毎回完全に口説こうとしているし、下ネタばかりだ。ジェンダーの価値観が定着した今となってはセクハラと非難されても仕方がない。コーネリアス騒動の例を出すまでもなく「あの頃は状況が違ったんだよ」と言っても「いや！当時からキモかった！」と言い返されれば黙るしかない。そんな調子に乗っていたオレが「ちょっと時代感覚とズレてきてるな…」と感じたのは、連載も60回を過ぎた頃だっただろうか。あんなに楽しかったデート連載がルーティンになり始めているという自覚、50歳を過ぎたオッさんが毎月シティガール相手に浮かれている姿がキモいという客観、それでもいざデートをするとめちゃくちゃ楽しいというアンビバレント。「そろそろ潮時じゃないかな？」当時の担当編集A君に提案した。「え？人気ありますよ、続けましょうよ」「うーん…」「じゃあとりあえず100回までやりましょう」「100回か…いいね!!」乗せられると乗る。これもまた調子の良さの為せる業である。これまで繰り返した「調子に乗っている」という言葉、シティボーイ諸君はネガティブな意味で捉えていないだろうか？　調子に乗るのは決して悪いことじゃない。俳優でも芸人でもスポーツ選手でもミュージシャンでもアーティストでもクリエイターでも、彼ら彼女らの表現に心ときめくのは、それは「調子に乗っている」からだ。調子に乗らずして、どうやって人の心を掴むことができるだろうか？　オッさんが若者に説教をする姿ほど見苦しいものはない。だが、あえて言わせてもらえば、最近の若者には「調子に乗っている」が足らん!!　…えー、さてオレは長寿連載の記念すべき最終回に何を言っているのでしょうか？　伝えたいのはこんなことじゃない。この8年間、オレを調子に乗せ続けてくれたデート相手＝100人のシティガールたちへの感謝の言葉だ。作業部屋の棚に並ぶPOPEYEのバックナンバーをめくると、その時々のデートの記憶が生々しく蘇ってくる。佐野元春の初期の名曲「ロックンロール・ナイト」は、今は遠く離れてしまった友人たちへの切ない想いが綴られる。♪～友達のひとりは遠くサンフランシスコで仕事を見つけた 友達のひとりは手紙もなく今 行方もわからない 友達のひとりは幸せなウエディング～毎回、恵比寿駅前で待ち合わせて、楽しい食事と酒と駄話に花を咲かせ、時には2軒目のバーに行き、ここでは書けなかったような恋愛トークを交わした彼女たちは今、どうしているだろう？「LINE IDすら教えるつもりはありません」、今だから書くがそんなコはひとりもいなかった。セレクトショップのプレスだった彼女は結婚して2児の母親になった。広告代理店にいた彼女は2回転職して結婚したがすぐに離婚した。アーティストになりたいと言っていた彼女はニューヨークで暮らしている。信じられないビッチトークを聞かせてくれた彼女は相変わらず派手に遊んでいる。コスメのPRをやっていた彼女は自分で会社を立ち上げて社長になった。ミュージシャンと付き合っていた彼女はまた別のミュージシャンと付き合っている。バーで泣きながら彼氏の浮気を訴えた彼女は相変わらず浮気に悩んでいる。おかわりデートを3回もしたのにキスにさえ届かなかった彼女は今行方がわからない…みんな可愛かった。みんな楽しかった。みんな輝いていた。最近、POPEYEの連載コラムをまとめたムック本がよくリリースされているが、この連載がそうなることはまず無いだろう。オレがiPhone4・6・8・11で撮り続けた彼女たちのキュートな笑顔や、可愛らしい仕草、ホロ酔いの艶っぽい姿は、バックナンバーの中でこそ輝き続けるのだ…

「いやいや、なんで勝手に切ないメモリーにしてんだよ？　むしろこの連載に出たことめちゃくちゃ後悔してるんだからな！　全消去して欲しいわ!!」うん、そんなコも中にはいるかもしれない。いや、ちょっと思い当たるフシが無いわけでも…なんてことは言っていられない。オレはこれから最後の100人目のコとデートなのだ。いつものように作業部屋のある五反田から山手線で恵比寿駅に着く。エスカレーターを降りる時は、いつもドキドキだ。改札を出て、西口の恵比寿様像の前に着くと、先に着いていた彼女が振り返る。「初めまして!!」今日のデート相手は、青木香菜子さん。100人目に相応しい100点満点の笑顔だ。「ごめんね、遅くなって」「いえいえ」「何食べたい？」「うーん、魚！」「オッケー!!」信号を渡って、飲み屋が並ぶ通りに向かう。さて、今夜はどんな楽しいデートになるのかな!?　さあ、調子に乗るぞーー！！！

今月のデート相手

青木香菜子さん (23)

「Speee」社員

VOL. 100

photo & text: Hitoshi Ohne
title & illustration: TANAKA KATSUKI

☆募集も終了します！☆

今まで応募メールを送ってくださった皆様ありがとうございました！　実現したデートもしなかったデートもありましたが、多くの応募者の方にこの企画は助けられていました。大感謝です！

今月のタイアップ商品

最終回に登場してくれた青木さんが勤めるのは、データを活用しマーケターの意思決定を支援する、マーケティング支援サービス事業だ！　予測分析技術の活用により、複雑化しているマーケティングの意思決定をアップデートしてくれるぞ！

おおね・ひとし｜映像ディレクター、映画監督。1968年、東京都生まれ。ここ数回、世の中の状況に左右されていたデートでしたが、最終回は緊急事態宣言が発出される前に滑り込みでリアルデートができました……。

MASAくんと初めて会ってから10年くらいになるだろうか？　当時から絵はもちろん立体のキーホルダーなんかも作ってて、そのセンスが大好きになった。

古いホットロッドやスケートボードに端を発するローブローアートを基礎に持ちながらも、ギトギトした男っぽい世界になりがちなシーンにサラッとした清潔感を香らせるMASAくんの作品たち。絵・立体・アクセサリーとジャンルを行き来する謎の男に会いに行った。

「自分の肩書きが分からないんですよ。子供がいるんで『お父さんの仕事は？』って話になったとき、困るんです。でも画家とかデザイナーとかアーティストは、そんな自信ないですし」。うーむ。確かに肩書きは必要なときがある。かといって自分を大きく見せるような肩書きを付けたり、職種を多く書くのもどこか胡散臭い。そこで僕から提案。「あのー『美術』はどうかな？　幅広いけど、イキった感じじゃないし……」ということで、この連載ではMASAくんの肩書きは「美術」になりました。そんなMASAくんの現在の仕事はストリートブランドとのコラボレーションも多い。「立体を作るのも絵を描くのも、僕より上手い人はいっぱいいるけど、ブランドのほうもノリが伝わるか？　ってことで僕に来てるんじゃないかなぁ。西山徹さんとも共通の好きな物の話で盛り上がりながら決めていく感じなんですよ。特に作風やタッチを決めてないから普通だと発注しづらいですよね。だからあまり知らない人の仕事はツライですよ（笑）」。よく分かる。作風が決まっていればクライアントも最終形がイメージしやすいが、見ての通りMASAくんの仕事にはかなり幅がある。「売れてる人って大抵作風決まってますもんね。でも同じ物作ってると飽きちゃうんですよ。絵に飽きたら立体行ってとかでバランス取ったり。まぁ小学生の図画工作の延長なんです」と答えるMASAくんがプロとなっていったスタートとは？

「高校生のときから、原宿にあった『カウンターアクション』ってお店に通ってたんです。そこでいろんなカルチャー教えてもらって。で、ある日、雑誌で粘土のモンスターを作ってる人が特集されてたのを見て刺激受けて、自分でも作ってみたんですよ。ラットフィンクとか。そしたらカウンターアクションのボス、山外さんがウチで売らないか？　って言ってくれて。初めてお金になったんです。それから、コレができるなら絵描けるでしょ？　ってTシャツの絵やらせてくれたり、シルバーのリング作れる？　って言われて独学で覚えたり」。MASAくんにとって山外さんはまさに指導者。本人の才能を見抜き、課題を与えて強くする。そしてこのきっかけから「じゃあウチでもやってくれ」と仕事の依頼が増え始め、現在に続いている。「でも僕、目標とかはあんまりないですよ。お金もそんな求めてないし。物を作れるのが嬉しくてやってるんですよね。作風を決めないのも、絵はパソコンを使わず手で描いてるのも、それが楽しいからです」と飄々と笑うMASAくんから若きクリエイターにアドバイスをもらった。

「やり方に正解はないと思うけど、ネットには何もいいのが落ちてないとは思います。個人のブログやホームページが多く作られてた'10年〜'15年くらいはまだマニアックな情報があったけど、インスタ全盛の今じゃ検索でもいいのがひっかからなくなってしまった。芸能人のプライベートとかニュースぐらいじゃないですか？　今まで見れなかった部分が見れるようになったのって。だから本が一番いいですね」。最後に今年40歳になったMASAくんに今、青春か聞いてみた。「青春続いてますね。大人になって子供のときより世界広がってるから楽しいし。逆にいつか終わるんですかね？（笑）」

青春歌

「蝋人形の館」聖飢魔II

お前も蝋人形にしてやろうか。

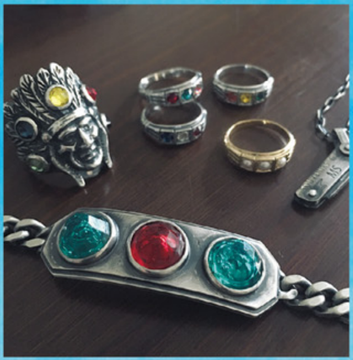
粘土をこね始めると、デーモン閣下の台詞が脳内で流れるそう。「このテンションで、どんどん立体作品を作りたいです！」

おかむね・しゅうご｜テレビディレクター。代表作に『BAZOOKA!!!』『全日本コール選手権』シリーズなど。著書『煩悩ウォーク』もヒット。

text: Shugo Okamune

2106341-101

マサ・スカルプ—1981年、北海道生まれ。小学生の頃から絵を描くのは得意だったそう。20歳の頃にパンクバンドのアルバムカバーを模写し始め今に至る。Instagram: @masasculp



MASA SCULPさん

絵、立体物、アクセサリー。
「美術」を続ける青春さん。

〈ディセンダント〉などブランドへ提供するアートワークの他、サインペイントやシルバーアクセサリー、生花に刺さっている目玉のDr.EYEZOUXなどオリジナルキャラクターの立体作品と多岐にわたるMASAさんの作品。〈Aloha Blossom〉より定期的にアロハシャツを発売していて、こちらは新作。

第38回

青春狂の詩

岡宗秀吾

ただ「好きだから」という気持ちだけで一つのことに熱狂し続ける人たちがいる。そんな“青春”の輝きを愛する、TVディレクター岡宗秀吾が、彼らの魂に触れるドキュメント。

私の BEST DISHES 3

vol. 112

サウナで汗をかいた後は、さっぱり鶏皮ポン酢が体に染みる。

1

「カプセル&サウナ ロスコ」の鶏皮ポン酢

サウナ、スパ、カプセルホテルを併設する「ロスコ」4階の食事処では、建物裏の『駒込食堂じみち』で調理した料理をお届け。プリプリの鶏皮をポン酢で和えた一皿は湯上がりにぴったり。入館料は90分1200円〜。¥385

東京都北区中里2-4-8 ☎03·3915·0005 11:00〜23:00、土・日8:00〜 無休

緑の正体はユーグレナ！魚介ベースのスッキリ塩ラーメン。

2

『麺屋 六感堂』のしおグリーン麺玉ねぎトッピング

メニューはすべて無化調。藻の一種のユーグレナを練り込んだ自家製の中細麺と、煮干しや昆布、季節の魚介で出汁をとったスープは海産物の風味豊かで相性抜群。シャキシャキの玉ねぎ(¥100)を追加すればさらに爽やかに。¥900

東京都豊島区東池袋2-57-2 ☎03·5952·6006 11:30〜15:00・17:30〜21:00 火休

イタリアからの直輸入。マスカルポーネたっぷりの濃厚ティラミスは

3

『サイゼリヤ』のティラミスクラシコ

2019年にリニューアルされてクラシック（＝クラシコ）に進化したティラミスは、ふわふわなマスカルポーネクリームと、エスプレッソが染みたスポンジとのバランスが本場そのもの。持ち帰り(6人前¥1,760)で家でも。¥300

『サイゼリヤ 日本橋浜町店』東京都中央区日本橋浜町3-21-1 日本橋浜町Fタワー2F ☎03·5651·1251 11:00〜22:00 無休

今月のグルマン

清野とおる 漫画家

せいの・とおる｜1980年、東京都生まれ。1998年に漫画家デビュー。代表作に、『東京都北区赤羽』『その「おこだわり」、俺にもくれよ!!』『ゴハンスキー』『東京怪奇酒』など。現在、コミックDAYSにて「さよならキャンドル」を連載中。

僕の直近ぱくぱくもぐもぐ事情

3皿……3皿か。どの3皿にしよう。生きて〜る生きている〜♪ ……って、これは『ザ・ノンフィクション』のテーマソング「サンサーラ」ですね。まず1皿目ですが、駒込に『ロスコ』という誉高いサウナ施設がありまして、隙あらば通ってます。4階にはささやかな食堂が併設されていて、そこで食べられる「鶏皮ポン酢」が只者じゃない。皮より肉の割合が多そうな重厚感ある鶏皮に、コク深い独特の味付けが施された「鶏皮ポン酢」……を、湯上がりに口内で咀嚼のかぎりを尽くし、キンキンに冷えた白ホッピーで流し込む行為を「幸せ」と呼ばずしてなんと呼ぶのだろうか。「鶏皮ポン酢」でここまで感動できるのは、後にも先にも『ロスコ』だけだと確信している。

2皿目。僕ももう41歳ですし、ラーメンを食べる際はそれなりに罪悪感を抱きます。この罪悪感を払拭する術はただ一つ。ラーメンの原材料が、罪悪感を上回るほどヘルシーであることのみ。しかし、ヘルシーであればあるほど美味しさや満足感が低減してしまうのがこの世の摂理……。そんなときは『六感堂』の「しおグリーン麺」ですよ。化学調味料無添加で、素材の味が最大限に活かされた優しい魚介スープに、栄養豊富なミドリムシ(ユーグレナ)が練り込まれた目に鮮やかな緑色の麺。麺の上にはメンマ、刻み玉ねぎ、豚&鶏の2枚の極上チャーシューが華を添えている。そこに、念押しのごとく刻み玉ねぎをトッピングして、ヘルシー度を増強。これがもう、化調使いまくりの油まみれで不健康だけど超美味しい他店を凌駕する美味さ。こんなに美味しくて、しかもヘルシーなラーメンがあっていいのだろうか？自分だけ抜け駆けしているような、後ろめたい気持ちにすらなってしまう。でも大丈夫、なんら法は犯していないのだから。

3皿目。最近、『サイゼリヤ』に入り浸ってます。恥ずかしながら、「ティラミスクラシコ」目当てです、ええ、ハイ。「なぁにが『クラシコ』だよ？」と悪ぶりつつ、しっとり甘〜いティラミスと、ほろ苦〜いエスプレッソをオクチの中で一緒くたにしつつ、しばしモグモグしてから飲み込むのです。たったワンコインで「生き天国」を体感できます。

どの品も「生きて〜る生きている〜♪」と、生の悦びを実感させてくれる素晴らしいモノばかりで、提供してくださるお店は神に等しい存在です。

text: Toru Seino photo: Naoto Date illustration: Adrian Hogan edit: Nozomi Hasegawa

T-SHIRT TO WATCH

映画とTシャツと私

BY
KUNICHI NOMURA

VOLUME 14

FEATURED MOVIE
RESERVOIR DOGS
DIRECTED BY
QUENTIN TARANTINO
2021-08-06
1991, USA
CRIME, ACTION

レザボア・ドッグス
監督：クエンティン・タランティーノ｜1991年、アメリカ｜100分

馬鹿話で盛り上がりながら朝食を取る8人の男たち。強盗を生業とする彼らにとって、今日のダイヤモンドを奪う仕事は簡単なはずだった。しかし、蓋を開けてみると仲間は血みどろ。警察によるおとり作戦だったのだ。集合場所に集まった仲間たちは事の顛末を整理しながら、裏切り者をあぶり出そうとする。本筋とは関係ない無駄話に過剰なまでのバイオレンス表現、デビュー作からタランティーノ節全開！　揃いのブラックスーツは低予算で作られたため、役者に私物を着てこさせたといわれている。よく見るとミスターオレンジとピンクはパンツだけブラックデニムをはいている。

今月は、言わずと知れた黒スーツに身を包んだ男たちの映画。

それはYouTubeもNetflixもない頃じゃった。そんなに簡単に動画を見ることができない時代。あれは、'80年代から'90年代末だったかのう。カルチャーを愛でんものはモテん。というような風が一部で吹き荒れておっての、そうそうポパイの読者のような男子はまさにそれじゃな、みな必死にカルチャーを己の血肉にしようと修行を重ねておったのじゃ。その中でも大事なものが、インディー映画を己のものにセヨ！　というどこから来たかもわからんお達しじゃった。ジム・ジャームッシュは過去の映画オマージュに溢れたマストハヴじゃ、と言われてわけも解らず何度も観たもんじゃ。あれぞ自己洗脳、慣れないタバコを吸い続けるうちに好きなる、そんな趣もあったかのう。インディー映画にはカルチャーの全てが詰まっているという牧歌的な世相の中、あるとき西海岸から真打が登場した！　という一報が届いたのじゃ！　なんでもオマージュの鬼ながら、そこには香港映画や日本映画という米英での本流じゃない映画まで網羅されておるという、まさに真打！まさに我らの代表！　期待に胸を揉み下しながら、否、胸を躍らせながら渋谷の西班牙坂を登った日のことはよもや忘れはしまい。そして我は観たのじゃ！　黒スーツを身にまとった色とりどりの名前を持つ暗黒街の男たちの生き様を！　奴らは粋な台詞を吐きまくっておったな。そしてそこにはオマージュがテンコ盛りながら、そんな基礎知識がなくとも楽しめる娯楽作としても一級品の佇まいがあった。そうじゃそれこそ、タランティーノの衝撃の初監督作品『レザボア・ドッグス』じゃった。黒スーツ姿の男たちを、これほど粋に撮れる男がまだおったとは、草葉の陰でブルース・ブラザースも感涙していたに違いないて。以来、タランティーノは世界を席巻したのじゃが、この処女作ほど素晴らしいものはあるまい。そしてその傑作への感謝として我々はたまには黒スーツで輩と集まり、飯を食う。これを「レザボアる」と言うのは東京の陰のしきたりと、胸に刻んで候。

NOW SHOWING. 今買うならこの映画。

現在公開中

サイコ・ゴアマン
監督：スティーヴン・コスタンスキ

8歳の少女ミミと兄ルークは、太古より埋められていた残虐な悪魔を甦らせてしまう。宇宙を破滅させようと動きだすのだが、ミミが悪魔を服従させる宝石を手にしたことで、少女のいたずらに付き合わされることに。戦隊モノとスプラッターを組み合わせたような斬新な映像体験だ。¥4,000(アンプラグド☎03·6434·7460)

野村訓市｜1973年、東京都生まれ。海外放浪の旅を経て、雑誌編集、執筆活動を中心に活動する。毎週日曜日20:00〜『TUDOR TRAVELLING WITHOUT MOVING』(J-WAVE)のナビゲーターを務める。

photo: Hirokazu Kobayashi text: Kunichi Nomura

1 Tillandsia kautskyi
2 Tillandsia thiekenii
3 Tillandsia brachyphylla
4 Tillandsia hofackeri
5 Tillandsia cf.carminea
6 Tillandsia reclinata
7 Tillandsia sprengeliana
8 Tillandsia arequitae (small form)
9 Tillandsia mima (small clone)
10 Stigmatodon harrylutheri
11 Tillandsia marnier-lapostollei

SCIENCE ON THE TABLE

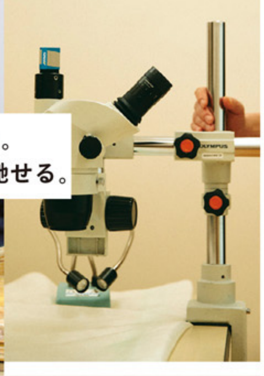
机の上のサイエンス。その3 ウォードの箱

「ウォードの箱」の21世紀型

19世紀のプラントハンターたちが、遠征先から植物を枯らさずに持ち帰るために使ったガラス製の箱。開発者の名前をとり「ウォードの箱」と呼ばれたこのケースは、時を経て大きな進化を遂げた。〈システムパルダ〉は、そのウォードの箱の最新形態といえよう。まず、照度が高く、植物がよく育つ波長を含んだLEDライトの進化により、太陽光という呪縛から解放され、空調のきいたリビングなどで植物を栽培できるようになったのは大きい。また、小型ファンが取り付けられ、多くの植物が嫌う密閉環境であるケース内に、風を送り込んでくれる。そして、極めつきは背面から白い霧を発生させるミスト装置で、湿度までも調整することができるのだ。照度や温度、風、湿度を自在にコントロールすることで、例えば、常に湿度の高い雲霧林だったり、日照は強いがとても涼しい高地などの環境も再現できる。そんな現代のウォードの箱を使えば、これまで日本の気候では極めて栽培が難しいとされていた植物たちも、見事に開花させることができるかもしれない。

システムパルダ30。幅60㎝の大型タイプも。（アクアデザインアマノ ADAサービスセンター☎0256·72·1994）　パルダリウム専用スタンド（graf studio☎06·6459·2100）

TEXT＆EDIT: SHOGO KAWABATA　PHOTO: AKIRA YAMAGUCHI　COOPERATION: FUMIO FUJIKAWA (SPECIES NURSERY)



修復といえど、綺麗にするのが正解じゃない。
画家の人柄やその人が生きた時代に思いを馳せる。

「先日モンドリアンの展覧会があったんだけれど、80点近くの作品を一つ一つ至近距離で見ると、彼がどう筆を動かし、どういう人だったかがわかってきた。これが私たちの職業の特権で、多くの美術作品に出合い、評論家や学芸員でもわからないような細かいところまで調査できる。画家と同じように頭の中でその時代を生きてみて、読み解いたものが自分の血となり肉となる喜びがあるんです」

　そう話すのは、ファン・ゴッホ、パブロ・ピカソ、クロード・モネ……と、誰もが知る名作の修復を行ってきた森直義さん。絵画修復士は単純に〝絵を直す〟仕事だと思っていたから、やりがいについて聞いて〝調査〟という言葉が出てきたのはかなり意外だった。

「修復はそれを診断して理解することから始まります。なので、展覧会の展示作品の点検や、作品の状態や技法の調査も仕事。作品を長く保存するために、額縁から所蔵場所のような保管環境について広くアドバイスすることもあります。そして作品を修復した部分はある意味〝偽物〟なので、その絵の本当の部分を守ることが大事。いつか別の人が修復をする際に直した箇所を判別して除去できるように、本来の作品で使った接着剤とは別のものを作るといった発明家的側面もあるんです」

　使われた画材の特徴や状態を科学・化学・物理学の視点から分析。作品に手を加えるわけだから、美術史の知識だけでなくある程度の絵を描く才能も必要だろう。しかし「結局はシンプルに〝作品を見ること〟が大切」と森さん。「修復に使う接着剤の作り方は半日あれば覚えられるし、実技的なことはさほど重要ではない。若い人にもよく『作品を点検する仕事は、お金を払ってでもやりたいことだ』って話すんですが、作品とその背景を深く理解する姿勢があれば修復の8割はできます」

　そこで気になるのが森さんの学生時代だが、曰く「勉強するのがどちらかというと苦手なタイプ」。ただ、「子供の頃から絵を描くのが好きで、大学では美術史を専攻しながら制作していた」という。そんな森さんが修復士を志したのは、彼が大学院生だった1987年頃のこと。はっきりと今後の方針が決まらないまま出かけた、ヨーロッパ旅行がきっかけ。

「いろんな作品を見て回る中で、特に古いフランドル絵画に感銘を受けて、その魅力の本質に近づきたいと思ったんです」

　そこでフランドル絵画の研究と修復を手掛けるベルギーの王立文化財研究所を訪れた森さんは、西欧では専門の学校を卒業しないと研究所に入れないことを知り、ベルギー国立ラ・カンブル視覚芸術高等専門学校を受験。晴れて合格し、卒業までの6年半の間に修復技法や専門的な論文の読み方などを習得した。その後も研修は続き、ベルギーに渡ってから8年半後に帰国するのだが、「組織に属することができずにそのまま独立」となった。

「最初は画廊から3万円ほどの修復費をもらい、作品を電車で持って帰って4畳半の部屋で直したことも。専門的な道具がなかったので、お湯で温めたコテを使ったり、接着に使う特殊な膠がないのでゼラチンを溶いて代用したり(笑)。4畳半は10か月ほどで卒業しましたが、ピカソのような有名な作品の依頼が入るようになったのは5年目以降でした」

　今では錚々たる名画を修復する森さんだが、思い入れは個人の依頼でも変わらないという。

「『祖父が画家だったので家宝として残したい』というような依頼もありますが、作品への思いを直接伺って、どう良さを引き出すのか、そこに宿される思い出や価値はなんだろうかと一緒に考えていくので、喜びを分かち合える実感があります。これはゴッホの作品を修復するときも変わらないけれど、大切なのはただ綺麗にすればいいってことではないということ。歴史や状態、保管環境や所有者の好みを総合的に考えて、どの状態に戻すのかを探る必要があります。より正しい見解を持つことはできるけれど、正解はないんです。それに医療も時代で治療法が変わるのと一緒で、この仕事もどうあるべきかが変化します。私が修復士を始めた頃は、今より綺麗に直すのが良いとされていて、私は当時からやりすぎないように心掛けていたけれど、振り返るとそこまでやらなくてもよかったと思うことも。残念ですが、昔の自分の仕事を見て『素晴らしい』と思うことはあまりないです(笑)」

森 直義

もり・なおよし｜1956年生まれ。ベルギー国立ラ・カンブル視覚芸術高等専門学校保存修復課程卒業。1994年、森絵画保存修復工房設立。2009年から2015年まで東北芸術工科大学文化財保存修復学科にて教授を務める。

What's 絵画修復士

絵画の修復だけでなく展覧会の作品の点検や、作品の技法の調査と発表、保管方法のアドバイスをする。日本画や西洋画など手掛けるものによって修復士になる方法は異なり、西洋絵画や油絵を専門とする森さん曰く「学校に行くのが近道」。森さんの著書『修復からのメッセージ』（ポーラ文化研究所）も参考図書に。

hello, Work

こんな仕事があったのか

Work 13　絵画修復士　森 直義

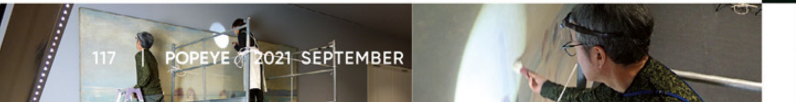


photo: Kento Mori　text: Ryoko Iino

superrrrrrrr ART WALL #011

Tasogare (Here comes someone)　2021

BIEN

ビエン｜アーティスト。1993年、東京都生まれ。ドローイングを基礎表現とし絵画や彫刻など多様なメディアで作品を制作する。その背景には、アニメのキャラクターやフィクションが生み出す形、文字や記号などの表象があり、それらがもつ形や意味を解体／再構築する抽象表現を展開している。Instagram: @bien_jap

O-maga (Magic mirrors create ghosts)　2021

10 QUESTIONS

―――　自分を一言で表すと？
BIEN　Lazy。
―――　あなたにとってルールとはどんな意味がありますか？
BIEN　あったらわずらわしいけど、なかったらそれはそれでつまらないもの。遊ぶためのもの。
―――　キャラクターや文字の具体的なモチーフはありますか？
BIEN　YouTubeにある'40〜'90年代のカートゥーンアニメ、自分の持っているフィギュア。文字は好きな曲のタイトルや歌詞を描いたり。
―――　好きな映画／映画のポスターは何ですか？
BIEN　ずっと実家の部屋に貼ってある『レオン』のポスターかな……。映画は最近やっと見た『ノーカントリー』が良かった。
―――　好きなホラー作品はなんですか？
BIEN　これも難しいけど……総合的に『死霊のはらわた』。
―――　好きな食べ物は？
BIEN　ホットドッグと天津飯。
―――　趣味は何でしょう？
BIEN　映画を見たり音楽を聴いたり……たまに滝を見に行ったり。
―――　既存の文字で特に好きなものは？
BIEN　一応「B」。描きやすい文字じゃないんだけど、それが面白い。
―――　次、旅に出るならどこに行きたい？
BIEN　またヨーロッパに行きたいのと、あとはランダムでどこにでも。
―――　今後の展示の予定があれば教えてください。
BIEN　8月に『CALM & PUNK GALLERY』でRussell MauriceとDIEGOとのグループ展、代々木の『TOH』で石毛健太との共同プロジェクト、SCAN THE WORLDの展示があります。

photo: Naoki Takehisa　edit: Mayumi Yamase

HELLO MY NAME IS......

photo: So Mitsuya

DIOR

馬の鞍の形から着想を得た「サドル」バッグが誕生したのは2000年代初期。当時はウィメンズのみだったけど、今ではメンズでも使いやすいようにリデザインされ、ブランドを代表するバッグとして親しまれている。そんな定番が「ディオール ワールド ツアー」と銘打ったカプセルコレクションから5色展開で登場。バッグの他にもスニーカーやカードケースなど7つのアクセサリーが、全5色で計35種類ラインナップ。ここまでカラーバリエーションがあるのは今まで見たことがなかった。靴下だけ真っ赤のスーツ姿の英国紳士みたいに普段は選ばない鮮やかな赤に挑戦してみるのもいいけど、深い緑色も今の気分だし……。なんて、色選びで悩める楽しさがあるね。

W19×H14×D6㎝。各¥286,000（ディオール／クリスチャン ディオール☎0120·02·1947）

PRADA

1984年、ミウッチャ・プラダが世に送り出したブラックナイロンのバックパックがアイコニックな存在になったように、〈プラダ〉の歴史においてバックパックはキーアイテムの一つ。こちらは新しく共同クリエイティブ・ディレクターに就任したラフ・シモンズが手掛けた「プラダ リナイロン」のバックパック。とてもシンプルだけど、よく見るとブランドロゴであるトライアングルがデザインモチーフになっている。また台形に近いプロポーションというのも新鮮。背負うのはもちろん、小脇に抱えたり、上部の持ち手を持ってハンドバッグのようにしたりと、持ち方もいろいろと楽しめそうだ。話題の新生〈プラダ〉をここから体験するっていうのも、悪くないんじゃないかな。

W38×H30×D15㎝。¥204,600※予定価格（プラダ／プラダ クライアントサービス☎0120·45·1913）

HELLO MY NAM
E IS......

JIL SANDER

上着も着ないこの季節、何でもかんでもパンツのポケットに突っ込んでしまうけれど、スマートフォンの形がくっきり浮き出ている姿は正直スマートじゃない。バッグを持ち歩かない日は、〈ジル サンダー〉のスマートフォンケースに入れるのがいいんじゃないかな。スマートフォンがすっぽり収まる1室のみの作りで、アクセサリー以上、バッグ未満な存在感。柔らかくなめされたナッパレザーの質感が上品でクリーンな美しさがある。言われてみれば、ルーシー＆ルーク・メイヤー夫妻が手掛ける〈ジル サンダー〉の定番スーツにはラペルホールはおろか胸ポケットすらついていなかった。無駄を削いだクリーンさこそ、彼らのデザインの真骨頂だ。

W10×H17×D4.5㎝。¥48,400（ジル サンダー バイ ルーシー アンド ルーク・メイヤー／ジルサンダージャパン☎0120·919·256）

TOD'S

〈トッズ〉がイタリアの大人の男性だけが似合うブランドというイメージはもう過去のもの。この「タブズ スニーカー」を見つけてからは、見る目が変わってしまったよ。まず色がいい。深いネイビーで統一した上質なスエードとカーフレザー、メッシュのアッパーに、ガムソールの組み合わせ！　この渋い配色はなかなか見つからない。そして、形もいい。スケートシューズのようなカジュアルさもありつつ、足を入れてみると革靴のようにエレガントで足元が引き締まる。カットオフしたワークパンツからフランネルのスラックスまでどんなパンツにも似合うと思うな。さらにカップインソールで歩きやすいときたから、もう言うことなし。

¥72,600（トッズ／トッズ・ジャパン☎0120-102-578）

DISCUS® ATHLETIC

×

tmuk.

BRAND SITE
discus-athletic.com

instagram
discus_athletic_jp

EC SITE
discus-store.jp

nexus BRANDS
ネクサスブランズ株式会社
Tel:03-6228-7711
E-mail:itoh@nexusbz.com

DISCUS
DISCUS
HELP
The Discus Athletic Collection
continues its history of coming through
with a winning performance.
Styles with a tradition of quality
DISCUS®
ATHLETIC

10th ANNIVERSARY

天空の楽園 Night Tour ナイトツアー 2021

天空の楽園ナイトツアー THE 10TH ANNIVERSARY SPECIAL EVENT

稲川淳二の怪談ナイト

in スタービレッジ阿智

2021.8.17 TUE

怪談家、
稲川淳二さんによる怪談と
満天の星を楽しむ。

NIGHTTOUR 10TH ANNIVERSARY

稲川 淳二 JUNJI INAGAWA

1947 年生まれ。ラジオ放送での怪談が好評を博し、現在は怪談の語り部として活躍。1993 年から『MYSTERY NIGHT TOUR 稲川淳二の怪談ナイト』で全国を回るように。また工業デザイナーとしての活動も継続中で、「車止め」のデザインで 1996 年に通商産業省（現・経済産業省）選定グッドデザイン賞を受賞。自身の YouTube チャンネル「稲川淳二メモリアル『遺言』」にて怪談動画などを配信中。

料金

小学生以上 6,000 円 税込

幼児無料

※料金はゴンドラ往復乗車料金が含まれます。

時間

17:00~19:00 上りゴンドラ運行

19:30~21:00 怪宴

21:00~21:30 ライトダウン 星空観賞

21:30~ 下りゴンドラ運行

会場

富士見台高原ロープウェイヘブンスそのはら

〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里 3731-4

ご予約・詳細

https://sva.jp/event/kaidan-night/

＜お問合わせ＞ 阿智★昼神観光局 / TEL. 0265-43-3001 ヘブンスそのはら / TEL.0265-44-2311

主催：スタービレッジ阿智誘客促進協議会 共催：SBC 信越放送

特別協力：阿智☆昼神観光局／ジェイ・マウンテンズ・セントラル／オフショアー／ユニ J オフィース

PICK-UP POPEYE 893

汗が止まらない季節の只中で、このところはサンダルに世話になりっぱなし。涼しい日々が待ち遠しくて、やはり季節の変化は足元から、と早くもボリューミーな一足を探している。すると〈コンバース キャンピング サプライ〉の新型が目に飛び込んできた。機能的なプロダクトを手掛ける〈エフシーイー〉との共作で、雨でも安心なゴアテックス®ファブリクスを、強度があるリップストップで仕立てた生地をアッパーに用い、実にタフな仕上がり。バッシュはじめ、アクティブなシューズの証し、シェブロン＆スターをサイドにのせつつグレーのワントーンでシックな印象。ハイカットでも履き口はベルト仕様で開口部も広く、脱ぎ履きもそうしんどくはなさそう。フーディーにショーツを合わせ、足元をこんな一足にしたら、野山に分け入る秋も目前だ。

くるぶしのベルトを外してシューレース部分のベルトを引けば、履き口が大きく広がり、いちいち紐を解かなくても脱ぎ履き可能。踵部分は厚めのラバーパーツで支えられ、ホールド感も抜群だ。アウトソールは溝が深く滑りにくい。9月発売予定。¥24,200（コンバース／コンバースインフォメーションセンター☎0120-819-217）

そろそろハイカットスニーカーの季節も待ち遠しくなってきた。

CONVERSE CAMPING SUPPLY

photo: Toru Oshima text: Ryota Mukai

MOTHER

BRACELET

MEDIROM
HEALTHCARE TECHNOLOGIES INC.

MATRIX

empower your life

僕が人生においておこなった
あらゆる投資の中で、それは間違いなく
最良のものだったと言えるだろう。

——「まえがき」より。

つい集まってしまった、村上春樹秘蔵

108 T-SHIRTS

POPEYE BOOKS

『ポパイ』連載の人気エッセイが一冊になりました！

村上春樹の段ボール箱で積み上がった膨大なコレクションから、
Tシャツをめぐる18篇のエピソードと108枚のお気に入りTシャツを収録。
また村上春樹と野村訓市によるTシャツにまつわる
スペシャルインタビューも。

in STORES NOW

ロックT／レコード系／マラソン完走Tシャツ／企業もの／ビール関係／ノヴェルティ……
村上春樹秘蔵TシャツLOOK BOOK

村上T

僕の愛したTシャツたち

村上春樹

定価1980円（本体1800円）

書店・インターネット書店でお求めください。 読者サービスセンター ☎0120-797-300（土日祝日を除く、平日 9:30～18:00）
https://magazineworld.jp/books/ 〒104-8003 東京都中央区銀座 3-13-10

マガジンハウス

styling: Masayo Morikawa
hair&make: Yuko Aika(W)
photo: Naoto Date
text: Neo Iida

POPEYE Web オリジナル PODCAST

Supported By KINTO

『車で行こっか。』始まるよ〜

ドライブしながらのお喋りってなんか特別。そんな時間をポッドキャストにしてみたよ。〈パープルシングス〉の菊乃さんの初番組、第1回は友人・臼田あさ美さんがゲスト！

菊乃（きくの）｜1990年、東京都生まれ。2015年にブランド〈パープルシングス〉を立ち上げる。自身で映像編集を行うYouTubeチャンネル「STAY IN BED」も好評。

臼田あさ美（うすだ・あさみ）｜女優。1984年、千葉県生まれ。9月23日公開の映画『マイ・ダディ』に出演。頻繁に運転するようになったのはこの3〜4年。K-POPにも詳しい。

木挽町通りがパッと華やいだ早朝マガジンハウス前。菊乃さんの愛車メルセデス・ベンツC200の助手席に臼田さんが乗り込み、いざ門前仲町へ！　目的地は菊乃さんが毎年夏になると行くという『甘味処 由はら』。天然氷を使ったかき氷が絶品で、二人が選んだのは白玉＆こし餡トッピングの氷しるこ（¥900）。フンワリ氷に、程よい和の甘味が最高。ドライブ疲れも吹き飛ぶ美味しさ。◯東京都江東区富岡1-10-8 湯原ビル　☎03-3641-4095　11:00〜20:00　無休

臼田さん／ブラウス¥27,500、付け襟¥7,700、パンツ¥22,000※すべて参考価格（すべてGANNI　ganni.com）　ピアス¥12,100（LON　@lon_official）靴は私物

これ、これ、これ〜。

絶賛配信中の、菊乃さんがパーソナリティを務めるオリジナルポッドキャスト番組。車をこよなく愛する菊乃さんが愛車を運転しつつ、毎回異なるゲストをお招きしてどこかへお出かけ。最近気になること、好きな音楽、好きな食べ物など、ざっくばらんにトークを繰り広げる。第1回のゲストは臼田あさ美さん。第2回はテレビディレクターの岡宗秀吾さん。カバーアートはノンチェリーさん作。番組はPOPEYE Webからとべます！　https://popeyemagazine.jp/post-38302/

運転中の緩〜いバイブスが生む、何げない会話を楽しむ番組。

「車は部屋みたいなもの」と、どこへ行くにも車でピューッな菊乃さん。YouTubeでのお喋りも軽快だから、車×トークのポッドキャストをポパイWebが企画！　ドライブ中のお喋りをパッキングして、ゆるりと配信しちゃいます。現在配信中の臼田あさ美さんとの深川ドライブ回から、アフタートークをどうぞ！

K：いや〜、一番楽しかった！

A：一番って。まだ1回目だよ（笑）。

K：意識せずに友達と喋ったって感じ。

A：でもきっちゃん、仕切ってて偉いと思った。二人とも話が止まらなくて、トークテーマまで時間かかったけど（笑）。

K：どんな車乗ってた？　運転ってクセが出るよねとか、車の話が多かったかも。

A：私はきっちゃんが運転する車に乗ったのが初めてで、なんだか新鮮だったな。

K：乗せてもらってばかり。あさ美ちゃん、ナビがなくても余裕だからすごい。

A：家族を乗せて毎日走ってるからね。

K：運転してるとラフに話せるし、相手の話も聞きたくなる。みんなにも私たちの会話を楽しんでもらえたら嬉しいな！

PICK-UP

〈ロクシタン〉ダメージヘアケアシリーズが8月18日（水）リニューアル発売。

《ファイブハーブス リペアリング》シリーズがリニューアル。ダメージ予防成分を新配合し効果がアップするほか、地球にやさしい、よりクリーンなフォーミュラを実現。さらにパッケージもエコフレンドリーに。シャンプー・コンディショナー・ヘアマスクを展開。

（ロクシタンジャポン カスタマーサービス☎0570·66·6940）

神戸・旧居留地BLOCK30に、『ヘルノ 神戸店』が移転オープン。

新たに路面店として誕生。プライベート感あふれる空間に、ブランドの故郷北イタリアの自然を思わせるグリーンウォールの壁面と、ブランドの象徴であるフックのディスプレイが。オープンにふさわしく、季節を先取りした新作《リゾート》コレクションが揃う。

メンズニットアウター ¥108,900（ヘルノ 神戸店☎078·381·7758）

21_21 DESIGN SIGHTギャラリー3にて、『横尾忠則：The Artists』開催中。

© Tadanori Yokoo

カルティエ現代美術財団の依頼で横尾が描いたアーティスト、哲学者、科学者などの肖像画139作を展示。同財団の展覧会の歴史に刻まれた人々の肖像画は、同じサイズの油彩画という共通点はありつつも、表現は多岐にわたる。入場無料。10月17日（日）まで。

11:00～17:00（土日祝18:00）（カルティエ カスタマー サービスセンター☎0120·301·757）

旭山動物園×〈ヴァンドームブティック〉スペシャルコレクション発売。

北海道・旭山動物園の動物の躍動感や愛らしい表情・仕草を切り取り、ナチュラルで上品なシルバー素材で繊細に表現した。8月25日発売。公式オンラインストアでは、8月13日より予約販売開始。売上の一部は「あさひやま“もっと夢”基金」に寄付される。

商品はオリジナルポーチに封入、ポストカードプレゼント（ヴァンドームヤマダ☎03·3470·4061）

シャネル ファイン ジュエリー ブティックで「シャネル ブライダル フェア」開催中。

© CHANEL

ガブリエル シャネル最愛の花を台座に象る《カメリア コレクション》、キルティングモチーフの《ココ クラッシュ》など、スタイリッシュなブライダルリングが揃う。期間中は、カラーラッカーによる特別なエングレービングサービスを用意。8月29日（日）まで。

（シャネル カスタマーケア☎0120·525·519）

〈サルヴァトーレ フェラガモ〉繊細なシルク作品に着想した新作フレグランス。

ブランドのシルクのクリエイションにインスパイアされた《ストリエ ディ セタ》。4種のオーデパルファムには、それぞれ異なる4色と、伝統的テキスタイルをベースに描いた4種の精緻なモチーフをあしらう。単独のみならず、複数の香りの重ねづけも楽しめる。

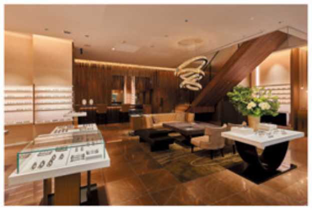
各50㎖ ¥9,900 ／ 100㎖ ¥14,850（インターモード川辺 フレグランス本部☎0120·000·599）

〈育てるタオル〉イエローライン1周年記念タオルプレゼントキャンペーン実施中。

タオルが主役になれるイエローラインyellow ribbonは、シックなベースカラーにイエローのリボンが華やか。シンプルでミニマルな生活にアクセントがほしい時に。Instagram公式アカウント（@sodaterutowel）のフォロー＆応募で毎月5名にタオルを進呈。

10月31日（日）まで。外れた方にもWチャンスあり。sodaterutowel.com

銀座地区の2店舗が移転・統合。新生『フォーナインズ 銀座本店』オープン。



〈フォーナインズ〉の幅広いラインナップをゆとりある店内でじっくり体感できる。経験豊かなスタッフが要望や用途に合わせフレームやレンズを提案。きめ細かなフィッティングやメンテナンスに対応する専用スペース、完全予約制プライベートサロンも併設する。

◯東京都中央区銀座4-3-6 1階・2階・3階（フォーナインズ 銀座本店☎03·3535·4949）

ゴアテックス サラウンド® プロダクトテクノロジー搭載、真っ白な《オールスター クップ》。

360°全方向で湿気を逃がす靴底の開口部により、防水性はそのままに透湿性が格段に向上した。アッパーには通気性と撥水性に優れたシンセティックレザー、インソールに通気性の良いメッシュライニングのオーソライトカップインソールを採用。¥24,200。

22.0-28.0/29.0/30.0㎝。9月発売（コンバースインフォメーションセンター☎0120·819·217）

シティボーイの憂鬱 ⑺8

illustration: Michihiro Hori　text: Neo Iida

ああ、嫌だ、本当に嫌だ。
僕らの「憂鬱だなぁ」を告白する連載。

今月のユウウツ

ホラーの周辺に潜むホラー

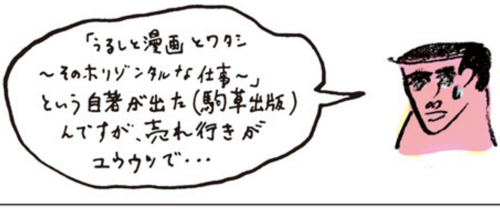
ハロー、クラリス！（夏ですね！）　あれは中学生頃だったか、晩ごはんを食べたあと、母親に「パートで疲れたから足揉んでよ」と言われたんで揉んであげてたんですね。そしたら、ふくらはぎに小さくポツンと点があるんですよ。さほど黒くなくて、ぼんやりしてて、ホクロではなさそう。「これ何？」と聞いたら「忘れたの？　あんたがやったのよ」と母親。えっ。「いくつだったかなあ、幼稚園くらいのときに、『鉛筆を足に刺したらどうなるか気になるから、刺してみたい』って追いかけられて、刺されたの。もう取れないんだから」。えっ。すると襖がバッと開いて弟が登場。「僕にも入ってるんだ！」えっ。「鉛筆持って走ってきて、刺された！」。そう言ってパジャマの裾をまくった弟のスネに、ぼんやりした点が！　うわ、全っ然覚えてない！　けど超ごめん！　チャッキーじゃねえか幼少時の俺……と視線を落とした右膝に、点！　いや、芯！　セルフで刺した!?　まず自分で試して、次は他人でってこと？　おのれの過去がホラーで憂鬱です！

　悪魔っ子の自分が言うのも恐縮ですが、いちばん怖いのはやっぱり人間。いるじゃないですか、ホラー映画に限らず、結末を言っちゃうモンスターが。この特集の打ち合わせ中も、担当のヤナコーが「ああ、『アス』のその登場人物は……」って結末を匂わせたのでギクッ。慌てて制したのに、すぐ忘れて「こうでこうなので、こうなるんです（ズバリ！）」。じゃあもう、そうじゃん！　後日観たらそのとおりでしたよ。半減したなあ。

　鑑賞時の憂鬱は、作中にどの程度のグロシーンが出てくるかわからないこと。人によって耐性って違うじゃないですか。怖いのは嫌いじゃないけどスプラッターは苦手。作り物だとわかっていても、ドバッ、グチャッは見ててしんどい。だから『ミッドサマー』とか絶対何か出るんだろうな、怖いな怖いな～ってソワソワ観るから、話が全然頭に入ってこなかった（気に病むほどではなかった）。なんで、インフォメーションに具体的に書いておいてほしいんですよね。「死体の感じ…安全。血のり程度。／凶器…斧。安全。振り下ろす瞬間に画面が切り替わる」とか。右上に「ヤバいシーンまで60秒」ってカウントダウン出してくれてもいいよ。急に「ワッ！」とか音楽で「ジャン！」みたいな演出も、それってただ驚かせてるだけじゃねって思っちゃうから、もれなく「ワッで怖がらせるタイプ」って書いておいてほしい。それはそれで観たいときもあるし。

　一人暮らしでホラーを観るって行為自体が怖いから、前から欲しいなと思ってるのが副音声。誰かのリアクションを聴きながら観れば怖さも半減するし、安心してストーリーを追いかけられそう。テラハ育ちだし、スタジオトークが入るくらいがちょうどいい。YOUさんが「ヤダーー！」とか言ってくれたら絶対落ち着く。

　そんなわけでホラーばっかり観た今月。その結果、苦手な傾向がわかってきた。「突然出てくる」「造形がキモい」「動くとすばしっこい」ってこれ、ゴキブリでしたー！　嫌いなホラーを煮詰めるとアイツになるのか。いやその逆か？　いずれにせよ夏は背後に注意しよう。あといちばん怖かったのが、取材でゾンビからどう逃げるか、って話をしていたときに、「知らない菌で感染する世界になったら終わりですよね」と自分で口にした瞬間。ほぼ今じゃんね。誰か助けて～！



堀さんの
今月のユウウツ

堀 道広｜ほり・みちひろ　うるし漫画家、「金継ぎ部」主宰。1975年、富山県生まれ。'98年『月刊漫画ガロ』でデビュー。近著に漫画『おれは短大出』（青林工藝舎）、『おうちでできるおおらか金継ぎ』（実業之日本社）など。

NEXT ISSUE 894

POPEYE 10月号は9月9日発売！

FASHION ISSUE 2021 AW

お待たせ、秋冬ファッション特大号。みんなが知りたい、着たいと思っている洋服を一挙に紹介。
今シーズンはラフ・シモンズがプラダで手掛けた最初のメンズコレクションなど、
耳寄りなニュースがたくさんあるからお楽しみに。

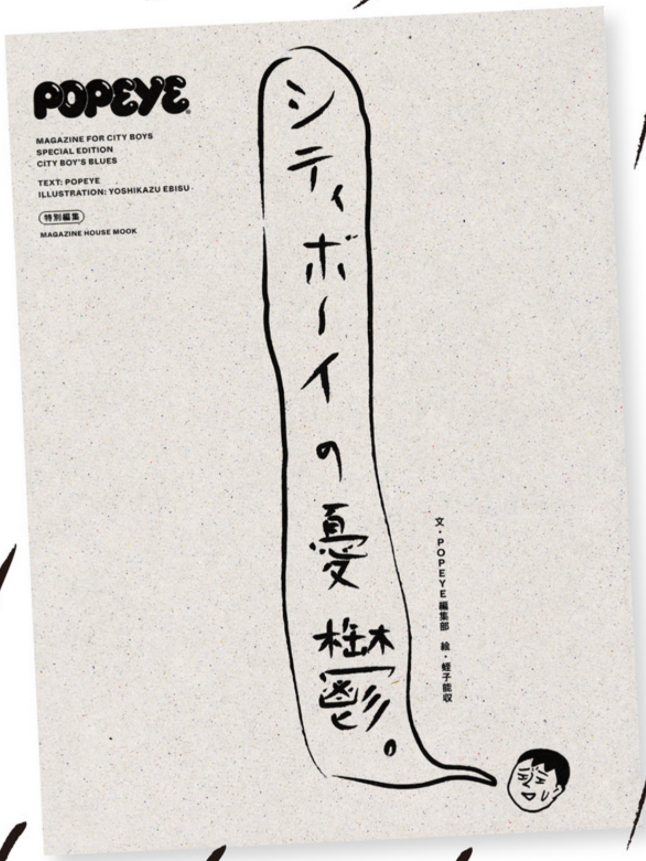
POPEYE特別編集

「シティボーイの憂鬱。」

1320円（本体価格1200円）

発売中

クラブではどう踊る？
好きな映画を聞かれたら？
バーで最初に頼む一杯は？
POPEYE編集部スタッフが
都会暮らしで陥りがちな難題と
その解決法について
体験談を交えながら考える、
人気連載「シティボーイの憂鬱」が一冊に。
挿絵は漫画家の蛭子能収さん。



お知らせ